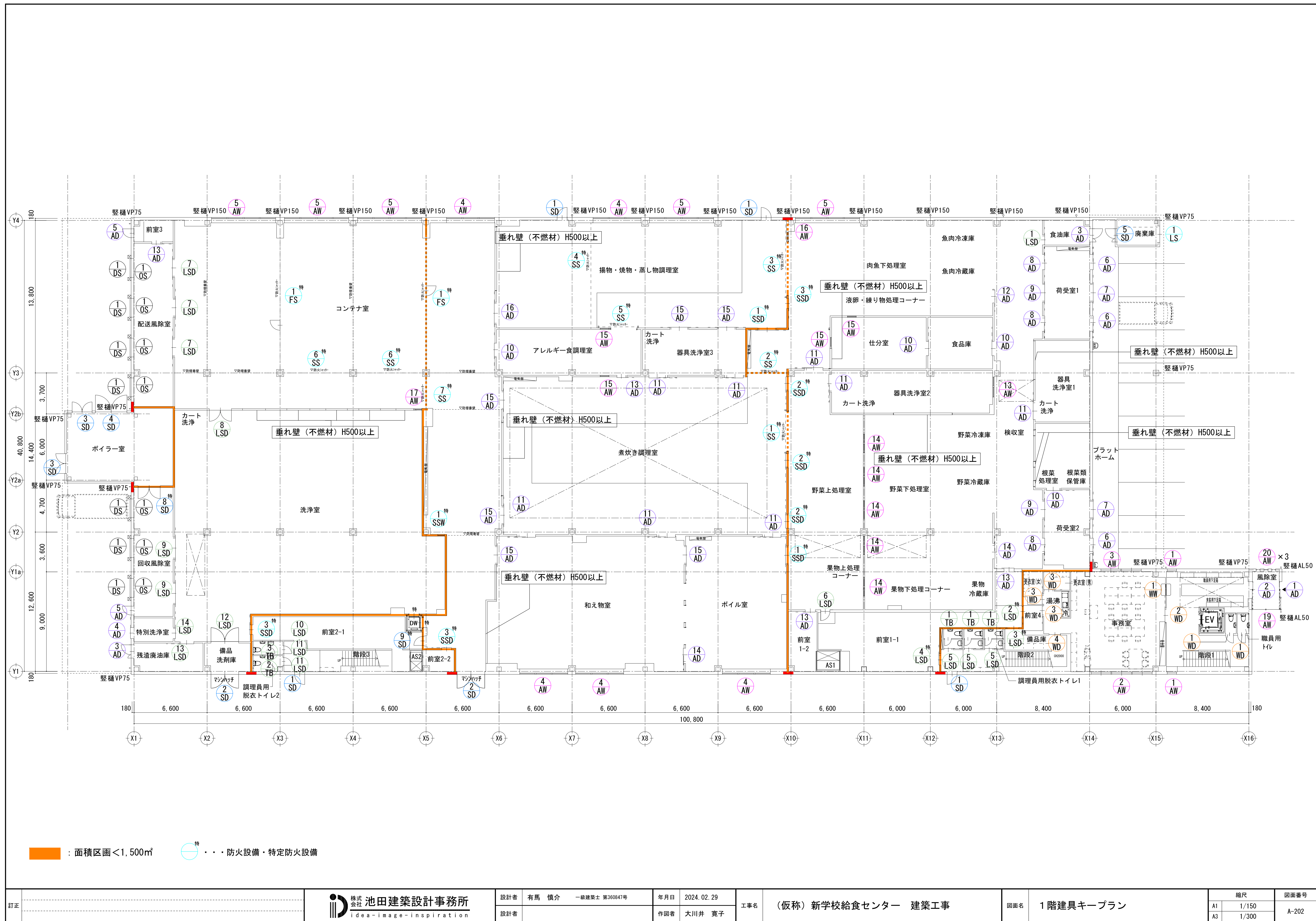

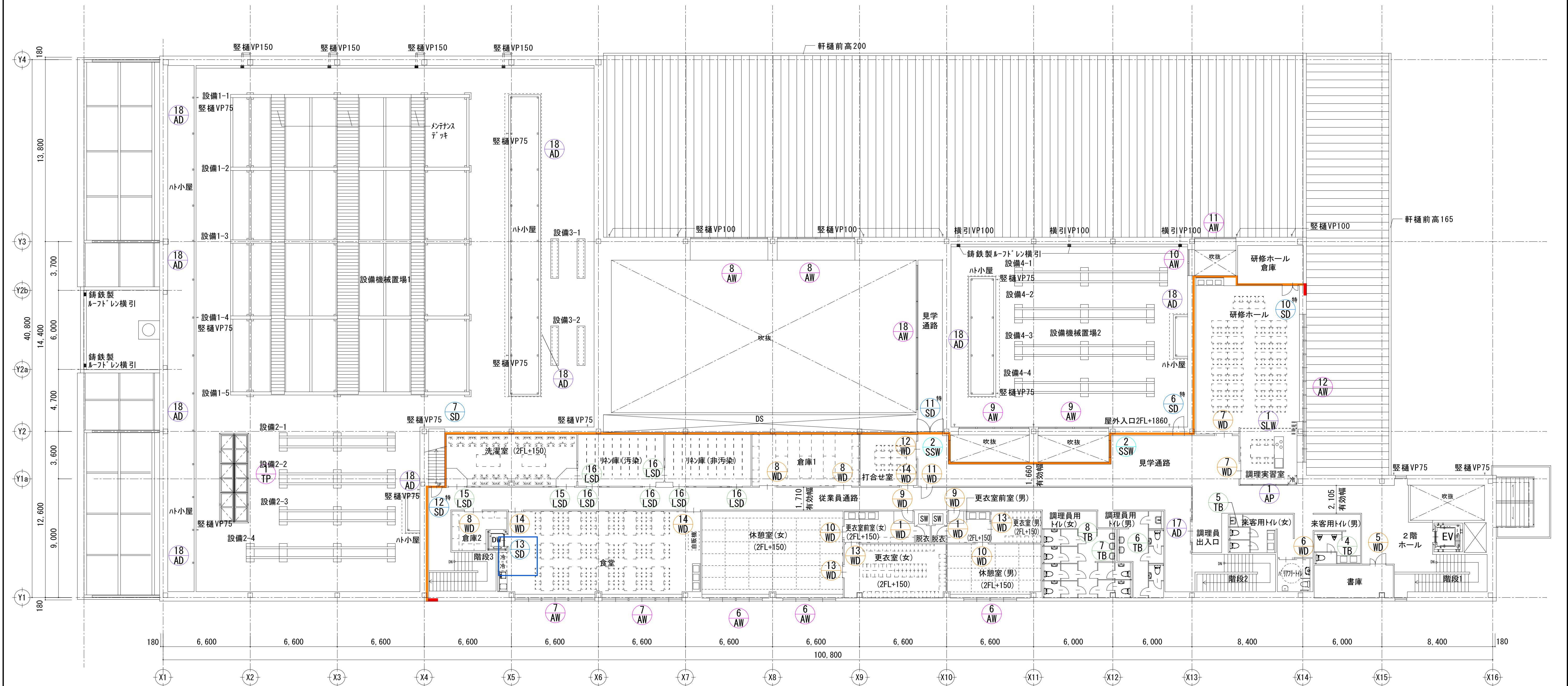



建具標準仕様										建具取り付け合い 標準図									
建具記号凡例										建具記号凡例									
記号	種類	記号	種類	記号	種類	記号	種類	記号	サイズ	記号	種類	記号	種類	記号	種類	記号	サイズ		
AW	アルミ製窓	SSW	ステンレス製窓	FL	透明フロートガラス	特	特定防火設備（遮炎1時間）	SD	40（H=2,400未満、扉1枚の幅=1,050以下）	AW	アルミ製窓	SSW	ステンレス製窓	FL	透明フロートガラス	特	特定防火設備（遮炎1時間）		
AD	アルミ製扉	SSCW	ステンレス製カーテンウォール	F	型板ガラス	特S	特定防火設備（遮炎1時間・遮煙性能付）	SSD	50（H=2,400以上、扉1枚の幅=1,600以下）	AD	アルミ製扉	SSCW	ステンレス製カーテンウォール	F	型板ガラス	特S	特定防火設備（遮炎1時間・遮煙性能付）		
AG	アルミ製ガラリ	SSD	ステンレス製扉	PW	網入り透明板ガラス（防火設備）				50（H=2,700以上、扉1枚の幅=1,500以下）	AG	アルミ製ガラリ	SSD	ステンレス製扉	PW	網入り透明板ガラス（防火設備）				
ACW	アルミ製窓カーテンウォール	SSG	ステンレス製ガラリ	PWL	線入り透明板ガラス	防	防火設備（遮炎20分）		60（H=3,200以上、扉1枚の幅=2,000以下）	ACW	アルミ製窓カーテンウォール	SSG	ステンレス製ガラリ	PWL	線入り透明板ガラス	防	防火設備（遮炎20分）		
SW	鋼製窓	SSS	ステンレス製シャッター	FW	網入り型板ガラス（防火設備）			LS D	40	SW	鋼製窓	SSS	ステンレス製シャッター	FW	網入り型板ガラス（防火設備）				
SCW	鋼製カーテンウォール	SLG	ステンレス製リンググリルシャッター	FWL	線入り型板ガラス	DCS	ドアクローザー ストップ付	WD	30（H=1,000未満、扉1枚の幅=950以下）	SCW	鋼製カーテンウォール	SLG	ステンレス製リンググリルシャッター	FWL	線入り型板ガラス	DCS	ドアクローザー ストップ付		
SD	鋼製扉			HAP	熱線吸収ガラス	DC	ドアクローザー ストップなし		36（H=2,000未満、扉1枚の幅=950以下）	SD	鋼製扉			HAP	熱線吸収ガラス	DC	ドアクローザー ストップなし		
LS D	鋼製軽量扉	F	ふすま	HAPW	網入り熱線吸収ガラス（防火設備）				40（H=2,400未満、扉1枚の幅=950以下）	LS D	鋼製軽量扉	F	ふすま	HAPW	網入り熱線吸収ガラス（防火設備）				
SG	鋼製ガラリ	P	障子	T	強化ガラス	HL	ヘアライン仕上		※メーカーで指定がある場合は、メーカー仕様基準とする。	SG	鋼製ガラリ	P	障子	T	強化ガラス	HL	ヘアライン仕上		
SS	鋼製重量シャッター	TW	強化ガラス窓	FT	型板強化ガラス	PHL	パイブレーション仕上			SS	鋼製重量シャッター	TW	強化ガラス窓	FT	型板強化ガラス	PHL	パイブレーション仕上		
LS	鋼製軽量シャッター	TD	強化ガラス扉	耐熱T	耐熱強化ガラス	FS	化粧フィルム貼り			LS	鋼製軽量シャッター	TD	強化ガラス扉	耐熱T	耐熱強化ガラス	FS	化粧フィルム貼り		
AS	アルミ製シャッター			L	合わせガラス					AS	アルミ製シャッター			L	合わせガラス				
SLW	スライディングウォール	SF	防煙垂壁	Low-E	Low-Eガラス					SLW	スライディングウォール	SF	防煙垂壁	Low-E	Low-Eガラス				
SP	鋼製可動間仕切			GB	ガラスブロック			建具記号凡例											
AP	アルミ製可動間仕切			HR	熱線反射ガラス														
WW	木製窓			AR	熱線吸収反射ガラス														
WD	木製扉			IG	複層ガラス														
WG	木製ガラリ			HD	高断熱複層ガラス														
TB	トイレブース																		
共通事項										共通事項									
注記：本仕様は共通事項とし、表中に特記が無い場合でも適用する。ただし、表中に異なる指示がある場合はそれを優先する。特に指示の無い場合は、監理者の承諾を得てメーカー仕様とすることができる。建具表姿図は、内観図とする。										注記：本仕様は共通事項とし、表中に特記が無い場合でも適用する。ただし、表中に異なる指示がある場合はそれを優先する。特に指示の無い場合は、監理者の承諾を得てメーカー仕様とすることができる。建具表姿図は、内観図とする。									
・標準納まり										・標準納まり									
標準納まりは特記の無い限り、建築工事標準詳細図（最新版）による。										標準納まりは特記の無い限り、建築工事標準詳細図（最新版）による。									
・建具仕様										・建具仕様									
建具仕様は、特記仕様書による。それ以外の仕様は本図による。										建具仕様は、特記仕様書による。それ以外の仕様は本図による。									
・外部建具の範囲										・外部建具の範囲									
外部及び半外部（ピロティ、駐車場等）に面する建具は外部建具とする。										外部及び半外部（ピロティ、駐車場等）に面する建具は外部建具とする。									
・外部建具枠廻り仕様										・外部建具枠廻り仕様									
防水モルタル詰め＋現場発泡ウレタンt=15充填とする。										防水モルタル詰め＋現場発泡ウレタンt=15充填とする。									
・排煙用開口部										・排煙用開口部									
四周「シリング」を施し、「シリング」材は公共建築工事標準仕様書 9 章 6 節「シリング」による。										四周「シリング」を施し、「シリング」材は公共建築工事標準仕様書 9 章 6 節「シリング」による。									
排煙窓の適用は「法規制」欄による。										排煙窓の適用は「法規制」欄による。									
開放用のクレセント等建具金物は、床面より1.5m以内の高さに取付ける。										開放用のクレセント等建具金物は、床面より1.5m以内の高さに取付ける。									
また、高窓等通常操作の開閉が困難な場合は、オペレーターを設置する。										また、高窓等通常操作の開閉が困難な場合は、オペレーターを設置する。									
連動の操作ボックスは操作範囲すべて、床面から1.5m以内になるよう設置する。										連動の操作ボックスは操作範囲すべて、床面から1.5m以内になるよう設置する。									
・網戸の形式										・網戸の形式									
引違窓、片引窓＝可動 欄間排煙窓＝固定 外開窓＝内開窓を標準とする。										引違窓、片引窓＝可動 欄間排煙窓＝固定 外開窓＝内開窓を標準とする。									
その他の場合は特記による。（ex. ブリーツ網戸取付の場合等）										その他の場合は特記による。（ex. ブリーツ網戸取付の場合等）									
・鋼製軽量扉										・鋼製軽量扉									
原則として小口込みは表面鋼板を曲げこむこと。										原則として小口込みは表面鋼板を曲げこむこと。									
・外部に面する鋼製扉										・外部に面する鋼製扉									
枠上部には水切付上枠（SUS304）とする。（アルミ建具を除く）										枠上部には水切付上枠（SUS304）とする。（アルミ建具を除く）									
扉及び枠の下端から300mmまでを下地共SUS304とし、仕上は上部に做う。										扉及び枠の下端から300mmまでを下地共SUS304とし、仕上は上部に做う。									
・外部ガラリ										・外部ガラリ									
ステンレス防鳥ネットを取付ける。また、W1500以上は方立を設ける。										ステンレス防鳥ネットを取付ける。また、W1500以上は方立を設ける。									
ダクト接続枠及び水返しも建具工事とする。										ダクト接続枠及び水返しも建具工事とする。									
ガラリ形状はI型とし、開口率は、施工時に設備工事との最終確認の上決定する。										ガラリ形状はI型とし、開口率は、施工時に設備工事との最終確認の上決定する。									
・枠廻りアングル										・枠廻りアングル									
額縁、腫板、カーネーションを取付ける金属製建具には、枠と同材のアングルを用意する。										額縁、腫板、カーネーションを取付ける金属製建具には、枠と同材のアングルを用意する。									
・その他外部建具仕様										・その他外部建具仕様									
耐震ドア規定なし。 表面処理BB-2 三方外額縁、下水切										耐震ドア規定なし。 表面処理BB-2 三方外額縁、下水切									
特記なき限り電解カラーは内部はシルバー、外部はブラックとする。										特記なき限り電解カラーは内部はシルバー、外部はブラックとする。									
建具金物標準リスト										建具金物標準リスト									
注記：本仕様は共通事項とし、表中に特記が無い場合でも適用する。ただし、表中に異なる指示がある場合はそれを優先する。										注記：本仕様は共通事項とし、表中に特記が無い場合でも適用する。ただし、表中に異なる指示がある場合はそれを優先する。									
開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊	開き戸	外部建具：ステンレス丁番 3枚吊		
（鋼製・ステンレス製）	内部建具：ビボットヒンジ	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊	（アルミ製・木製）	内部建具：ステンレス丁番 3枚吊		
取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）	取手 内外共（レバーハンドルまたは押棒）		
シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）	シリンドー箱錠（片面サムターン）		
D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付	D C、両開き、親子開きはフランス落とし付		
床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り	床付戸当り		
自動ドア	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式	エンジン装置一式		
引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠	引戸用本締錠		
センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー	センサー、補助センサー		
※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等	※引違窓 片引窓 開き窓 突出し窓 すべり出し窓、内開し窓、外開し窓、回転窓等		
電気錠システム 工事区分図										電気錠システム 工事区分図									
A										A									
B										B									
C										C									
D										D									
E										E									
F										F									
G										G									
H										H									
I										I									
J										J									
K										K									
L										L									
M										M									
N										N									
O										O									
P										P									
Q										Q									
R										R									
S										S									
T										T									
U										U									
V										V									
W										W									
X										X									
Y										Y									
Z										Z									
AA										AA									
AB										AB									
AC										AC									
AD										AD									
AE										AE									
AF										AF									
AG										AG									
AH										AH									
AI										AI									
AJ										AJ									
AK										AK									
AL										AL									
AM										AM									
AN										AN									
AO										AO									
AP										AP									
AQ										AQ									
AR										AR									
AS										AS									
AT										AT									
AU										AU									
AV										AV									
AW										AW									
AX										AX									
AY										AY									
AZ										AZ									
BA										BA									
BB										BB									
BC										BC									
BD										BD									
BE										BE									
BF										BF									
BG										BG									
BH										BH									
BI										BI									
BJ										BJ									
BK										BK									
BL										BL									
BM										BM									
BN										BN									
BO										BO									
BP										BP									
BQ										BQ									
BR										BR									
BS										BS									
BT										BT									
BU										BU									
BV										BV									
BW										BW									
BX										BX									
BY										BY									
BZ										BZ									
CA										CA									
CB										CB									
CC										CC									
CD										CD									
CE										CE									
CF										CF									
CG										CG									
CH										CH									
CI										CI									
CJ										CJ									
CK										CK									
CL										CL									
CM										CM									
CN										CN									
CO										CO									
CP										CP									
CQ										CQ									
CR										CR									
CS										CS									
CT										CT									
CU										CU									
CV										CV									
CW										CW									
CX										CX									
CY										CY									
CZ										CZ									
DA										DA									
DB										DB									
DC										DC									
DD										DD									
DE										DE									
DF										DF									
DG										DG									
DH										DH									
DI										DI									
DJ										DJ									
DK										DK									
DL										DL									
DM										DM									
DN										DN									
DO										DO									
DP										DP									
DQ										DQ									
DR										DR									
DS										DS									
DT										DT									
DU										DU									
DV										DV									
DW										DW									
DX										DX									
DY										DY									
DZ										DZ									
EA										EA									
EB										EB									
EC										EC									
ED										ED									
EE										EE									
EF										EF									
EG										EG									
EH										EH									
EI										EI									
EJ										EJ									
EK										EK									
EL										EL									
EM										EM									
EN										EN									
EO										EO									
EP										EP									
EQ										EQ									
ER										ER									
ES										ES									
ET										ET									
EU										EU									
EV										EV									
EW										EW									
EX										EX									
EY										EY									
EZ										EZ									
FA										FA									
FB										FB									
FC										FC									
FD										FD									
FE										FE									
FF										FF									
FG										FG									
FH										FH									
FI										FI									
FJ										FJ									
FK										FK									
FL										FL									
FM										FM									
FN										FN									
FO										FO									
FP										FP									
FQ										FQ									
FR										FR									
FS										FS									
FT										FT									
FU										FU									
FV										FV									
FW										FW									
FX										FX									
FY										FY									
FZ										FZ									
GA										GA									
GB										GB									
GC										GC									
GD										GD									
GE										GE									
GF										GF									
GG										GG									
GH										GH									
GI										GI									
GJ										GJ									
GK										GK									
GL										GL									
GM										GM									
GN										GN									
GO										GO									
GP										GP									
GQ										GQ									
GR										GR									
GS										GS									
GT										GT									
GU										GU									
GV										GV									
GW										GW									
GX										GX									
GY										GY									
GZ										GZ									
HA										HA									




訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 1 階建具キープラン	縮尺		図面番号 A-202
						A1	1/150	
						A3	1/300	



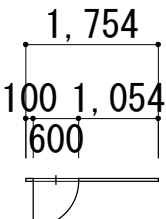
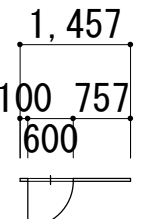
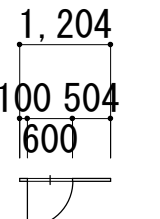
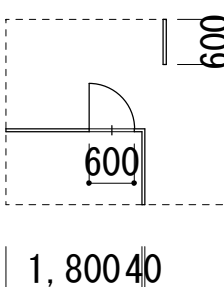
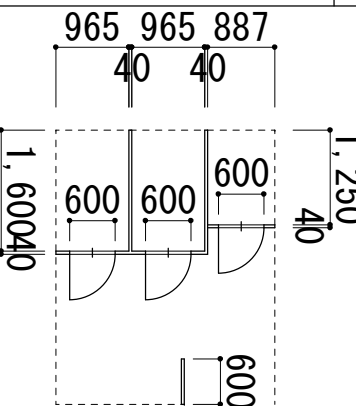
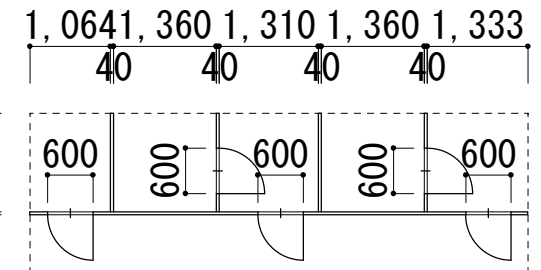
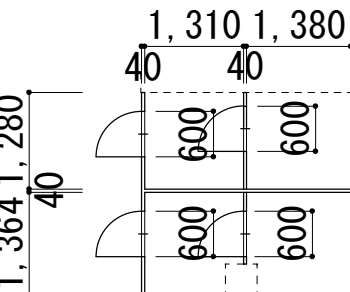
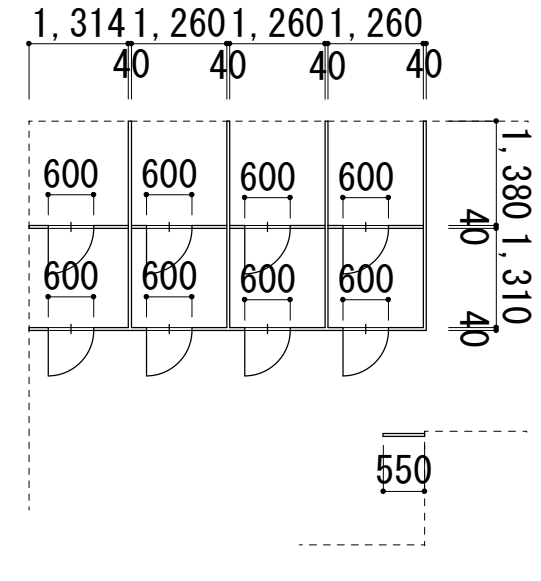
訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 2階建具キープラン	縮尺		図面番号 A-203
						A1	1/150	
						A3	1/300	

符号		室名		1F 風除室		1F 風除室		1F 風除室		1F 風除室		1F 残渣廃油庫、食油庫		1F 特別洗浄室		1F 回収風除室、前室3		1F 荷受室1、荷受室2															
数量	分類・形式	1	フロントサッシ	FIX	3	フロントサッシ	FIX	1	フロントサッシ	自動2連引き	1	フロントサッシ	自動2連引き	2	7mm枠戸	親子開き	1	7mm枠戸	片引き	2	7mm枠戸	片開き	3	7mmオートドア	自動2連片引き								
姿図																																	
	扉枠		- 100		AL 電解カラー		- 70		AL 電解カラー		40 120 (+額縁W100)		AL 電解カラー		42 200		AL 電解カラー		42 200		AL 電解カラー		42 200		AL 電解カラー								
	水切/沓摺		- T		- 6		- T		- 5		- T		- 6		D 上下FT/AL		SUS HL 4/3		- 上下FT/AL		- 4/3		D 上FT/下AL		SUS HL 4/3								
	ガラス		T		6		T		5		T		6		上下FT/AL		SUS HL 4/3		上下FT/AL		4/3		上FT/下AL		4/3								
	金物・備考		標準金物一式 下額縁 (SUS HL) 衝突防止マーク (4箇所)		標準金物一式 下額縁 (SUS HL) 四方アルミ額縁 (W140×t25)		標準金物一式 安全センサー 本締錠+サムターン 衝突防止柵 (SUS枠 アクリルパネル) パニッコープン 内外7mm三方額縁 ステンシル下枠 衝突防止マーク (4箇所)		標準金物一式 安全センサー 衝突防止柵 (SUS枠 アクリルパネル) パニッコープン 内外7mm三方額縁 ステンシル下枠 衝突防止マーク (4箇所)		標準金物一式 レバーハンドル DCS 本締錠+サムターン 戸当り 内外7mm額縁 ステンシル下枠		標準金物一式 大型引手 内外7mm額縁 SUSレール		標準金物一式 レバーハンドル DCS 本締錠+サムターン 戸当り 三方内外7mm額縁 ステンシル下枠		標準金物一式 レバーハンドル DCS 本締錠+サムターン 戸当り 三方内外7mm額縁 ステンシル下枠																
性能特記		—																															
法規制		—																															
認定番号		—																															
符号	室名	7 AD		1F 荷受室1、荷受室2		8 AD		1F 荷受室1、荷受室2		9 AD		1F 荷受室1、荷受室2		10 AD		1F 荷受室2、検収室、仕分室 7mmレバー-食調理室		11 AD		1F 器具洗浄室1、2、3 野菜上処理室、煮炊き調理室		12 AD		1F 検収室		13 AD		1F 前室1、3、7mmレバー-食調理室		14 AD		1F 検収室、ボイル室	
数量	分類・形式	2	7mmオートドア	自動引分け	3	7mmオートドア	自動2連片引き	2	7mmオートドア	自動引分け	4	7mmオートドア	自動片引き	8	7mmオートドア	自動2連片引き	1	7mmオートドア	自動片引き	4	7mmオートドア	自動片引き	2	7mmオートドア	自動2連片引き								
姿図																																	
	扉枠		42 200		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー				
	水切/沓摺		- T		- 4/3		- 上T/下AL		- 4/3		- 上T/下AL		- 4/3		- 上T/下AL		- 4/3		- 上T/下AL		- 4/3		- 上T/下AL		- 4/3		- 上T/下AL		- 4/3				
	ガラス		上T/下AL		4/3		上T/下AL		4/3		上T/下AL		4/3		上T/下AL		4/3		上T/下AL		4/3		上T/下AL		4/3		上T/下AL		4/3				
	金物・備考		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 本締錠+サムターン 掘込引手 パニッコープン 上部7mmレバー-t1.5 エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー インターロック 掘込引手 パニッコープン 上部7mmレバー-t1.5 エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー インターロック 掘込引手 パニッコープン 上部7mmレバー-t1.5 エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー インターロック 掘込引手 パニッコープン 上部7mmレバー-t1.5 エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー インターロック 掘込引手 SUSレール 上部7mmレバー-t1.5 エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 掘込引手 SUSレール パニッコープン エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 掘込引手 SUSレール パニッコープン エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 掘込引手 SUSレール パニッコープン エンジン装置2次配線込																
性能特記		—																															
法規制		—																															
認定番号		—																															
符号	室名	15 AD		1F ボイル室、和え物室 煮炊き調理室		16 AD		1F 焼湯蒸調理室		17 AD		2F 調理員出入口		18 AD		2F 機械置場		1 TP		1F 洗浄室													
数量	分類・形式	6	7mmオートドア	自動引分け	1	7mmオートドア	自動引分け	1	7mmオートドア	自動片引き	9	7mm枠戸(点検口)	自動片開き	1	SUS製排煙窓	-																	
姿図																																	
	扉枠		42 190		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー		42 190		AL 電解カラー		40 170		AL 電解カラー		- -		SUS t2.0												
	水切/沓摺		- T		- -		- -		- -		- -		- -		- -		- -		- -		-												
	ガラス		上T/下AL		4/3		上T/下AL		4/3		FT		4		7mmレバー		3		PW		6.8												
	金物・備考		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 掘込引手 SUSレール パニッコープン エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 掘込引手 SUSレール パニッコープン エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 掘込引手 SUSレール パニッコープン エンジン装置2次配線込		標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 掘込引手 SUSレール 本締錠+サムターン パニッコープン エンジン装置2次配線込		標準金物一式 ケースハンドル SUSレール 本締錠+サムターン パニッコープン エンジン装置2次配線込		標準金物一式 隠蔽型排煙ホーローケー 採光面積：3.45㎡×3台 = 10.35㎡ 排煙面積：3.54㎡×3台 = 10.62㎡		標準金物一式 隠蔽型排煙ホーローケー 採光面積：3.45㎡×3台 = 10.35㎡ 排煙面積：3.54㎡×3台 = 10.62㎡																		
性能特記		—																															
法規制		—																															
認定番号		—																															
訂正											設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号					年月日 2024. 02. 29		工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事		図面名 建具表 (2)		縮尺		図面番号									
																						A1 1/100		A-205									
																		A3 1/200															

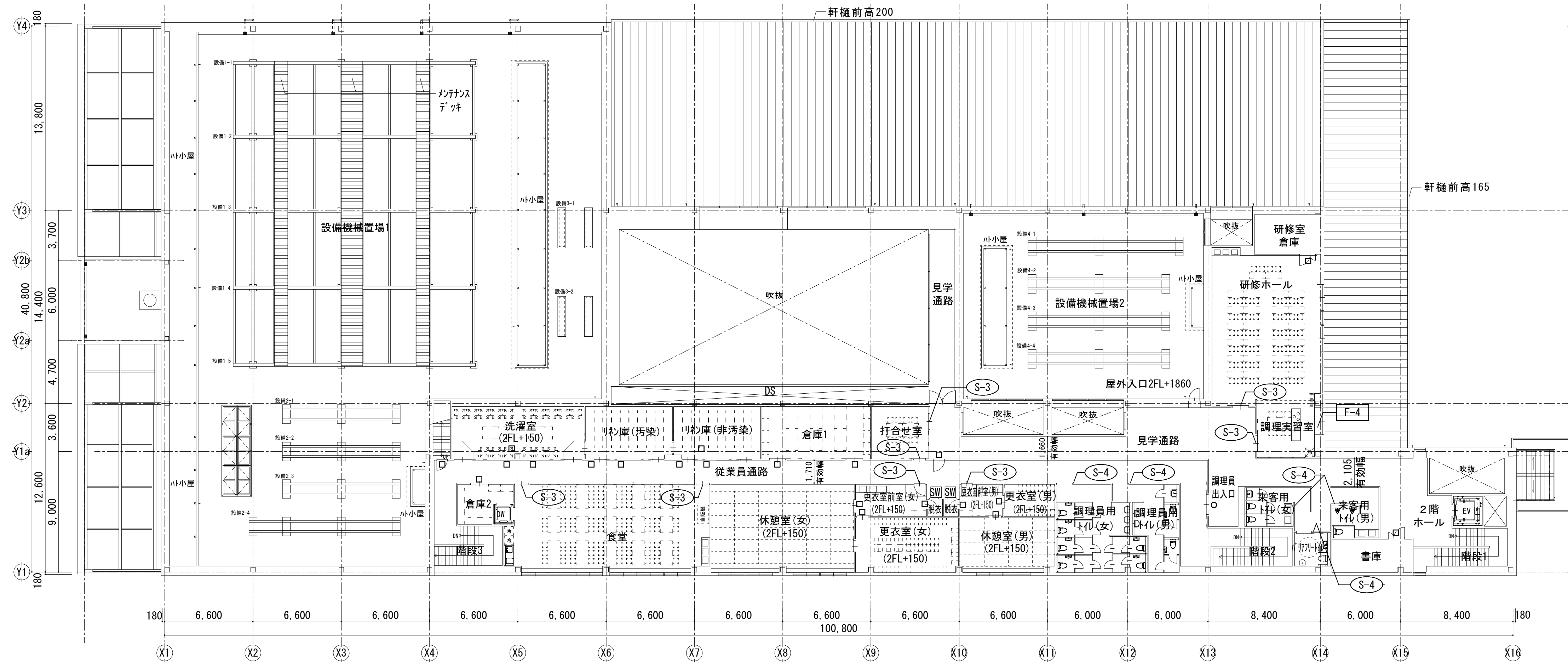
符号	室名	1特SSD1F 野菜上処理室 揚焼蒸調理室			2特SSD1F 野菜上処理室			3特SSD1F 肉魚下処理室、前室2			1特SSW1F 洗浄室			2特SSW2F 見学通路				1SD1F 階段2、階段3 揚焼蒸調理室			2SD1F コンテナ室、備品洗剤庫																																																																																																																																																																			
		数量	分類・形式	2	SUSオート7	自動引分け	3	SUSオート7	自動片引き	3	SUSオート7	自動片引き	1	SUS	上下窓	2		SUS	FIX	4	鋼製フラッシュ戸	片開き	2	鋼製フラッシュ戸	両開き																																																																																																																																																															
姿図	<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																																																																																											
	扉	50			SUS	HL	50			SUS	HL	50			SUS	HL	42			SUS	HL	40			St1.6	DP塗装	60			St1.6	DP塗装																																																																																																																																																									
	枠	190					190					190					-					-					200																																																																																																																																																													
	水切/沓摺	A			SUS	HL	A			SUS	HL	A			SUS	HL	40			SUS	HL	100			SUS	HL	G			SUS	HL																																																																																																																																																									
	ガラス	-			-	-	-			-	-	-			-	-	耐熱T			6.5	耐熱T			6.5	-			-	-			-																																																																																																																																																								
	金物・備考	標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 堀込引手 SUSレール パニックロース エンジン装置2次配線込						標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 堀込引手 SUSレール パニックロース エンジン装置2次配線込						標準金物一式 エンジン装置 手騒しセンサー 堀込引手 SUSレール パニックロース エンジン装置2次配線込						標準金物一式 感知器連動閉鎖 下枠無し カンター納まり 三和シャッターLifta同等						標準金物一式 下枠無し カンター納まり 三和シャッターファイヤード 同等						標準金物一式 レバーハンドル DC 本締錠+サムターン SAT 内外SUS額縁 ステンレス下枠						標準金物一式 ケースハンドル DCS 本締錠+サムターン SAT 内外SUS額縁 ステンレス下枠																																																																																																																																																		
	性能特記	-						-						-						-						-						-						-						-																																																																																																																																												
	法規制	特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						排煙(コンテナ室)																																																																																																																																												
	認定番号	-						-						-						-						【EA - 0231】						-						-						-																																																																																																																																												
	符号	室名	3特SD1F ボイラー室			4特SD1F ボイラー室			5SD1F 廃棄庫			6特SD2F 見学通路			7SD2F メンテナンス階段			8特SD1F ボイラー室			9特SD1F 前室2			10特SD1F 研修ホール倉庫																																																																																																																																																																
数量	分類・形式	2	鋼製フラッシュ戸	両開き	1	鋼製フラッシュ戸	両開き	1	鋼製フラッシュ戸	親子開き	1	鋼製フラッシュ戸	片開き	1	鋼製フラッシュ戸	片開き	1	鋼製フラッシュ戸	両開き	1	鋼製フラッシュ戸	片開き	1	鋼製フラッシュ戸	両開き																																																																																																																																																															
姿図	<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																						
	扉	60			St1.6	DP塗装	60			St1.6	DP塗装	40			St1.6	DP塗装	40			St1.6	DP塗装	40			St1.6	DP塗装	40			St1.6	DP塗装	40			St1.6	DP塗装																																																																																																																																																				
	枠	200					200					200					200					190					190					140																																																																																																																																																								
	水切/沓摺	G			SUS	HL	G			SUS	HL	F			SUS	HL	F			SUS	HL	F			SUS	HL	E			SUS	HL	A			SUS	HL																																																																																																																																																				
	ガラス	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-																																																																																																																																																				
	金物・備考	標準金物一式 ケースハンドル DC 本締錠+サムターン SAT 扉内遮音材充填 内外SUS額縁 ステンレス下枠						標準金物一式 ケースハンドル DC 本締錠+サムターン SAT 扉内遮音材充填 内外SUS額縁 ステンレス下枠						標準金物一式 レバーハンドル DCS 本締錠+サムターン SAT 内外SUS額縁 ステンレス下枠 ガラリ(山型)						標準金物一式 ケースハンドル DCS 本締錠+サムターン						標準金物一式 ケースハンドル DC 本締錠+サムターン SAT 扉内遮音材充填 内外SUS額縁 ステンレス下枠						標準金物一式 レバーハンドル DC 戸当り SUS額縁 ステンレス下枠						標準金物一式 レバーハンドル DC 本締錠+サムターン SAT																																																																																																																																																		
	性能特記	-						-						-						-						-						-						-						-						-																																																																																																																																						
	法規制	特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】																																																																																																																																												
	認定番号	-						-						-						-						-						-						-						-						-																																																																																																																																						
	符号	室名	11特SD2F 見学通路			12特SD2F 従業員通路			13SD2F 食堂			1特FS1F コンテナ室						1LS1F 廃棄庫			1特SS1F 煮炊き調理室			2特SS1F 煮炊き調理室																																																																																																																																																																
数量	分類・形式	1	戸袋付きフラッシュ戸	火報連動	1	鋼製フラッシュ戸	片開き	1	鋼製フラッシュ戸	片開き	2	耐火クロスシャッター	火報連動				1	鋼製軽量シャッター	手動式	1	鋼製重量シャッター	火報連動	1	鋼製重量シャッター	火報連動																																																																																																																																																															
姿図	<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																							<div>常時閉鎖</div> <div></div>																																													
	枠	40			St1.6	DP塗装	40			St1.6	DP塗装	40			St1.6	DP塗装	-					スラットt.0.5			S	DP塗装	スラットt.1.6			S	溶融亜鉛メッキ	スラットt.1.6			S	溶融亜鉛メッキ																																																																																																																																																				
	水切/沓摺	140					140					140					ガイドレール			耐火クロス0.7	耐火クロス0.7	ガイドレール			SUS	HL	ガイドレール			SUS	HL	ガイドレール			SUS	HL																																																																																																																																																				
	額縁	-			-	-	D			SUS	HL	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-																																																																																																																																																				
	ガラス	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-	-			-	-																																																																																																																																																				
	金物・備考	標準金物一式 ケースハンドル 堀込引手 火報連動自動閉鎖 くぐり戸 (W800×H2000)						標準金物一式 ケースハンドル DC 本締錠+サムターン 戸当り						標準金物一式 ケースハンドル DC 本締錠						標準金物一式 ガイドレール マグサ 座板 火報連動自動閉鎖 手動閉鎖 非常時停止装置 出入口寸法 W800×H1900 シャッター取付下地口-100×100×2.3						標準金物一式 ガイドレール200 マグサ 座板 SUS三方枠 シャッターケース シャッター取付下地口-100×100×2.3						標準金物一式 ガイドレール60 マグサ 座板 開閉器 火報連動自動閉 手動閉鎖 非常時停止装置 天井内Rケース シャッター取付下地口-100×100×2.3						標準金物一式 ガイドレール60 マグサ 座板 開閉器 火報連動自動閉 手動閉鎖 非常時停止装置 天井内Rケース シャッター取付下地口-100×100×2.3																																																																																																																																																		
	性能特記	-						-						-						-						-						-						-						-																																																																																																																																												
	法規制	特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】						-						特定防火設備						-						特定防火設備【建告1369号】						特定防火設備【建告1369号】																																																																																																																																																		
	認定番号	-						-						-						【EA - 0190】						-						-						-						-																																																																																																																																												
	訂正																								<div><div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea - image - inspiration</div></div></div>				設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号				年月日	2024. 02. 29		工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事						図面名	建具表 (3)				縮尺		図面番号																																																																																																																																					
設計者						作図者	大川井 寛子		A1	1/100	A-206																																																																																																																																																																													
												A3	1/200																																																																																																																																																																											

符号	室名	③特 SS	1F 揚焼蒸調理室			④特 SS	1F 揚焼蒸調理室			⑤特 SS	1F コンテ室			⑦特 SS	1F コンテ室			①OS	1F コンテ室			①DS	1F 配送風除室																											
数量	分類・形式	1	鋼製重量シャッター	火報連動		1	鋼製重量シャッター	火報連動		2	鋼製重量シャッター	火報連動		1	鋼製重量シャッター	火報連動		7	オーバー・スライダー	手動式		7	ドッグ・シェルター	固定式																										
姿図																																																		
	扉	スラットt1.6		S 溶融亜鉛メッキ		スラットt1.6		S 溶融亜鉛メッキ		スラットt1.6		S 溶融亜鉛メッキ		スラットt1.6		S 溶融亜鉛メッキ		スラットt0.4		S 溶融亜鉛メッキ		-		- - -																										
	枠	ガイドレール		SUS HL		ガイドレール		SUS HL		ガイドレール		SUS HL		ガイドレール		SUS HL		200		SUS HL		-		- - -																										
	水切/沓摺	-		- -		-		- -		-		- -		-		- -		-		-		-		- - -																										
	ガラス	-		-		-		-		-		-		-		-		アクリル板		3		-		-																										
金物・備考	標準金物一式 ガイドレール75 マグサ 座板 開閉器 火報連動自動閉 手動閉鎖 非常時停止装置 天井内Rケース シャッター取付下地口-100×100×2.3																																																	
性能特記	-																																																	
法規制	特定防火設備【建告1369号】																																																	
認定番号	-																																																	
符号	室名	①LSD	1F 食油庫			②特 LSD	1F 前室1			③特 LSD	1F 前室1			④LSD	1F 職員用脱衣トイレ1			⑥LSD	1F 前室1			⑦特 LSD	1F コンテナ室			⑧LSD	1F 洗浄室																							
数量	分類・形式	1	軽量スチールハンガードア	片引き		1	軽量スチールハンガードア	片引き		1	軽量スチールハンガードア	片引き		3	軽量スチールハンガードア	片引き		1	軽量スチールドア	片開き		3	軽量スチールハンガードア	両引き		1	軽量スチールドア	両開き																						
姿図																																																		
	扉	36		S 焼付塗装		40		S 焼付塗装		40		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		40		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装																						
	枠	140		-		140		-		140		-		140		-		140		-		140		-		140		-																						
	水切/沓摺	C		- -		C		- -		C		- -		A		SUS t1.5折曲加工HL		C		SUS t1.5折曲加工HL		-		- -		-		- -																						
	ガラス	T		4		-		-		-		-		ポリカ型		3		T		4		PW		6.8		T4		4																						
金物・備考	標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハンガー装置 SUS巾木H300																																																	
性能特記	-																																																	
法規制	-																																																	
認定番号	-																																																	
符号	室名	⑨LSD	1F 洗浄室			⑩LSD	1F 前室2			⑪LSD	1F 職員用脱衣トイレ2			⑫LSD	1F 備品洗剤庫			⑬LSD	1F 残渣廃油庫			⑭LSD	1F 特別洗浄室			⑮LSD	2F 洗濯室			⑯LSD	2F リン庫																			
数量	分類・形式	2	軽量スチールハンガードア	両引き		1	軽量スチールハンガードア	片引き		2	軽量スチールドア	片開き		1	軽量スチールドア	両開き		1	軽量スチールハンガードア	片引き		1	軽量スチールハンガードア	片引き		2	軽量スチールハンガードア	片引き		6	軽量スチールハンガードア	片引き																		
姿図																																																		
	扉	36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装		36		S 焼付塗装																		
	枠	140		-		140		-		140		-		140		-		140		-		140		-		140		-		140		-																		
	水切/沓摺	-		-		C		-		C		-		C		-		C		-		C		-		C		-		C		-																		
	ガラス	T4		4		T		4		ポリカ型		3		-		-		T		4		T		4		T		4		T		4																		
金物・備考	標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハンガー装置 エンドストップ SUS巾木H300																																																	
性能特記	-																																																	
法規制	-																																																	
認定番号	-																																																	
訂正																								 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号			年月日	2024. 02. 29			工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事						図面名	建具表 (4)						縮尺		図面番号	
																									設計者				作成者	大川井 寛子															A1	1/100		A-207		
																																											A3	1/200						

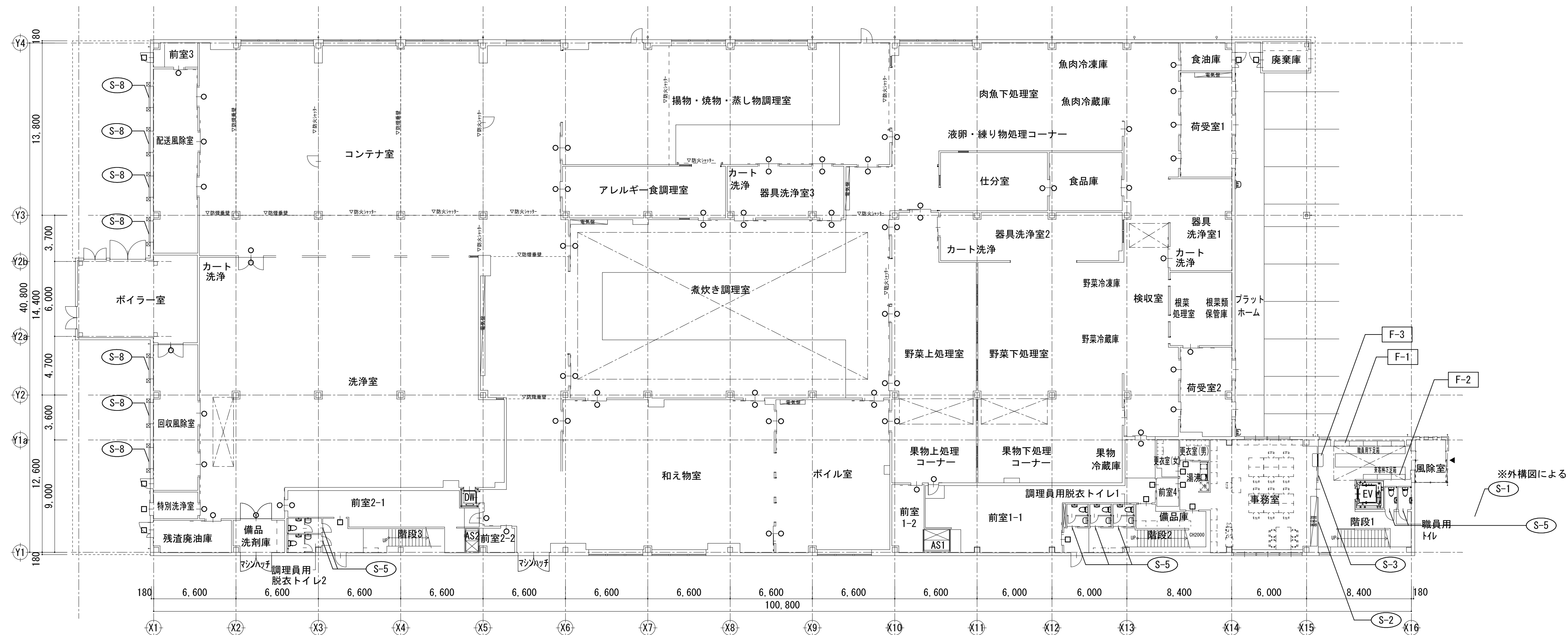
符号	室名	<div><div>1WD</div></div>	1F 職員用トイレ (男女) 2F 脱衣室 (男女)	<div><div>2WD</div></div>	1F 事務室	<div><div>3WD</div></div>	1F 更衣室、前室4	<div><div>4WD</div></div>	1F 事務室	<div><div>5WD</div></div>	2F 書庫	<div><div>6WD</div></div>	1F バリアフリートイレ	<div><div>7WD</div></div>	2F 研修ホール	<div><div>8WD</div></div>	2F 倉庫1、2								
数量	分類・形式	4	木製ドア 片開き	1	木製ハーフドア 片引き	3	木製ハーフドア 片引き	1	木製ハーフドア 片引き	1	木製ドア 親子開き	1	木製ハーフドア 片引き	2	木製ハーフドア 片引き	3	木製ハーフドア 片引き								
姿図																									
	扉	36	W	FS	36	W	FS	36	W	FS	36	W	FS	36	W	FS	36	W	FS						
	枠	140			180			180			140			180			180								
	水切/沓摺	A	-	-	C	-	-	C	-	-	C	-	-	C	-	-	A	SUS t1.5折曲加工HL	-	-					
	ガラス	ポリカ型	3		T	4		ポリカ型	3		ポリカ型	3		F	4		T	4		ポリカ型	3				
金物・備考	標準金物一式 レバーハンドル DC 戸当り ガラリ (山型) 非常開装置付表示錠		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 本締錠+サムターン		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 ガラリ (山型) 本締錠+サムターン (更衣室のみ)		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 ガラリ (山型) 本締錠+サムターン		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 ガラリ (山型) 本締錠+サムターン		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 ガラリ (山型) 非常開装置付表示錠 (大型サムターン)		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 ガラリ (山型) 非常開装置付表示錠 (大型サムターン)		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 ガラリ (山型) 本締錠+サムターン		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 ガラリ (山型) 本締錠+サムターン								
性能特記	—		—		—		—		—		—		—		—		—								
法規制	—		—		—		—		—		—		—		—		—								
認定番号	—		—		—		—		—		—		—		—		—								
符号	室名	<div><div>9WD</div></div>	2F 更衣室前室	<div><div>10WD</div></div>	2F 休憩室	<div><div>11WD</div></div>	2F 見学通路	<div><div>12WD</div></div>	2F 打合せ室	<div><div>13WD</div></div>	2F 更衣室 (男女)	<div><div>14WD</div></div>	2F 打合せ室 食堂	<div><div>1WW</div></div>	1F 事務室										
数量	分類・形式	2	木製ドア 片開き	2	木製ハーフドア 片引き	1	木製ドア 片開き	1	木製ハーフドア 片引き	3	木製ハーフドア 片引き	3	木製ハーフドア 片引き	1	木製窓 引違い										
姿図															カウンター										
	扉	36	W	FS	36	W	FS	36	W	FS	36	W	FS	36	W	FS	30	W	FS						
	枠	110			180			180			180			180			140								
	水切/沓摺	C	-	-	C	-	-	A	-	-	C	-	-	C	-	-	-	-	-						
	ガラス	T	4		T	4		-	-		-	-		T	4		T	4							
金物・備考	標準金物一式 レバーハンドル DCS 戸当り アンダーカット10mm		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置		標準金物一式 レバーハンドル DC 戸当り カバー付サムターン		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 本締錠+サムターン		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置		標準金物一式 SUS大型引棒 振止め 自閉式ハーフ装置 本締錠+サムターン (打合せ室のみ)		掘込引手 戸車 アルミ埋込フラットレール クレセント錠 ソフトクロスストップバー												
性能特記	—		—		—		避難口		—		—		—		—		—								
法規制	—		—		—		—		—		—		—		—		—								
認定番号	—		—		—		—		—		—		—		—		—								
符号	室名	<div><div>1AP</div></div>	2F 研修実習室	<div><div>1SLW</div></div>	2F 研修ホール																				
数量	分類・形式	1	アルミ製間仕切 FIX	1	スライディングウォール																				
姿図																									
	扉	-	-	-	50	S	焼付塗装																		
	枠	70	AL	焼付塗装	-	-	-																		
	水切/沓摺	-	-	-	-	-	-																		
	ガラス	T	10		-	-	-																		
	金物・備考	標準金物一式 飛散防止フィルム貼り		標準金物一式 ランナー レール ケースハンドル																					
	性能特記	—		—																					
	法規制	—		—																					
	認定番号	—		—																					
訂正																									
					設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号					年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 建具表 (5)	縮尺		図面番号										
					設計者								作図者 大川井 寛子	A1 1/100	A3 1/200	A-208									

符号	室名	<div><div>1</div><div>TB</div></div>	1F 階段2 階段2前室		<div><div>2</div><div>TB</div></div>	1F 階段3 階段3前室		<div><div>3</div><div>TB</div></div>	1F 階段3		<div><div>4</div><div>TB</div></div>	2F 来客用トイレ(男)		<div><div>5</div><div>TB</div></div>	2F 来客用トイレ(女)		<div><div>6</div><div>TB</div></div>	2F 調理員用トイレ(男)		<div><div>7</div><div>TB</div></div>	1F 調理員用トイレ(女)	
数量	分類・形式	3	トイレース		1	トイレース		1	トイレース		1	トイレース		1	トイレース		1	トイレース		1	トイレース	
姿図																						
																						
																						
																						
																						
																						
																						
扉	40	高圧メラミン樹脂化粧板		40	高圧メラミン樹脂化粧板		40	高圧メラミン樹脂化粧板		40	高圧メラミン樹脂化粧板		40	高圧メラミン樹脂化粧板		40	高圧メラミン樹脂化粧板		40	高圧メラミン樹脂化粧板		
枠	-	AL シルバー		-	AL シルバー		-	AL シルバー		-	AL カラー		-	AL カラー		-	AL シルバー		-	AL シルバー		
水切/沓摺	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-		-	-		-	-		
ガラス	-	-		-	-		-	-		-	-		-	-		-	-		-	-		
金物・備考	標準金物一式 スライドラッチ				標準金物一式 スライドラッチ				標準金物一式 スライドラッチ		標準金物一式 スライドラッチ フルバ仕様 外周部、ブース境：フルバ仕様		標準金物一式 スライドラッチ 外周部、ブース境：フルバ仕様		標準金物一式 スライドラッチ 外周部、ブース境：フルバ仕様		標準金物一式 スライドラッチ 外周部、ブース境：フルバ仕様 外周部、ブース境：フルバ仕様		標準金物一式 スライドラッチ 外周部、ブース境：フルバ仕様			
性能特記	—																					
法規制	—																					
認定番号	—																					
符号	室名	<div><div>8</div><div>TB</div></div>	2F 調理員用トイレ(女)																			
数量	分類・形式	1	トイレース																			
姿図																						
扉	40	高圧メラミン樹脂化粧板																				
枠	-	AL シルバー																				
水切/沓摺	-	-																				
ガラス	-	-																				
金物・備考	標準金物一式 スライドラッチ 外周部、ブース境：フルバ仕様																					
性能特記	—																					
法規制	—																					
認定番号	—																					
符号	室名																					
数量	分類・形式																					
姿図																						
扉																						
枠																						
水切/沓摺																						
ガラス																						
金物・備考																						
性能特記																						
法規制																						
認定番号																						

訂正					<div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div>	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号		年月日	2024. 02. 29		工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事				図面名	建具表 (6)			縮尺		図面番号
	設計者			作図者		大川井 寛子							A1	1/100									
													A3	1/200									



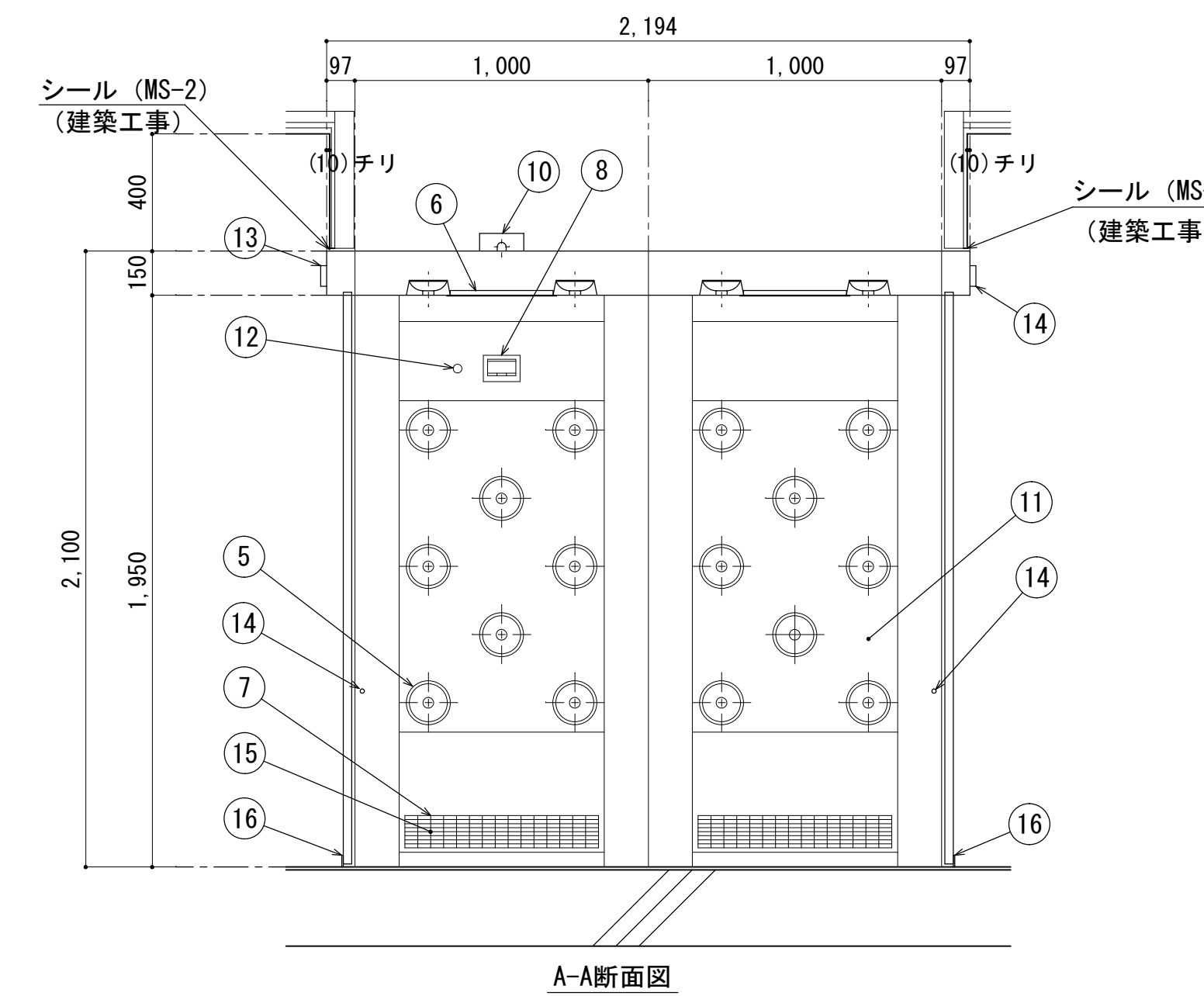
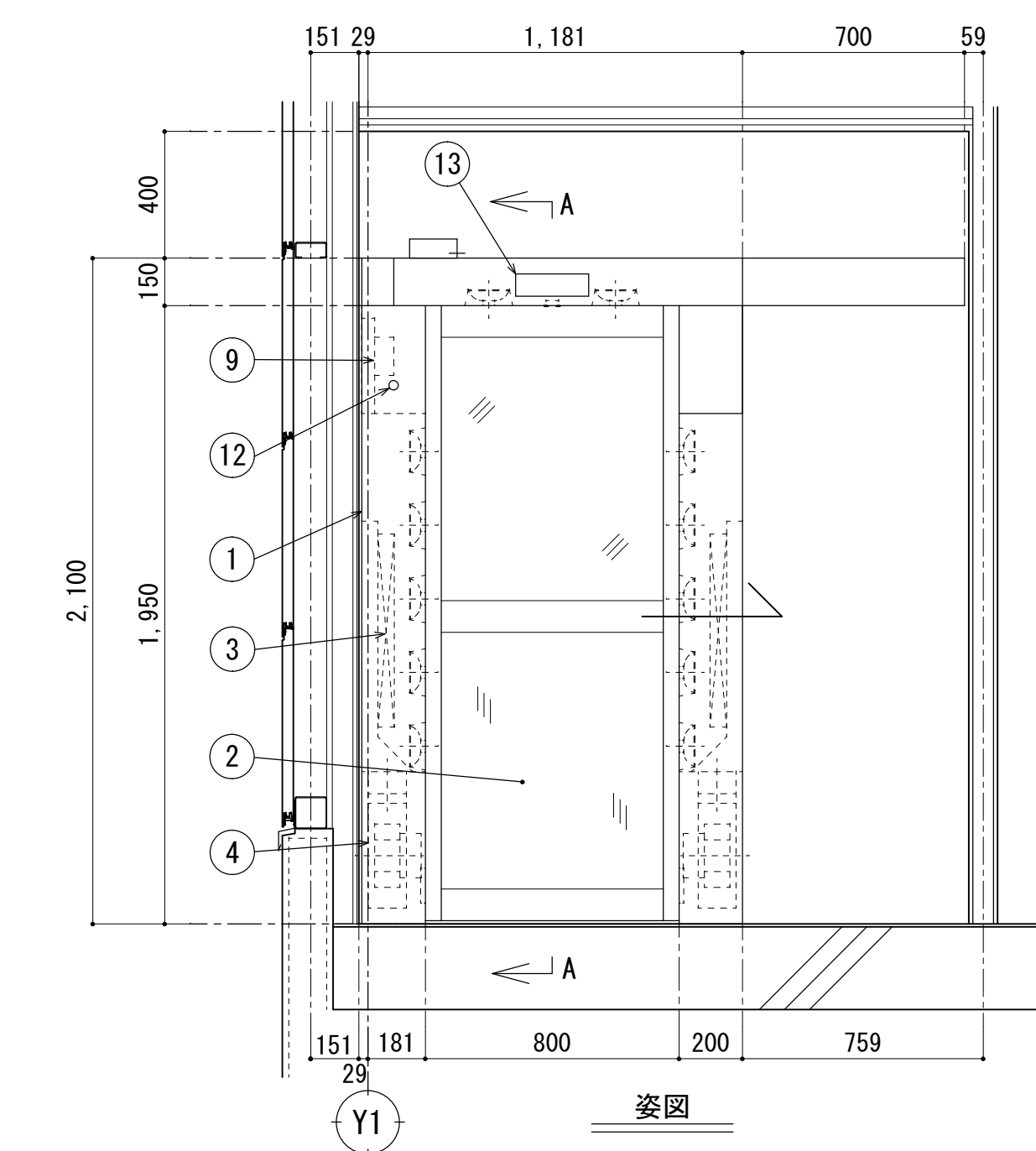
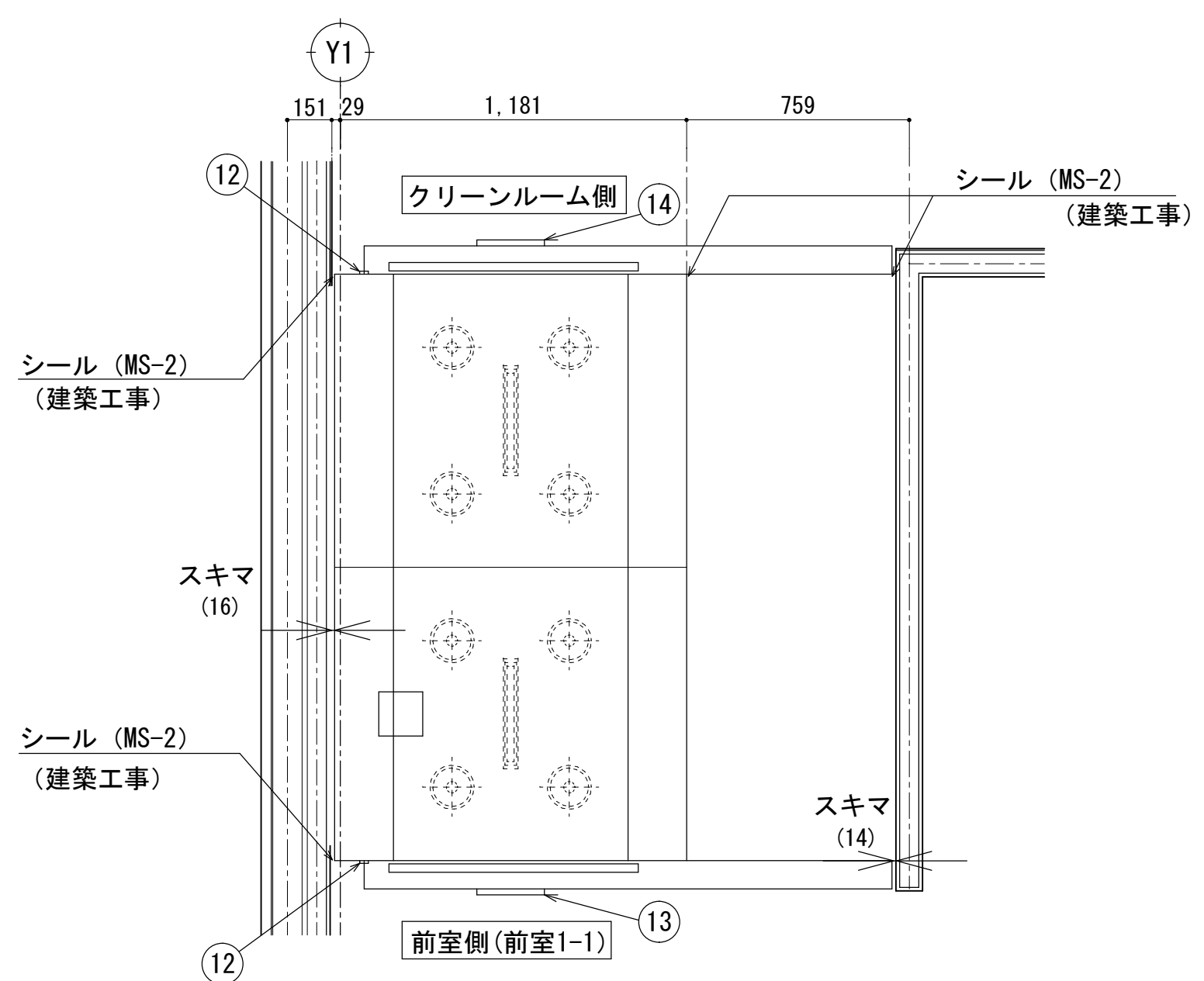
2階 家具・サインキープラン S=1:200



1階 家具・サインキープラン S=1:200

訂正	2023.11.07 S-9取止め	 <div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div>	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	家具・サインキープラン	縮尺		図面番号
	設計者			作図者	有馬 慎介	A1					1/200		
						A3					1/400		

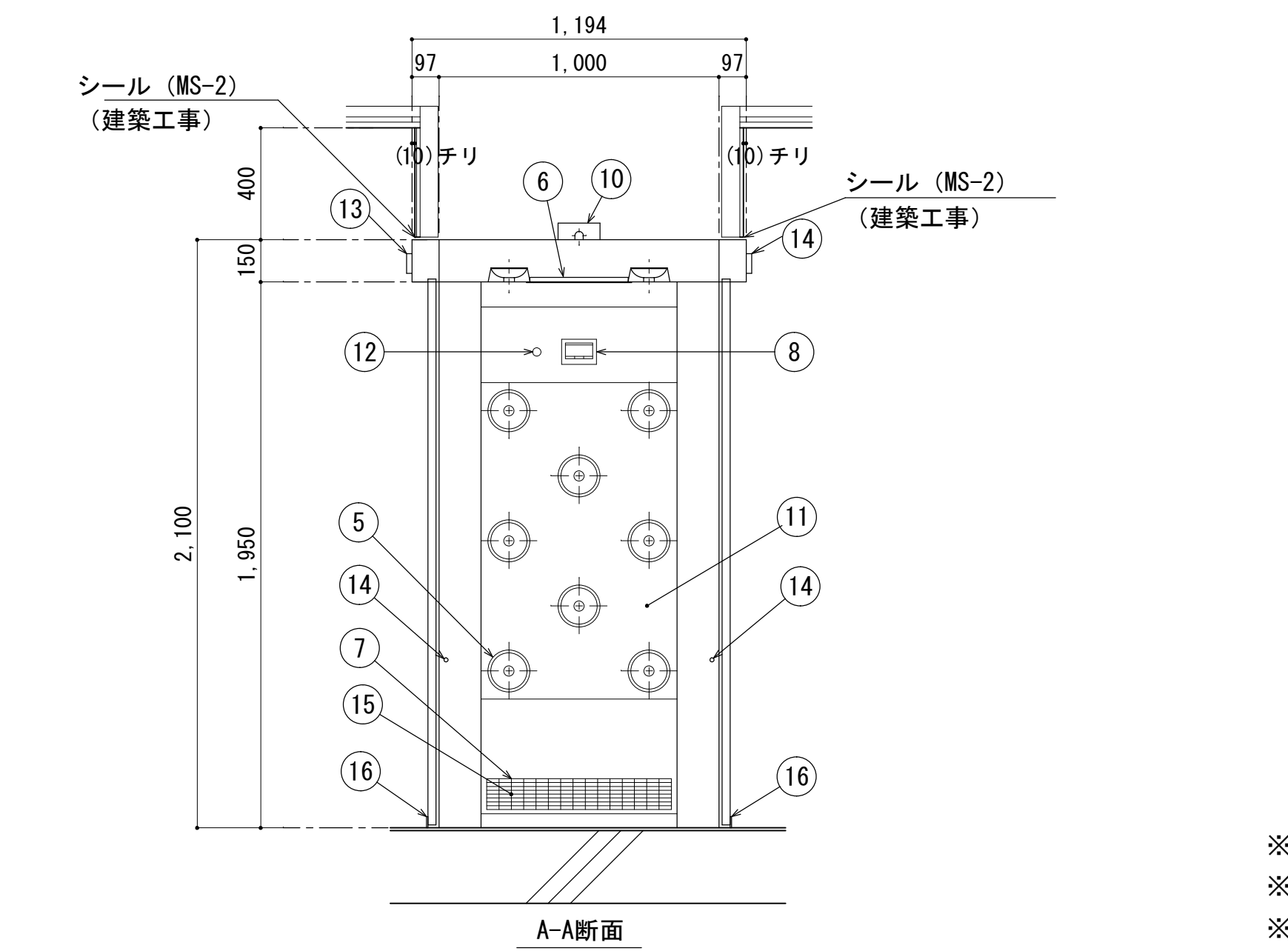
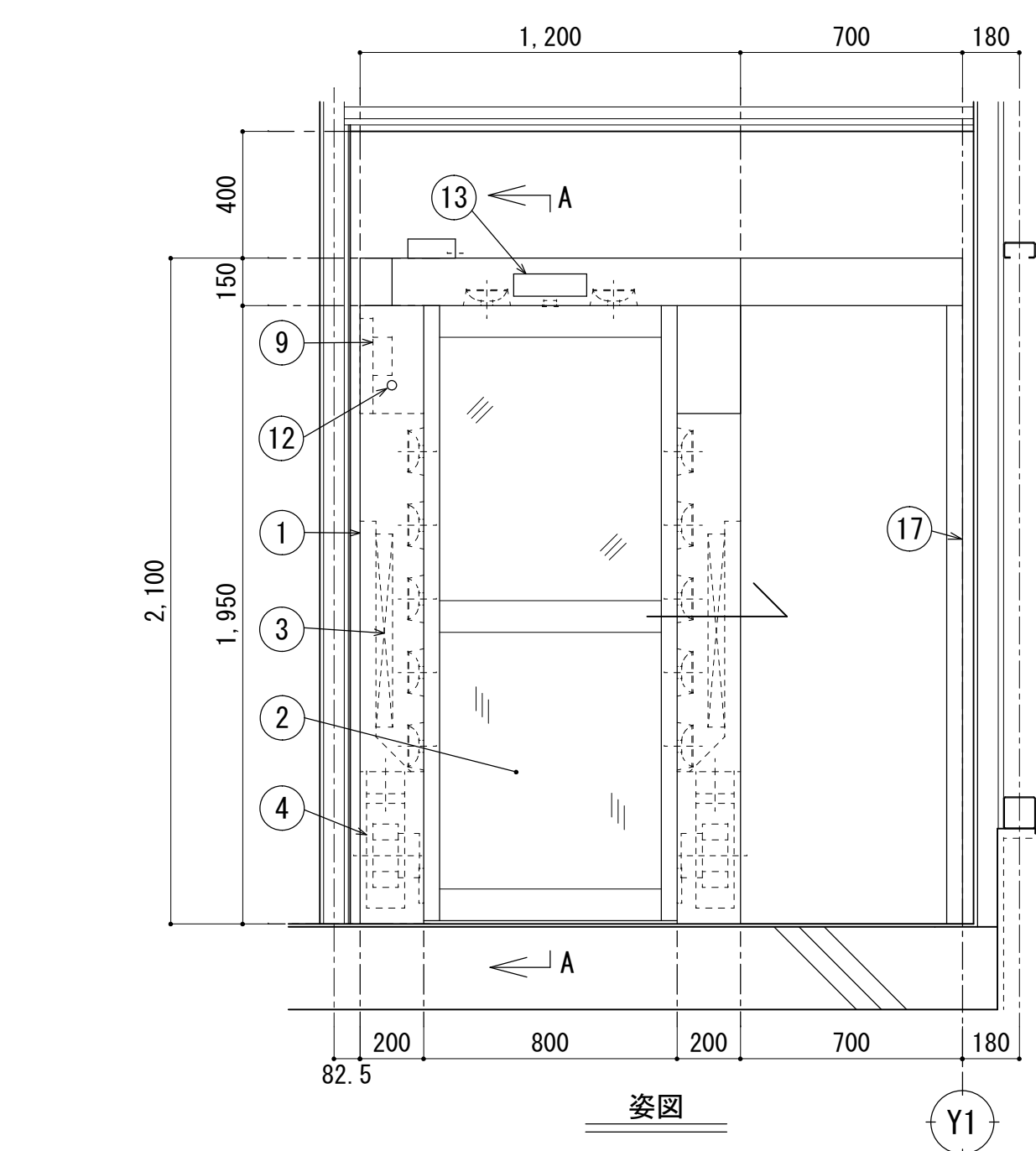
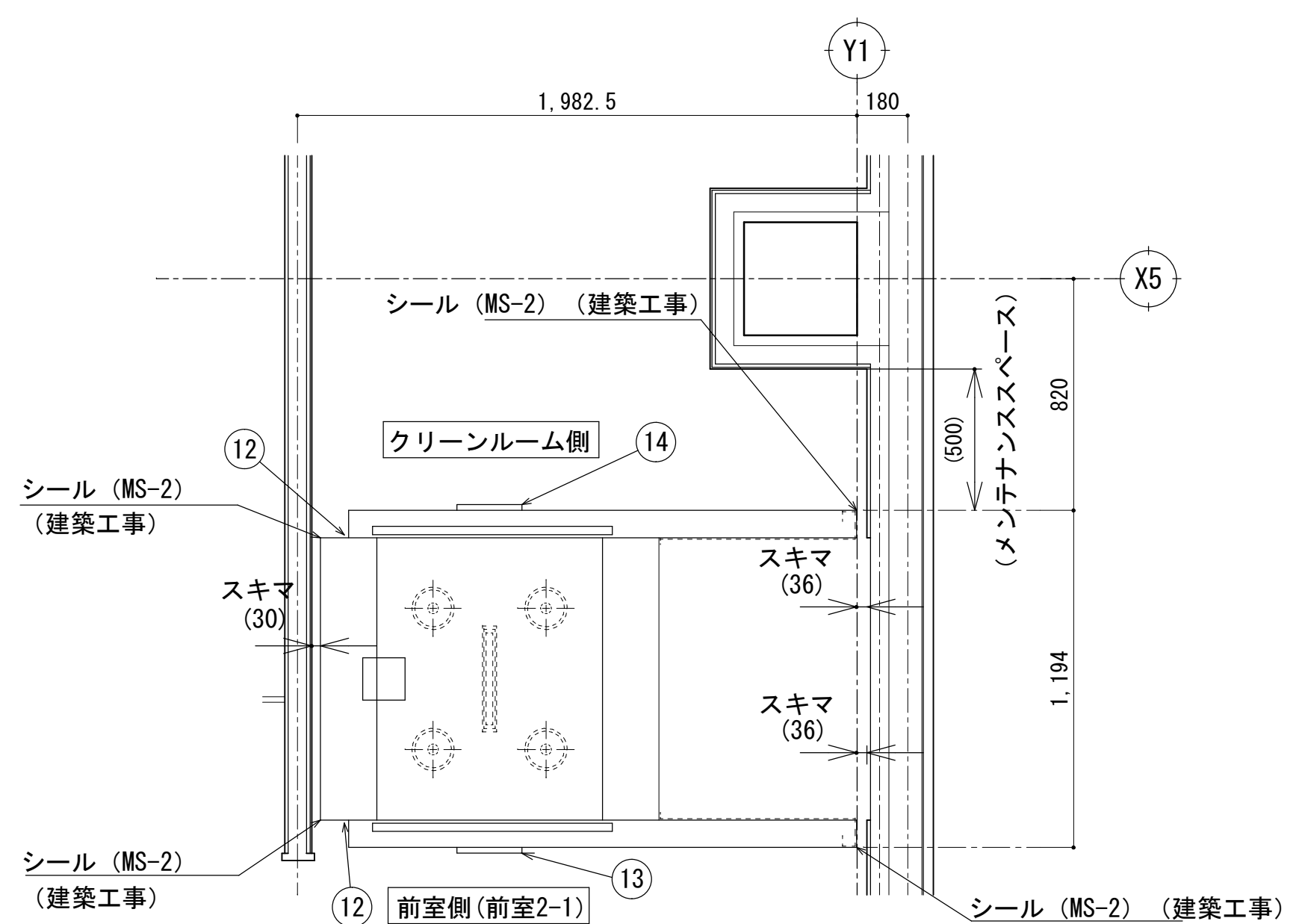
S-1	館名サイン	1/5	S-2	総合案内板	1/10
<div>仕様：ステンレスt5.0 バイブレーション切文字 浮き取付 丸パイプスパーサー 10mm浮かし</div> <div>藤枝市学校給食センター</div>			<div><div>タモ化粧合板 OSCL</div><div>表面：アクリル(透明)t3.0 表示：IJ印刷シート貼り</div><div>ベース：アクリルト3.0</div><div>取付金物：φ15真鍮製 クロムメッキ仕上</div></div> <div><div>1,200</div><div>900</div><div>780</div><div>60</div><div>60</div><div>10</div><div>※案内図は指示による (1、2階平面図程度)</div></div>		
S-3	室名サイン	1/5	S-4	ピクトサイン(平付)	1/5
<div><div>タモ化粧合板 OSCL</div><div>表面：アクリル(透明)t3.0 表示：IJ印刷シート貼り</div><div>ベース：アクリルト3.0</div><div>取付金物：φ15真鍮製 クロムメッキ仕上</div></div> <div><div>200</div><div>200</div><div>120</div><div>40</div><div>40</div><div>40</div><div>〇〇室</div></div>		<div><div>タモ化粧合板 OSCL</div><div>表面：アクリル(透明)t3.0 表示：IJ印刷シート貼り</div><div>ベース：アクリルト3.0</div><div>取付金物：φ15真鍮製 クロムメッキ仕上</div></div> <div><div>200</div><div>200</div><div>120</div><div>40</div><div>40</div><div>40</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</div><div>〇</</div></div>			



型式	NAS-T402PSL2-AS
吹出風量	39.0m³/min以上
吹出風速	23m/sec以上
集塵効率	0.3μm粒子にて99.97%以上
フィルタ	プレフィルタ：不織布フィルタ メインフィルタ：HEPAフィルタ
動作	インターロックあり
構造	本体：鋼板製焼付塗装仕上 塗装色：ホワイトグレー 8.1Y-8.6/0.7 ドア：アルミ框扉 前室側・片引自動扉 クリーンルーム側・片引自動扉 窓：帯電防止透明ポリカーボネート t5 床：なし
吹出口	40個（樹脂製パンカーφ30）
ファン	4台（0.72kW）
照明灯	LEDバー照明×2灯（LEDR360）
操作	タッチパネル：照明灯設定 シャワータイマ
電源	AC200V・3φ・60Hz AC100V・1φ・60Hz
消費電力	約2300W
質量	約470kg
台数	1台

No.	名称
1	本体
2	ドア
3	メインフィルタ
4	シャワーファン
5	バンカー
6	照明灯
7	プレフィルタ
8	タッチパネル
9	配電盤
10	電源ボックス
11	バンカーパネル
12	非常開スイッチ（3カ所） ※照光式
13	扉開光線センサー
14	挟まれ防止センサー
15	プレフィルタ押さえ
16	すりゴム

※戸袋なし
※扉エンジンケース：前メンテナンス
※一方通行

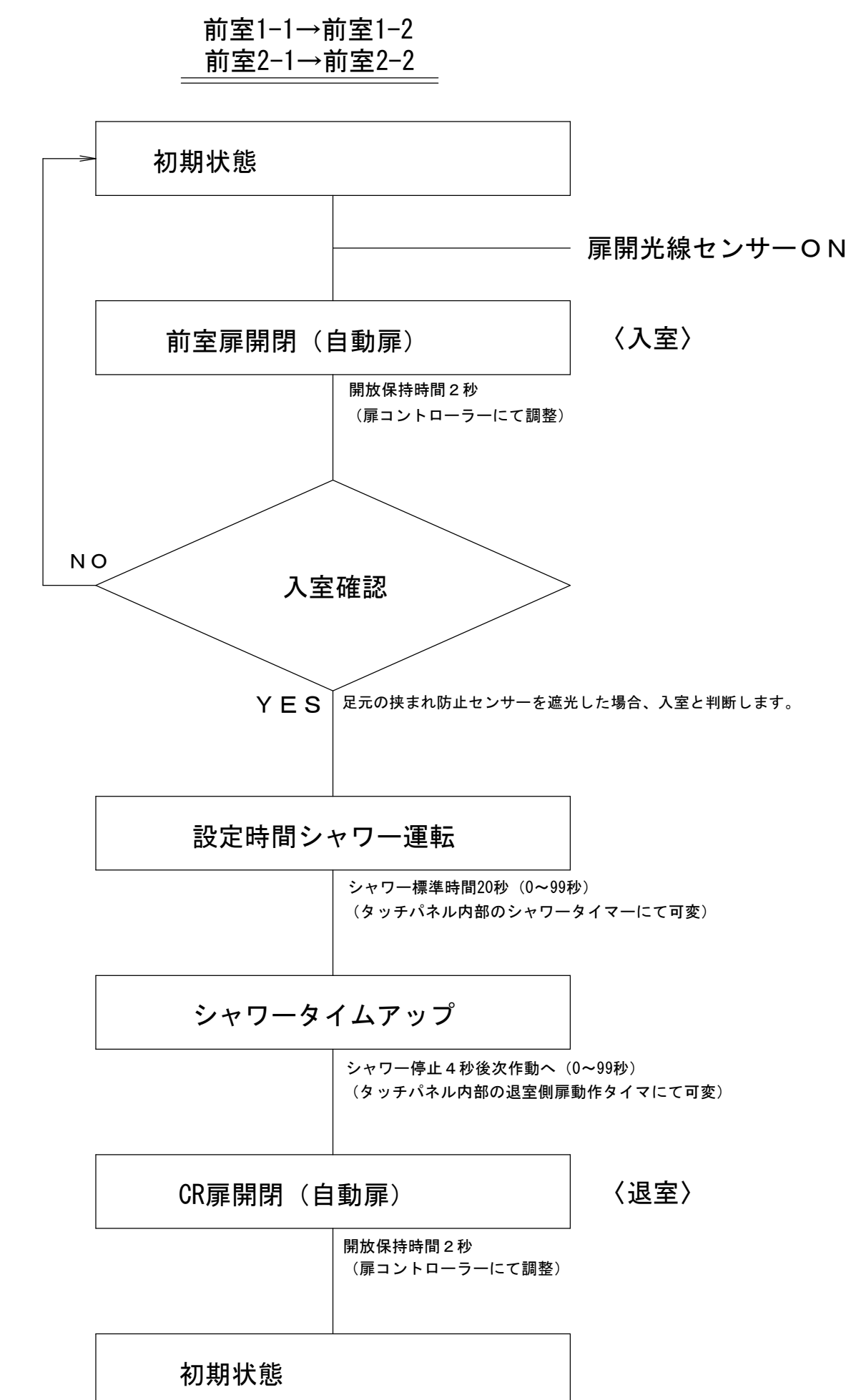


型式	NAS-T201PSL2-AS
吹出風量	19.5m ³ /min以上
吹出風速	23m/sec以上
集塵効率	0.3μm粒子にて99.97%以上
フィルタ	プレフィルタ：不織布フィルタ メインフィルタ：HEPAフィルタ
動作	インターロックあり
構造	本体：鋼板製焼付塗装仕上 塗装色：ホワイトグレー 8.1Y-8.6/0.7
	ドア：アルミ框扉 前室側・片引自動扉 クリーンルーム側・片引自動扉 窓：透明ガラス t5
	床：なし
吹出口	20個（樹脂製パンカーφ30）
ファン	2台（0.72kW）
照明灯	LEDバー照明×1灯（LEDR360）
操作	タッチパネル：照明灯設定 シャワータイマ
電源	AC200V・3φ・60Hz AC100V・1φ・60Hz
消費電力	約1200W
質量	約300kg
台数	1台

No.	名称
1	本体
2	ドア
3	メインフィルタ
4	シャワーファン
5	バンカー
6	照明灯
7	プレフィルタ
8	タッチパネル
9	配電盤
10	電源ボックス
11	バンカーパネル
12	非常開スイッチ（3カ所） ※照光式
13	扉開光線センサー
14	挟まれ防止センサー
15	プレフィルタ押さえ
16	すりゴム
17	戸当り

- ※戸袋なし
- ※扉エンジンケース：前メンテナンス
- ※一方通行

基本動作（一般動作）



〔非常開〕

非常開スイッチを押すと、シャワー運転は停止しスイッチ側の扉が開きます。
扉開放保持時間経過後、扉は自動で閉じ初期状態に戻ります。

非常開中にはスイッチの照光ランプが点滅します。（扉が閉じるまで点滅）

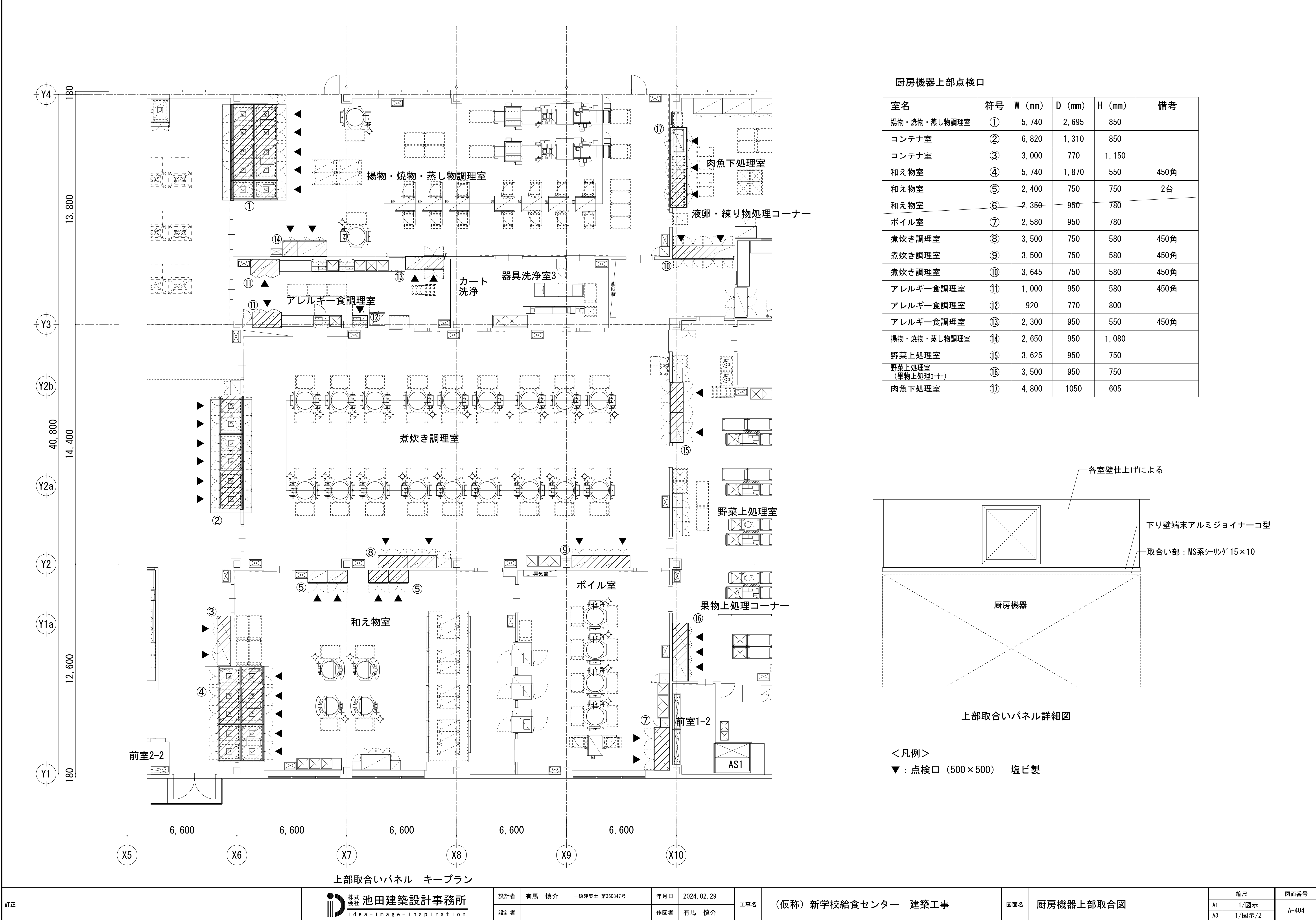
〔注〕前室側、機内側の非常開スイッチを押すと、前室扉が開きます。
CR側の非常開スイッチを押すと、CR扉が開きます。

〈照明灯〉
タッチパネルのLIGHT設定が〈AUTO〉の場合、扉が開くと照明が点灯します。
扉が閉じた後、約60秒で自動的に消灯します。
(タッチパネル内部の自動照明タイマにて可変0～999秒)
設定が〈ON〉の場合、常時点灯します。
設定が〈OFF〉の場合、常時消灯します。
点灯消灯の回数が少なくなるように設定してください。

〈挟まれ防止センサー〉
扉が閉まりかけた時これを遮ると再度開きます。

参考図

開口部：検収室－器具洗浄室1		開口部：検収室－根菜処理室		開口部：野菜上処理室－野菜下処理室										
開口部：野菜下処理室－器具洗浄室2		開口部：揚物焼物蒸し物調理室－肉魚下処理室		開口部：肉魚下処理室－煮炊き調理室										
開口部：煮炊き調理室－仕分室		開口部：野菜上処理室－煮炊き調理室		開口部：揚物焼物蒸し物調理室－アレルギー食調理室										
＜凡例＞ 三方枠t1.5×W160×25 SUS (304) HL				※特記なき限り厨房機器の三方をシーリング（MS-2）15×10を見込むこととする。 ※コンクリートベース：天端はコンクリート直均しとし、立上りは床材同材とする										
訂正			設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日	2024. 02. 29	工事名	（仮称）新学校給食センター 建築工事	図面名	厨房間口取合図（1）	縮尺		図面番号	A-402
			設計者		作図者	有馬 慎介					A1	1/30		



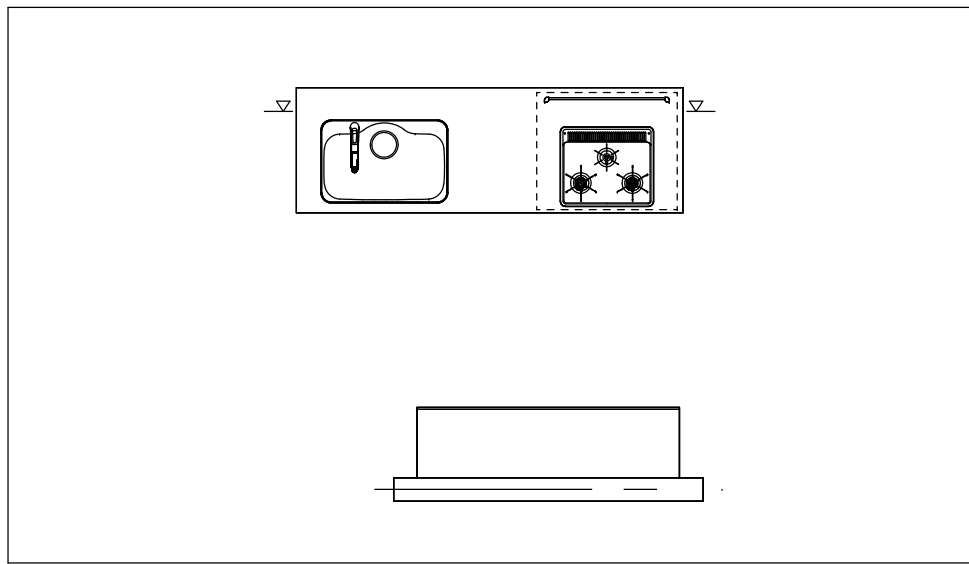
■商品仕様概要

商品仕様	商品シリーズ	—
	タイプ	足元スライドタイプ
	扉カラー	シルキーウッドグレージュ・引手シルバー
	引手種類	レール引手タイプ
	天板形状・間口	アイランド 対面プラン(スリムタイプ) 247cm
	奥行	65cm
	天板高さ	85cm
	キッチンパネル	—
	キッチンパネルカラー	—
	見切り・エッジ材	—

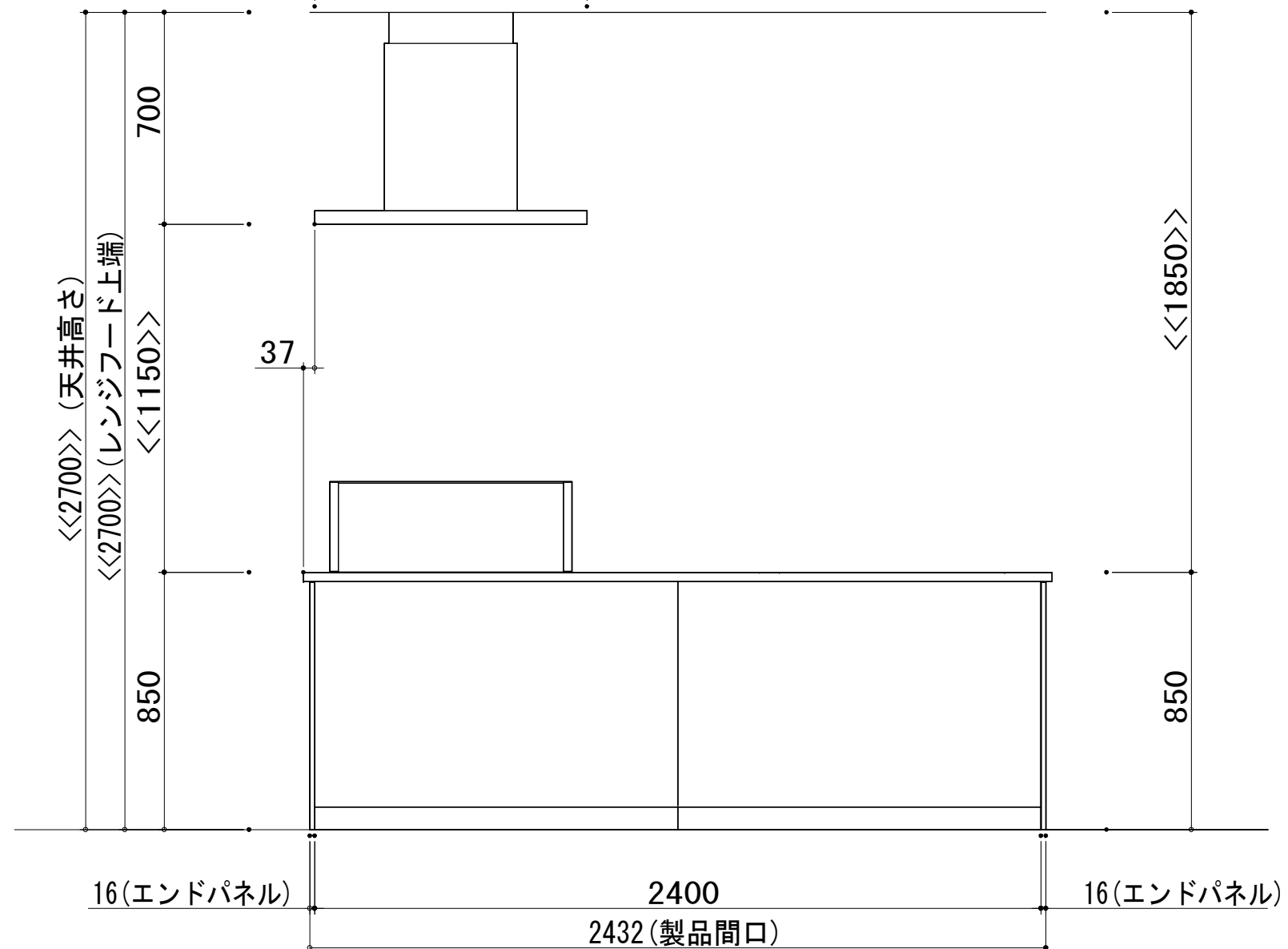
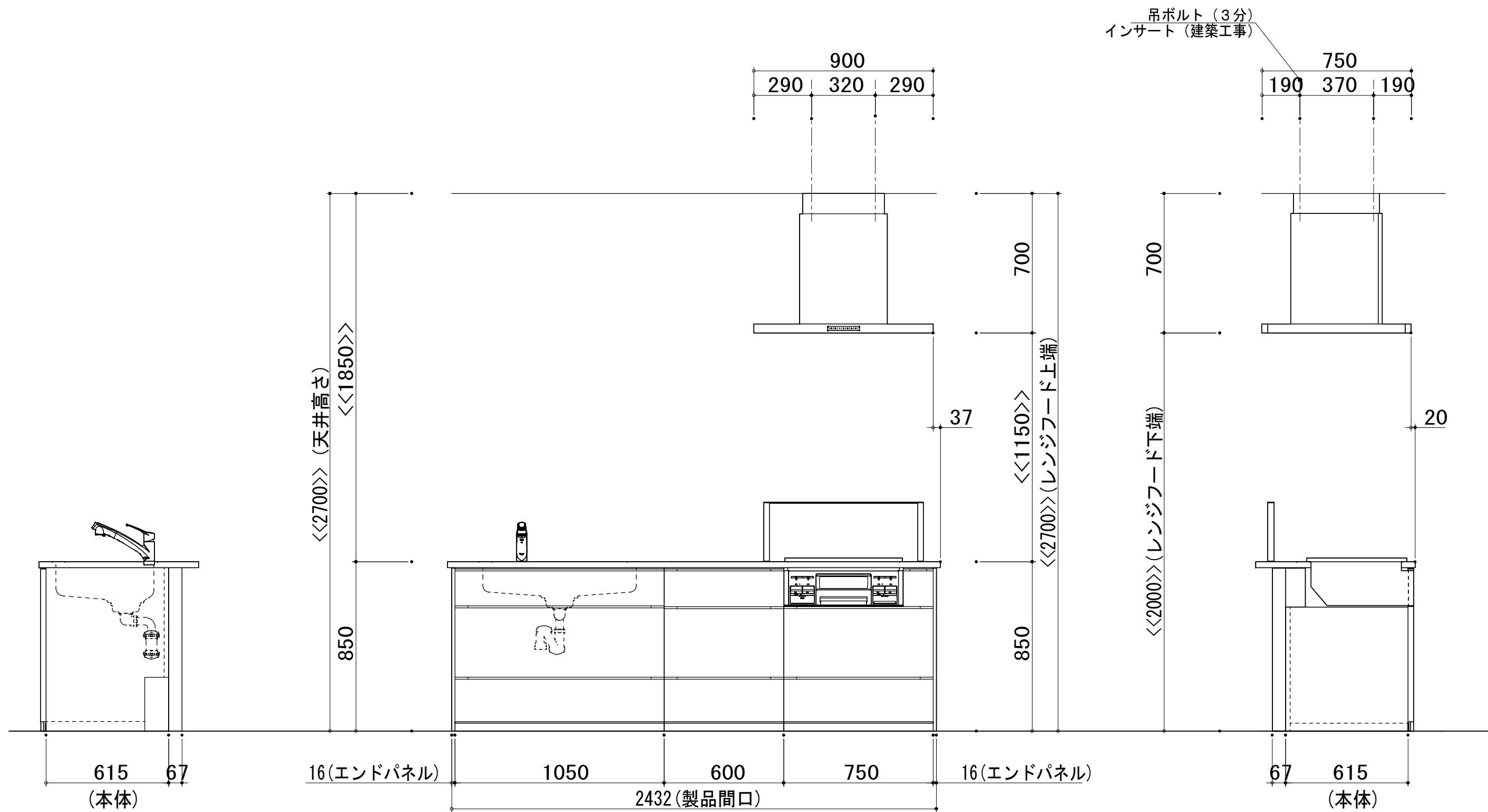
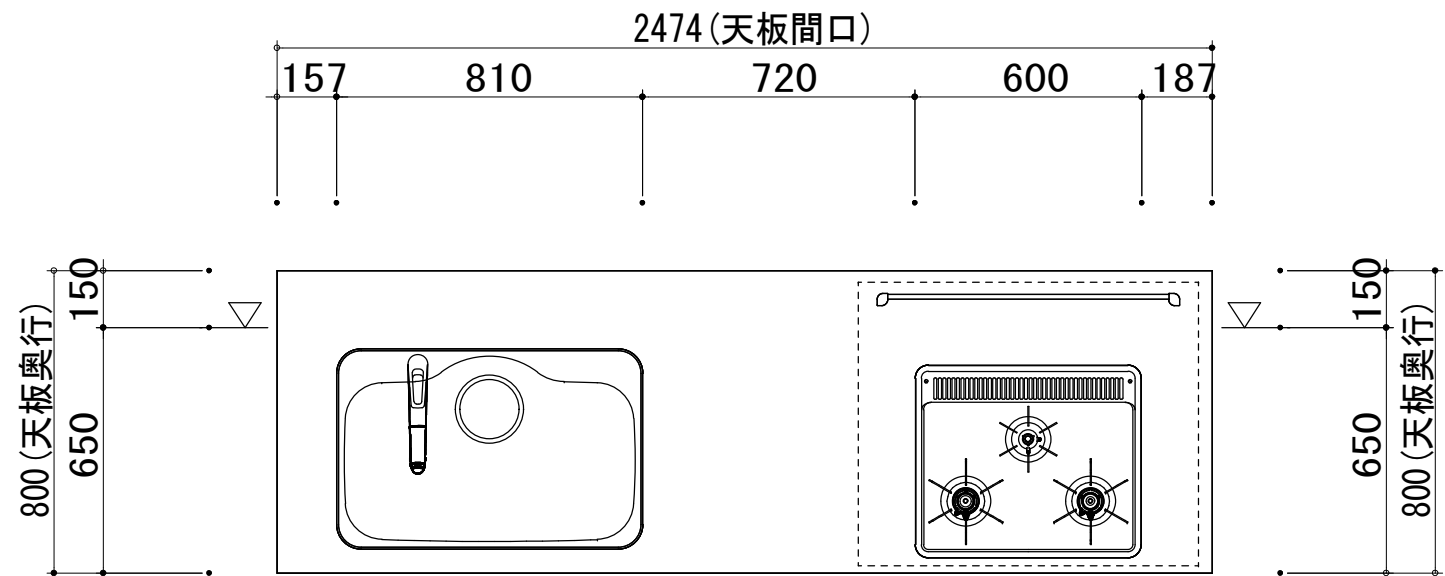
■商品仕様書（キッチン側）

品目	仕様			備考
天板	材質	アクリル人造大理石	色 グランドストーングレー	
	シンク	ステンレスシンク（Z）	色 ステンレス	
	部品	—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
下台	本体	ホーロー製	色 ホワイト	
	底板	ホーロー製		※一部木製を使用する箇所あり
	引出し	ホーロー製		※一部木製を使用する箇所あり
	レール・丁番	ソフトクローズレール		
	部品（標準）	引出用サイドカバー、かくせるホーローボックス		
	部品（オプション）	—		
設備仕様（下台）	水栓 1	KM5021TTK（参考品番）		
	水栓 2	—		
	食器洗い乾燥機	—		
	加熱機器（本体）	TN36WV60（参考品番）	色 シルバー	
	加熱機器（トッププレート）	ホーロートップ	色 ブラック	
	加熱機器（レンジ）	—		
吊戸棚	本体	—		
	耐震ラッチ	—		
	部品	—		
レンジフード	品名	CVRA-902TFADN（参考品番）	色 ステンレス	125V・15A（2芯コンセント）
	ファン仕様	シロッコファン（排気タイプ）		
	部品	—		
		アルミタクト150X2000 マルカタフト 150（N） CVRAカナグ セットA、RHリモコン-2		
設備仕様（上台）	照明ユニット	—		
	アイラック	—		
	電動昇降吊戸棚	—		
	昇降棚	—		
エンドパネル	材質	ホーロー製	色 シルキーウッドグレージュ	
		—	—	
		—	—	
	品名	—		
天井幕板	品名	—		

- 表示記号について
- ・ KP：キッチンパネル
 - ・ ▽：設置基準線



タイプ	キャビネット間口	シンク位置	梁	戸数
2F調理実習室	2400	左	なし	1



システムキッチン詳細図(1) 1/20

参考図

タイプ	キャビネット間口	シンク位置	梁	戸数
1F湯沸	1500	右	なし	1
2F食堂	1500	右	なし	1

基本仕様

下台ユニット			
品名	仕様		
流し台	天板	ステンレス	
	扉・幕板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボード t 15	表裏柄：TW色・ホワイト
	側板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボード t 15	TW色・ホワイト
	後板	化粧MDF t 2.7	TW色・ホワイト
	底板	両面コート紙貼化粧 パーティクルボード t 15	TW色・ホワイト
	部品	排水トラップ VP40用アダプター 接続部材・シーリングプレート（設備工事） 包丁差し	

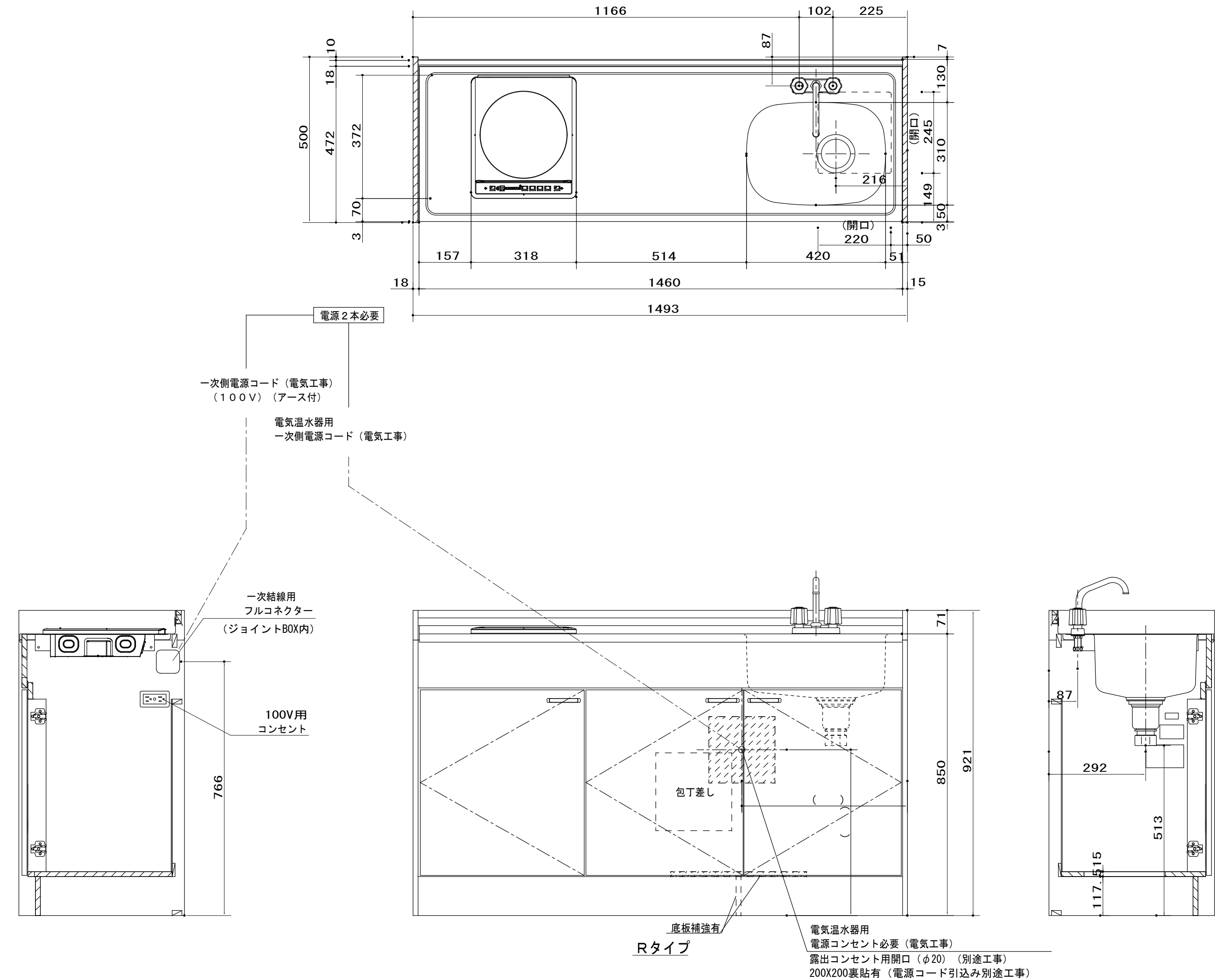
部品			
品名	仕様		
木口エッジ		硬質PVC	TW色・ホワイト
上台ユニット（棚仕様）			
品名	仕様		
上台	側板（ガス機器）	（内面）化粧合板 t 2.5 （外面）化粧不燃材 t 3	TW色・ホワイト
	側板（ガス機器以外）	両面コート紙貼化粧 パーティクルボード t 15	TW色・ホワイト
	木口	PPテープ	TW色・ホワイト

加熱機器			
IHヒーター	100V	パナ（CH-11C）	

水 栓			
混合水栓	KVK（KM17NECN）（参考品番）		

冷蔵庫			
無し			

電気温水器			
設備工事	先止め式（ ）	容量（ ）L	



参考図

ミニキッチン詳細図 1/10

訂正		<div><div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div></div>	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	ミニキッチン詳細図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	有馬 慎介					A1	1/10	
											A3	1/20	

本体仕様表

ドア勝手	AL勝手
架台	ボルト脚架台(低床タイプ)：亜鉛メッキ鋼板
洗場パン	キーブクリーンフロア：ステンレス/300角磁器タイル貼 保温材内蔵
カウンター	－
浴室パネル	パネル高さKタイプ：鋼板硬質ホーロー 裏面保温材 タオル掛け穴：なし
天井	化粧サンドイッチパネル(内部発泡樹脂) 換気機器開口：あり 天井照明開口：なし
ドア	キーブクリーンドア：19高さ折戸(アルミ框/樹脂ガラス/上部換気口)
窓 1	－
窓 2	－
窓枠 1	－
窓枠 2	－
排水トラップ	A B S樹脂・封水50mm

本体カラー

カウンター	－
パネル(カウンター面)	ID：ロッシュベージュ
パネル(周辺・3面)	W：ホワイト
水栓上部カウンター	－
洗場	BW：ホワイトグレー
ドア	W：ホワイト
収納棚	スクエアタイプ(W：ホワイト)
タオル掛け	－
ランドリースेट	－

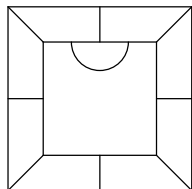
アクセサリ仕様表

ミラー	ショートミラー
収納棚	スクエアタイプ：ABS樹脂製（2段）
タオル掛け	－
洗場側水栓	サモスタット(KF3000TTKS)（樹脂ホース：シルバー）
スライドバー	－
照明	照明W（LED 8W電球色）
換気機器	常時換気天井換気扇（100V・最大消費電力10.3W）（ダクト径φ98）
給水給湯管	エルボ11ZAM
ハンドバー①	－
ハンドバー②	－
ハンドバー③	－
ハンドバー④	－
ハンドバー⑤	－
ハンドバー⑥	－
ハンドバー⑦	－

タイプ	サイズ	勝手	戸数
女子更衣室	1010	AL	1
男子更衣室	1010	AL	1

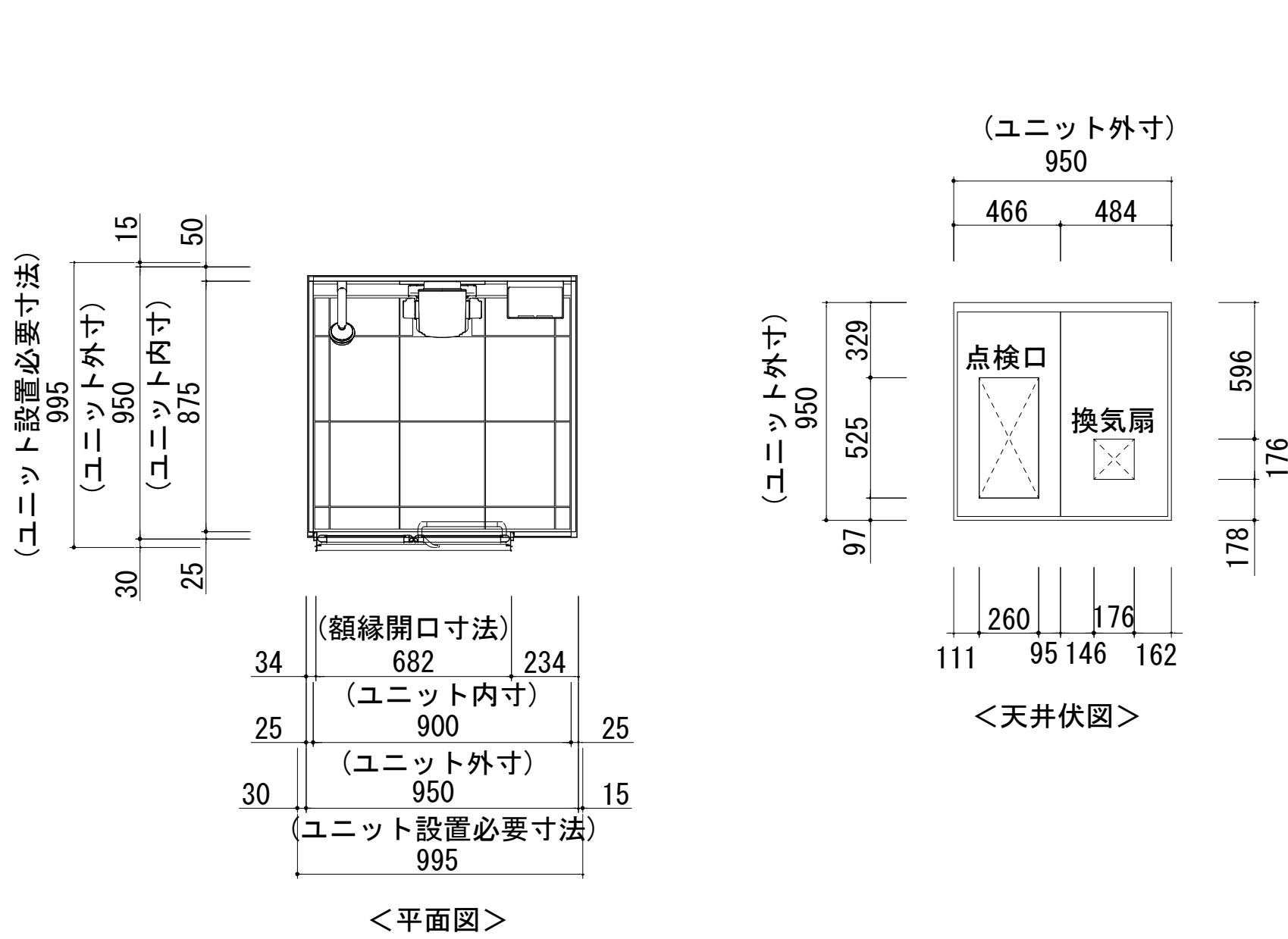
※本図はAL勝手

水栓側面




水栓右側面

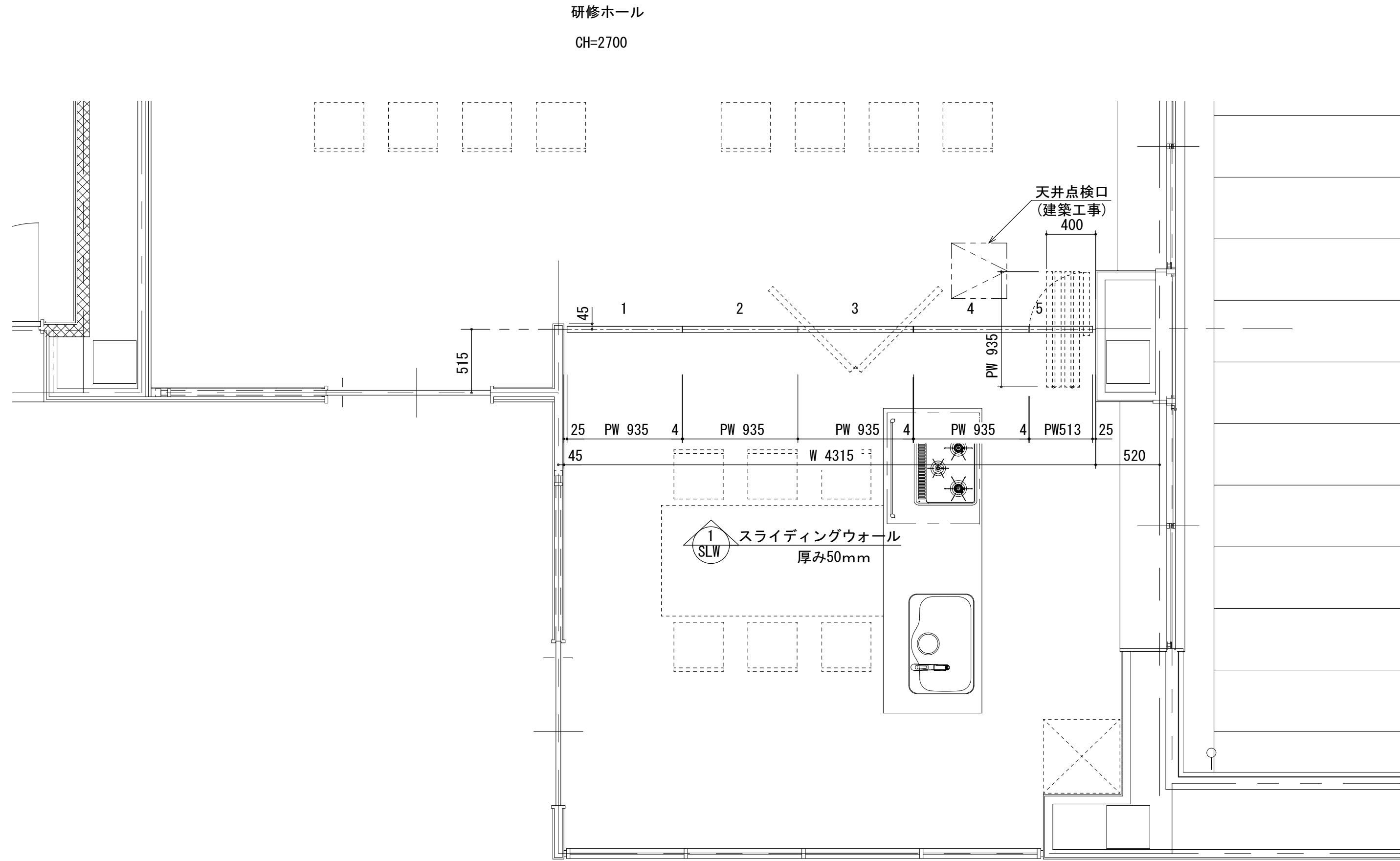
水栓対面



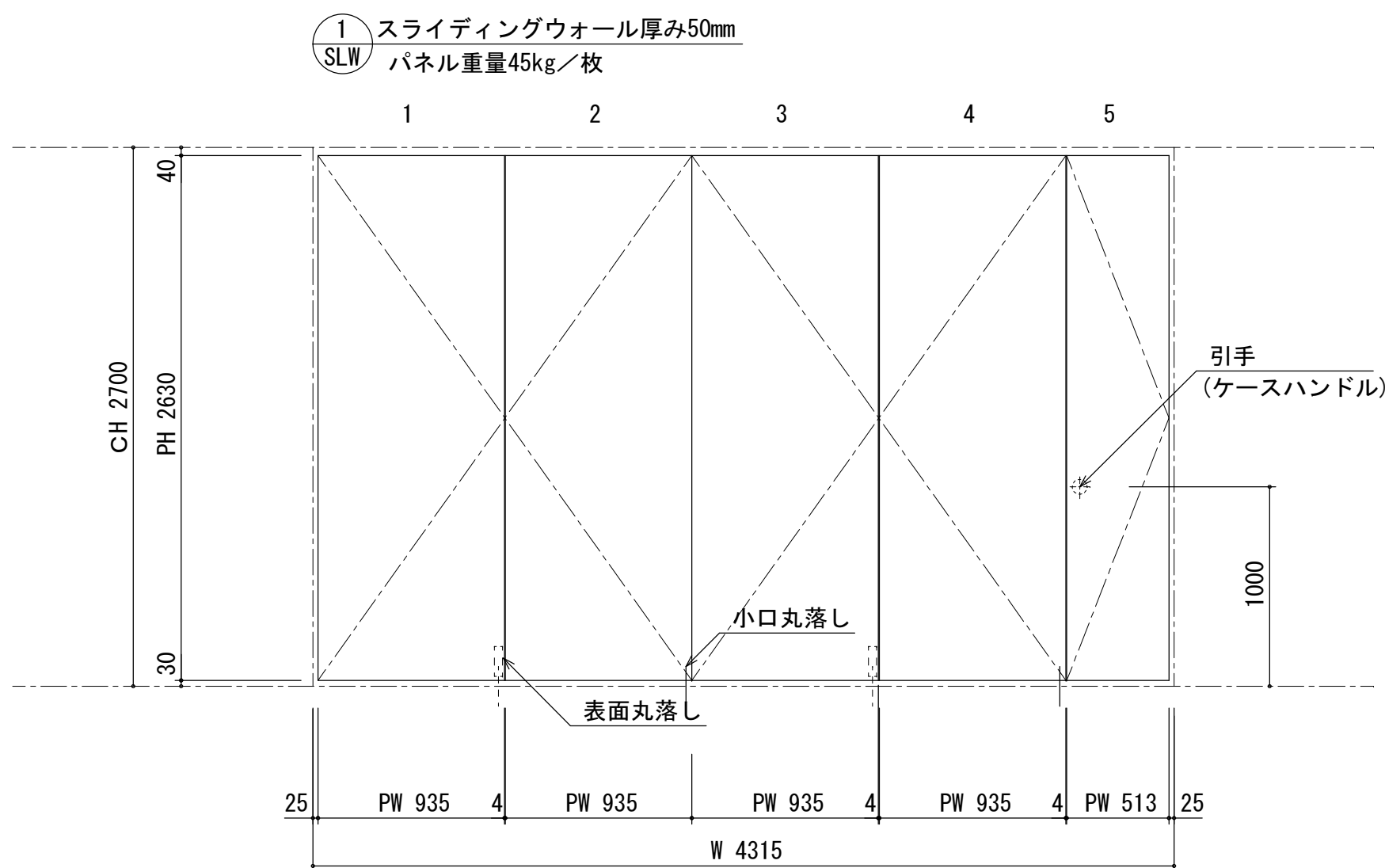
■ボルト脚架台高さ寸法
各ずり高さに対して
-8～+12mm調整可能

参考図

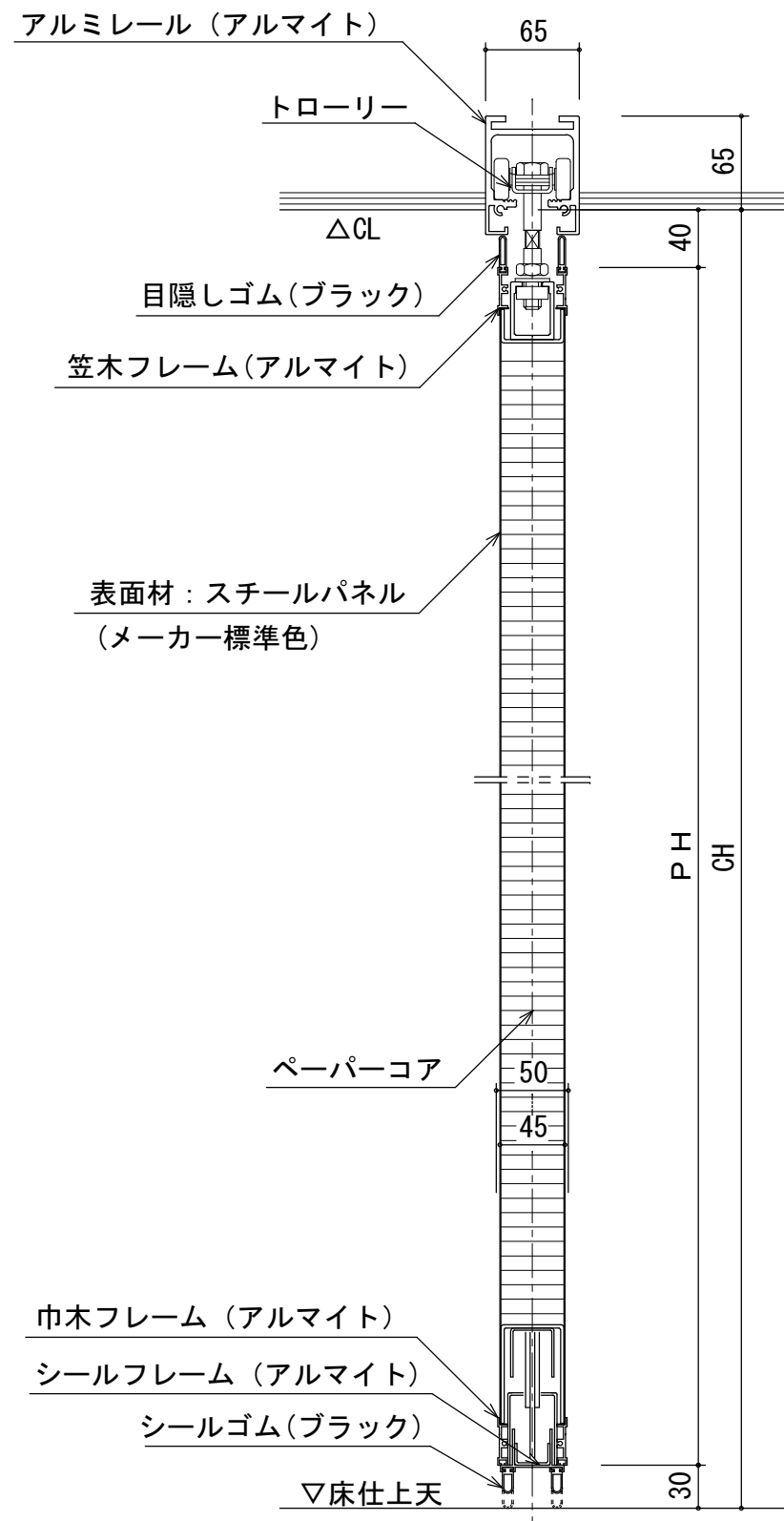
訂正		 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	シャワールーム詳細図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	有馬 慎介					A1	1/20	
											A3	1/40	A-407



2階平面図 S=1:30

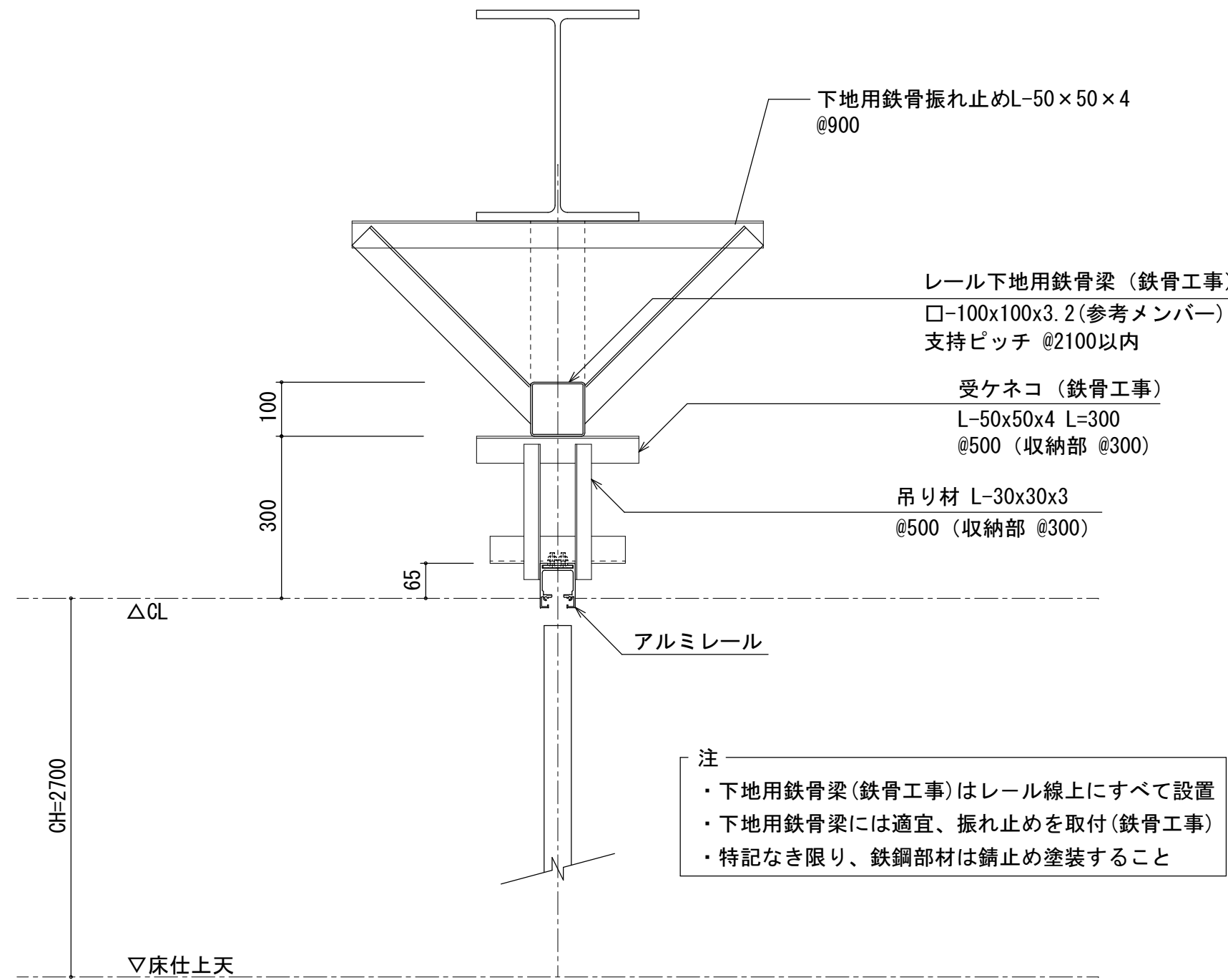


展開図 S=1:30



縦断面詳細図 S=1:5

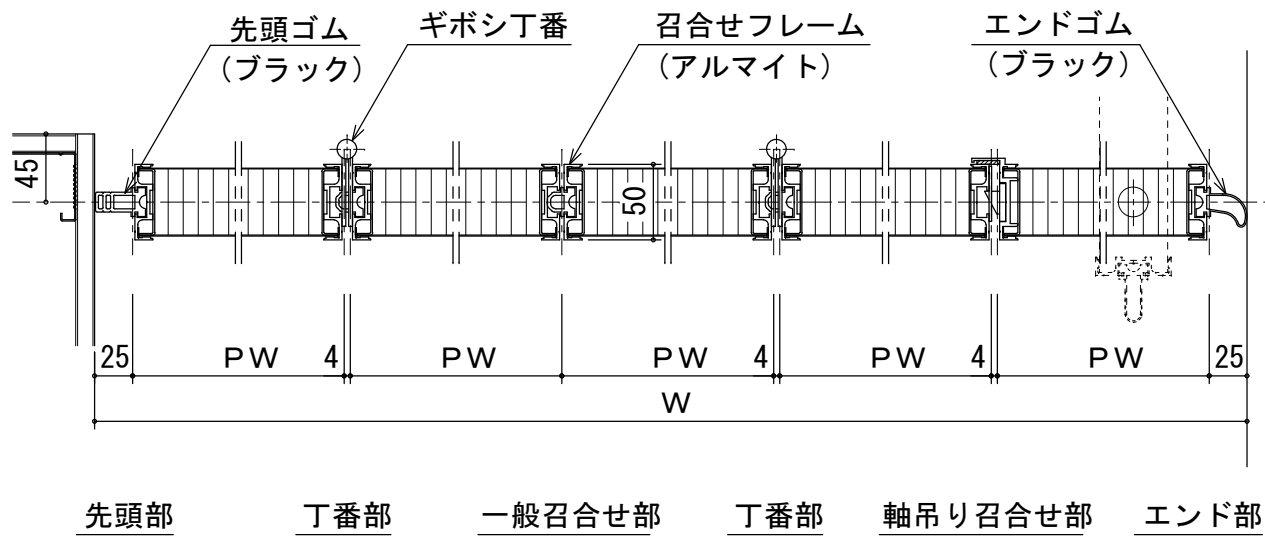
<スライディングウォール 厚み50mm> (LW-50VS-P)



レール取付断面図 S=1:10

スライディングウォール 厚み50mm (LW-50VS-P)

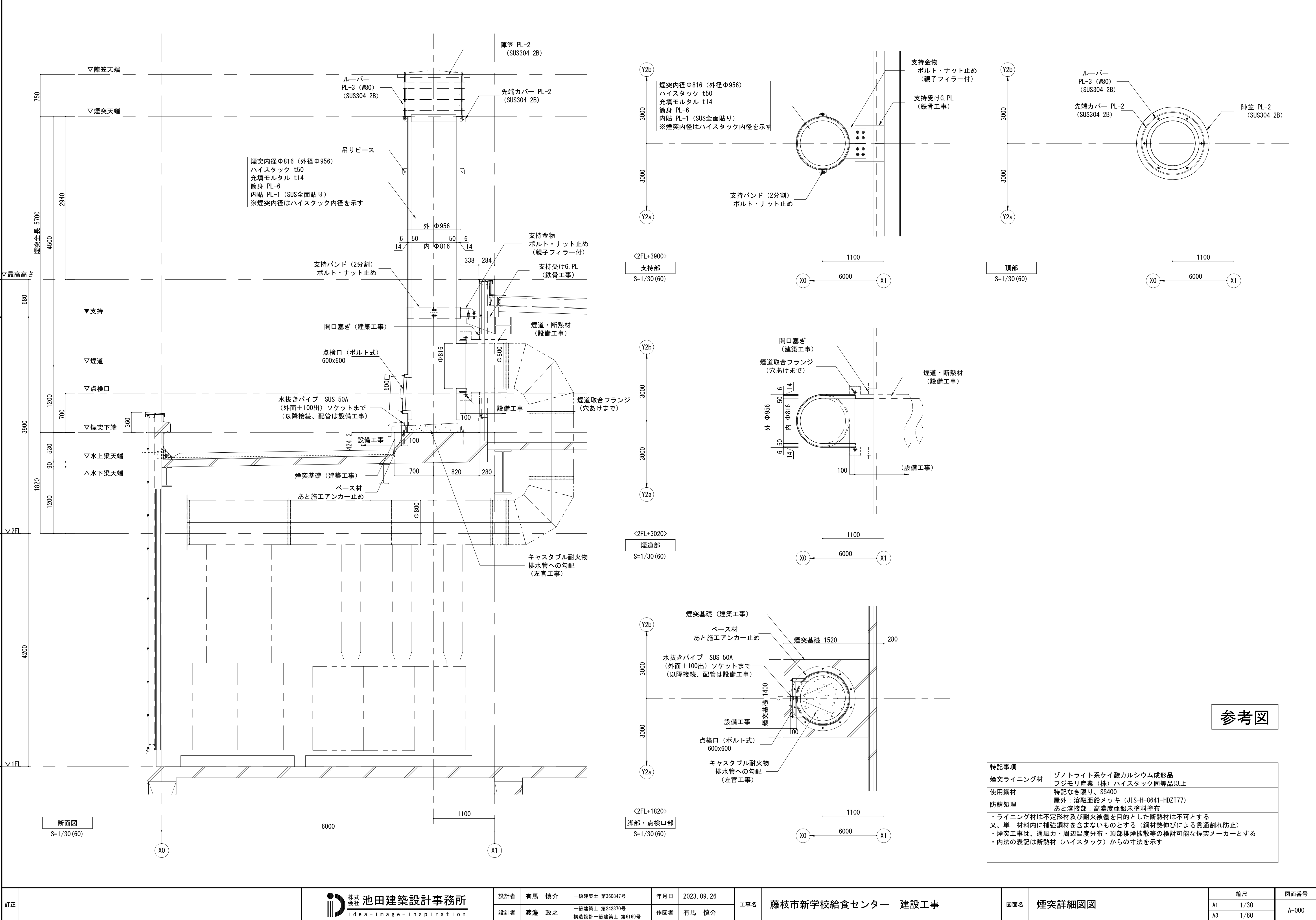
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール (アルマイト処理)
ランナー仕様	走行輪 吊ボルト	トローリー M 14
パネル仕様	表面仕上 表面材	スチールパネル (焼付塗装)
	充填材	ペーパーコア
	骨組	スチール補強
	フレーム	アルミ押出型材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	下部シールド	接床装置 (プッシュロッド式)
	固定方法	小口及び表面丸落しにて固定




横断面詳細図 S=1:5

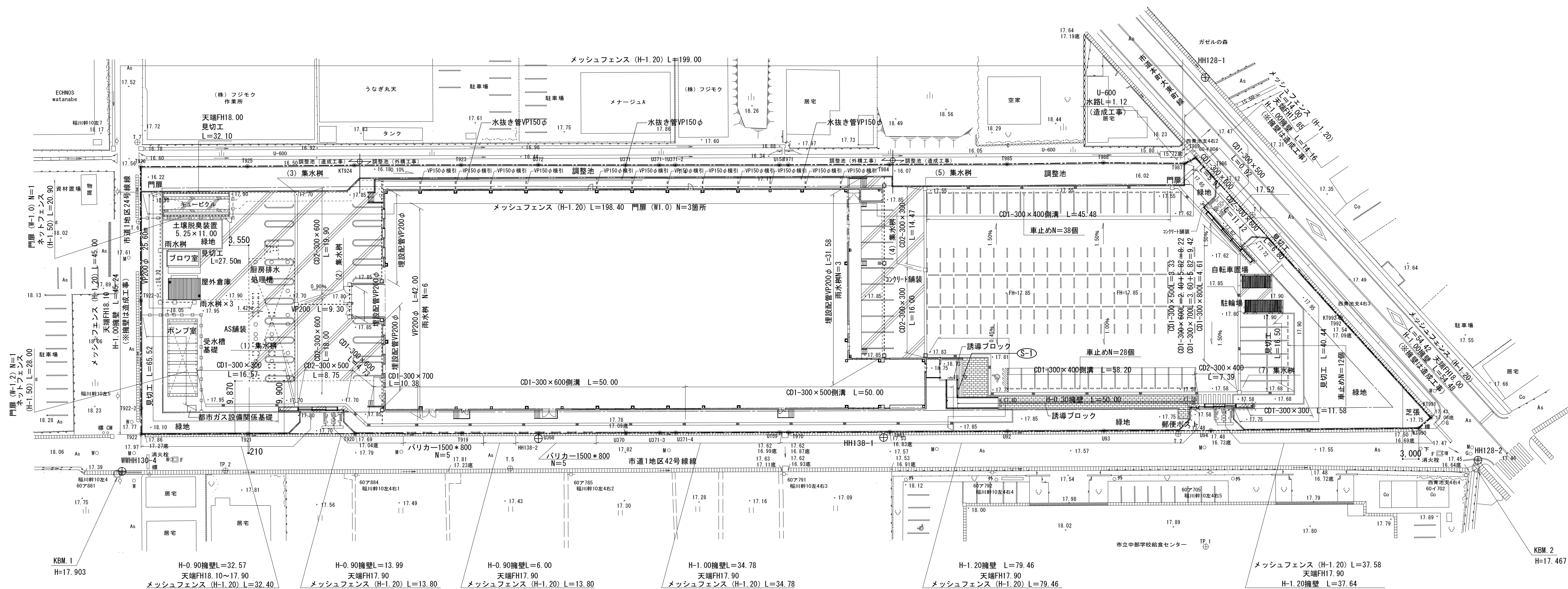
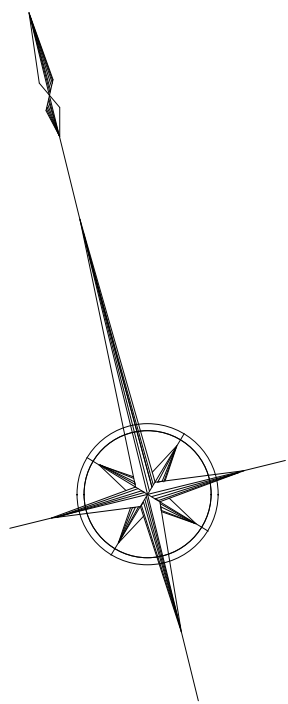
参考図

訂正	<div><div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div></div>		設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360647号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	スライディングウォール詳細図	縮尺		図面番号
			設計者		作図者	有馬 慎介					A1	図示	
											A3	図示/2	



特記事項	
煙突ライニング材	ゾノトライト系ケイ酸カルシウム成形品
使用鋼材	フジモリ産業（株）ハイスタック同等品以上
防錆処理	特記なき限り、SS400
	屋外：溶融亜鉛メッキ（JIS-H-8641-HDZT77）
	あと溶接部：高濃度亜鉛未塗布
・ライニング材は不定形材及び耐火被覆を目的とした断熱材は不可とする	
又、単一材料内に補強鋼材を含まないものとする（鋼材熱伸びによる貫通割れ防止）	
・煙突工事は、通風力・周辺温度分布・頂部排煙拡散等の検討可能な煙突メーカーとする	
・内法の表記は断熱材（ハイスタック）からの寸法を示す	

訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介	一級建築士 第360647号	年月日	2023. 09. 26	工事名	藤枝市新学校給食センター 建設工事	図面名	煙突詳細図図	縮尺		図面番号	
		設計者	渡邊 政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	作図者	有馬 慎介					A1	1/30		
														A3



<凡例>

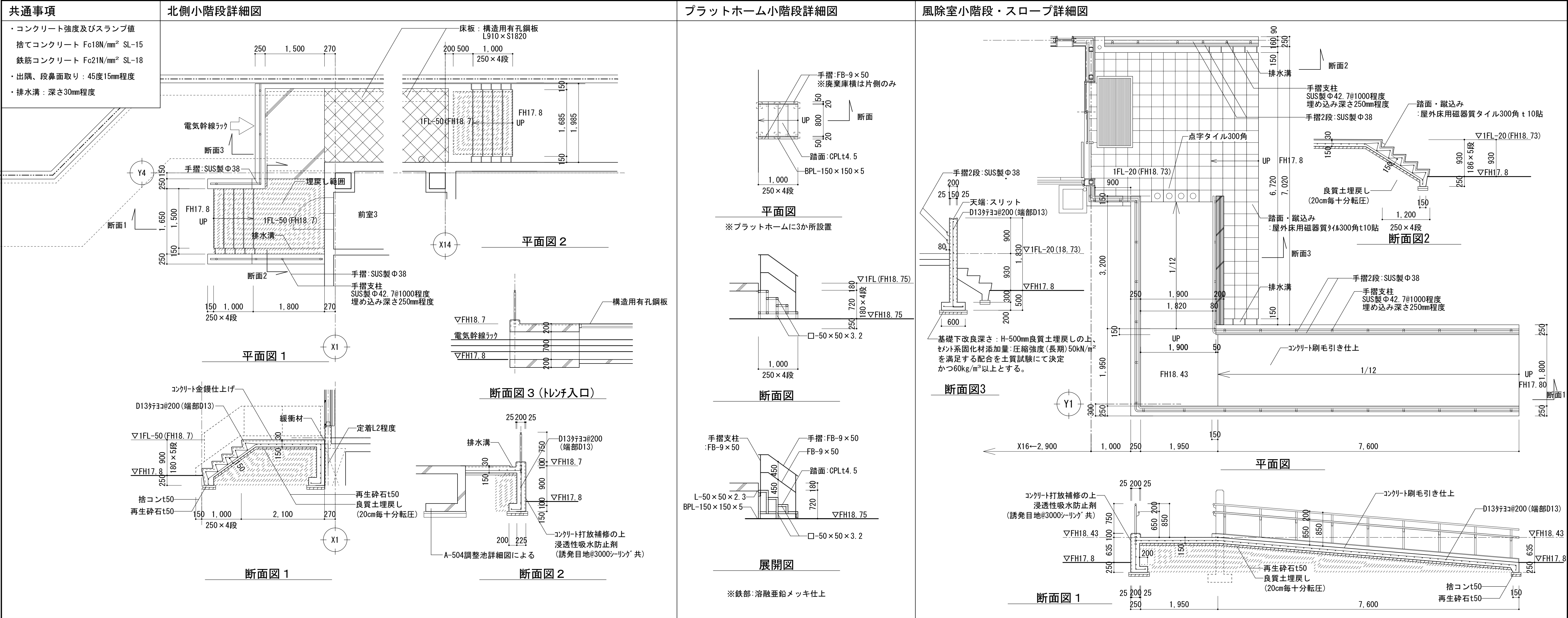
コンクリート舗装

インターlocking舗装

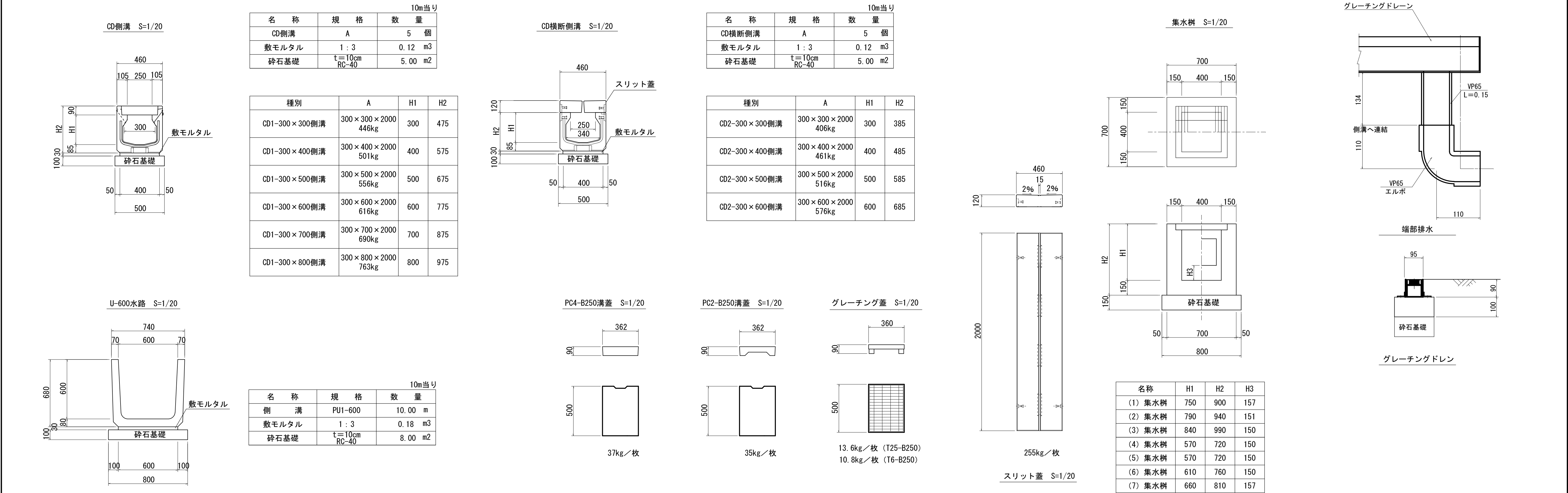
※その他特記なき限り、アスファルト舗装とする

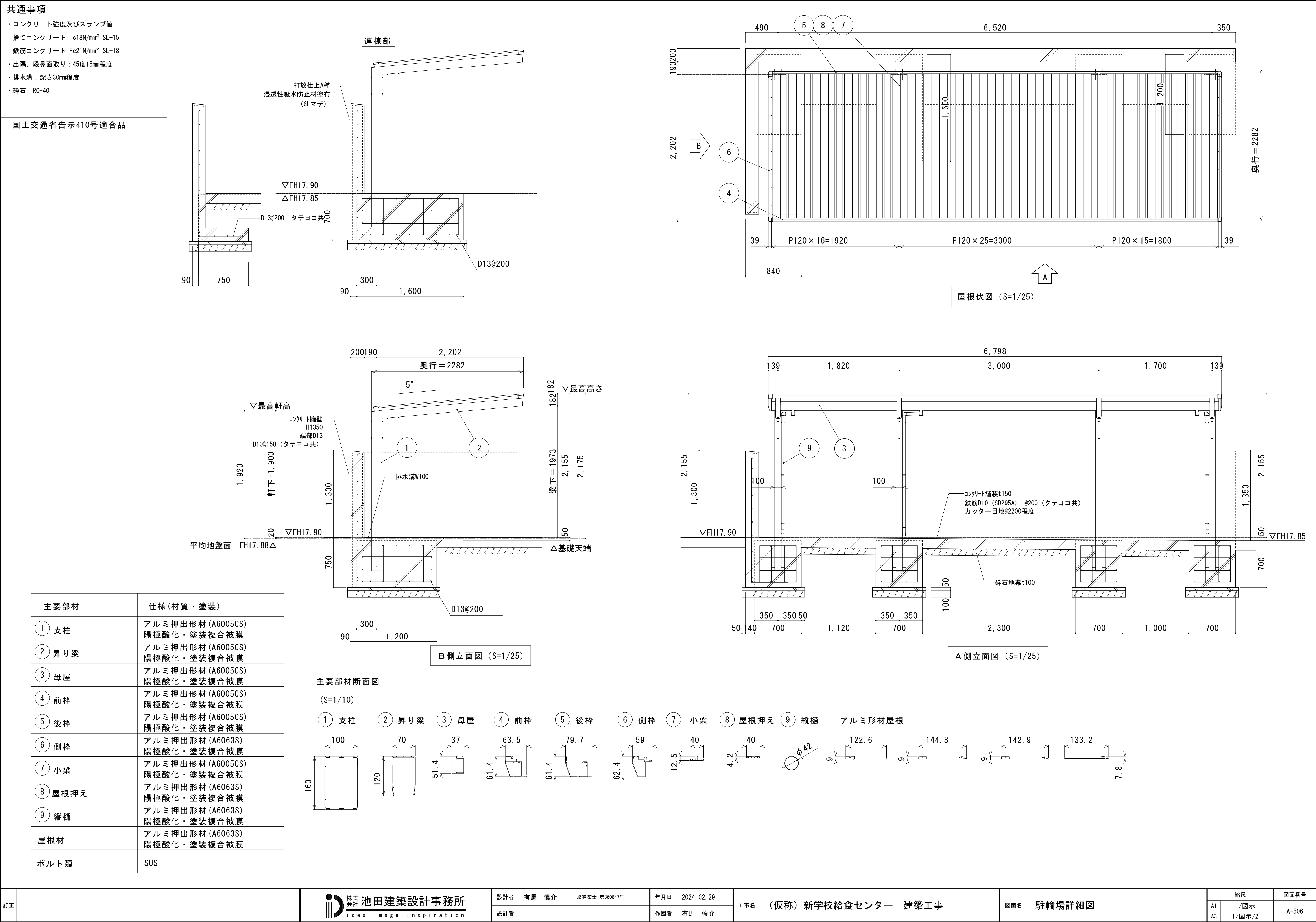
S-1 : サインを示す

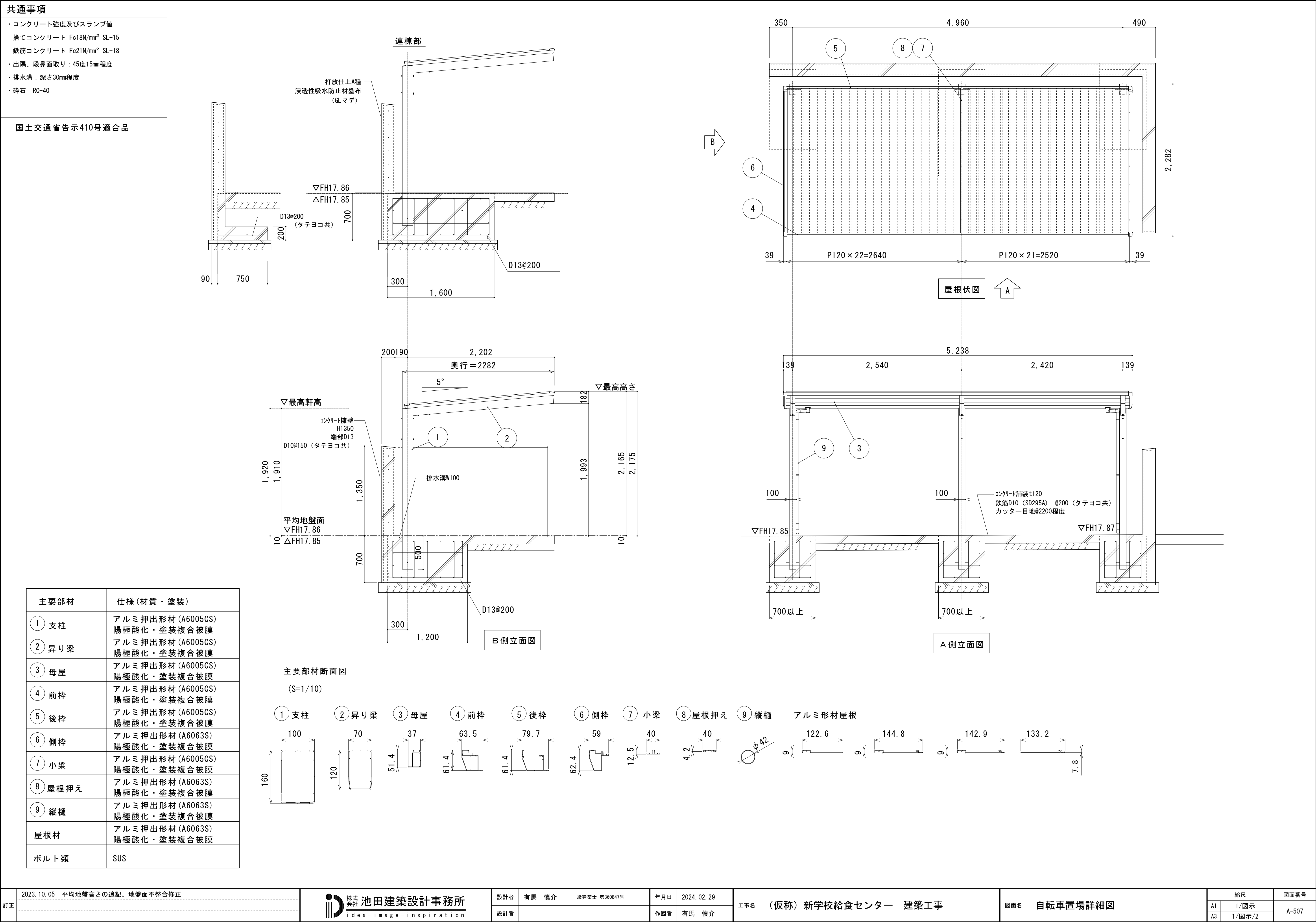
訂正	2023.10.05 工作物名称修正 (駐輪場→自転車置場、バイク置場→駐輪場)	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日 2024.02.29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 外構平面図	縮尺	図面番号
			設計者	作者 有馬 慎介			A1 1/400 A3 1/800	A-501

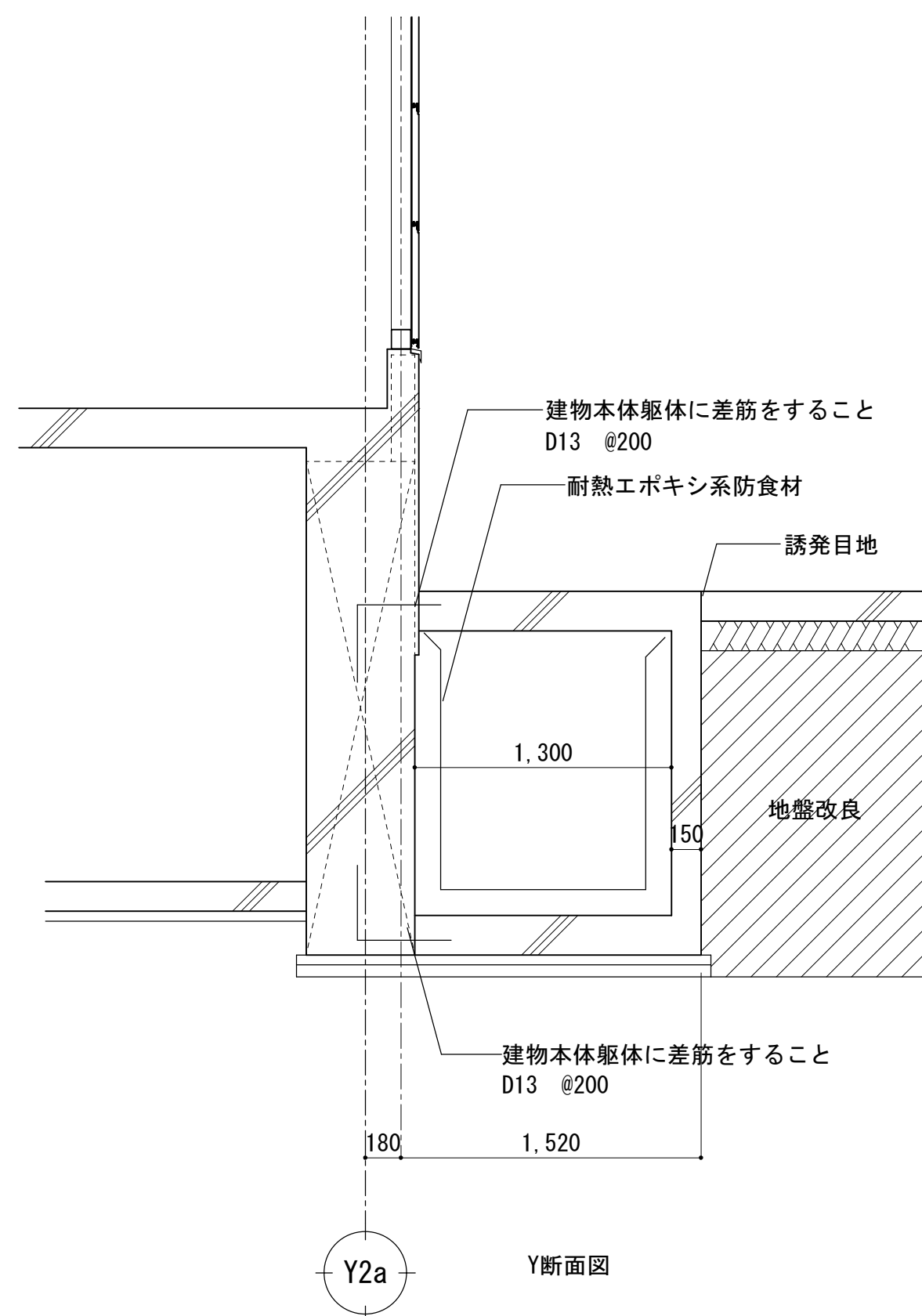
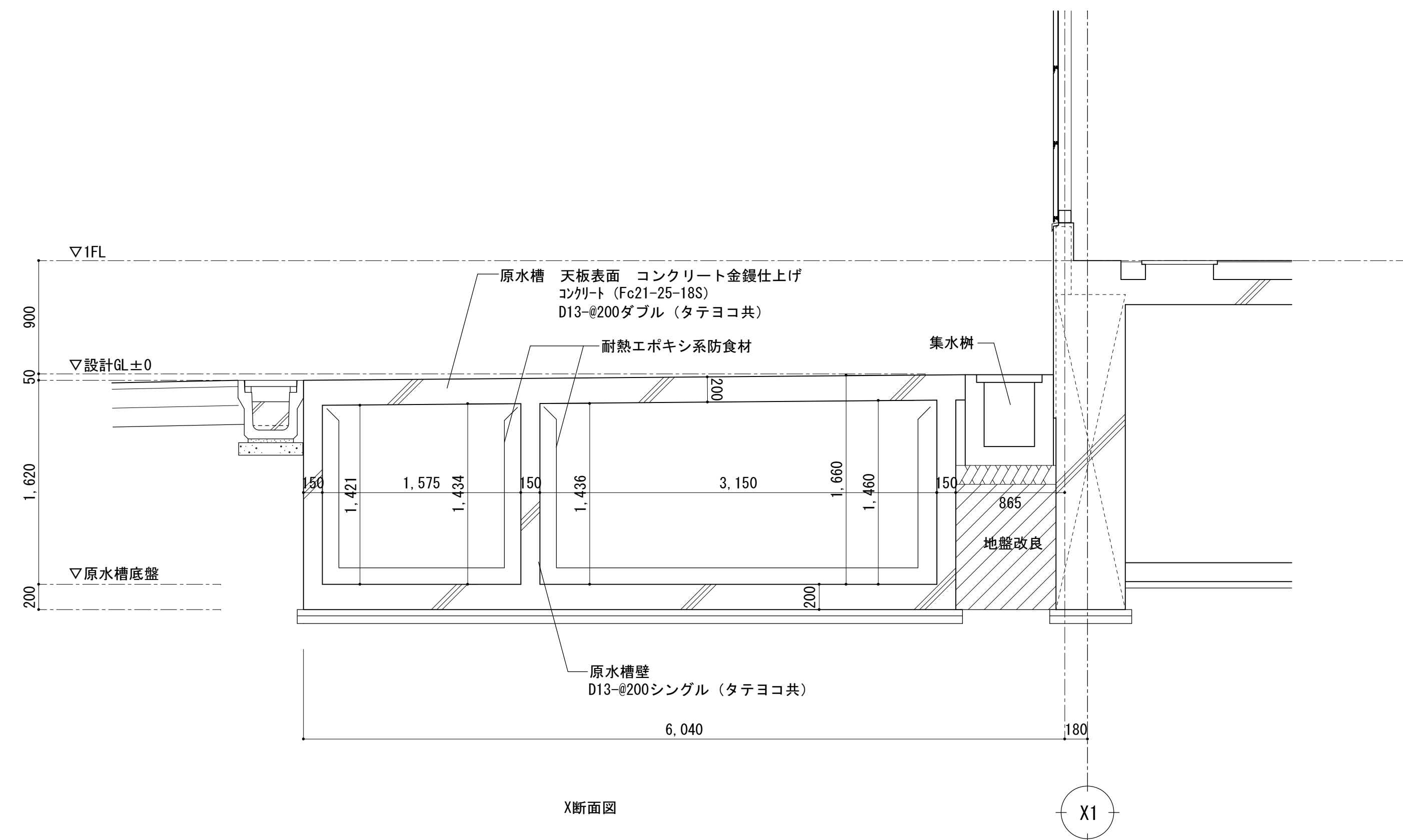
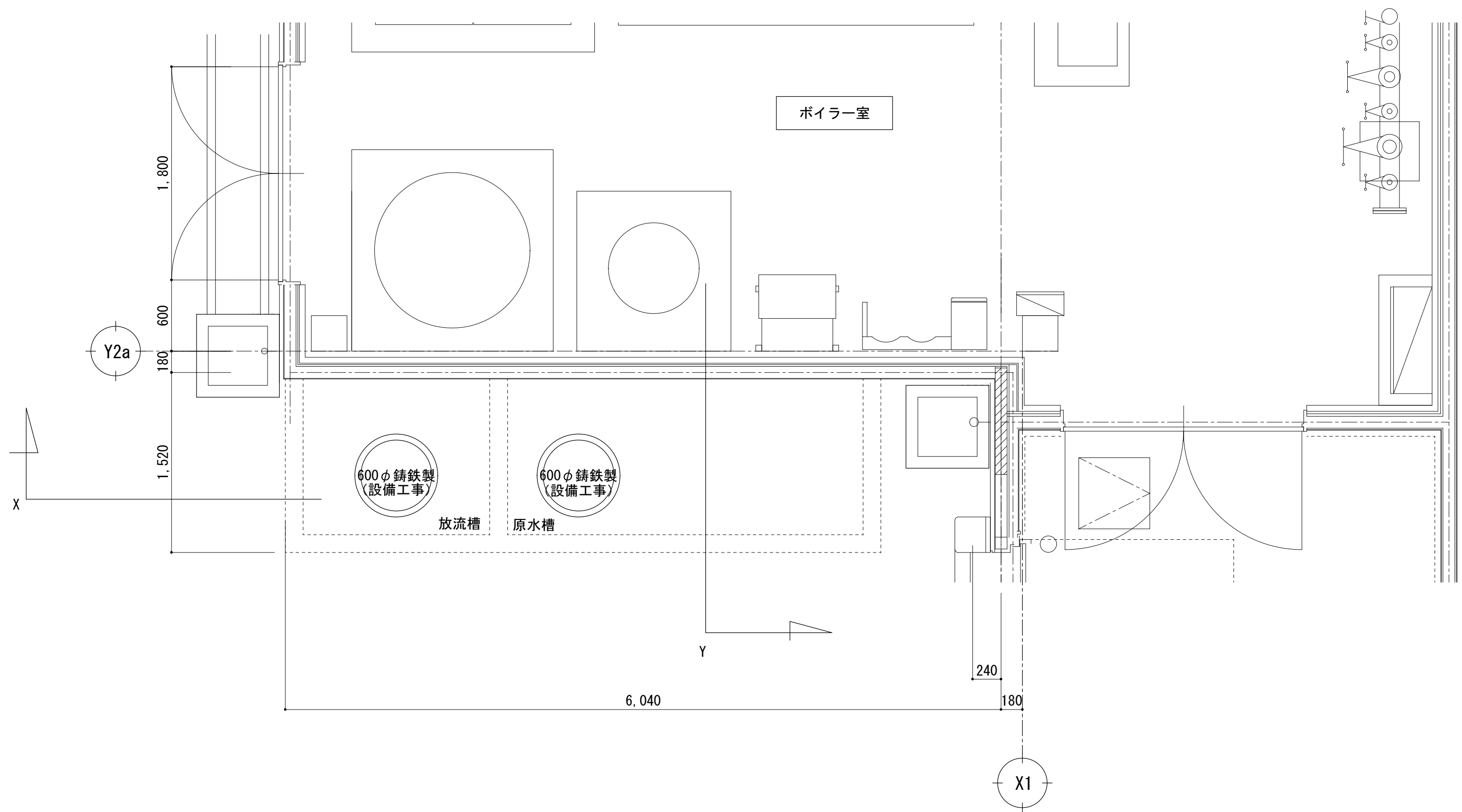



[illegible]

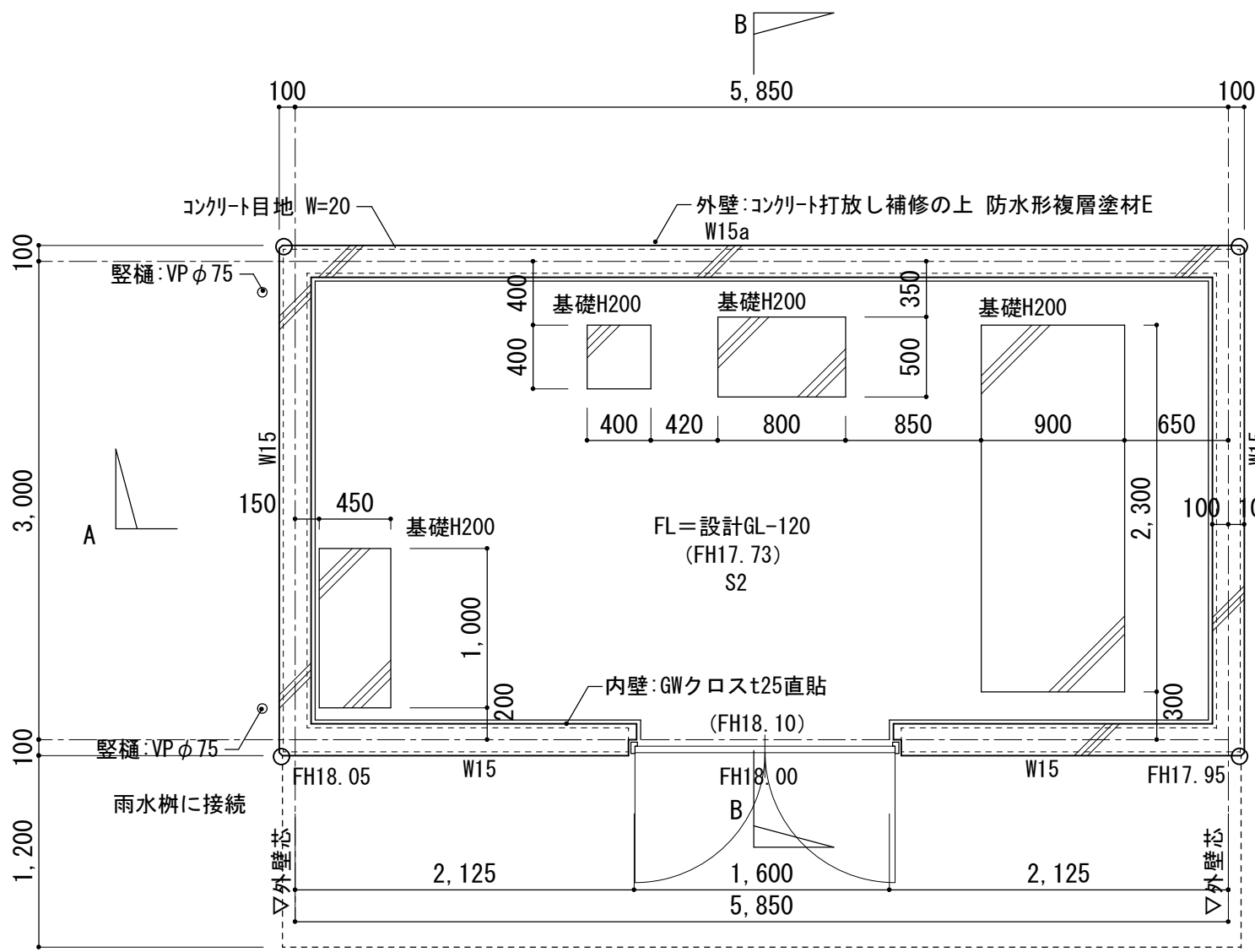




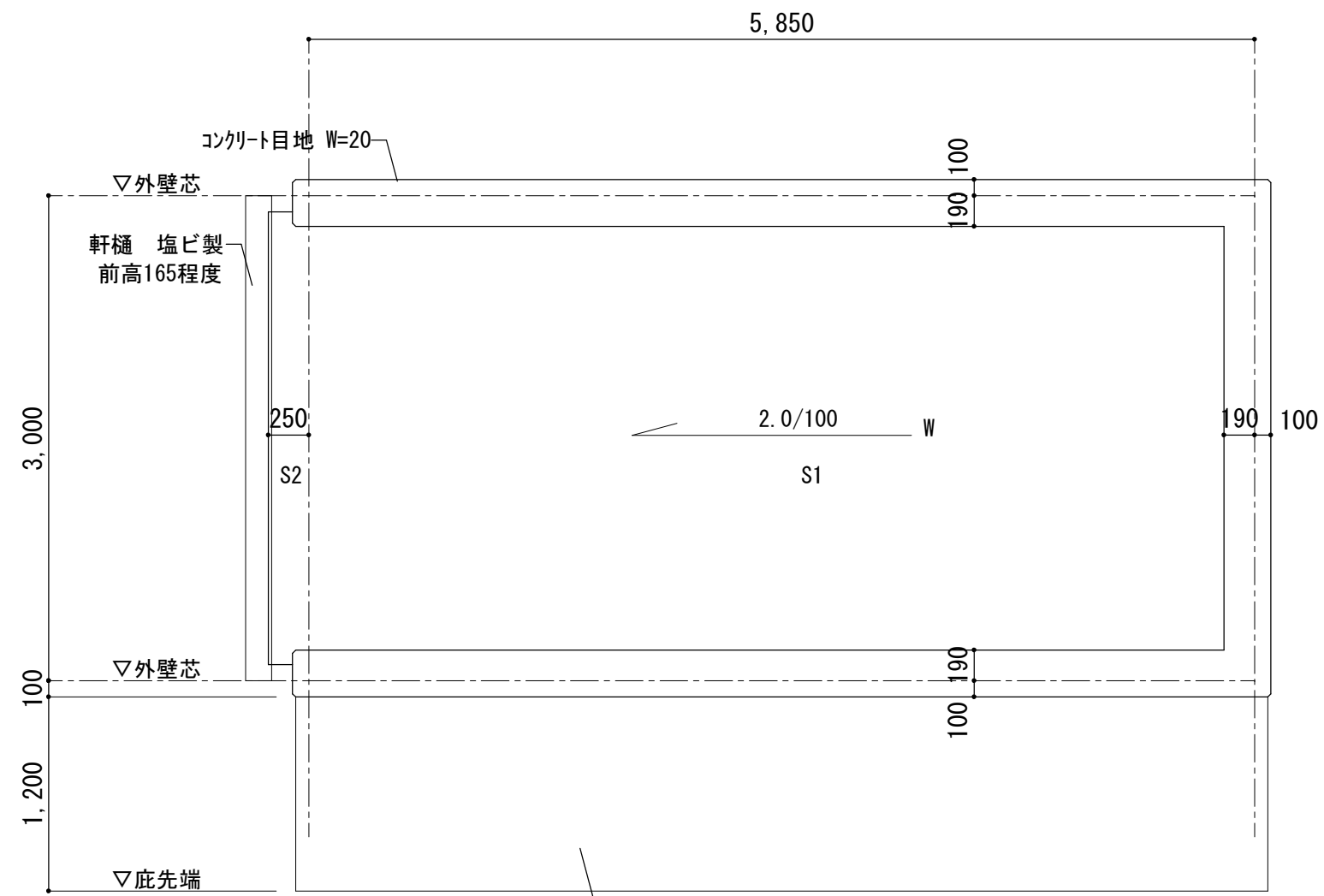




訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	ボイラー原水槽 詳細図	縮尺		図面番号	
		設計者		作図者	有馬 慎介					A1	1/30		
					A3					1/60			

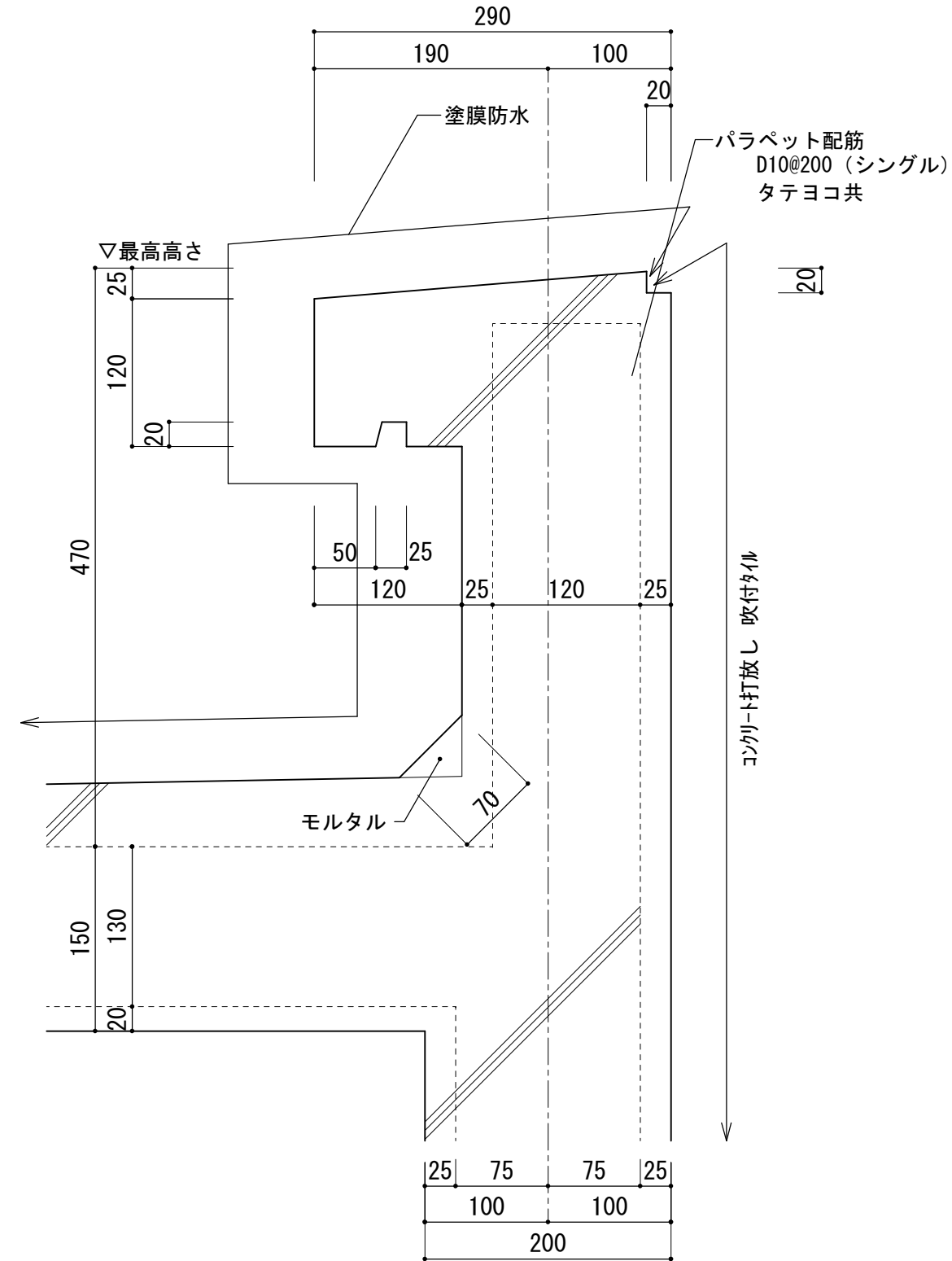


平面図
○:出隅部面取り処理



屋根伏図

場所	室名	1F	ブロウ室
数量	分類・形式	1	鋼製フラッシュ戸 両開き
姿図			
扉	—	st1.6	DP
枠見込み	70	—	—
水切/唇摺	—	SUS	HL
ガラス	—	—	—
金物・備考	標準金物一式 レバーハンドル サムターン・シリンダー錠 フランス落とし 給気ガラリ (防虫網付)		
性能特記	—		
法規制	—		
認定番号	—		



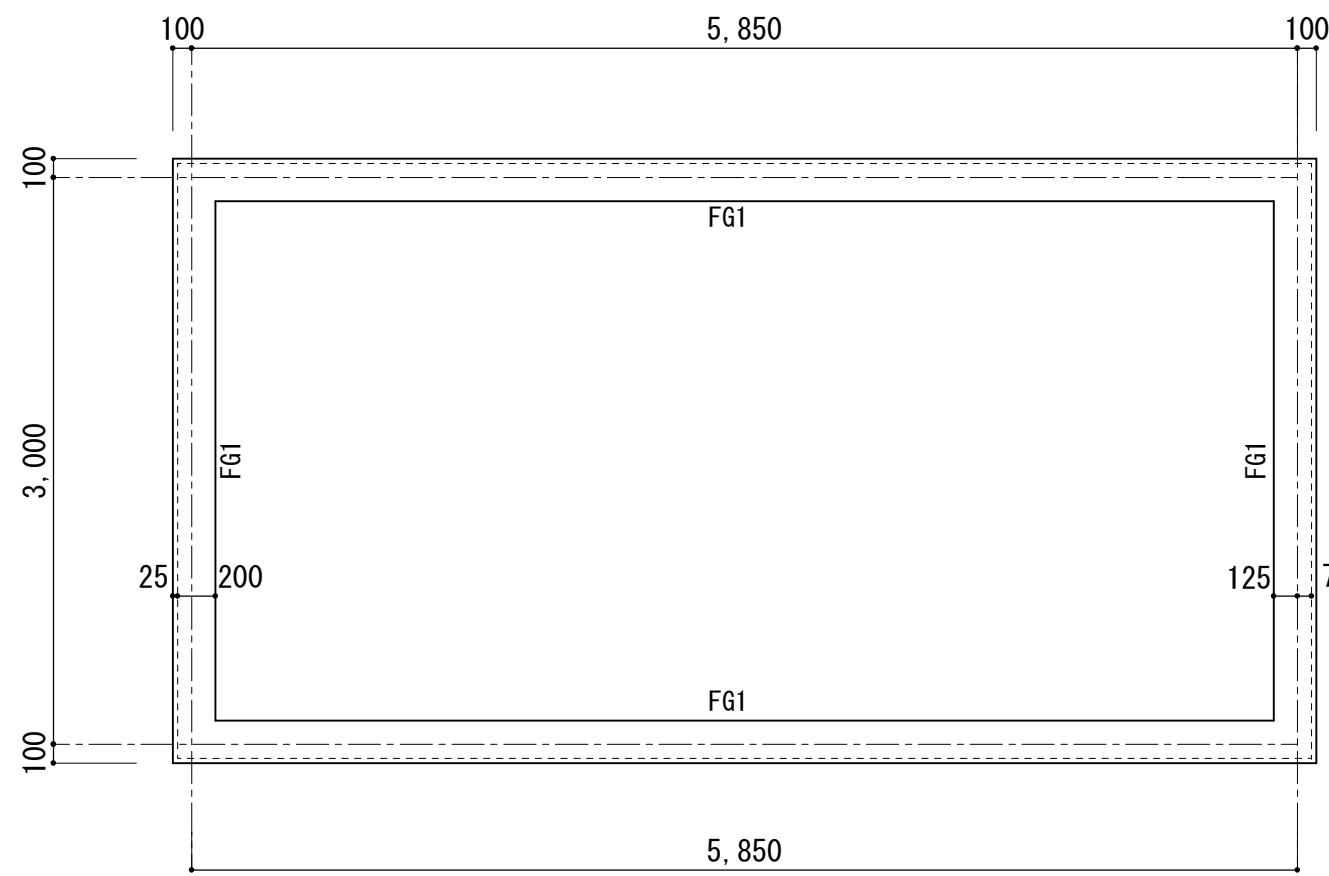
パラベット廻り詳細図 1/5

部材リスト

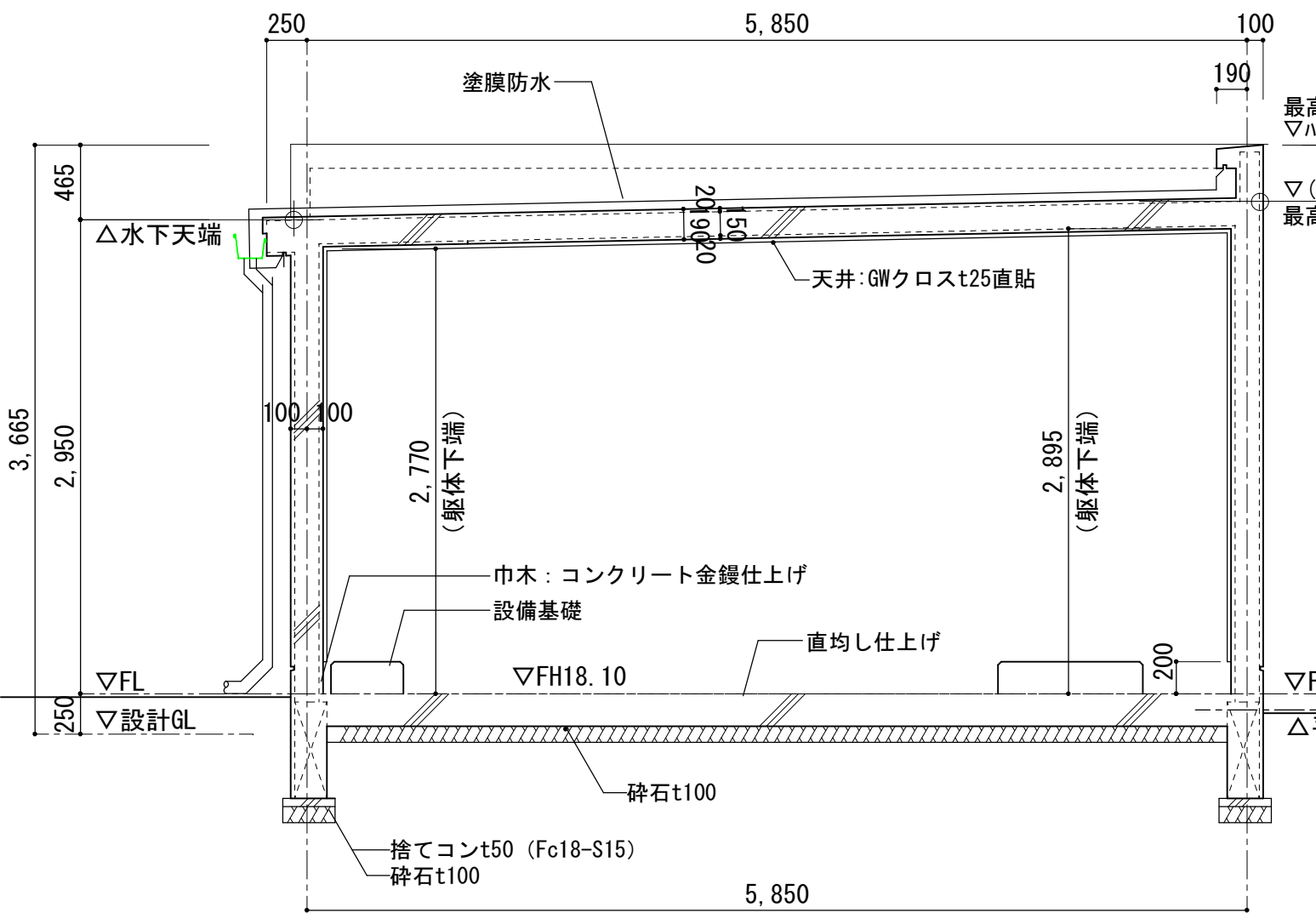
スラブリスト				
符 号	厚 さ	位 置	主筋方向配筋	副筋方向配筋
S1	150	上端筋 (dt)	D13D10#200	D13D10#200
		下端筋 (dt)	D13D10#200	D13D10#200
S2	200	上端筋 (dt)	D13#200	D13#200
		下端筋 (dt)	D13#200	D13#200

基礎梁リスト		壁リスト	
符 号	位置	符 号	位置
F61	全断面	W15	W15a
断面		断面	
B × D	200 × 600	縦 筋	D10 #200 S D10 #300 S
上 端 筋	2-D16	dt	50 50
下 端 筋	2-D16	横 筋	D10 @150 S D13 @125 S
あばら筋	2-D10#200	dt	50 50
腹 筋	—	曲げ補強筋	1-D13 1-D13
備 考	—	開口補強 (縦横斜共)	1-D13 —

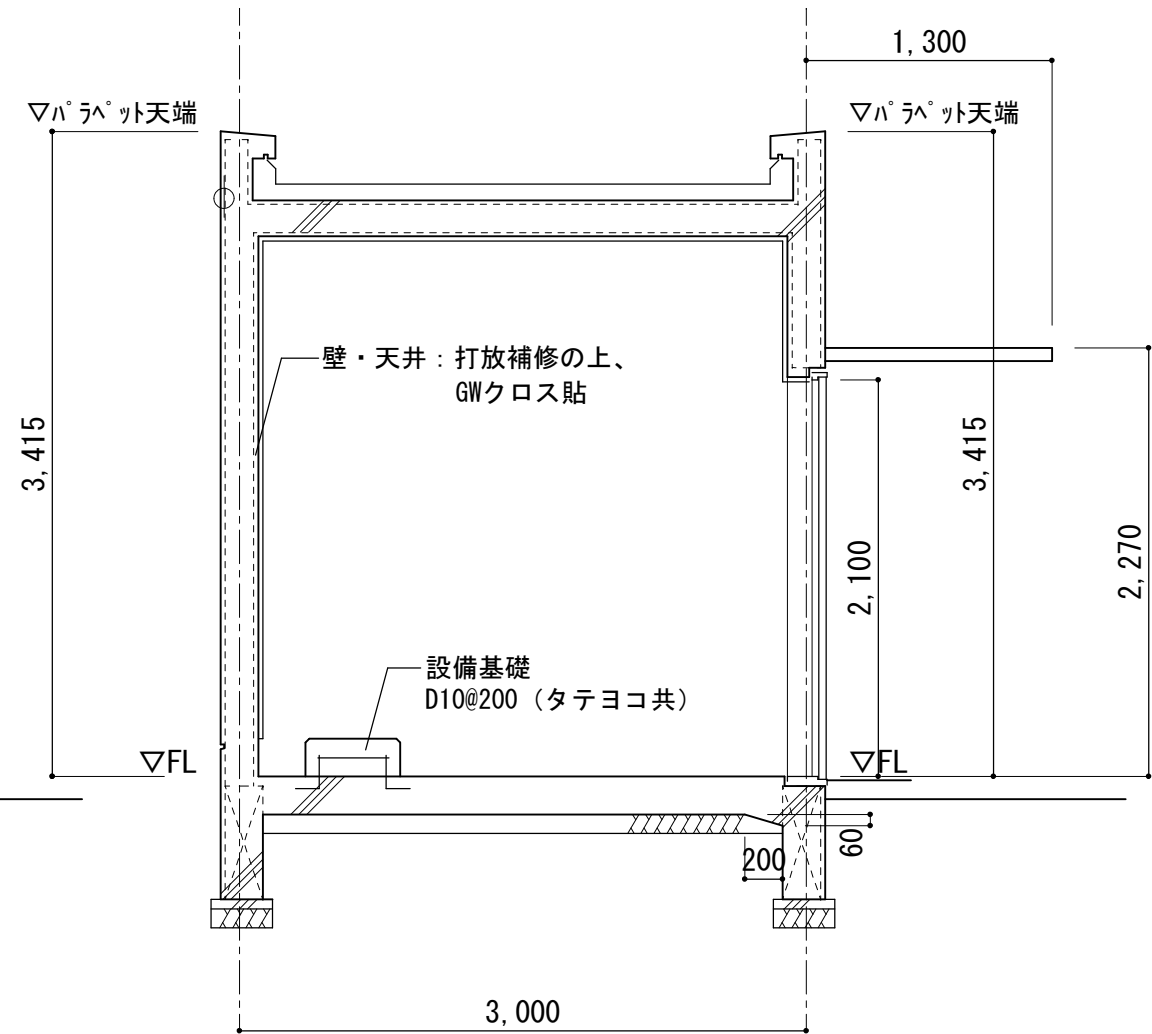
躯体コン (Fc24-S15とする)



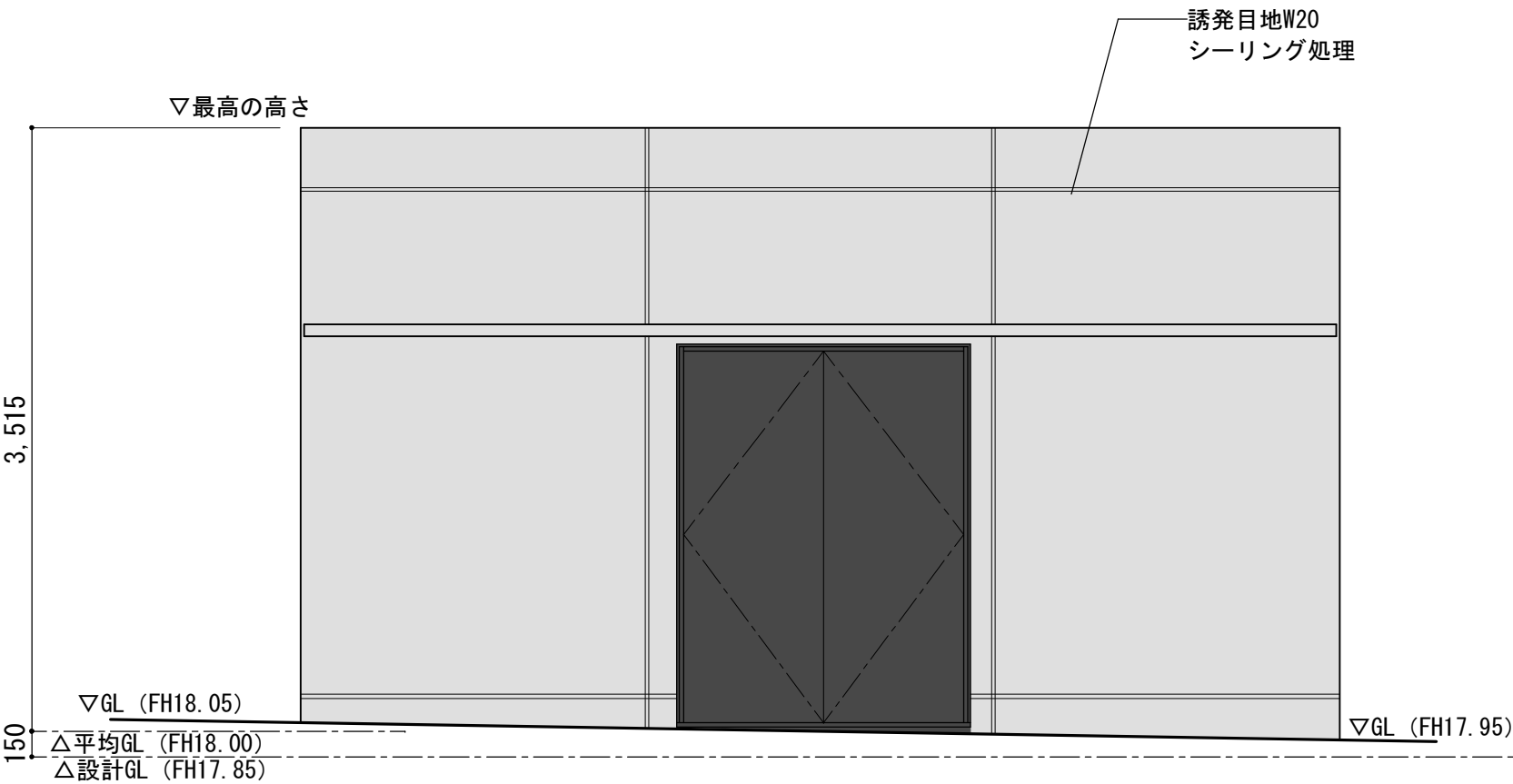
基礎伏図 1/40



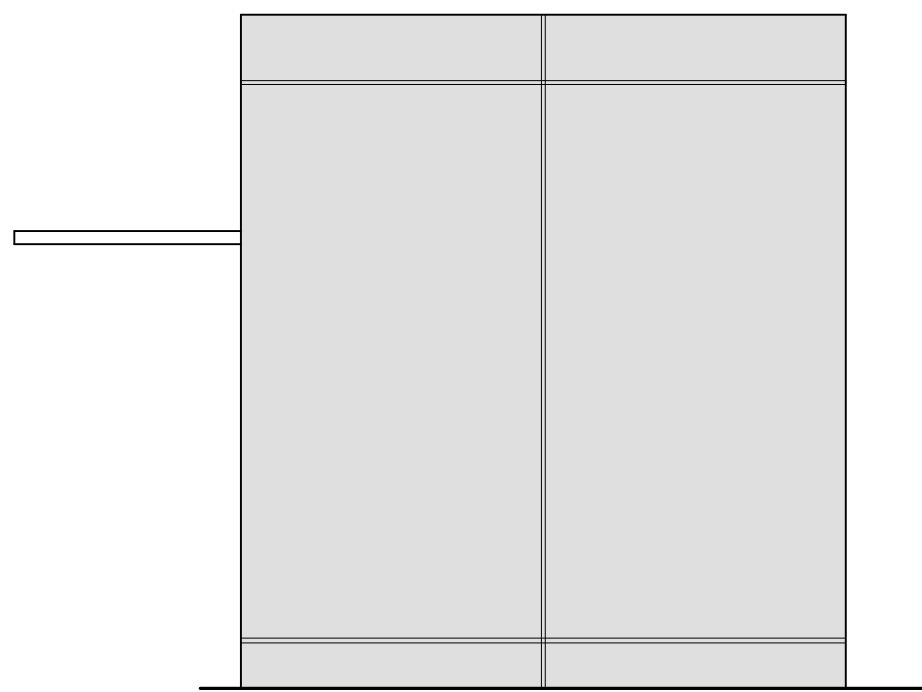
A-A断面図



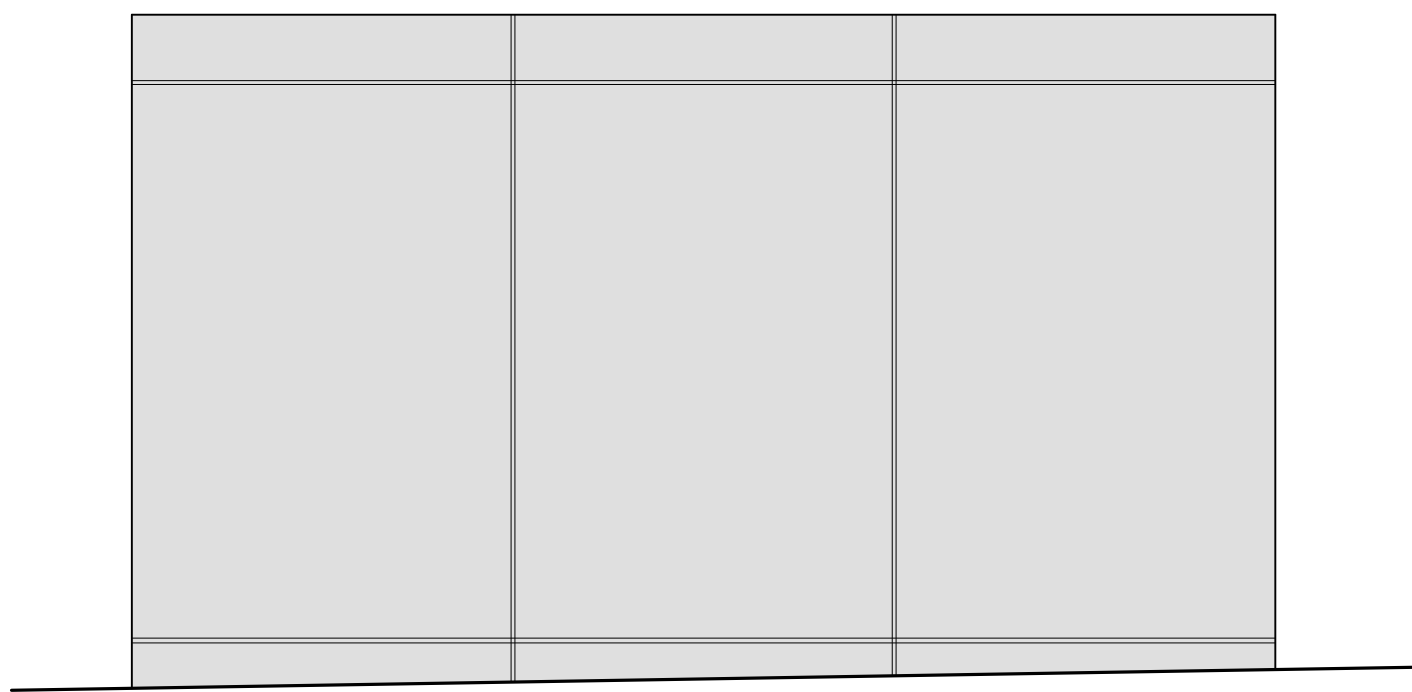
B-B断面図



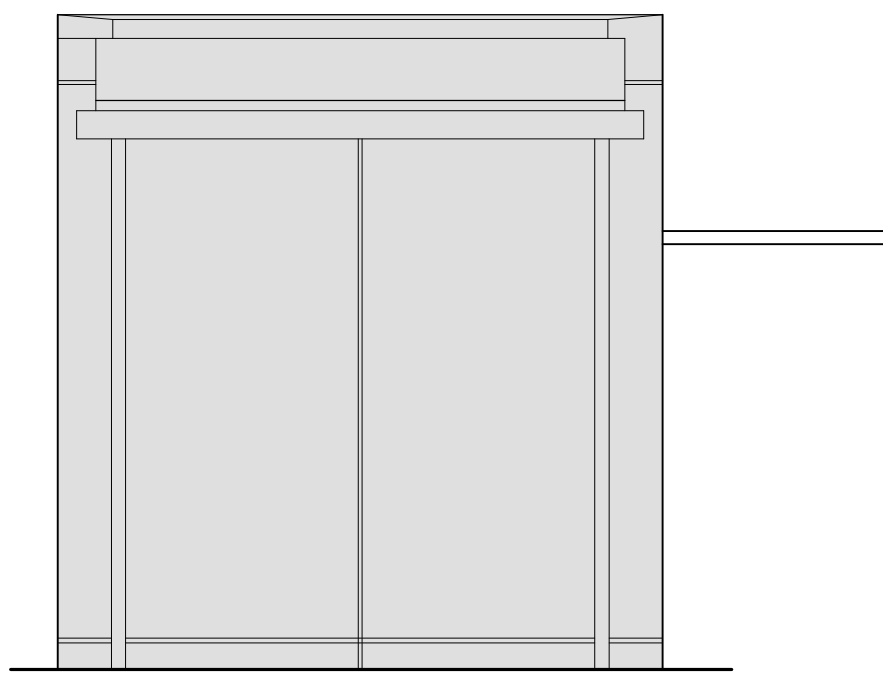
南面立面図 1/40



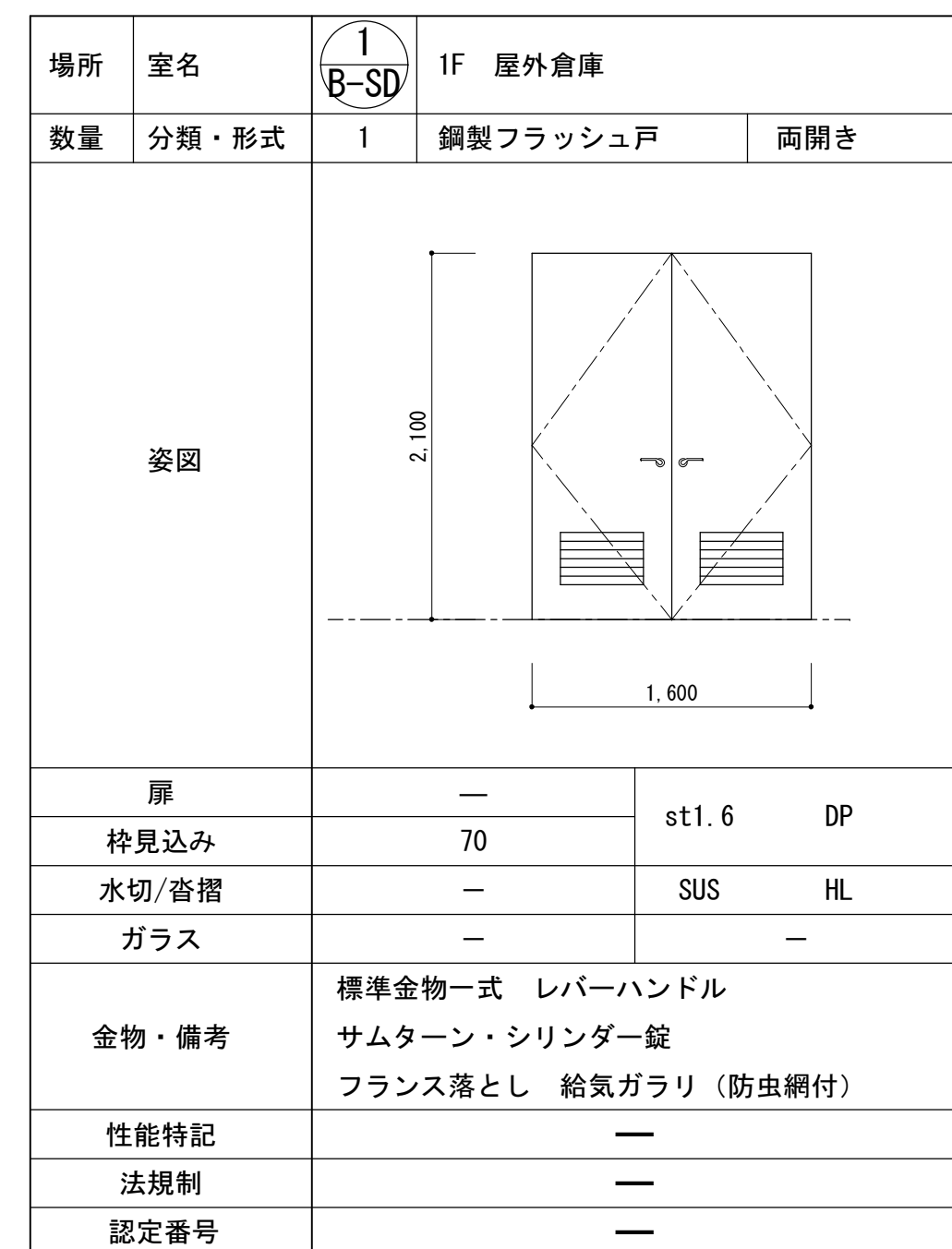
東側立面図 1/40



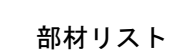
北側立面図 1/40



西側立面図 1/40




屋根伏図



スラブリスト				
符 号	厚 さ	位 置	主筋方向配筋	副筋方向配筋
S15	150	上端筋 (dt)	D13#200	D13#200
		下端筋 (dt)	D13#200	D13#200

基礎梁リスト	
符 号	
位 置	全断面
断 面	
Ｂ × D	300 × 500
上 端 筋	3-D19 (SD345)
下 端 筋	3-D19 (SD345)
あばら筋	2-D13@200 (SD295)
腹 筋	—
かぶり・あき	(50mm 上下 共)

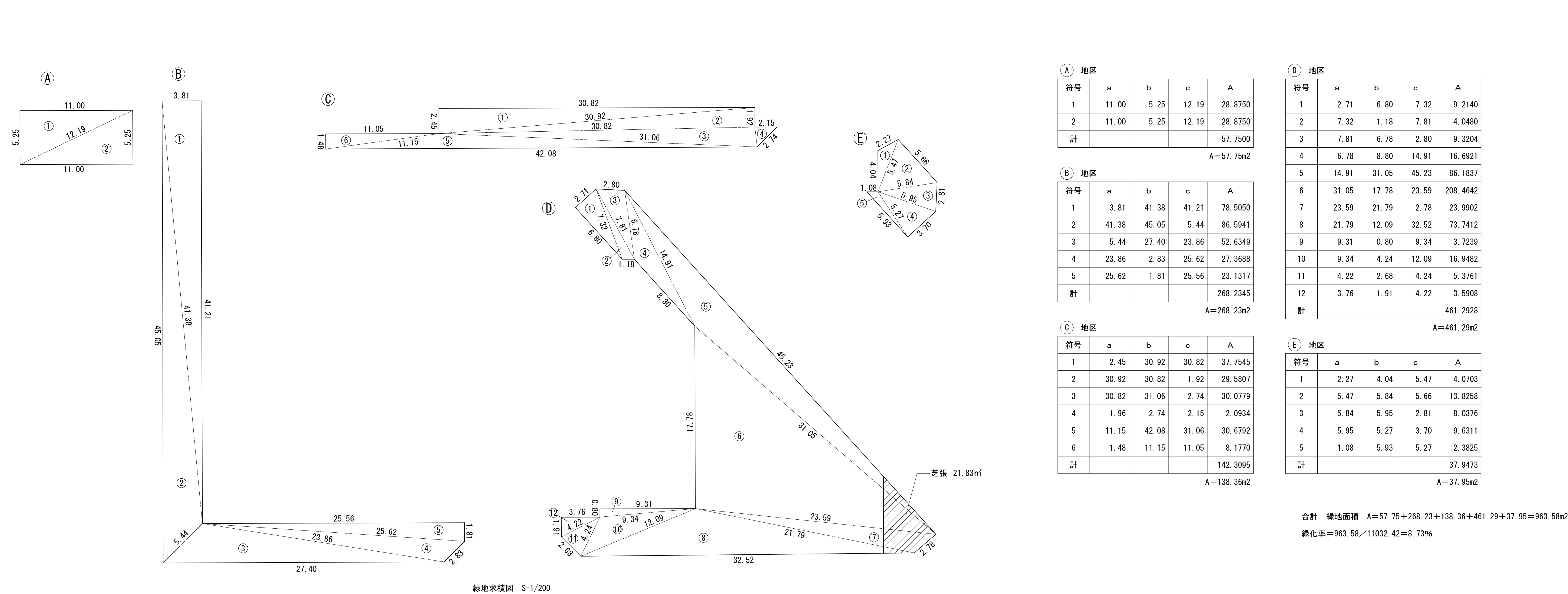
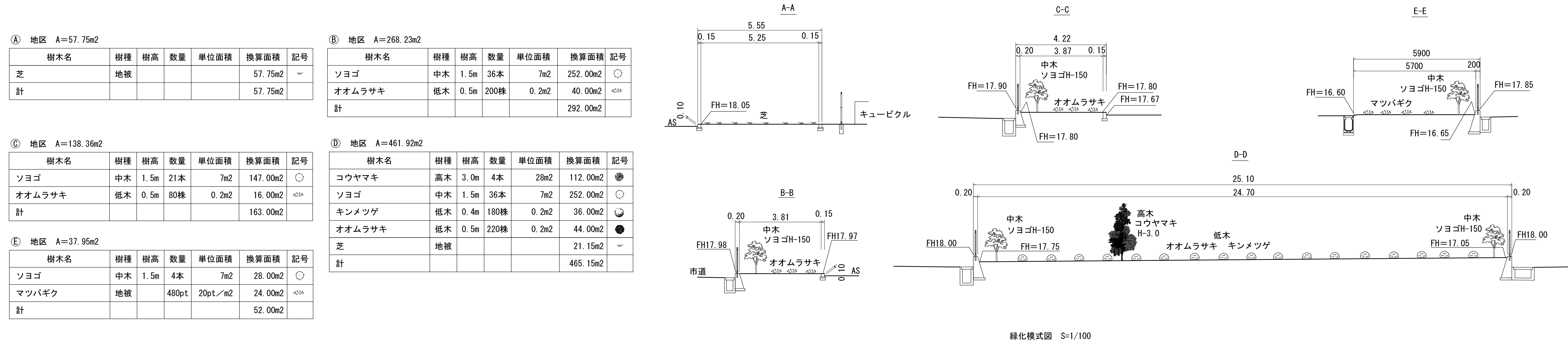
断面リスト		
リスト	G25	G20
符 号	RG25	RB20
断 面	I	I
鉄骨断面	H-250×125×6×9×8	H-200×100×5×8×8
材 質	SN400B	SN400B

柱リスト	
リスト	C15
符 号	1C15
断 面	
鉄骨断面	□-150×150×6
材質	BCR295

柱脚リスト	
符 号	1C20
柱脚形状 型名	ベースバック 15-12V
基礎柱サイズ	500×500
材質	SN400B

矩計図





① 地区

符号	a	b	c	A
1	11.00	5.25	12.19	28.8750
2	11.00	5.25	12.19	28.8750
計				57.7500

A=57.75m2

② 地区

符号	a	b	c	A
1	3.81	41.38	41.21	78.5050
2	41.38	45.05	5.44	86.5941
3	5.44	27.40	23.86	52.6349
4	23.86	2.83	25.62	27.3688
5	25.62	1.81	25.56	23.1317
計				268.2345

A=268.23m2

③ 地区

符号	a	b	c	A
1	2.45	30.92	30.82	37.7545
2	30.92	30.82	1.92	29.5807
3	30.82	31.06	2.74	30.0779
4	1.96	2.74	2.15	2.0934
5	11.15	42.08	31.06	30.6792
6	1.48	11.15	11.05	8.1770
計				142.3095

A=138.36m2

④ 地区

符号	a	b	c	A
1	2.71	6.80	7.32	9.2140
2	7.32	1.18	7.81	4.0480
3	7.81	6.78	2.80	9.3204
4	6.78	8.80	14.91	16.6921
5	14.91	31.05	45.23	86.1837
6	31.05	17.78	23.59	208.4642
7	23.59	21.79	2.78	23.9902
8	21.79	12.09	32.52	73.7412
9	9.31	0.80	9.34	3.7239
10	9.34	4.24	12.09	16.9482
11	4.22	2.68	4.24	5.3761
12	3.76	1.91	4.22	3.5908
計				461.2928

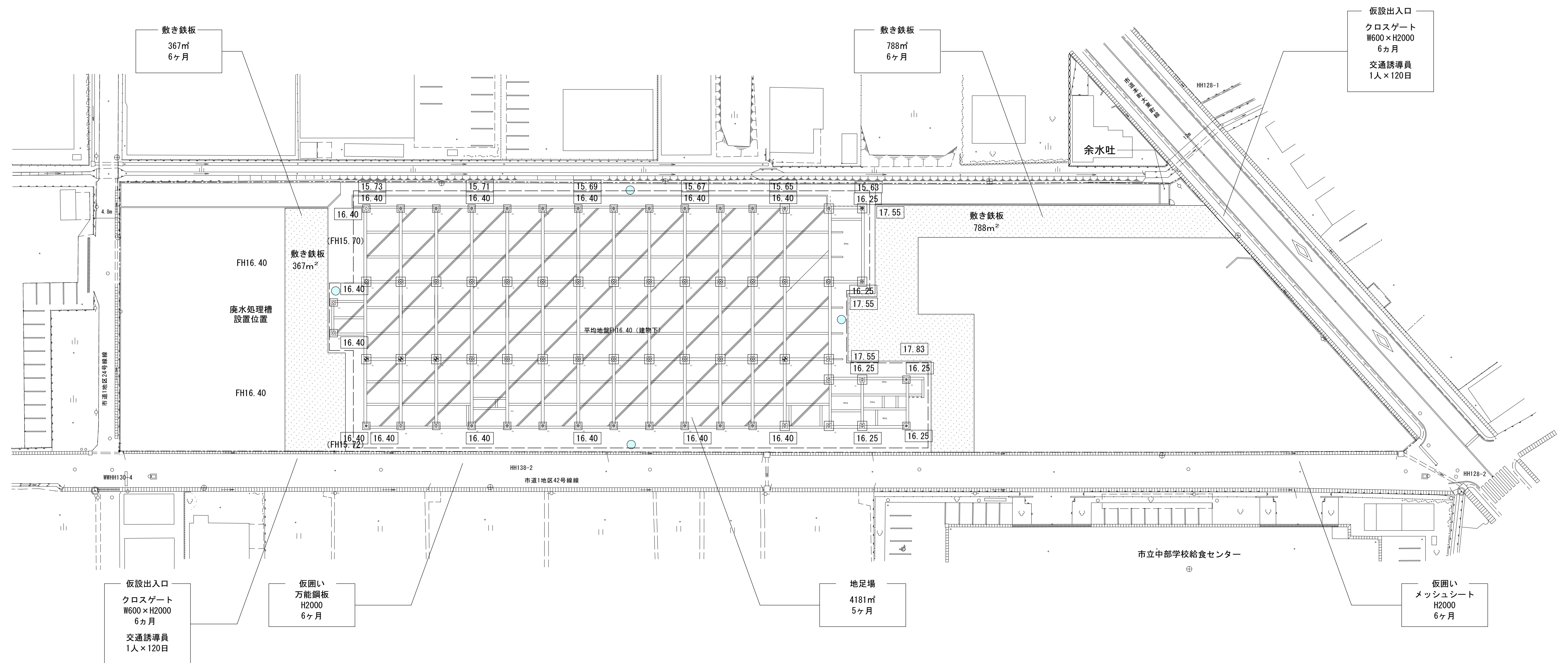
A=461.29m2


⑤ 地区

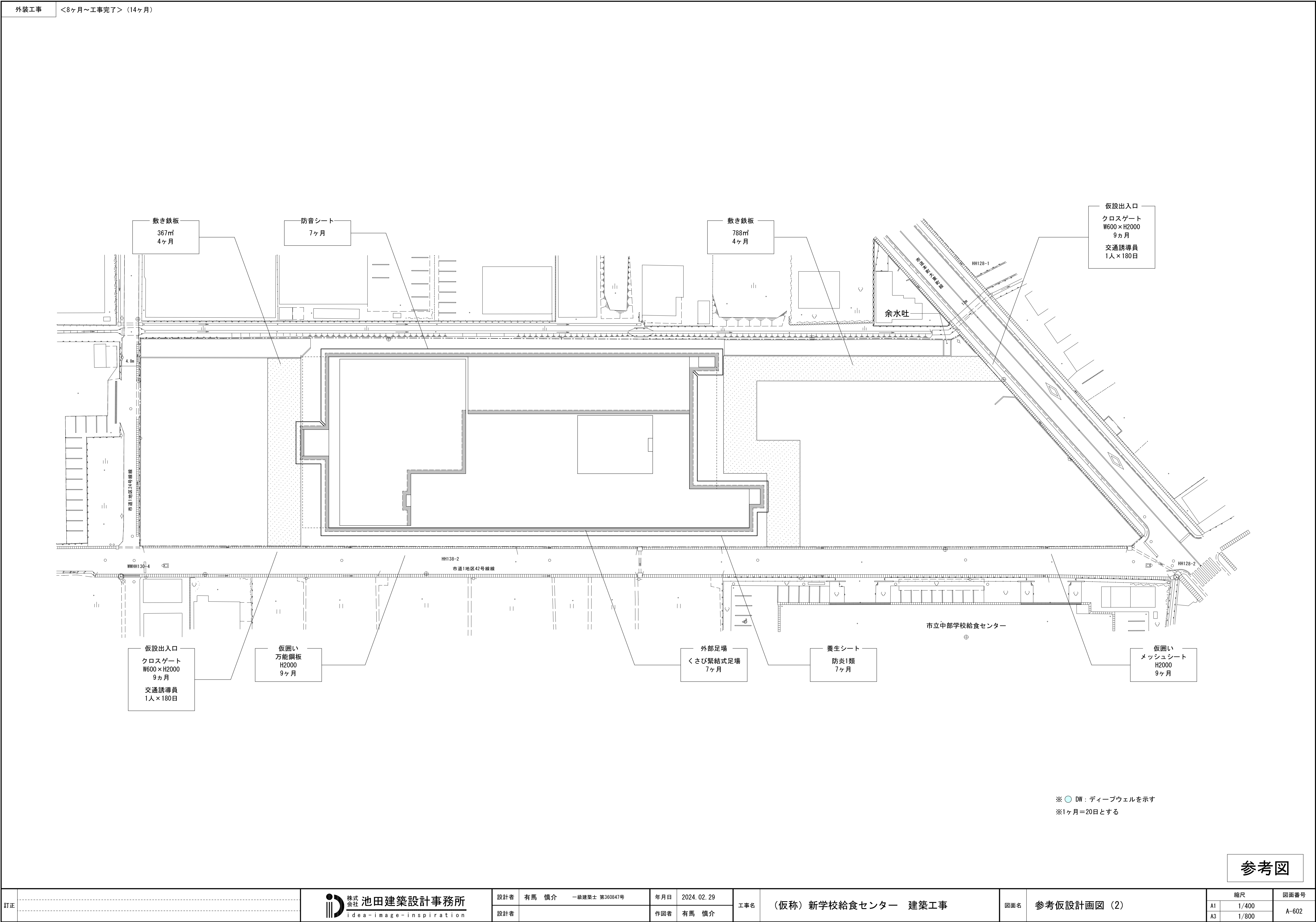
符号	a	b	c	A
1	2.27	4.04	5.47	4.0703
2	5.47	5.84	5.66	13.8258
3	5.84	5.95	2.81	8.0376
4	5.95	5.27	3.70	9.6311
5	1.08	5.93	5.27	2.3825
計				37.9473

A=37.95m2

合計 緑地面積 A=57.75+268.23+138.36+461.29+37.95=963.58m2
緑化率=963.58/11032.42=8.73%



訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	参考仮設計画図 (1)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	有馬 慎介					A1	1/400	
										A3	1/800	



注 意 事 項	
1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1)昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとする (2)昇降路の壁又は囲いは難燃材料（不燃材料、準不燃材料含む）とする (3)昇降路の壁又は囲いは5cm ² より300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とする (4)コンクリート厚は150mm以上とする (5)コンクリート基準圧縮強度は21N/cm ² 以上とする (6)昇降路壁は後施工アンカーが可能な構造とする
3	昇降路内にはエレベーターに係属のない配管、配線、ダクト、その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管、消火栓等を埋め込みしないこと
5	昇降路内には建築金物（ALCクリップ等）が突出しないこと
6	昇降路内に断熱材（ウレタン・スタイロフォーム等）を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は5℃以上40℃以下、湿度は月平均90%以下、日平均95%以下とし、水結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分、有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能に配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝播しない配置及び躯体構造（防音・防振工事等）とすること
13	エレベーターホールと風除室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げること
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由するの必要がないこと
15	電源電圧の変動は動力用土10%以内、照明用土5%以内とし、動力用の電圧不平衡率は5%以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1)弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から1m以上分離すること (2)エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3)弱電機器とのアース線共用は避けること (4)エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5)漏電追跡器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事現場経路及びエレベーター材料・据付工事用機材の保管場所を無償提供いたします
19	仮設搬重機・重機（トラック・クレーン、タワークレーン等）搬入搬出用台車を無償貸与いたします
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源を無償提供いたします（容量は別途打ち合わせ）
21	必要に応じてモルタルを無償提供いたします
22	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧（オーバーホール・消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
23	かご内へ一度に搬入可能な積載は4輪台車で250kg（台車含む）以下とすること

分類	No.	工事項目	昇降路構造		建築			
			RC	S	建築	電気	設備	昇降機
昇 降 路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ビット寸法が昇降機承諾図と異なる場合は正工事 オーバーヘッド：昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合 （ただし、必要寸法を確保のこと） ビット：昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合 （防水面から確保のこと）		○	○			
	2	天井フック又はトロリー・ビーム設置工事（荷重に対し安全率5を確保のこと） （オーバーヘッド高さが4000mmを超える場合、トロリー・ビーム設置は必須のこと）		○	○			
	3	中間ビーム・セパレータ・ビーム設置・インサート埋め込み工事		○	○			
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事		○	○			
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び 立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工		○	○			
	6	フェッシャプレート取付材設置工事（フェッシャプレート本体は昇降機工事）		○	○			
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○				
	8	ビット内防水工事		○	○			
	9	ビット下を使用する場合の建築躯体処置工事		○	○			
	10	併設されたエレベーターのビットに段差がある場合の間仕切り工事		○				
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事		○	○			
	12	昇降路内建築工事仮設床用（水平養生）の金網、デッキプレート等の撤去工事		○	○			
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事		○	○			
	14	昇降路内温度が40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事		○			○	
乗 場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び 敷居取付後のモルタル充填工事		○	○			
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事 （三方枠・バックアングル・ドア・敷居、押しボタン・インジケータ・モニター等）		○	○			
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事		○	○			
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事		○	○			
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事		○	○			○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事 （排水溝・水勾配・庇等）		○	○			
電 気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事（外部より点検可能な点検口の設置を含む）		○	○			
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事 （昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く）		○		○		
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び 一次側端子への接続工事		○		○		
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事 （放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼び信号・火災信号・セキュリティ・運動信号・監視盤等）		○		○		
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給		○		○		
	6	ビット内点検用コンセントの設置工事（単独回路）		○		○		
そ の 他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業		○	○			
	2	エレベーター工事着手後の昇降路内への浸水防止工事・出入口先行着工時の止水工事		○	○			
	3	居室側防音及び防振工事		○	○			
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事		○	○			
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事		○	○			
	6	その他建築・電気・設備に関する工事		○	○	○	○	

【エレベーター遠隔監視メンテナンス】

- ※ このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。
- ※ 遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
- ※ 上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

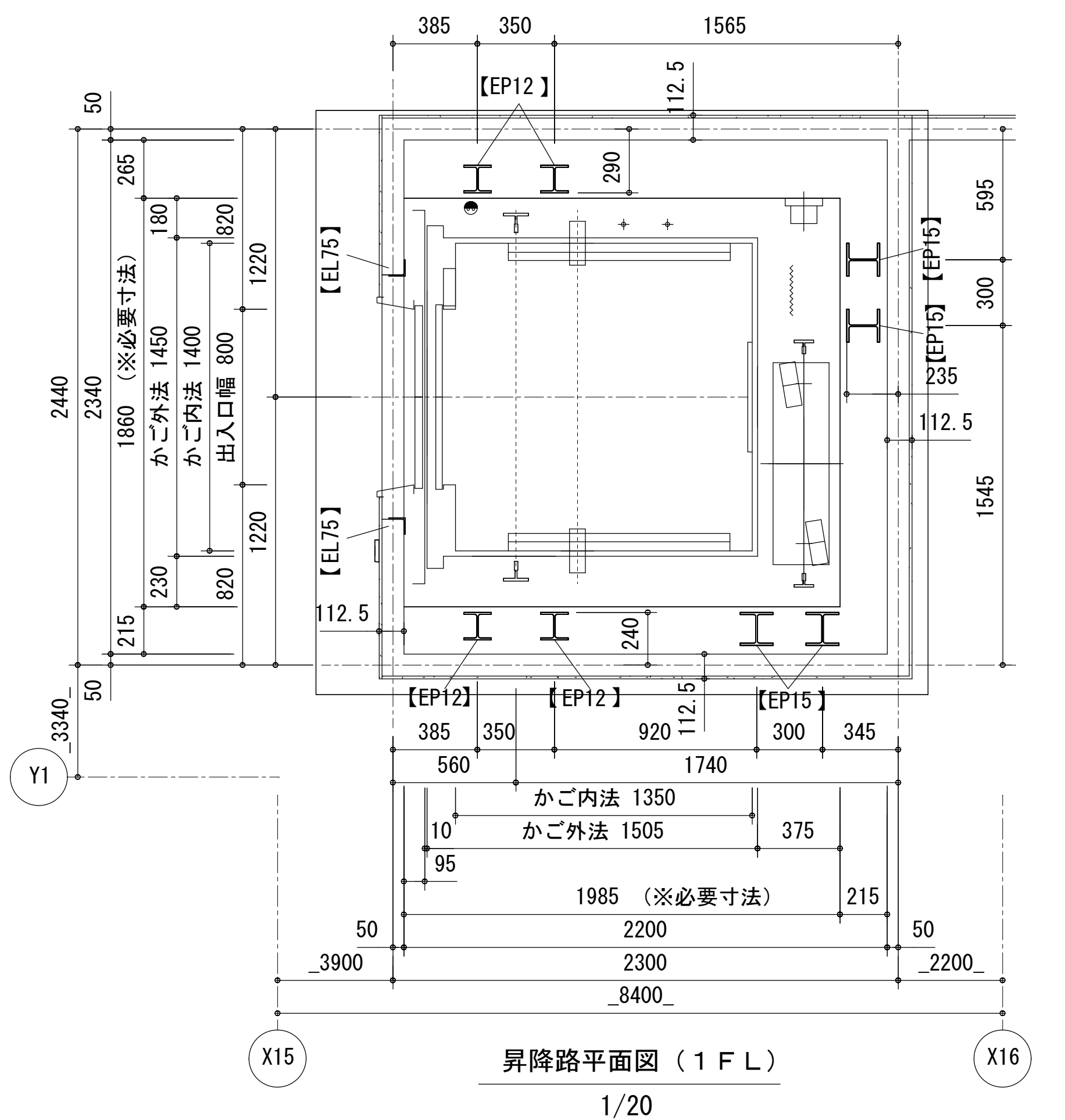
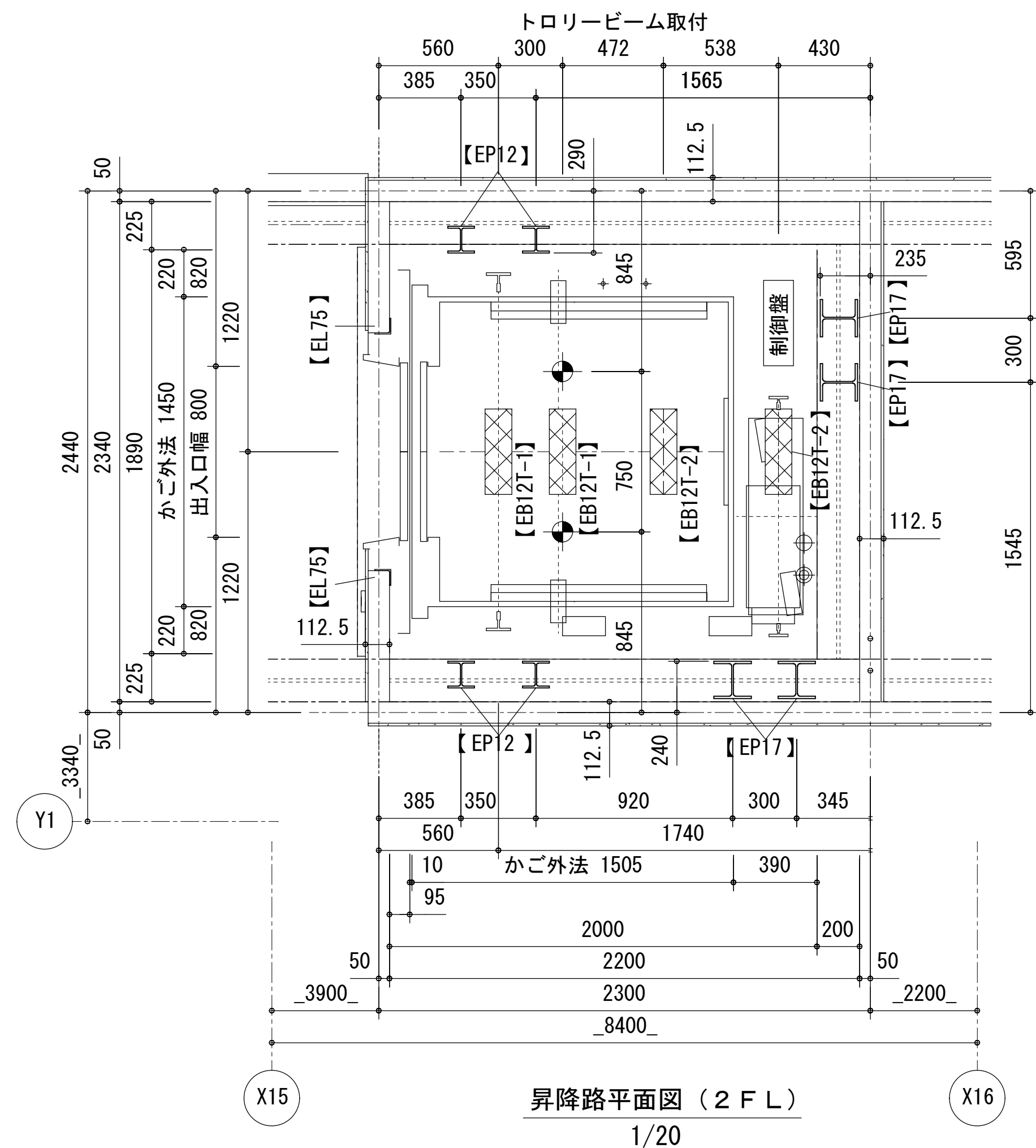
No. 1		
遮煙のりばドア (Smokeproof)		
適用階	1,2FL	認定番号 CAS-1074(2)

電源設備			
号機名		No. 1	
電源設備容量	動力	200 V	4 kVA
	照明	100 V	1.5 kVA
最大電流		21.3 A	
動力線サイズ (mm ²)		5.5	14
最大引き込距離 (m)		76	205
建屋側 MCCB		30 A	
接地線最小サイズ		2 mm ²	
インターホン用配線		φ 0.9 × 10 本	
電話用配管・配線		φ 19 配管・電話線 1 P	
ビットコンセント容量		1 kVA/台	

エレベーター仕様				
概略仕様	号機名(台数)		No. 1 (1台)	
	用途(形式)		乗用 (SP11-CO45) 車いす仕様	
	積載量(定員)		750 kg (11人)	
	速度		45 m/min	
	制御方式		交流インバータ制御方式(回生無)	
	操作方式		乗合全自動方式	
	停止ヶ所・出入口方向		(12FL) 2ヶ所 1方向	
	かご内法(Wx Dx H)		1400 mm X 1350 mmX 2300 mm	
	出入口寸法(Wx H)		800 mm X 2100 mm	
	ドア方式		2枚戸中央開き(電動式)	
	電動機出力		AC-3.5 kW (ギヤレス)	
	電源	動力	三相3線 200 V 60 Hz	
		照明	単相 100 V 60 Hz	
	管制運転	地震時	有(P波+S波感知器(3段検知)リスタート機能付)	
		火災時	有	
		自家発時	無	
浸水時/冠水時		有 全自動形(ピット冠水時(指定階))		
停電時自動着床装置		有		
耐震クラス		A14 (地域係数 1.2)		
かご内連絡装置		24V同時通話インターホン		
基本仕様及び標準準備仕様		ローラーガイド(かご、おもり) 照明・換気装置自動休止機能 2D多光輪(マルチビーム)ドアセーフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 先行階取消し機能 気配りアナウンス機能(非常時4ヶ国語対応) イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転		
乗場仕様	三方枠		全階	大枠・全傾斜 ステンレス製ヘアライン仕上
	ドア		全階	鋼板製単色塗装仕上
		遮煙	全階	有
	数居		全階	ステンレス製板曲げ
	乗場	ボタン	全階	抗菌凸矢印ボタン(S1AA認証)
	インジケータ	インジケータ	全階	デジタル階床表示式
かご仕様	ボタン	フェースプレート	全階	板曲げ ステンレス製ヘアライン仕上 (一部樹脂製)
	天井照明		[STD-11]アルミフレーム導光板LED照明	
	換気装置		ファン	
	リターンパネル		ステンレス製ヘアライン仕上	
	出入口柱		ステンレス製ヘアライン仕上	
	ドア		化粧鋼板	
	幕板		化粧鋼板	
	側板		化粧鋼板	
	幅木		化粧鋼板	
	床		ビニタイル (t2)	
	数居		ステンレス製 板曲げ	
	操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン(S1AA認証)	
インジケータ		液晶(カラーユニバーサルデザイン認証)		
フェースプレート		標準 ステンレス製ヘアライン仕上		
特記事項				
磁石式保護マット(分割形、3面、H1800mm) 床マット 荷重(ステンレス製t1.5、一体形ビス止め、H300mm) BGM スピーカー 非常呼びボタン応答灯 オートアナウンス 高調波対策 車いす仕様 乗場専用ボタン かご内専用(主・副)操作盤 かご側面手摺(アルミ製平形、2方向) かご内鍵(ステンレス製線面)				
積込み 荷重制限	荷重条件	250kg (4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む)		
	重量物の積込みは、一回当たり 荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。			
(01791113) V.20.00 (F C)				



参考図

訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	昇降機設備図(1)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	有馬 慎介					A1	-	
										A3	-	



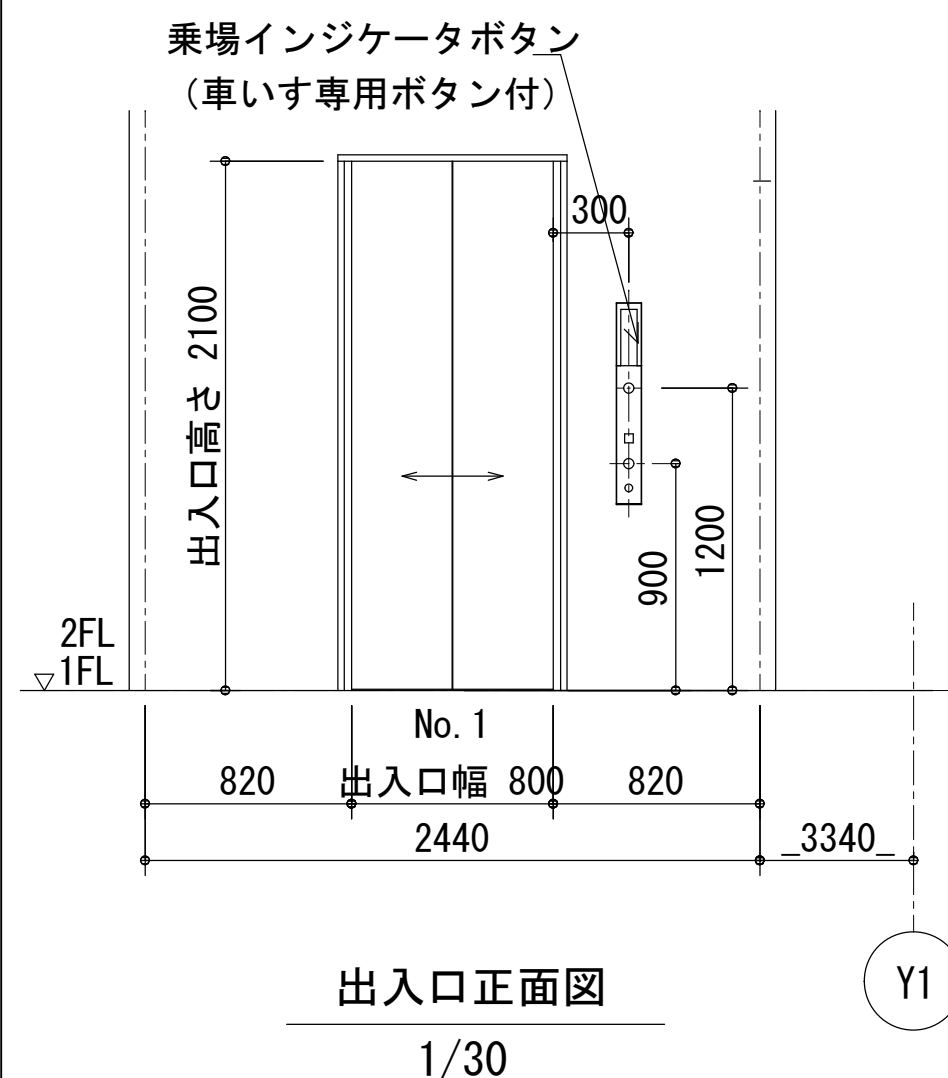
鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP17	レール支持柱	H-175x175x7.5x11
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
EL75	三方枠付材	L-75x75x6
EL65B	ハックル [®] 取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元 (荷重9.8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB12T-2	トrolley-ビーム (荷重9.8kN)	H-125x125x6.5x9
EB12T-1	トrolley-ビーム (荷重19.6kN)	H-125x125x6.5x9

⊕	吊元フック 【 EHST9 】 ・ 荷重 : 9. 8 kN	(建築工事)
⊕	電源引込み (受電盤への接続) ・ 動力 ・ 照明 ・ 接地線 最上停止階FL-1350 mm 引出長さ 3m	(電気工事)
⊕	配線引込み ・ インターホン配線、電話線 最上停止階FL-650 mm 引出長さ 3m	(電気工事)

	ピット点検用コンセント	(電気工事)
	T. C保護金網	(エレベーター工事)

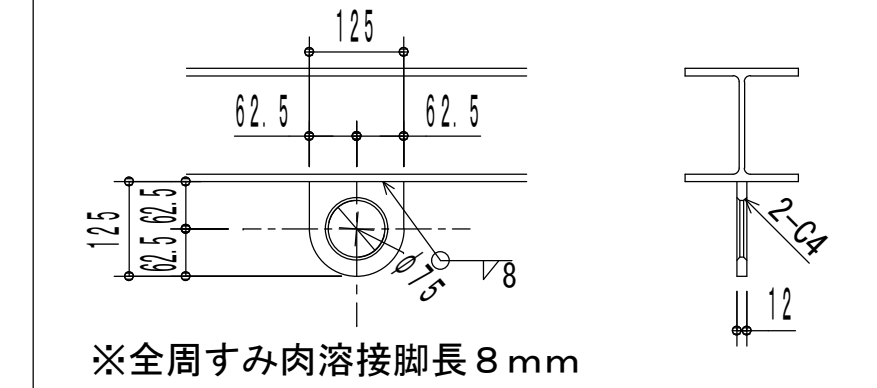
レベル反力表(地震時作用荷重)		No. 1	
	かご側 一般階	P _x	5. 10 kN
		P _y	2. 60 kN
	かご側 最上階	P _x	5. 60 kN
		P _y	3. 90 kN
	おもり側 一般階	P _x	7. 80 kN
		P _y	3. 90 kN
	おもり側 最上階	P _x	11. 80 kN
		P _y	7. 90 kN

上記 荷重による柱及び梁のたわみは
5mm以下となるよう選定下さい。



吊元フック詳細

吊元フック荷重 : 9.8kN	【EHST9】
-----------------	---------



煙感知器詳細

施錠装置付点検扉

1. 5mm 以上の鋼板製 (電気工事)
リミットスイッチ付 (エレベーター工事)

昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は
外部に引き出した状態で点検可能な構造
とする。
屋外の場合は、防水形点検扉とする。

昇降路頂部

煙感知器
(電気工事)

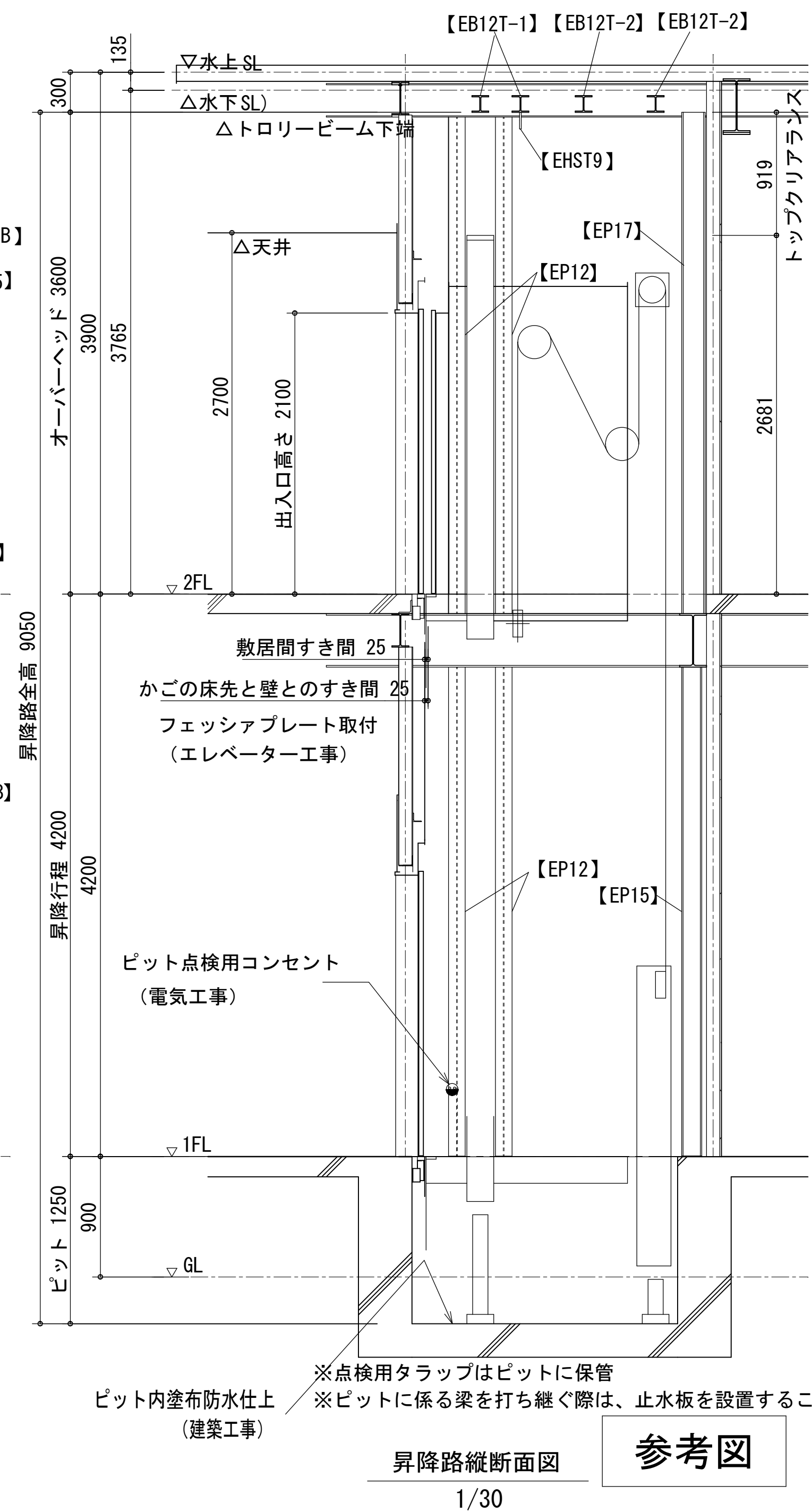
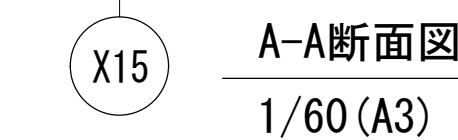
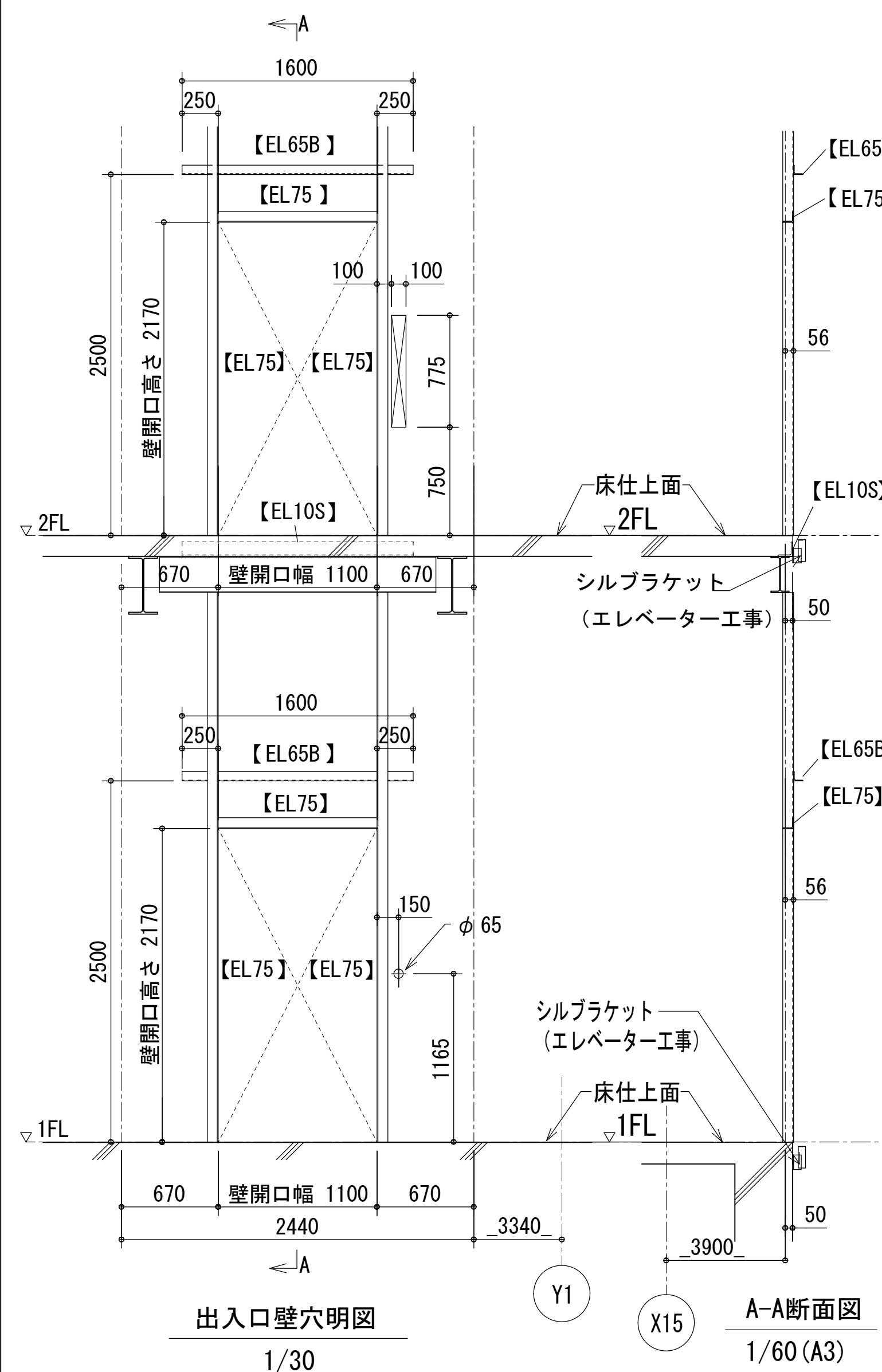
屋外の場合は、防水形点検扉とする。

点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品として下さい。

- ・ホーチキ (KUS-1C (W))
- ・能美防災 (FXS J001A-HU)
- ・ニッタン (NID-T-G)
- ・パナソニック (BV95351+BV95381H)

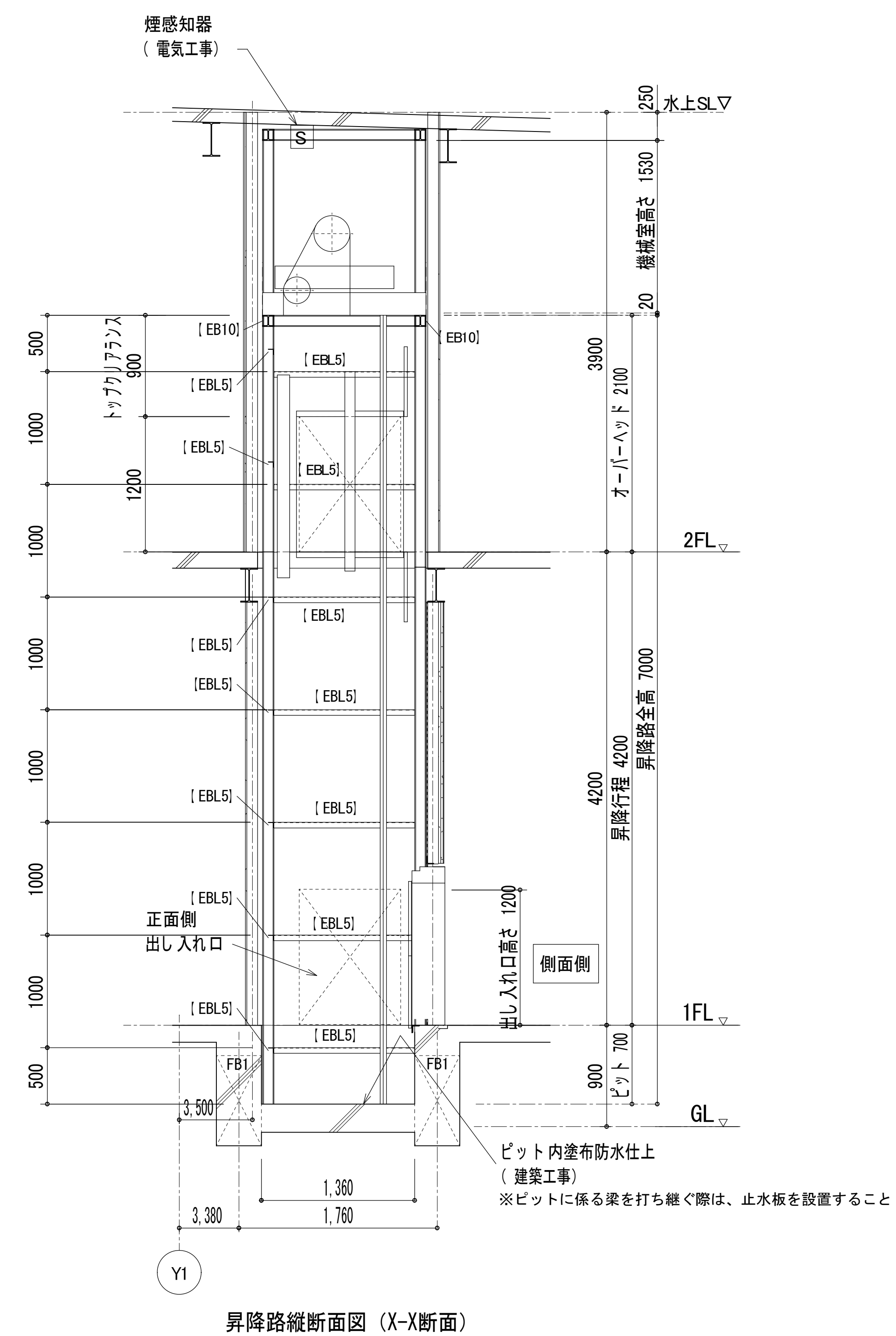
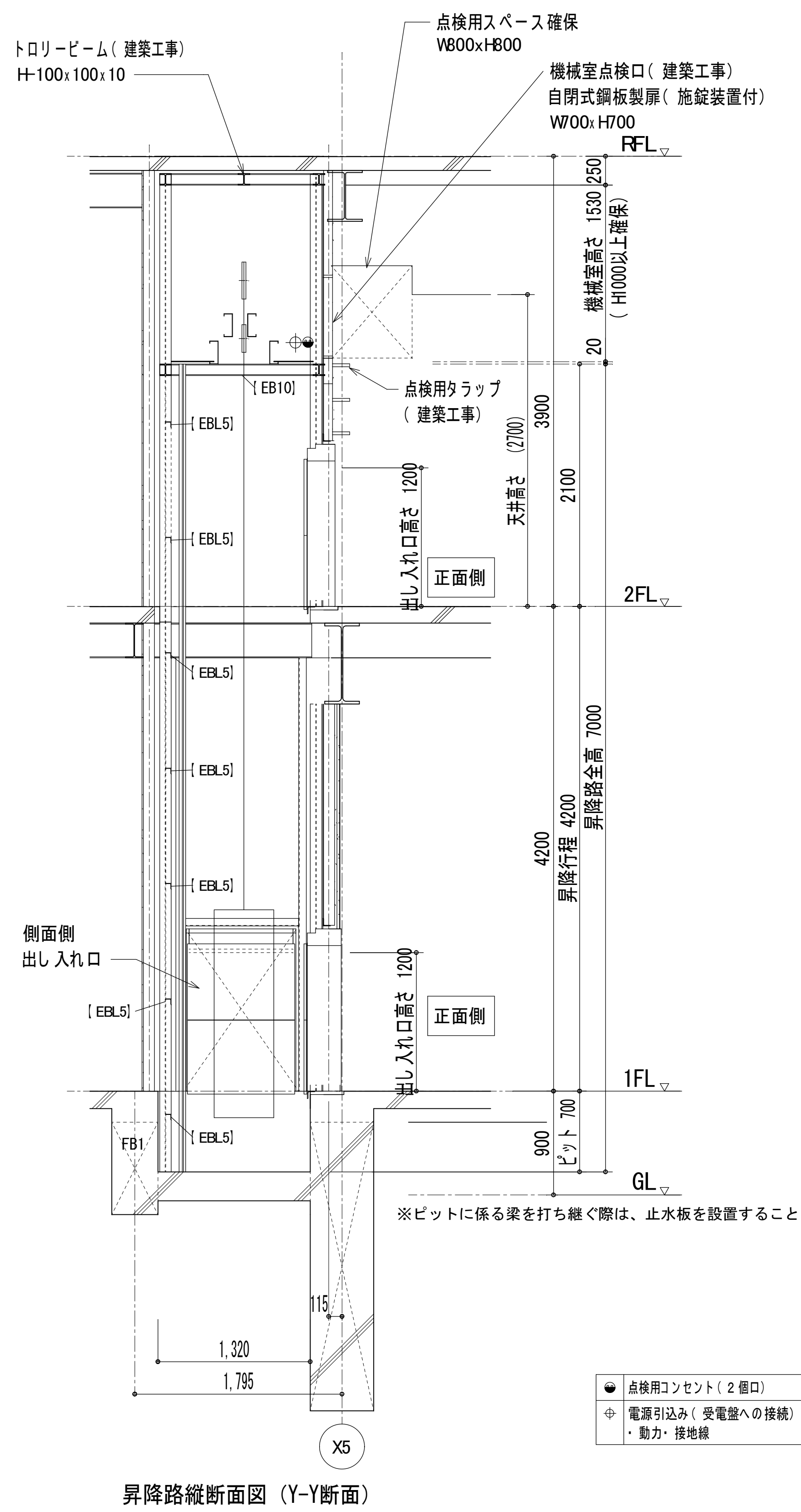
製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合があります

No. 1		
ピット反力	74.40 kN	
ピット衝撃荷重	かご側	62.80 kN
	C/W側	49.50 kN



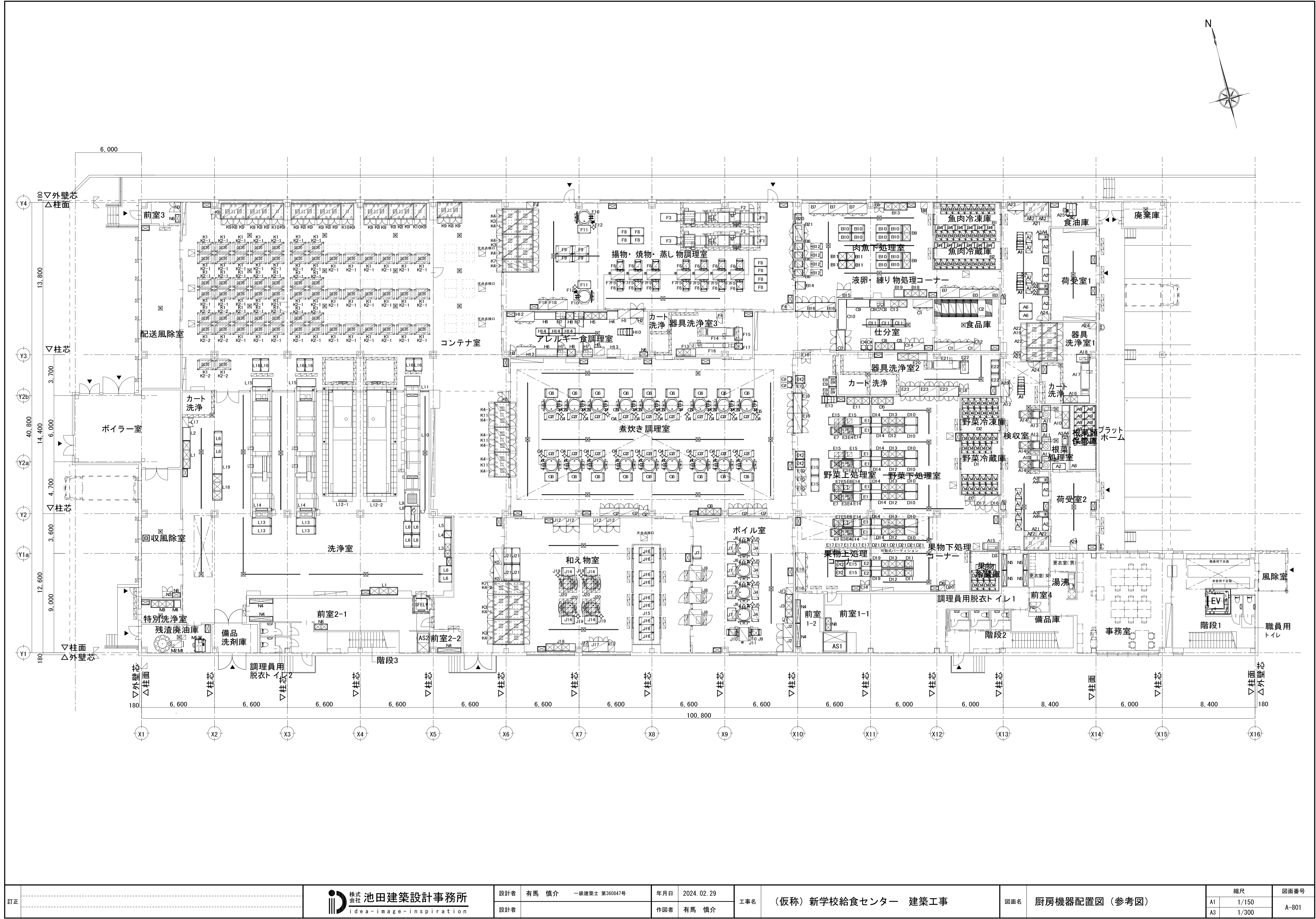
※点検用タラップはピットに保管
※ピットに係る梁を打ち継ぐ際は、止水板を設置すること

参考図



参考図

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP10	中間ビーム受柱	H-100x100x6x8
EL65	三方枠取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EBL5	中間ビーム	L-50x50x4
EB10	マシンビーム受梁	H-100x100x6x8








訂正	<div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div>	設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号 設計者	年月日 2024. 02. 29 作図者 有馬 慎介	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 厨房機器配置図 (参考図)	縮尺		図面番号 A-801
						A1	1/150	
						A3	1/300	

No.	品名	寸法			数量	型式	給水	給湯	排水	蒸気			ガス(13A)		電気(60Hz)kW			フード	備考
		給気	排気	消費量						接続	消費量	1P100V	1P200V	3P200V					
															kg/H	△▽◇	kW		
		間口	奥行	高さ															
E19	バススルー冷蔵庫	1790	840	1950	2	GPD-180RMD-G改			40A-1								0.83	有効内容積:1739L 前面吸込み前面吹出し仕様	
E20	水切台付2槽シンク	2700	750	850	1	PS2-277BDB-R	15A-2	15A-2	40A-2										
E21	器具洗浄機	3000	800	1730	1	WAE2-3NHS特	15A-1		床50A-1	20A-1		150					4.59	要 蒸気式 能力:8500枚/h(食器φ150)490個/h(食缶φ325)	
E22	移動台	1200	750	800	3	TK-127MDVB													
E23	器具消毒保管機	1750	950	1860	3	EWK-2005特											13.5	棚数:3段 両面式 アンカー中打仕様	
F	揚物・焼物・蒸し物調理室																		
F1	移動台	1200	900	850	2	TK-129MSDVB													
F2	連続フライヤー	7005	1695	2525	2	DSKC-53A-X	20A-1 15A-2	20A-1 15A-1	床50A-1				32A-1	196.0			3.405	ダクト ガス式 能力:4220個/h(冷凍ロッケ60g)OMC-3090WA・STC-550-X・OT-170付	
F3	移動台	1500	750	800	2	TK-157MSDB													
F4	掃除用具入れ	600	600	2000	3	DS-66C2													
F5	コンビオープン	1220	945	1720	7	ACO-302EW	15A-1		40A-1								24.6x2	要 電気式 15段x2 両面式	
F6	コンビオープン用カート	596	920	415	14	ACO-302用カート													
F7	コンビオープン用ラック	586	740	1225	14	ACO-302用ラック													
F8	移動台	1200	750	850	8	TK-127MSDB													
F9	移動式パンラック	1500	750	1000	4	PL-15702MDB												棚数:2段	
F10	蒸気回転釜	1841	1370	※850	2	SRB-360SN-D-BX	20A-1	20A-1	床	20A-1	20A-1	70						要 蒸気式 満水量:380L 低輻射仕様 ペダル式	
F11	移動台	1200	750	650	2	TK-127MSDB-S													
F12	スパテラスタンド	φ270		620	2	ST-S													
F13	水切台付2槽シンク	1800	750	850	1	PS2-187BDB-L	15A-2	15A-2	40A-2										
F14	器具洗浄機	3000	800	1730	1	WAE2-3NHS特	15A-1		床50A-1	20A-1		150					4.59	要 蒸気式 能力:8500枚/h(食器φ150)490個/h(食缶φ325)	
F15	移動台	1200	750	800	1	TK-127MDVB													
F16	ホテルパン洗浄機	3700	450	1890	1	WHC-100特	20A-1		40A-2	20A-1		120					2.7	要 処理能力:100枚/h	
F17	移動シンク	750	600	850	1	S1-76MDB													
F18	器具消毒保管機	1750	950	1920	1	EWK-2005特											13.5	棚数:3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様	
F19	器具消毒保管機	900	950	1920	1	EWK-1005特											6.75	棚数:3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様	
G	煮炊き調理室																		
G1	大型高速度ミキサー	1080	570	1162	2	MX-81D	15A-1		床								0.75	容量:32L	
G2	掃除用具入れ	900	600	2000	1	DS-96C2													
G3	移動式パンラック	1300	650	1200	18	FW-13602MDB												棚数:2段	
G4	スパテラスタンド	φ270		620	18	ST-S													
G5	蒸気回転釜	1841	1370	※850	18	SRB-360SN-D-BX	20A-1	20A-1	床	20A-1	20A-1	70						要 蒸気式 両面式 満水量:380L ペダル式	
G6	移動台	1200	800	650	18	TK-128MSDVB-S													
G7	器具消毒保管機	1750	750	1920	4	EMK-2005特											9.5	棚数:3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様	
G8	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
H	アレルギー食調理室																		
H1	戸棚(両面引違戸付)	1100	800	1950	1	DS-118W													
H2	バススルー冷凍冷蔵庫	1200	840	1950	1	GPD-122PM改			40A-2						0.655			有効内容積:冷凍室524L 冷蔵室524L 前面吸込み前面吹出し仕様	
H3	掃除用具入れ	600	600	2000	1	DS-66C2													
H4	引違戸付作業台	950	750	800	1	TKD-97PA													
H5	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
H6	作業台	1950	750	850	2	TK-197BDB			40A-1										
H7	システム調理台	900	750	1700	4	MKU-90K									1.1	4.0		MK-90K ETK-90S IHコンロ(2口)付	
H8	1槽シンク	750	750	850	2	S1-77BDB	15A-1	15A-1	40A-1										
H9	コンビオープン	920	775	1700	1	ACO-102ES	15A-1		40A-1								23.1	要 電気式 棚数:10段	
H10	スタックカート	695	900	810	3	STC-20													
H12	器具消毒保管機	1750	950	1920	2	EW-2005特											13.5	アジャスト脚仕様 排気前面仕様	
H13	引違戸付作業台	1200	750	800	1	TKD-127PA													
H14	移動台	1200	750	850	3	TK-127MSDB													
J	ボイル室/和え物室																		
J1	包丁・まな板消毒保管機	550	550	1920	1	ESK-255											2.2	収容能力:包丁20本 まな板10枚 アジャスト脚仕様	
J2	器具消毒保管機	1290	950	1920	2	EWK-1505特											9.5	棚数:3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様	

No.	品名	寸法			数量	型式	給水	給湯	排水	蒸気			ガス(13A)		電気(60Hz)kW			フード	備考
		給気	排気	消費量						接続	消費量	1P100V	1P200V	3P200V					
															間口	奥行	高さ		
J3	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
J4	移動式パンラック	1300	650	1200	4	FW-13602MDB													棚数:2段
J5	スパテラスタンド	φ270		620	4	ST-S													
J6	蒸気回転釜	1841	1370	※850	4	SRB-360SN-D-BX	20A-1	20A-1	床	20A-1	20A-1	70						要	蒸気式 両面式 満水量:380L ペダル式
J7	移動台	1200	800	650	5	TK-128MSDVB-S													
J8	真空冷却機	1420	1315	2005	3	CM-60EW	25A-1		40A-5	20A-1		36					2.4		90℃→10℃(約23分) 60kg/バッチ 別途メーカーフロー図参照のこと
J9	コンビオープン	1220	945	1720	1	ACO-302EW	15A-1		40A-1								24.6x2	要	電気式 15段x2 両面式
J10	コンビオープン用カート	596	920	415	2	ACO-302用カート													
J11	コンビオープン用ラック	586	740	1225	2	ACO-302用ラック													
J12	冷凍庫	1200	800	1950	4	GRD-124FX-X改			40A-1						0.567				有効内容積:1082L 前面吸込み前面吹出し仕様
J13	掃除用具入れ	600	600	2000	2	DS-66C2													
J14	移動台	1200	800	650	4	TK-128MSDVB-S													
J15	ブレハブ冷蔵庫	2400	9000	2500	1	カートイン式			40A-1						1.5		2.1x2 +3.45x2		電源:室内機/室外機へ
J16	移動式パンラック	1350	700	1200	9	FW-13702MDB													棚数:2段
J17	器具消毒保管機	1750	950	1920	1	EWK-2005特											13.5		棚数:3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様
J18	水切台付3槽シンク	2700	750	850	1	PS3-277BDB-L	15A-3	15A-3	40A-3										
J19	スパテラスタンド	φ270		620	4	ST-S													
J20	ステンレス製回転釜	1620	1260	815	4	ASO-31A特			床										移動式 満水量:200L 蓋回転
J21	移動台	1500	750	850	4	TK-157MDVB													
J22	包丁・まな板消毒保管機	550	550	1920	1	ESK-255											2.2		収容能力:包丁20本 まな板10枚 アジャスト脚仕様
K	コンテナ室																		
K1	電気式 天吊りコンテナ消毒装置	1100	800	1200	62	ECS-105N											12.775		
K2-1	配送用コンテナ	1422	872	1680	56	SCS-60C特													混載用5クラス収容
K2-2	配送用コンテナ	1422	872	1660	6	SCS-60C特													トレー用21クラス収容
K3	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	2260	2820	2150	4	TEW-65W特											54.0		両面式 排気前面仕様
K4-1	食缶用カート	1170	830	1691	25	TSWC-20特													棚数:2段
K4-2	食缶用カート	1170	830	1691	1	TSWC-20特													棚数:3段 果物用食缶蓋専用
K5	検査保存用冷凍庫	1490	800	1950	2	GRD-154FDX-F改			40A-1								0.574		有効内容積:1374L 前面吸込み前面吹出し仕様
K6	掃除用具入れ	900	600	2000	2	DS-96C2													
K7	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	1180	2820	2150	2	TEW-35W特												27.0	両面式 排気前面仕様
K8	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	2260	1450	2150	7	TEW-65												27.0	
K9	食器用カート	1170	830	1691	17	TSWC-50特													棚数:5段
K10	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	1180	1450	2150	3	TEW-35												13.5	
K11	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	2260	1450	2150	3	TEW-65特												27.0	両面式 排気前面仕様
L	洗浄室																		
L1	3槽シンク	2550	750	850	2	S3-257BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
L2	作業台	1200	750	850	1	TK-127BDB			40A-1										
L3	ソイルドテーブル	1800	700	820	1		15A-2	15A-2	40A-2										
L4	ドタイプ自動食器洗浄機	600	605	1365	1	SD114E6B-LB		15A	40Ax2								11.0	要	ラック処理数:65ラック/h 必要給湯量:3.4L/min(50℃以上)
L5	クリーンテーブル	1200	700	820	1														
L6	移動台	1200	750	850	8	TK-127MDVB													
L7	残菜計量コンベヤ	1350	750	650	1	ALM-3特									0.1				
L8	ドライ式ローラーコンベヤ	1350	600	650	1	CDF-60S特													移動式
L9	粉碎流し台	1500	1395	720	1	HLA-AC15139-15W	20A-1	20A-1									3.0		洗浄用 スラリー管(VP40A) 信号線要
L10	システム食缶洗浄機	9410	1695	2140	1	WSC-65W特	50A-1		50A-17	50A-1		415						35.3	ダクト 蒸気式 排水配管直結仕様 脚:50mmUP
L11	作業台	1395	900	900	1	TK-139DB			40A-1										
L12-1	コンテナ洗浄機	10900	2190	2710(700)	1	WAC-91T特	32A-1		50A-7	50A-1		420					23.1	ダクト	蒸気式 能力:27台/h ダクト接続φ260 排水配管直結仕様 脚:50mmUP
L12-2	コンテナ洗浄機	10900	2190	2710(700)	1	WAC-91T特	32A-1		50A-7	50A-1		420					23.1	ダクト	蒸気式 能力:27台/h ダクト接続φ260 排水配管直結仕様 脚:50mmUP
L13	移動台	1800	750	850	4	TK-187MDVB													
L14	食器洗浄機	11880	2265	2300	2	WFB-131W特	40A-2		50A-16	40A-2		235						52.0	ダクト 蒸気式 排水配管直結仕様
L15	作業台	1755	750	800	2	TK-177DB			40A-1										

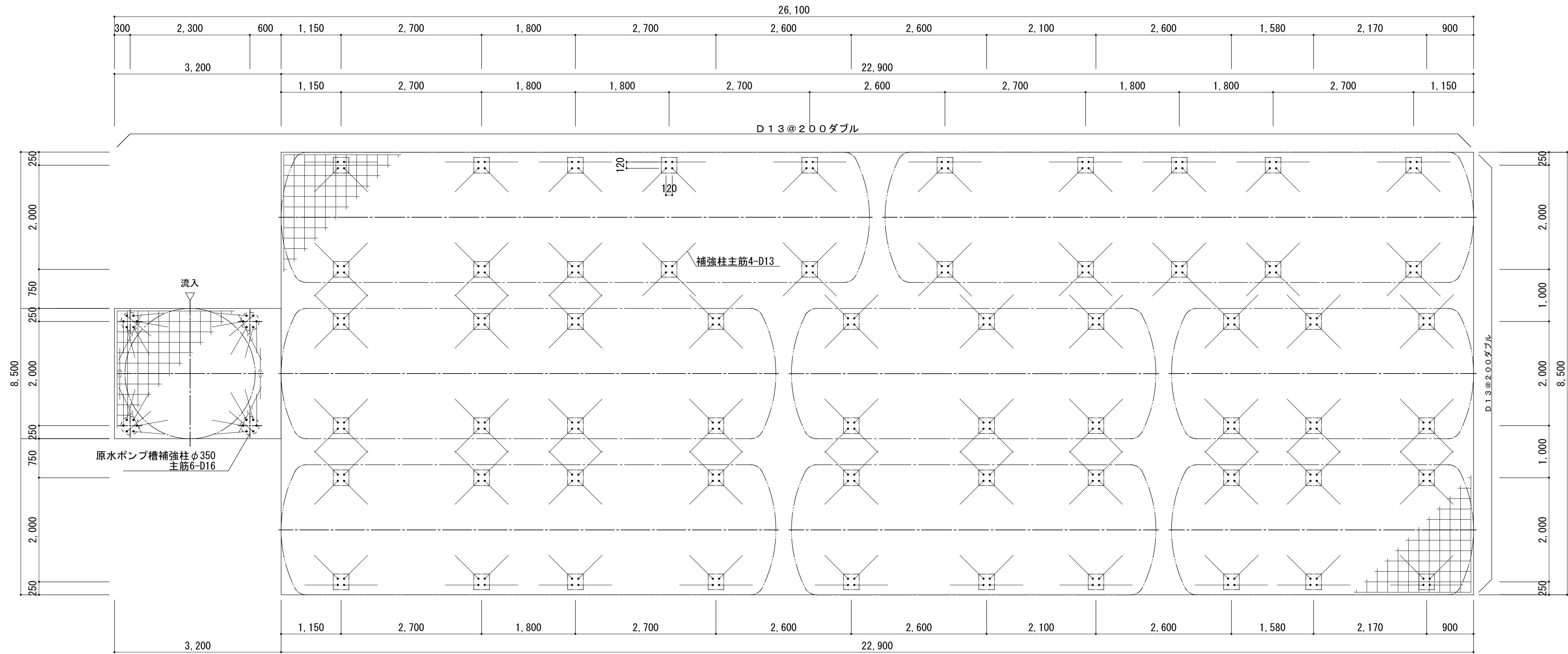
No.	品名	寸法			数量	型式	給水	給湯	排水	蒸気			ガス(13A)			電気(60Hz) kW			フード	備考
		給気	排気	消費量						接続	消費量	1P100V	1P200V	3P200V						
															kg/H	▲㊦	kW			
		間口	奥行	高さ			☒	●	㊦	☐	●	kg/H	▲㊦	kW	㊦	㊦	㊦	☒		
A	荷受室/検収室/ 器具洗浄室1/食油庫																			
A1	スタックカート	695	900	810	12	STC-20														
A2	移動台	1200	600	650	6	TK-126MSDB-S														
A3	防水形デジタル台はかり	350	605	795	6	DP-6701K														
A4	はかり用置台	850	550	900	6	L1-85SDB														
A5	チェックテーブル613	465	600	1005	2	BC256												透明アクリル天板 65φキャスター付		
A6	移動台	1200	750	850	2	TK-127MSDB														
A7	移動式パンラック	950	600	1000	8	FW-9602MDB												棚数:2段		
A8	ブレハブ冷蔵庫	2300	5800	2500	1	カートイン式			40A-1						1.5		2.1 +3.45	電源:室内機/室外機へ		
A9	移動式パンラック	950	600	1000	12	FW-9602MDB												棚数:2段		
A10	水切台付2槽シンク	2100	750	850	1	PS2-217BDB-L	15A-2	15A-2	40A-2											
A11	球根皮剥機	1250	820	1093	3	P-84D特	20A-1		床								0.75	処理能力:25〜30kg/回 出口シュート延長仕様 脚+50mm		
A12	包丁・まな板消毒保管機	550	550	1920	1	ESK-255											2.2	収容能力:包丁20本 まな板10枚 アジャスト脚仕様		
A13	野菜洗浄機	1300	780	1390	3	BW-20	32A-1		床								0.52	A型 操作面出口側		
A14	球根受け用 L型運搬車	1050	700	900	3	L1-107PDB														
A15	粉砕流し台	1500	750	720	1	HLA-AC1575 -15SV3	20A-1										3.7	下処理用 スラリー管 (VP40A) 信号線要		
A16	水切台付2槽シンク	2400	750	850	1	PS2-247BDB-L	15A-2	15A-2	40A-2											
A17	器具洗浄機	3000	800	1730	1	WAE2-3NHS特	15A-1		床 50A-1	20A-1		150					4.59	要 蒸気式		
A18	移動台	1200	750	800	1	TK-127MDVB														
A19	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	2260	2820	2150	1	TEW-65W											54.0	両面式		
A20	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	1180	2820	2150	1	TEW-35W											27.0	両面式		
A21	トラックインタイプ 電気式消毒保管機	2260	1300	2150	2	TEW-65特											27.0	奥行-150mm		
A22 -1	トラックイン用カート	1170	830	1691	6	TSWC-20												棚数:2段		
A22 -2	トラックイン用カート	1020	830	1691	4	TSWC-20特												棚数:2段 間口-150mm		
A23	検査保存用冷凍庫	1490	800	1950	2	GRD-154FDX-F			40A-1								0.574	有効内容積:1374L		
A24	掃除用具入れ	600	600	2000	4	DS-66C2														
A25	新油タンク	1190	1360	3330	1	ST-1900-XN			床								1.5	有効容量:1900L		
B	肉魚処理室/液卵・練り物 処理コーナー																			
B1	ブレハブ冷凍庫	6000	3500	2500	1	カートイン式			40A-1						1.5		3.6 +6.1	電源:室内機/室外機へ		
B2	ブレハブ冷蔵庫	6000	2500	2500	1	カートイン式			40A-1						1.5		2.1 +3.45	電源:室内機/室外機へ		
B3	冷蔵庫	1790	800	1950	2	GRD-180RX			40A-1						0.305			有効内容積:1674L		
B4	移動式パンラック	900	550	1000	41	FW-9502MDB												棚数:2段		
B5	包丁・まな板消毒保管機	900	550	1920	1	ESK-505											4.4	収容能力:包丁40本 まな板20枚 アジャスト脚仕様		
B6	ラックイン冷蔵庫	1600	1050	2195	3				40A-2								1.1	ラック収容仕様 前面吸込み前面吹き出し仕様		
B6- 1	コンビオープン用ラック	586	740	1225	4	ACO-302用ラック														
B7	器具消毒保管機	1750	950	1920	4	EWK-2005											13.5	棚数:3段 アジャスト脚仕様		
B8	掃除用具入れ	600	600	2000	1	DS-66C2														
B9	2槽シンク	1500	750	850	2	S2-157DB	15A-2	15A-2	40A-2											
B10	移動台	1200	750	850	12	TK-127MDVB														
B11	移動シンク	750	750	850	4	S1-77MDB														
B12	コンビオープン用カート	596	920	415	4	ACO-302用カート														
B13	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3											
B14	ステコン用ラック置台	941	698	445	1															
B15	器具消毒保管機	1290	750	1920	1	EMK-1505											9.5	棚数:3段 アジャスト脚仕様		
B16	バススルー冷蔵庫	1790	840	1950	2	GPD-180RMD-G改			40A-1								0.83	有効内容積:1739L 前面吸込み前面吹き出し仕様		
B18	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3											
B19	作業台	900	750	850	1	TK-97BDB			40A-1											
B20	移動台	900	600	850	1	TK-96MDVB														
B21	メトロマックスQ	1366	620	1581	1	M02454G, M063PE												棚数:4段		
C	食品庫/仕分室																			
C1	冷蔵庫	1790	800	1950	3	GRD-180RX			40A						0.305			有効内容積:1674L		

No.	品名	寸法			数量	型式	給水	給湯	排水	蒸気			ガス(13A)			電気(60Hz) kW			フード	備考
		間口	奥行	高さ								消費量	接続	消費量	1P100V	1P200V	3P200V			
												kg/H	▲㊦	kW	㊦	㊦	㊦	☒		
C2	トットトラックシステム	523																		

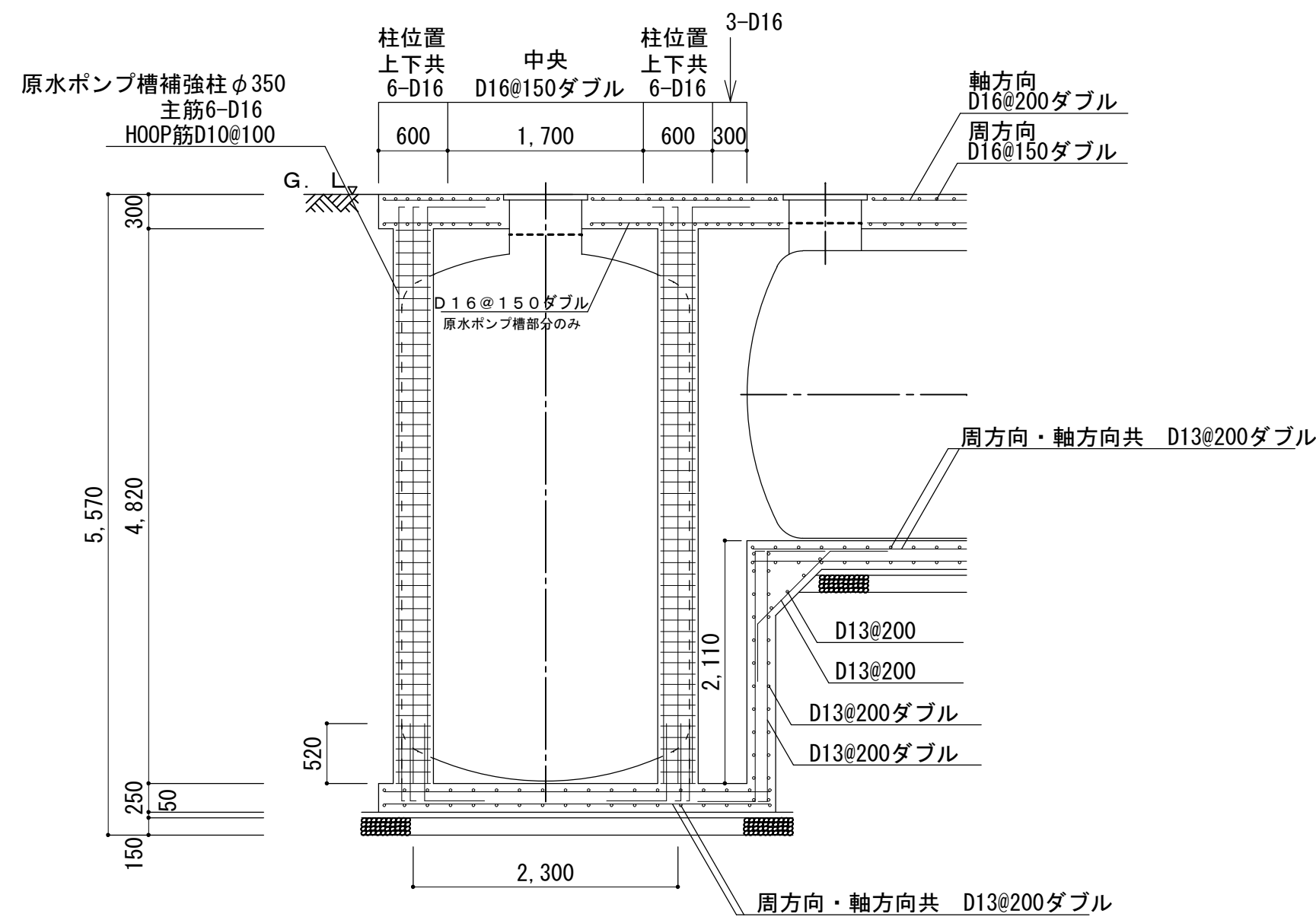
No.	品名	寸法			数量	型式	給水	給湯	排水	蒸気			ガス(13A)		電気(60Hz) kW			フード	備考
		間口	奥行	高さ						給気	排気	消費量	接続	消費量	1P100V	1P200V	3P200V		
E19	バススルー冷蔵庫	1790	840	1950	2	GPD-180RMD-G改			40A-1								0.83		有効内容積：1739L 前面吸込み前面吹出し仕様
E20	水切台付2槽シンク	2700	750	850	1	PS2-277BDB-R	15A-2	15A-2	40A-2										
E21	器具洗浄機	3000	800	1730	1	WAE2-3NHS特	15A-1		床50A-1	20A-1		150					4.59	要	蒸気式 能力：8500枚/h(食器φ150) 490個/h(食缶φ325)
E22	移動台	1200	750	800	3	TK-127MDVB													
E23	器具消毒保管機	1750	950	1860	3	EWK-2005特											13.5		棚数：3段 両面式 アンカー中打仕様
F	揚物・焼物・蒸し物調理室																		
F1	移動台	1200	900	850	2	TK-129MSDVB													
F2	連続フライヤー	7005	1695	2525	2	DSKC-53A-X	20A-1 15A-2	20A-1 15A-1	床50A-1				32A-1	196.0			3.405	ダクト	ガス式 能力：4220個/h(冷凍ロッケ60g) OMC-3090WA・STC-550-X・OT-17D付
F3	移動台	1500	750	800	2	TK-157MSDB													
F4	掃除用具入れ	600	600	2000	3	DS-66C2													
F5	コンビオープン	1220	945	1720	7	ACO-302EW	15A-1		40A-1								24.6 x2	要	電気式 15段x2 両面式
F6	コンビオープン用カート	596	920	415	14	ACO-302用カート													
F7	コンビオープン用ラック	586	740	1225	14	ACO-302用ラック													
F8	移動台	1200	750	850	8	TK-127MSDB													
F9	移動式バンラック	1500	750	1000	4	PL-15702MDB													棚数：2段
F10	蒸気回転釜	1841	1370	※850	2	SRB-360SN-D-BX	20A-1	20A-1	床	20A-1	20A-1	70						要	蒸気式 満水量：380L 低輻射仕様 ペダル式
F11	移動台	1200	750	650	2	TK-127MSDB-S													
F12	スパテラスタンド	φ270		620	2	ST-S													
F13	水切台付2槽シンク	1800	750	850	1	PS2-187BDB-L	15A-2	15A-2	40A-2										
F14	器具洗浄機	3000	800	1730	1	WAE2-3NHS特	15A-1		床50A-1	20A-1		150					4.59	要	蒸気式 能力：8500枚/h(食器φ150) 490個/h(食缶φ325)
F15	移動台	1200	750	800	1	TK-127MDVB													
F16	ホテルパン洗浄機	3700	450	1890	1	WHC-100特	20A-1		40A-2	20A-1		120					2.7	要	処理能力：100枚/h
F17	移動シンク	750	600	850	1	S1-76MDB													
F18	器具消毒保管機	1750	950	1920	1	EWK-2005特											13.5		棚数：3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様
F19	器具消毒保管機	900	950	1920	1	EWK-1005特											6.75		棚数：3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様
G	煮炊き調理室																		
G1	大型高速ミキサー	1080	570	1162	2	MX-81D	15A-1		床								0.75		容量：32L
G2	掃除用具入れ	900	600	2000	1	DS-96C2													
G3	移動式バンラック	1300	650	1200	18	FW-13602MDB													棚数：2段
G4	スパテラスタンド	φ270		620	18	ST-S													
G5	蒸気回転釜	1841	1370	※850	18	SRB-360SN-D-BX	20A-1	20A-1	床	20A-1	20A-1	70						要	蒸気式 両面式 満水量：380L ペダル式
G6	移動台	1200	800	650	18	TK-128MSDVB-S													
G7	器具消毒保管機	1750	750	1920	4	EMK-2005特											9.5		棚数：3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様
G8	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
H	アレルギー食調理室																		
H1	戸棚(両面引違戸付)	1100	800	1950	1	DS-118W													
H2	バススルー冷凍冷蔵庫	1200	840	1950	1	GPD-122PM改			40A-2					0.655					有効内容積：冷凍室524L 冷蔵室524L 前面吸込み前面吹出し仕様
H3	掃除用具入れ	600	600	2000	1	DS-66C2													
H4	引違戸付作業台	950	750	800	1	TKD-97PA													
H5	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
H6	作業台	1950	750	850	2	TK-197BDB			40A-1										
H7	システム調理台	900	750	1700	4	MKU-90K							1.1	4.0					MK-90K ETK-90S IHコンロ(2口)付
H8	1槽シンク	750	750	850	2	S1-77BDB	15A-1	15A-1	40A-1										
H9	コンビオープン	920	775	1700	1	ACO-102ES	15A-1		40A-1								23.1	要	電気式 棚数：10段
H10	スタックカート	695	900	810	3	STC-20													
H12	器具消毒保管機	1750	950	1920	2	EW-2005特											13.5		アジャスト脚仕様 排気前面仕様
H13	引違戸付作業台	1200	750	800	1	TKD-127PA													
H14	移動台	1200	750	850	3	TK-127MSDB													
J	ボイル室/和え物室																		
J1	包丁・まな板消毒保管機	550	550	1920	1	ESK-255											2.2		収容能力：包丁20本 まな板10枚 アジャスト脚仕様
J2	器具消毒保管機	1290	950	1920	2	EWK-1505特											9.5		棚数：3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様

No.	品名	寸法			数量	型式	給水	給湯	排水	蒸気			ガス（13A）		電気（60Hz）kW			フード	備考
		間口	奥行	高さ						給気	排気	消費量	接続	消費量	1P100V	1P200V	3P200V		
J3	3槽シンク	2100	750	850	1	S3-217BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
J4	移動式パンラック	1300	650	1200	4	FW-13602MDB												棚数:2段	
J5	スパテラスタンド	φ270		620	4	ST-S													
J6	蒸気回転釜	1841	1370	※850	4	SRB-360SN-D-BX	20A-1	20A-1	床	20A-1	20A-1	70					要	蒸気式 両面式 満水量:380L ベダル式	
J7	移動台	1200	800	650	5	TK-128MSDVB-S													
J8	真空冷却機	1420	1315	2005	3	CM-60EW	25A-1		40A-5	20A-1		36				2.4		90℃→10℃(約23分) 60kg/バッチ 別途メーカーフロー図参照のこと	
J9	コンビオープン	1220	945	1720	1	AC0-302EW	15A-1		40A-1							24.6x2	要	電気式 15段x2 両面式	
J10	コンビオープン用カート	596	920	415	2	AC0-302用カート													
J11	コンビオープン用ラック	586	740	1225	2	AC0-302用ラック													
J12	冷凍庫	1200	800	1950	4	GRD-124FX-X改			40A-1					0.567				有効内容積:1082L 前面吸込み前面吹出し仕様	
J13	掃除用具入れ	600	600	2000	2	DS-66C2													
J14	移動台	1200	800	650	4	TK-128MSDVB-S													
J15	ブレハブ冷蔵庫	2400	9000	2500	1	カートイン式			40A-1					1.5		2.1x2+3.45x2		電源:室内機/室外機へ	
J16	移動式パンラック	1350	700	1200	9	FW-13702MDB												棚数:2段	
J17	器具消毒保管機	1750	950	1920	1	EWK-2005特										13.5		棚数:3段 アジャスト脚仕様 排気前面仕様	
J18	水切台付3槽シンク	2700	750	850	1	PS3-277BDB-L	15A-3	15A-3	40A-3										
J19	スパテラスタンド	φ270		620	4	ST-S													
J20	ステンレス製回転釜	1620	1260	815	4	AS0-31A特			床									移動式 満水量:200L 蓋回転	
J21	移動台	1500	750	850	4	TK-157MDVB													
J22	包丁・まな板消毒保管機	550	550	1920	1	ESK-255										2.2		収容能力:包丁20本 まな板10枚 アジャスト脚仕様	
K	コンテナ室																		
K1	電気式 天吊りコンテナ消毒装置	1100	800	1200	62	ECS-105N										12.775			
K2-1	配送用コンテナ	1422	872	1680	56	SCS-60C特												混載用5クラス収容	
K2-2	配送用コンテナ	1422	872	1660	6	SCS-60C特												トレー用21クラス収容	
K3	トラッキングタイプ 電気式消毒保管機	2260	2820	2150	4	TEW-65W特										54.0		両面式 排気前面仕様	
K4-1	食缶用カート	1170	830	1691	25	TSWC-20特												棚数:2段	
K4-2	食缶用カート	1170	830	1691	1	TSWC-20特												棚数:3段 果物用食缶蓋専用	
K5	検査保存用冷凍庫	1490	800	1950	2	GRD-154FDX-F改			40A-1						0.574			有効内容積:1374L 前面吸込み前面吹出し仕様	
K6	掃除用具入れ	900	600	2000	2	DS-96C2													
K7	トラッキングタイプ 電気式消毒保管機	1180	2820	2150	2	TEW-35W特										27.0		両面式 排気前面仕様	
K8	トラッキングタイプ 電気式消毒保管機	2260	1450	2150	7	TEW-65										27.0			
K9	食器用カート	1170	830	1691	17	TSWC-50特												棚数:5段	
K10	トラッキングタイプ 電気式消毒保管機	1180	1450	2150	3	TEW-35										13.5			
K11	トラッキングタイプ 電気式消毒保管機	2260	1450	2150	3	TEW-65特										27.0		両面式 排気前面仕様	
L	洗浄室																		
L1	3槽シンク	2550	750	850	2	S3-257BDB	15A-3	15A-3	40A-3										
L2	作業台	1200	750	850	1	TK-127BDB			40A-1										
L3	ソイルドテーブル	1800	700	820	1		15A-2	15A-2	40A-2										
L4	ドアタイプ自動食器洗浄機	600	605	1365	1	SD114E6B-LB		15A	40Ax2							11.0	要	ラック処理数:65ラック/h 必要給湯量:3.4L/min(50℃以上)	
L5	クリーンテーブル	1200	700	820	1														
L6	移動台	1200	750	850	8	TK-127MDVB													
L7	残菜計量コンベヤ	1350	750	650	1	ALM-34特								0.1					
L8	ドライ式ローラーコンベヤ	1350	600	650	1	QDF-60S特												移動式	
L9	粉砕流し台	1500	1395	720	1	HLA-AC15139-15W	20A-1	20A-1								3.0		洗浄用 スラリー管(VP40A) 信号線要	
L10	システム食缶洗浄機	9410	1695	2140	1	WSC-65W特	50A-1		50A-17	50A-1		415				35.3	ダクト	蒸気式 排水配管直結仕様 脚:50mmUP	
L11	作業台	1395	900	900	1	TK-139DB			40A-1										
L12-1	コンテナ洗浄機	10900	2190	2710(700)	1	WAC-91T特	32A-1		50A-7	50A-1		420			23.1	ダクト	蒸気式 能力:27台/h ダクト接続φ260 排水配管直結仕様 脚:50mmUP		
L12-2	コンテナ洗浄機	10900	2190	2710(700)	1	WAC-91T特	32A-1		50A-7	50A-1		420			23.1	ダクト	蒸気式 能力:27台/h ダクト接続φ260 排水配管直結仕様 脚:50mmUP		
L13	移動台	1800	750	850	4	TK-187MDVB													
L14	食器洗浄機	11880	2265	2300	2	WFB-131W特	40A-2		50A-16	40A-2		235				52.0	ダクト	蒸気式 排水配管直結仕様	
L15	作業台	1755	750	800	2	TK-177DB			40A-1										

訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	厨房機器リスト2 (参考図)	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	有馬 慎介					A1	-	
										A3	-	

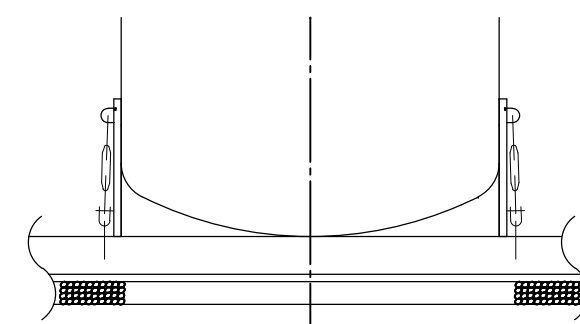


ベース配筋図 1 / 5 0

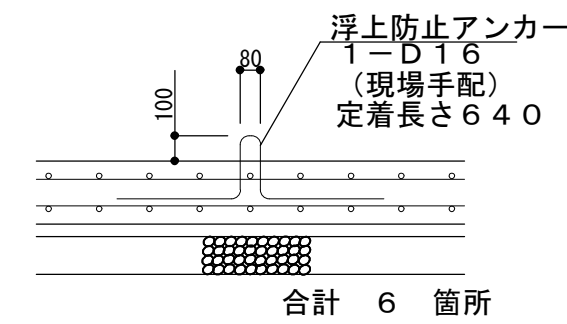


原水ポンプ槽断面配筋図 1 / 5 0

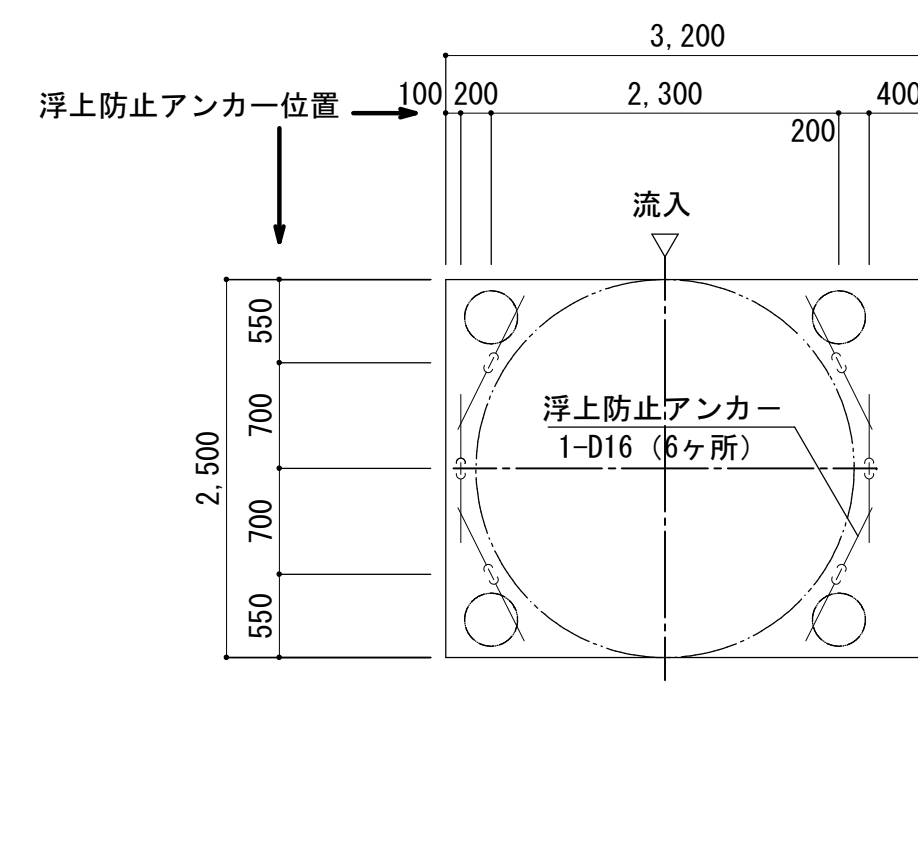
かさ上げ高さ：原水槽300mm付、横型槽200mm付
※本件は、杭基礎となりますので、躯体は建築図によります。



2500φ原水ポンプ槽
浮上防止アンカー図 1 / 5 0

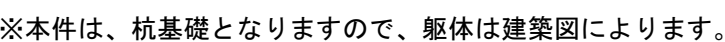
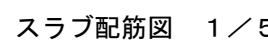


φ2500縦型原水ポンプ槽
浮上防止アンカー詳細図 1 / 3 0



浮上防止アンカー立上げ位置図 1 / 5 0

訂正	<div><div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div><div>設計者 有馬 慎介 一級建築士 第360647号</div><div>設計者 渡邊 政之</div></div>	年月日 2024. 02. 29	工事名 (仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名 厨房廃水処理槽配筋図1	縮尺		図面番号 A-901
					A1	1/50	
					A3	1/100	



訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	有馬 慎介 一級建築士 第360847号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	厨房廃水处理槽配筋図2	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	有馬 慎介					A1	1/50	
										A3	1/100	

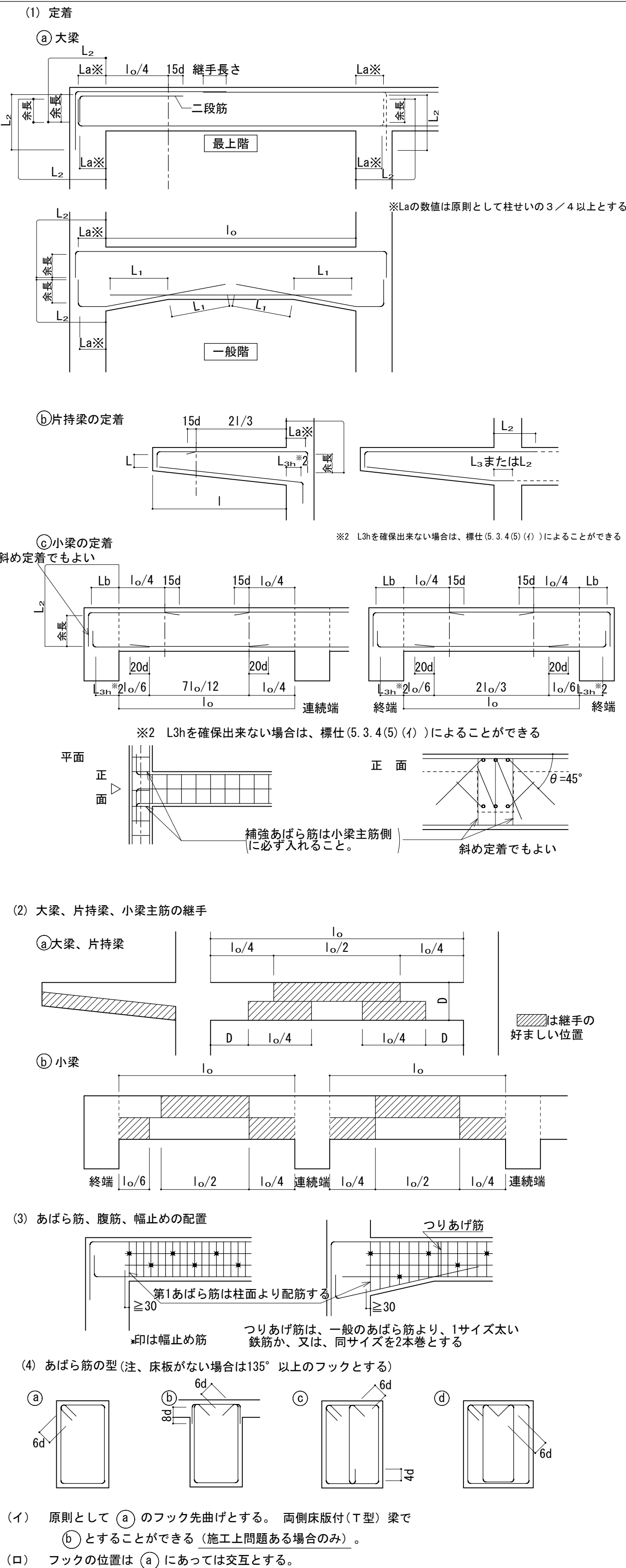
要 概 造 構

訂正		 株式会社池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	特記仕様書 1	縮尺		図面番号
	A1		—	S-001									
	A3		—										
			設計者		作図者	渡邊 政之							

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）

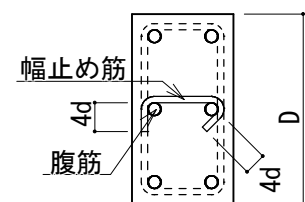
7. 大梁、小梁、片持梁

（大梁主筋定着およびカットオフ位置は設計図書の特記による。
特記のない場合は下図による。）



(5) 幅止め筋の本数、加工

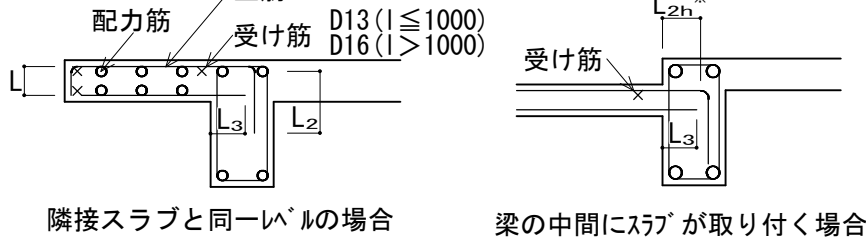
腹筋	D<600 不要 600≤D<900 2-D10 1段 900≤D<1200 4-D10 2段 1200≤D<1500 6-D10 3段 1500≤D D10φ300以内
幅止め筋	D10φ1000位内で割り付ける



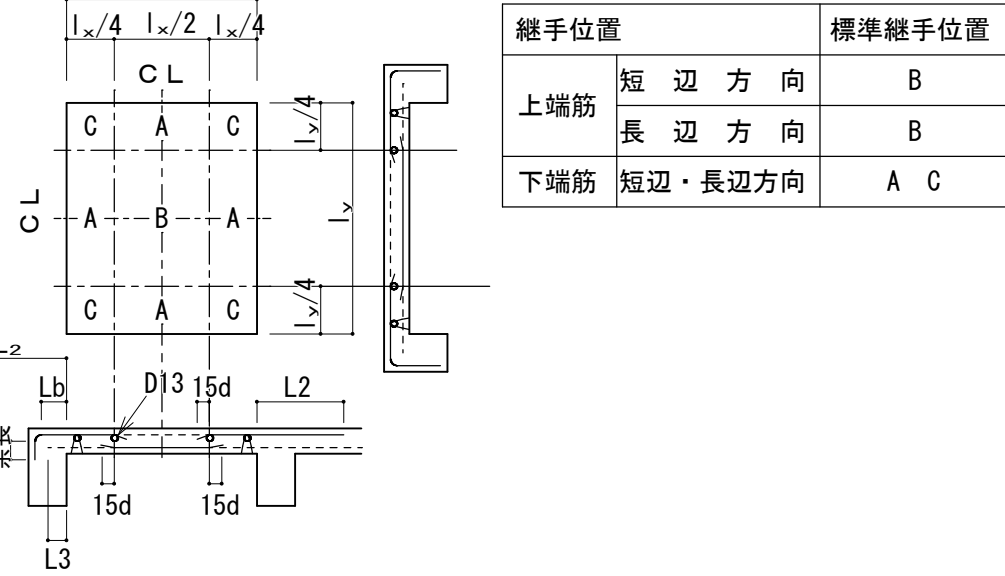
8. 床版

(1) 定着および継手

① 片持ち床スラブ



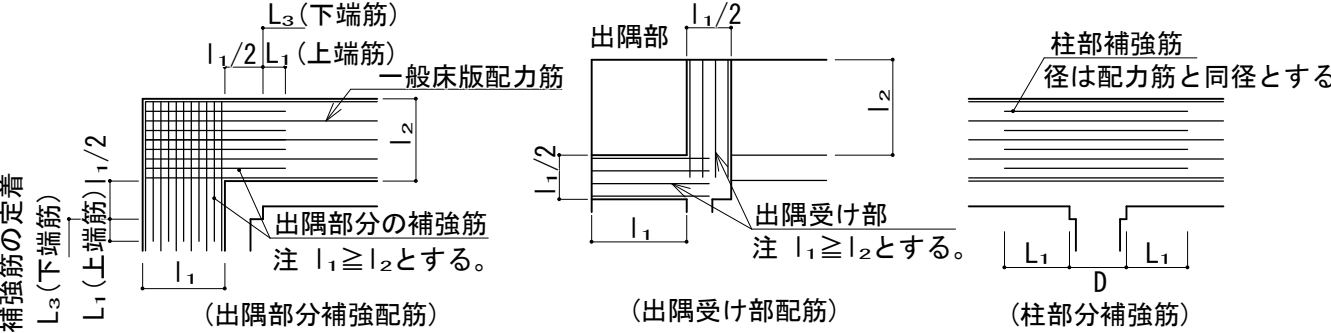
② 一般床スラブ



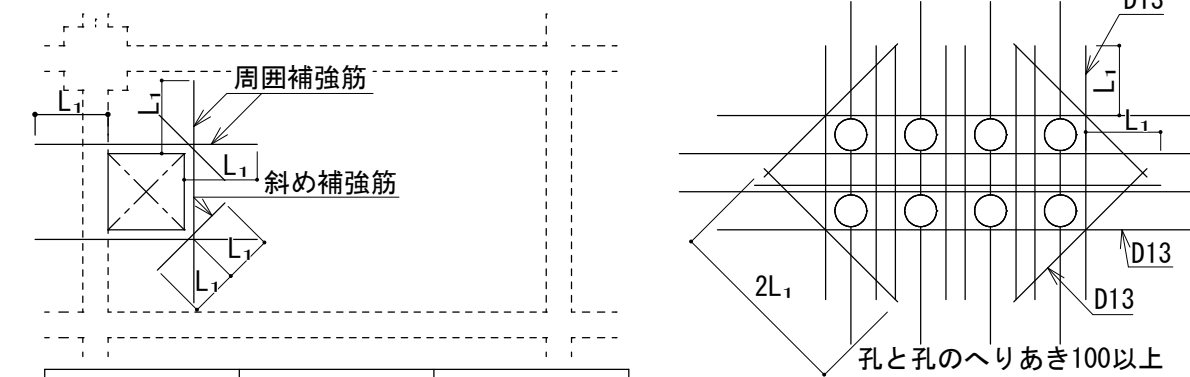
(2) 屋根スラブの補強

- ① 補強筋は各5-D10又はスラブ主筋の同一径でl=1,500とし、上端筋の下に配筋する
- ② ※の箇所(入隅)は各階補強する

(3) 片持ちスラブ出隅部補強 (補強筋は設計図書による)



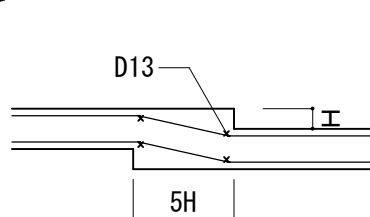
(4) 床版開口部の補強 (開口の径500程度の場合)



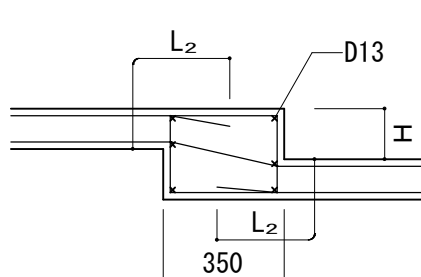
床版厚さD	周囲	斜め
D≤150	各2-D13	各1-D13
150<D≤200	各2-D13	各2-D13
200<D≤300	各2-D19	各2-D16

(5) 床版段差

① H≤70の場合

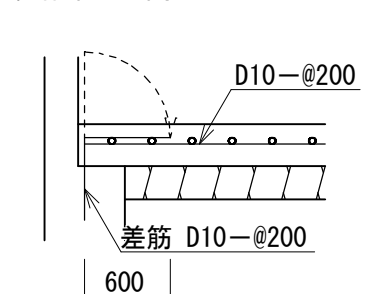


② 70<H≤150の場合

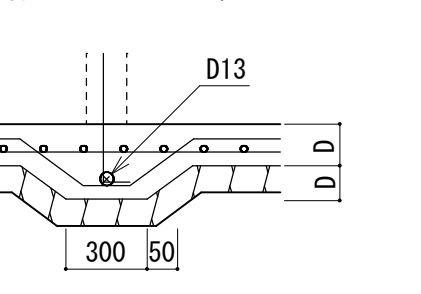


(6) 土間コンクリート

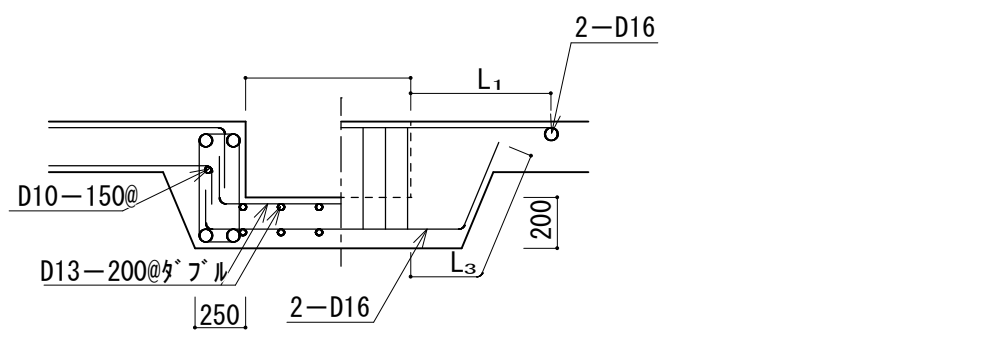
① 軽作業の土間



② 間仕切壁との交差部

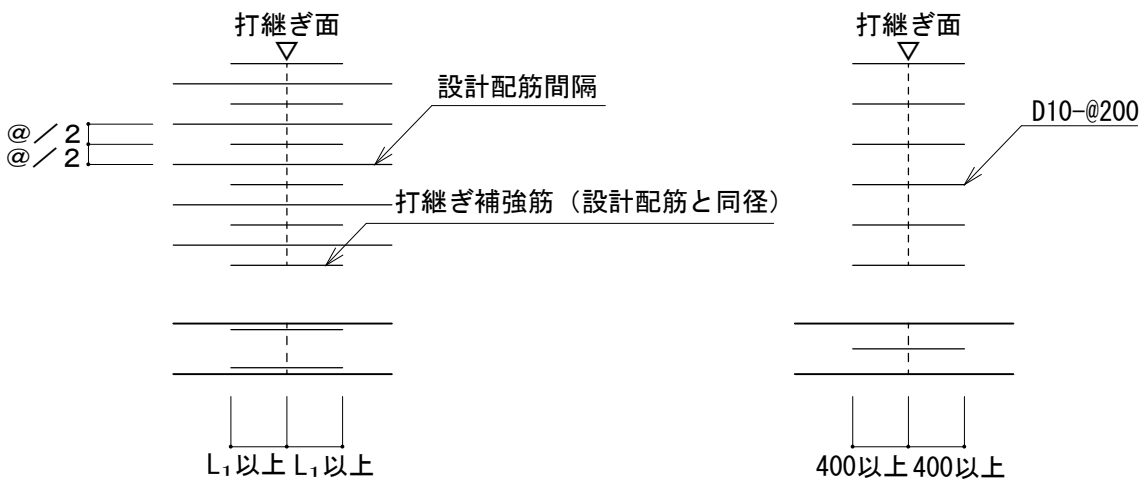


(7) 釜場



(8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継面について)

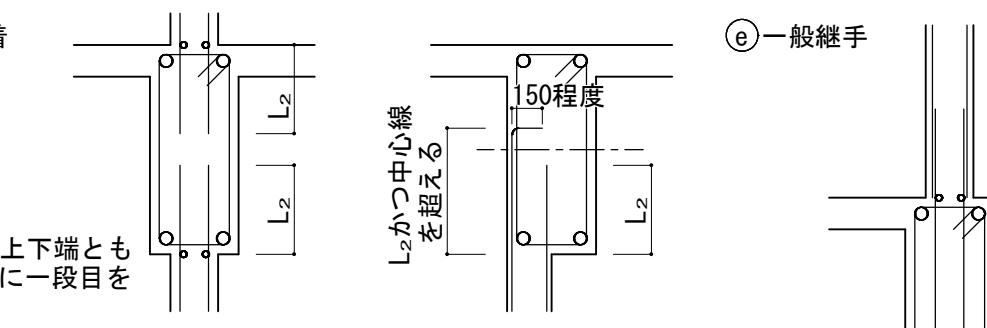
- ・設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L1以上
- ・無筋部分D10-φ200 長さ800以上



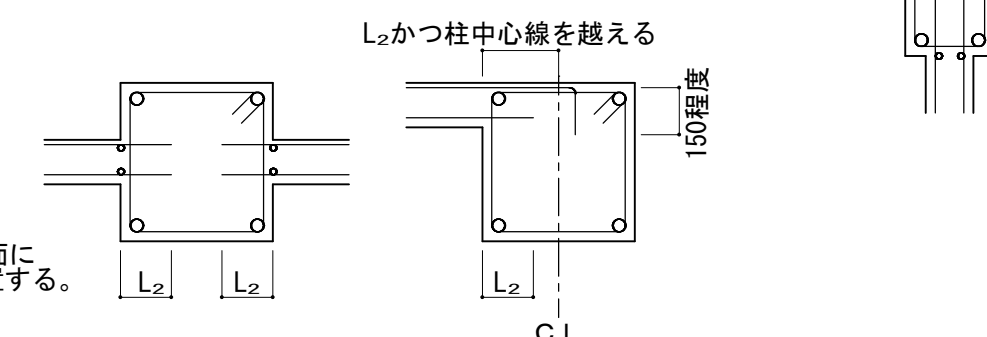
9. 壁

(1) 定着及び継手

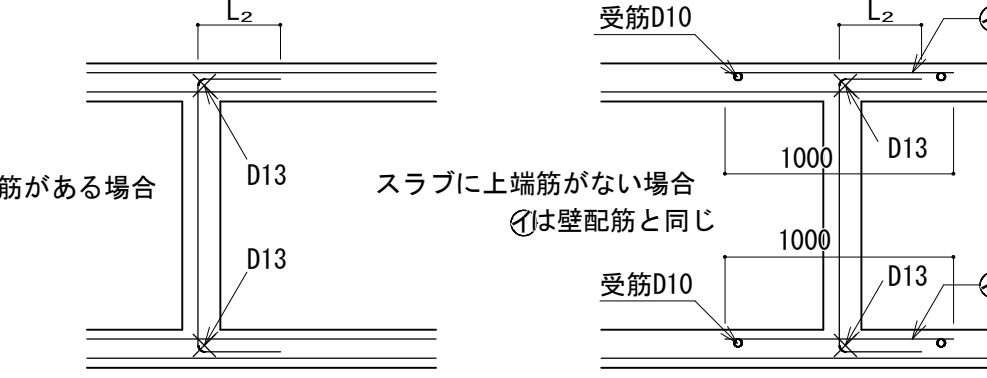
① 梁への定着



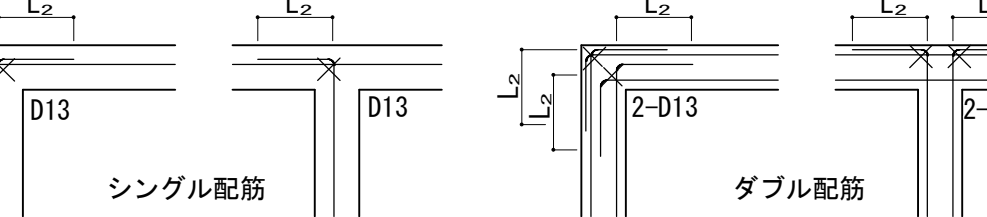
② 柱への定着



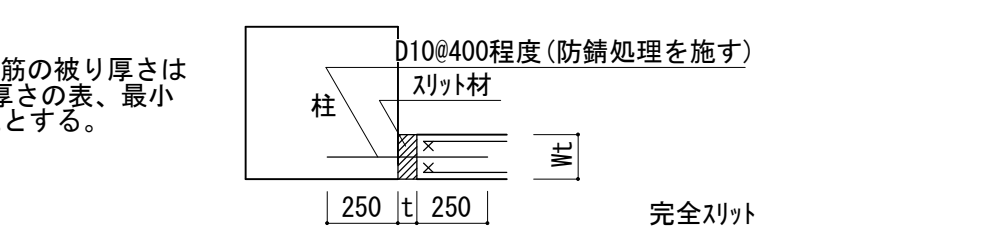
③ 床への定着 (非耐力壁とスラブが取り合う場合)



④ 壁と壁 (平面図)



(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)



10. 階段

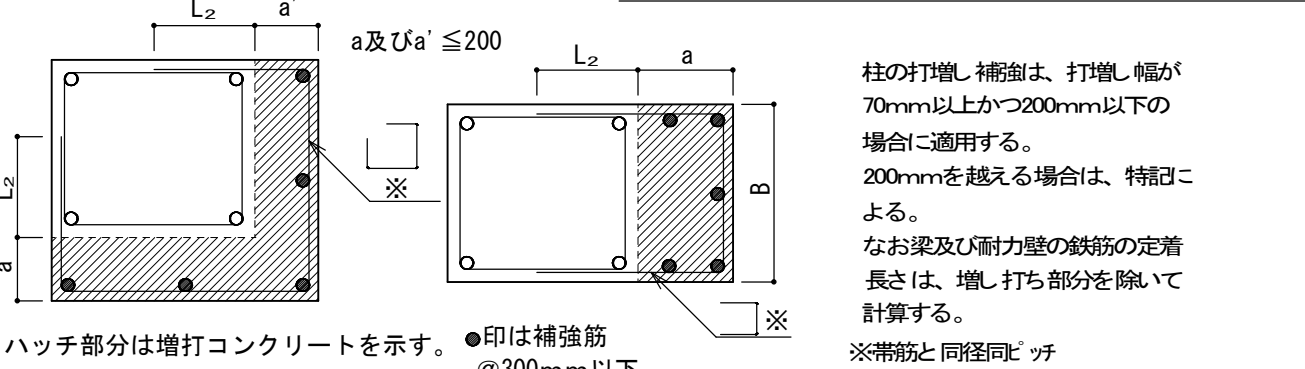
片持ちスラブ形基準配筋

配筋種別	KA 1	KA 2
配筋図		

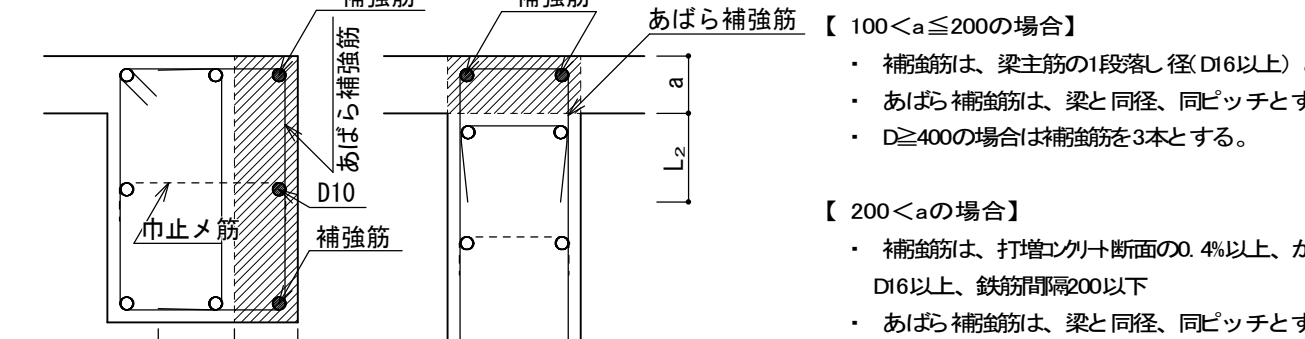
- (注) 1. 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に降ろす。
2. スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、L2とする。

11. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事監督者と打ち合わせのこと)

(1) 柱増打ち補強 (共通) ※ 補強筋断面は、構造体(梁又は柱)へ20d定着する事



(2) 梁増打ち補強

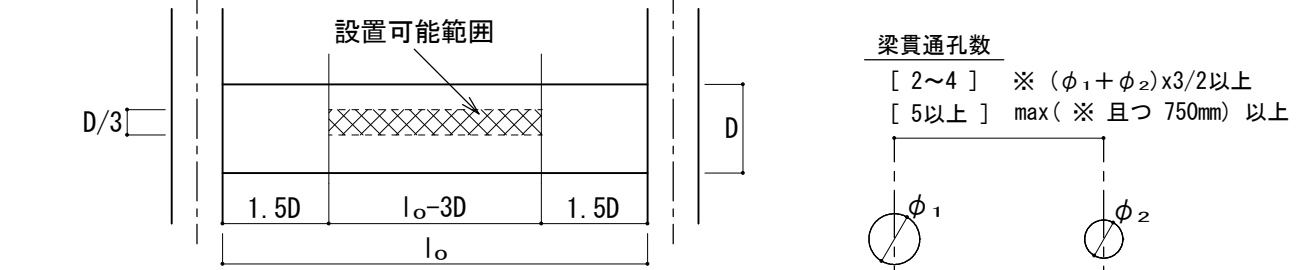


- ・梁下部増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ・ハッチ部分は増打コンクリートを示す。
- ・小梁、スラブ(上筋)、耐力壁の鉄筋の定着長さは、打増し部を除いて算定する。

12. 梁貫通孔補強

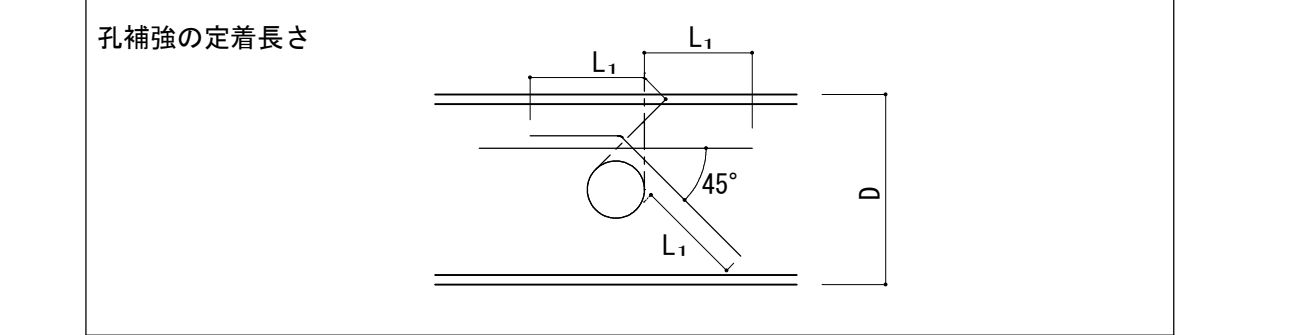
(1) 設置可能範囲

- ・孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- ・孔の上下方向の位置は梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3の範囲には設けてはならない。
- ・孔は、柱面から原則として、1.5D (Dは梁せいの) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- ・孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。



(2) 鉄筋標準配筋

- ・縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- ・補強筋は、主筋の内側とする。また、定着長さは下図による。



- ・孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- ・溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- ・溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- ・溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

(3) 既製品 (使用の場合は、設計者又は工事監督者と打合せのこと)

- (既製品の適用範囲を準拠し、承認を得ること)
- (ダイアレンNSと同等品とする)

13. 打継ぎ

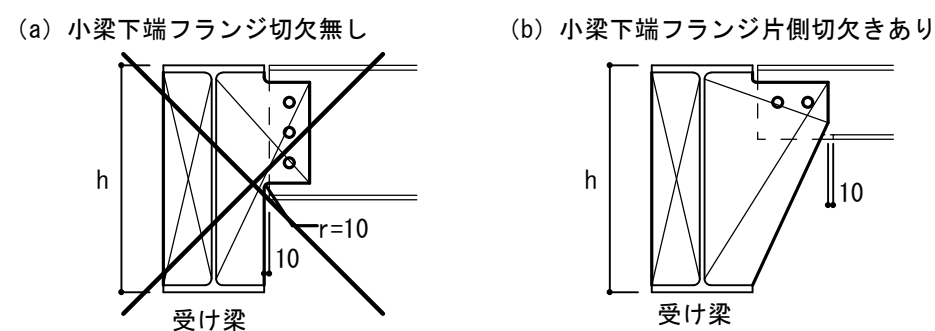
- 構造体を打ち継ぐ場合は「鉛直打継」を基本とし、打継位置は特記による。
- 打継工法は原則第三者審査証明同等を取得している工法とし、一体打ちと比較し耐力が減っている分は補強により確保する。
- 補強筋位置は、上下梁主筋軸から70mm離れた範囲内とする。
- 補強筋長さは L1とする。

鉄骨構造標準図 (2)

鉄骨構造標準図(2)は、各部の望ましいと考えられる納まり案を示した参考図です。★マークは重要項目を示す。

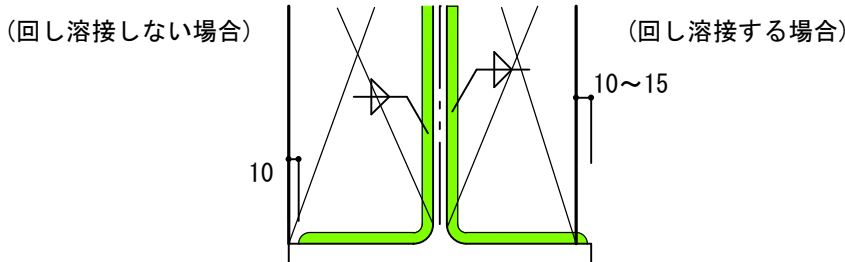
4. 小梁接合部

(1) ガセットプレートの形状 ★



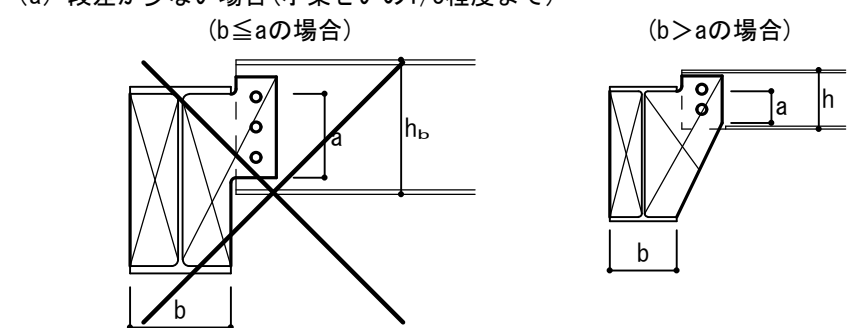
- ・(b)タイプの形状を標準とし、接合ボルト配列や受け梁と小梁の段差等によって無理な形状となる場合に(a)タイプを採用する。
- ・接合ボルトの仕様は特記による。
- ・ガセットプレート厚さは9mm以上かつ小梁のウェブ厚さ以上とする。
- ・ガセットプレート、スチフナープレートの鋼材は母材同等以上の強度のものとする。

(2) ガセットプレート、バックスチフナープレートの溶接 ★

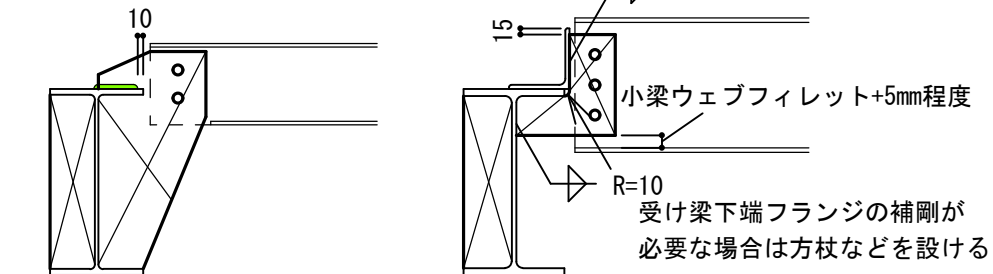
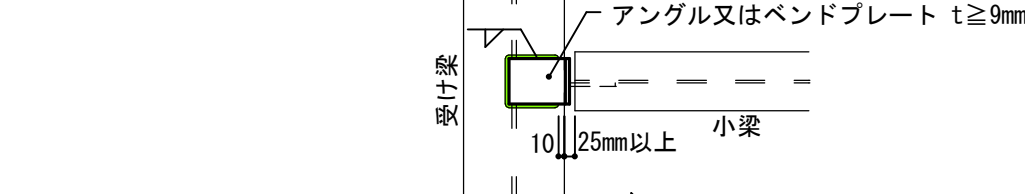


- ・いずれの場合も受け梁フランジ面の溶接終端は外端部に置かず、スイッチバックしてクレーター処理する事。

(3) 受け梁よりも小梁の方が高い位置になる場合 ★

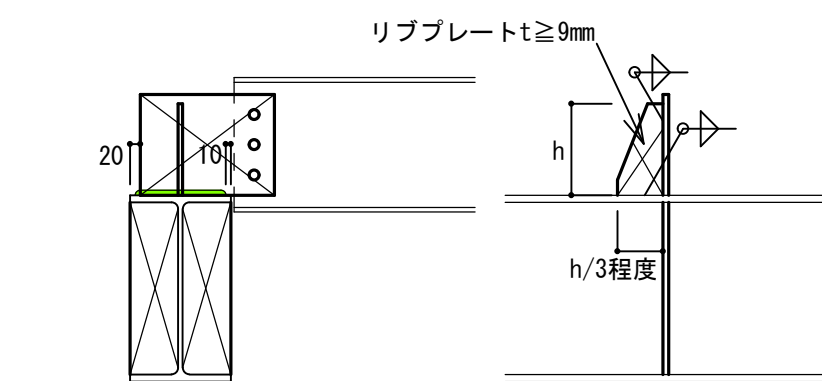


(b) 段差が大きい場合



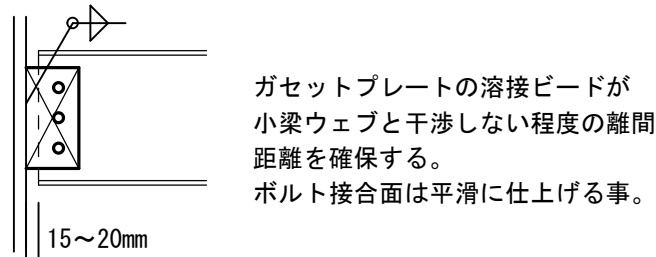
(フランジ上下面に溶接する場合)

(補強材で振れ止めする場合)

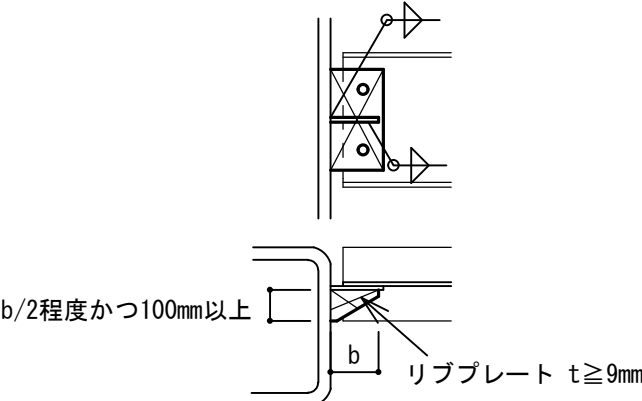


(受け梁上に取り付ける場合)

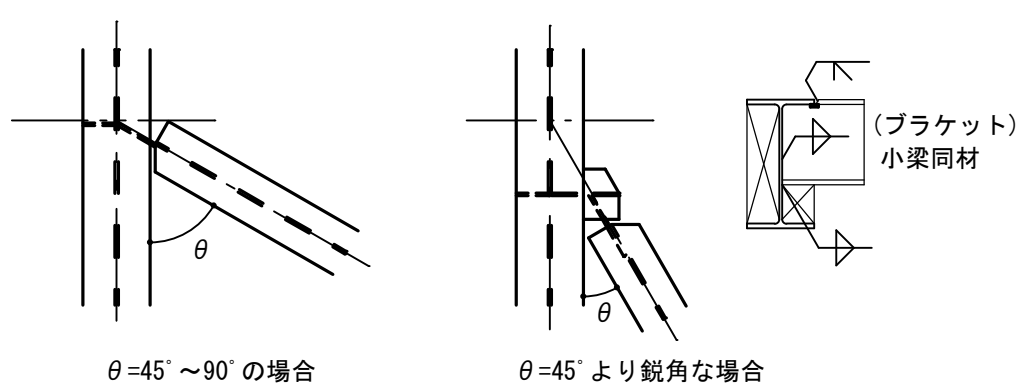
(4) 柱面など、直交する部材面に取合う場合



(5) 小梁の横方向にも荷重を受ける場合

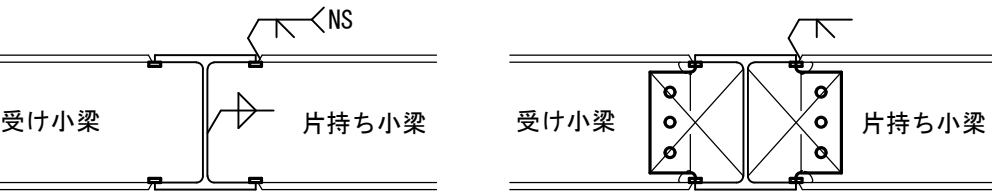


(6) 小梁が受け梁に対して鋭角に取合う場合

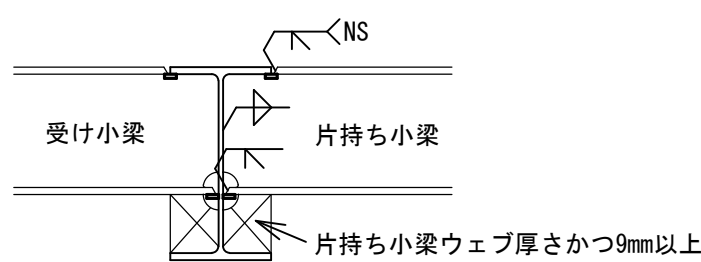


5. 片持ち小梁の接合部

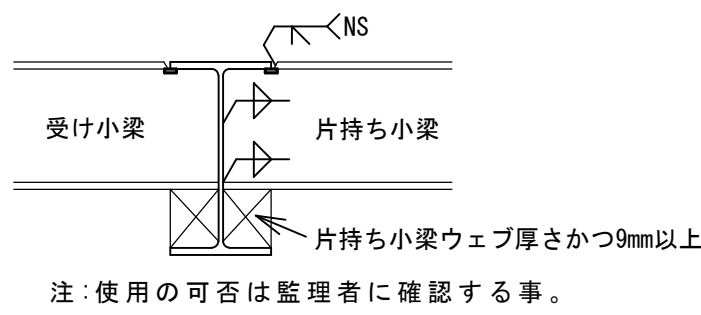
(1) 片持ち小梁と受け梁のサイズが同じ場合



(2) 片持ち小梁よりも受け梁の方が大きい場合



(3) 片持ち小梁下端フランジに生じる引張力が小さい軽微な片持ち小梁の場合

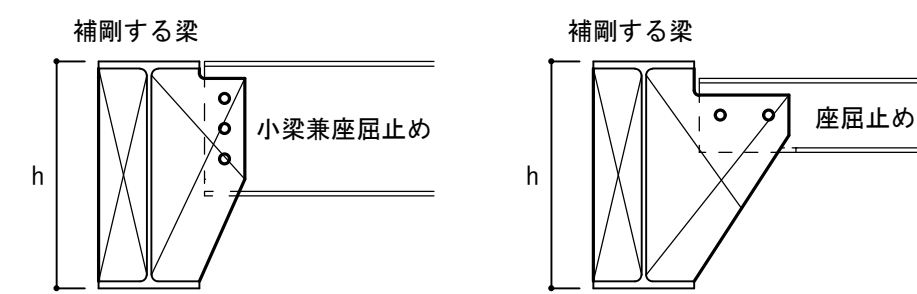


注：使用の可否は監理者に確認する事。

※ NSはノンスカラップ工法を示す

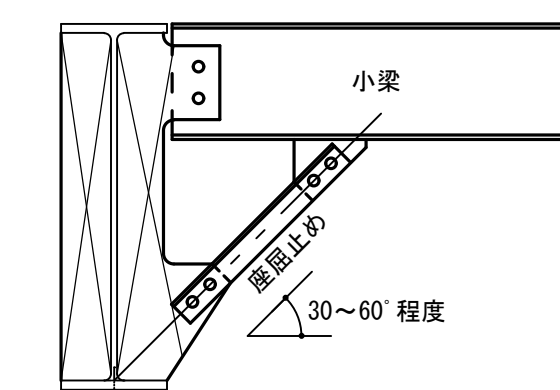
6. 大梁の座屈止め

(1) ガセットPLを利用して下端フランジを拘束する場合

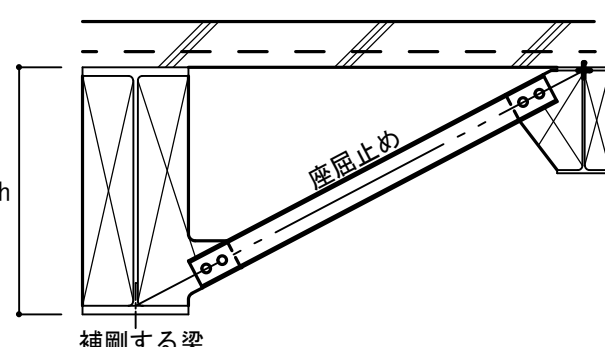


- ・補剛する梁のせいりhが500mm未満の場合に限る。
- ・接合ボルトの仕様は特記による。

(2) 大梁との段差が大きい場合

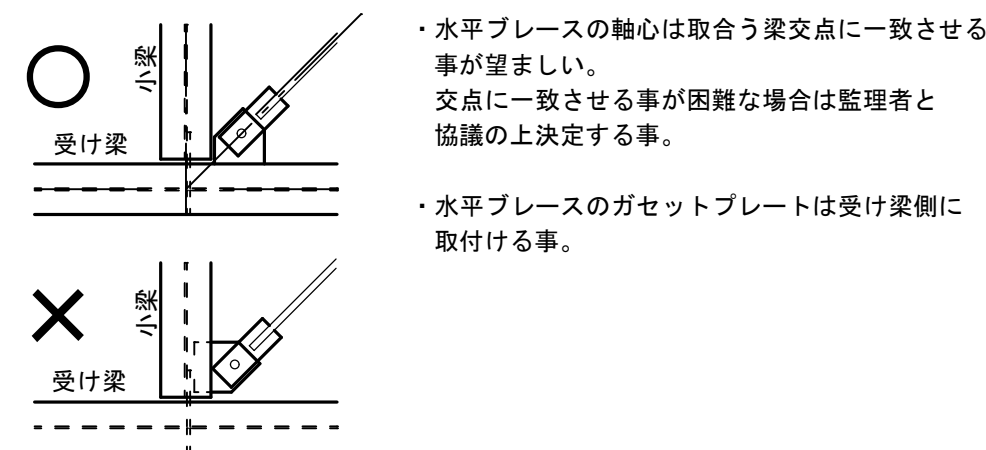


(2) 上端フランジを床で拘束する場合



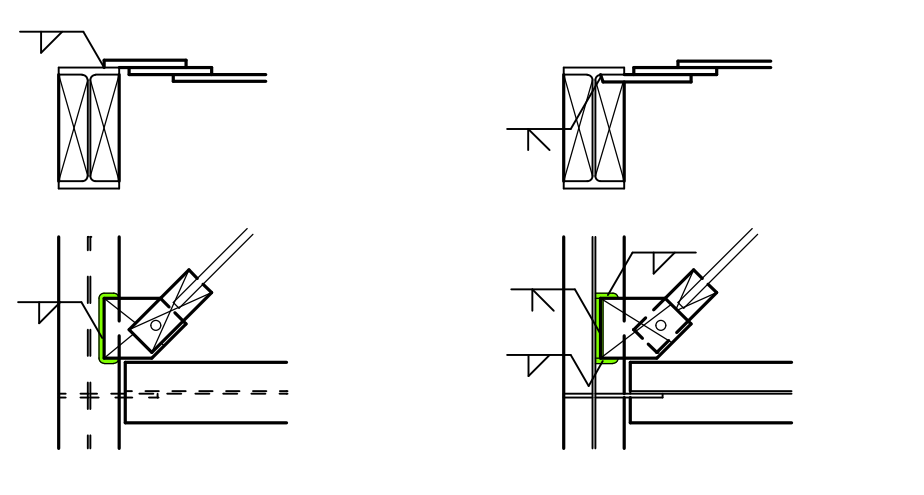
7. 水平ブレース接合部 ★

(1) 水平ブレースの取付位置



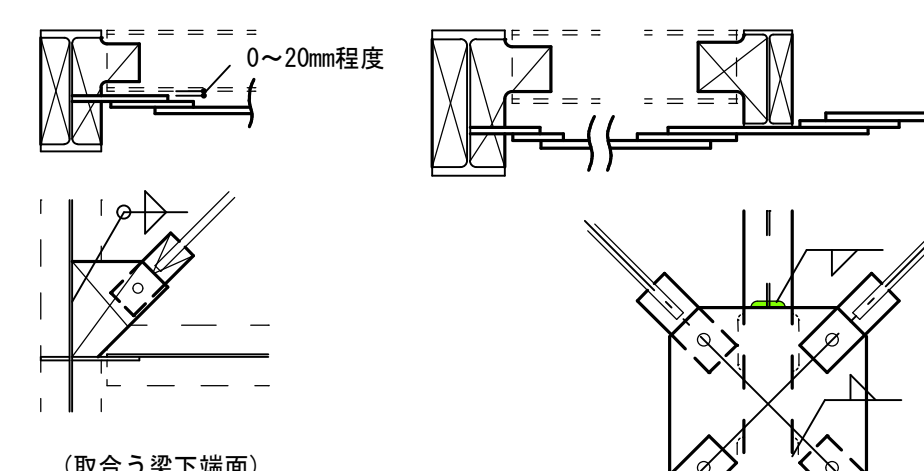
(2) 水平ブレースの取付高さ

- ・大梁フランジ側面には溶接しない事。(大梁ブラケット内)



(上端フランジ外面)

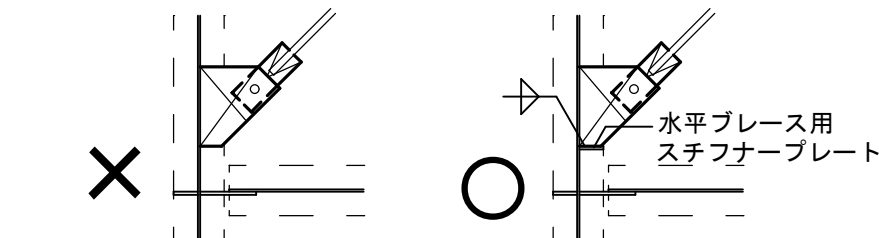
(上端フランジ内面)



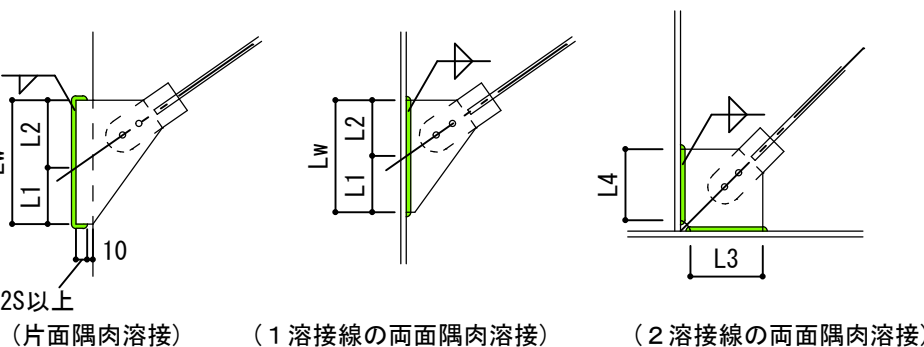
(取合う梁下端面)

(並列する小梁下端面)

- ・水平ブレースのガセットプレートを受け梁ウェブ面に取合わせる場合は、小梁のガセットプレートまたはスチフナープレートにも取合わせ、そちら側にも必要な溶接が出来る幅を確保する事。

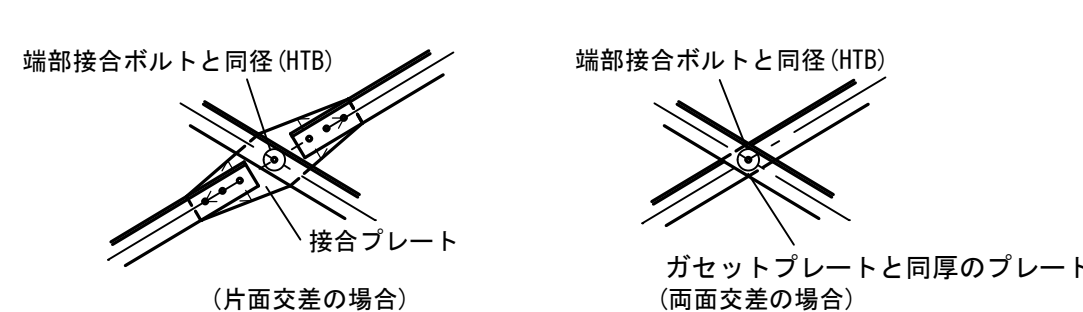


(3) 水平ブレースのガセットプレートの溶接



- ・サイズ S は溶接基準による。
- ・溶接長さLWは特記による。L1, L2は最小必要溶接長さの1/2以上とする。
- ・溶接長さL3, L4は特記による。

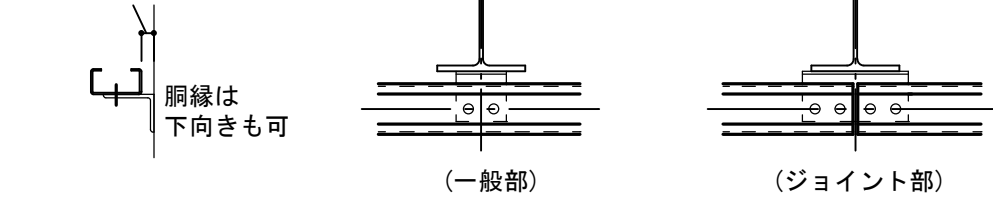
(4) アングルブレース交差部



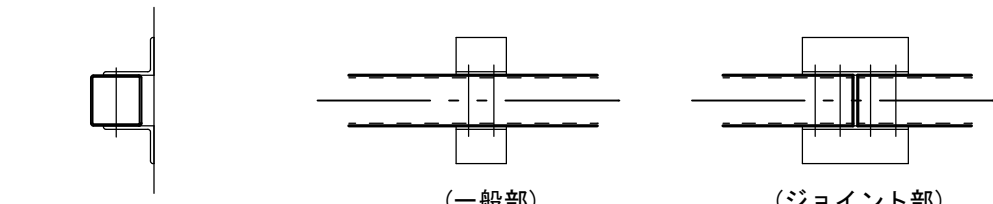
8. 胴縁

- (1) 一般部
- ・壁材または壁下地目地部胴縁はダブルとする。(リップ付き軽量成形鋼の場合)

主構造体と干渉しない幅

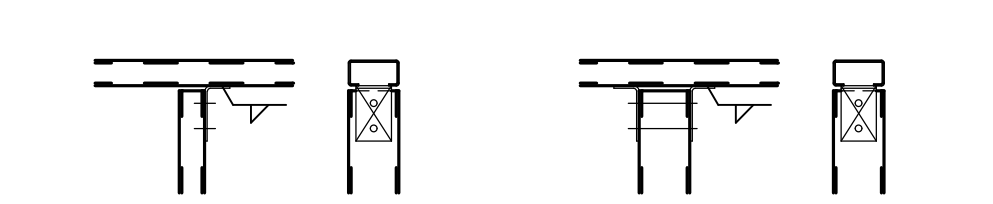


(小径角形鋼管の場合)

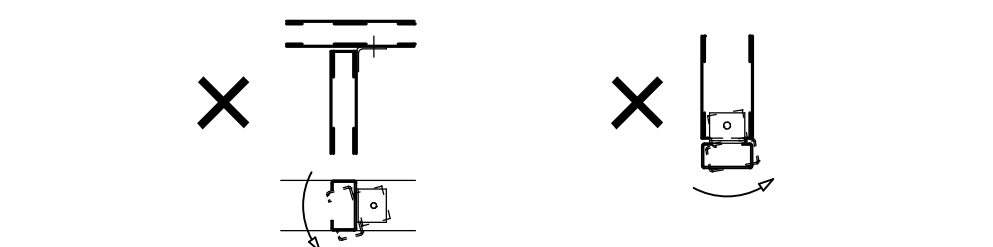


- ・角形鋼管による胴縁の接合プレートは鋼管の両面に配置する。
- ・ボルトは通しボルトとし、鋼管を潰さない様に注意して締付ける事。

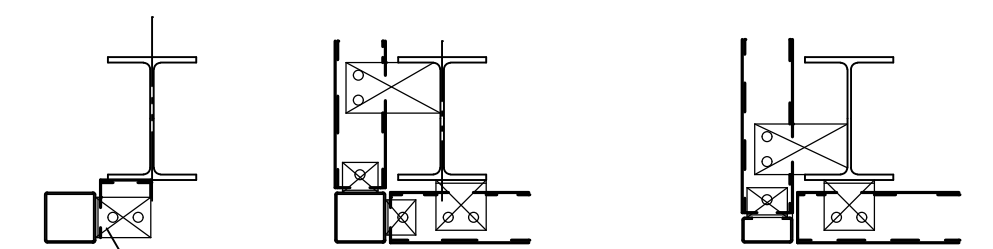
(2) 他胴縁との取合い



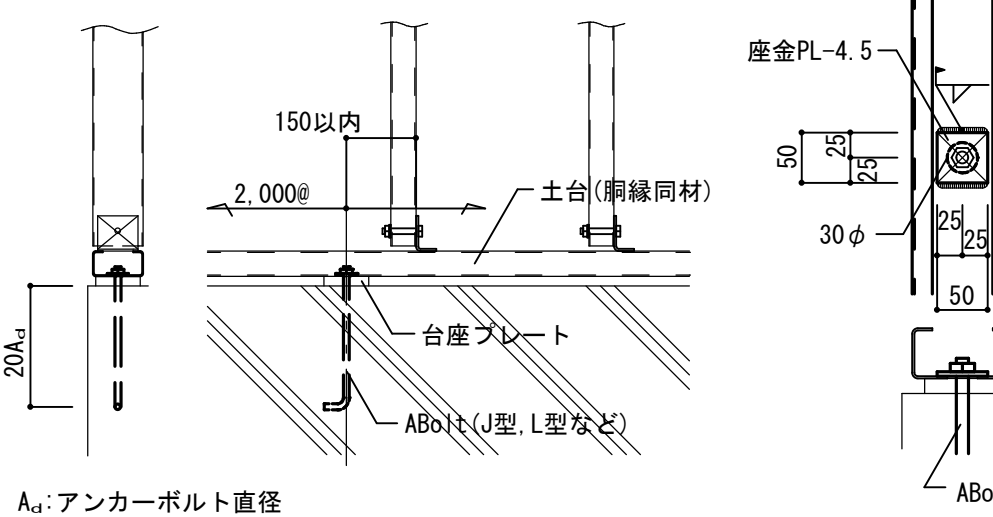
- ・設計図に特記なき場合、接合はPL-4.5以上, 1-M12(中ボルト)以上とする。
- ・既製品の接合ピースを使用する場合は板厚4.5mm以上のものを使用する事。
- ・構造耐力・剛性上支障無く、緩み止め処置を施す場合に限り接合ボルトは1本で良い。
- ・接合ボルトを1本とする場合、部材の回転を伴うような接合としてはならない。



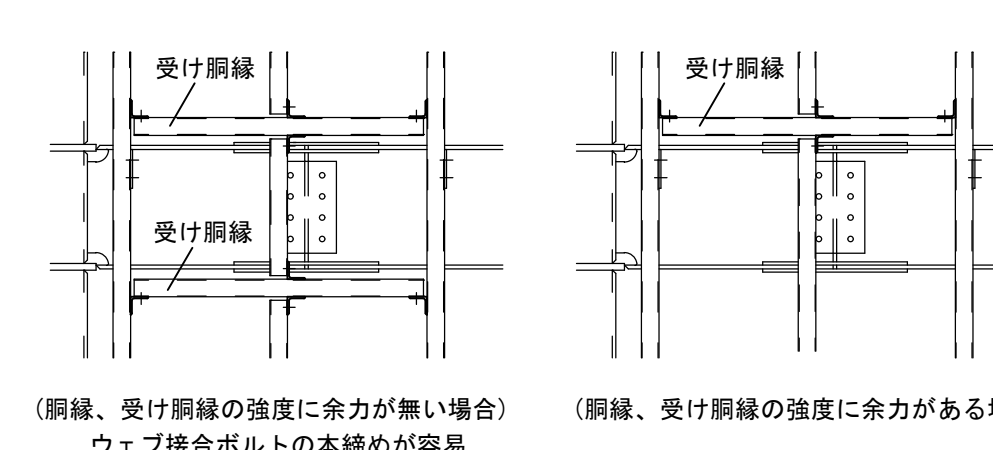
(3) コーナー部



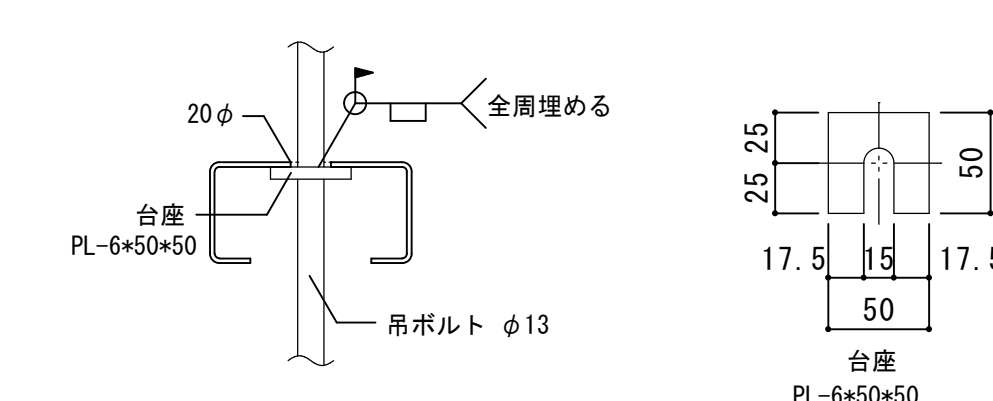
(4) コンクリート取合い部



(5) 梁継手に掛かる部分の納まり



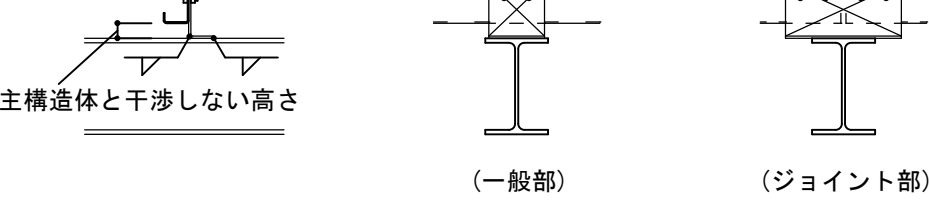
(6) 吊ボルトを使用する場合の納まり



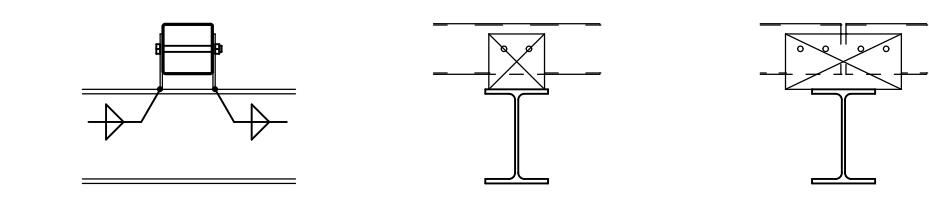
9. 母屋

- (1) 一般部
- ・屋根葺き材下地目地部母屋はダブルとする。(リップ付き軽量成形鋼の場合)

主構造体と干渉しない高さ



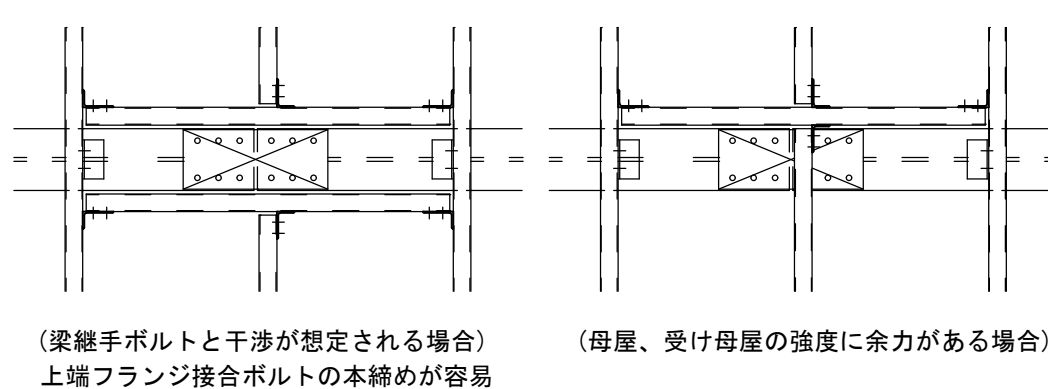
(小径角形鋼管の場合)



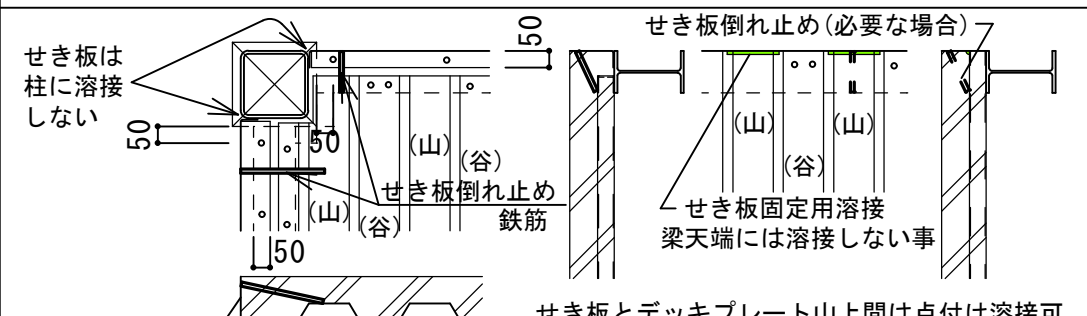
- ・角形鋼管による胴縁の接合プレートは鋼管の両面に配置する。
- ・ボルトは通しボルトとし、鋼管を潰さない様に注意して締付ける事。

- ・設計図に特記がなく、緩勾配屋根の場合の接合はPL-4.5, 2-M12(中ボルト)とする。
- また、急勾配屋根の場合の接合はPL-6, 2-M12(中ボルト)とする。
- ・上記条件を満たす場合は既製の接合ピースを使用してよい。

(2) 梁継手に掛かる部分の納まり



10. 合成床版 ★



- コンクリートせき板 PL-1.6(曲げ加工)
- ・せき板はし形に曲げた鉄板とし梁上に焼抜き栓溶接で固定する。但し、デッキプレートのみに溶接などで固定する事が可能な場合は直板でもよい。
- ・せき板の振れ止め鉄筋はデッキプレート山上に固定し、梁先端フランジへの点付け溶接は禁止。
- ・柱まわりのせき板は折り曲げ加工し柱に溶接固定は禁止。

11. その他

- ・仕口に取り付く梁のレベル差が小さい時(7' 1734有効間隔70mm未満)の処理は下記による (数字は優先順位を示す)
- ① ダイアフラム厚増 (製作工場グレードに注意する)
- ② 既製品 (ノンダイアフラム工法)
- 尚、上フランジにハンチを設ける事はN, G

- ・梁貫通孔間隔 (2~4箇所/梁1本) : 既製補強品規定による (5箇所以上/梁1本) : 既製補強品規定かつ 750mm以上 (芯・芯) 継手より柱側へは貫通孔を設けない

- ・鉄骨加工工場グレード変更 納期等の問題により加工工場グレードを変更せざるを得ない場合は、下記書類を監理員に提出し承認を得る。(使用鋼材制限を超える場合はグレード変更不可) 【例：Hグレード → Mグレード】
- ① 近隣Hグレード認定工場の理由文・署名・捺印を4社以上
- ② 第3者UT A00L4% 第6水準 ⇒ A00L4% 第1水準

適用範囲 1. 本図は、鉄骨構造及び鉄骨鉄筋コンクリート構造の鉄骨についての基準を示す。
2. 構造設計図に示す事項の他は、本基準による。
3. 使用材料の範囲 鉄骨SS400、SN400、高力ボルト：S10T(F10T)、F8T

[illegible]

大梁 現場接合部標準図 (4 0 0 級鋼材)

共通事項 貫通孔の補強					
貫通孔径100φ以下は下記による。					
Aタイプ (φ ≦ 0.1H)					
Bタイプ (0.1H < φ ≦ 0.2H)					
Cタイプ (0.2H < φ ≦ 0.3H)					
Dタイプ (0.3H < φ ≦ 0.4H)					
・特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径 (φ) は 0.4H以下とし、そのビツは3φ以上とする。					
・継手より柱側には原則スリブを設けない。					
・スリブは梁成の中央1/2の範囲とする。					
備考欄					
・鋼材種別 400級					
・H・T・B S10T (2種)					
・(社)静岡県建築士事務所協会 2013 Ver1.01による。					
それ以外はSCSS-H97による。					
・鉄骨梁貫通補強に既製品を用いる場合は					
「ハイルング工法」「Oリング工法」とし、					
現場管理者が施工図・計算書チェックを行い、					
溶接を「全数検査」すること。					
また、塑性域には設けないこととする。					
プレート補強型、既製品共に圧縮材となる梁には貫通を設けてはならない。					

QLデッキ合成スラブ設計・施工標準 耐火仕様① JFE 建材 株式会社 合成スラブ工業会仕様

QLデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説」JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事、(一社)日本鋼構協会の「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート [ISO 9001認証取得]

デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理
■QL99-50 □QL99-75	端部加工 ■凹加有り □無し	□表面防錆処理(一次塗装) QLプライマー(P)*1 ■亜鉛めっき [Z12 Z27] □JFE10が(高耐食溶融めっき鋼板) [Y18 Y27] □その他() □無し
材 質	JIS G 3352に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G	

材料/コンクリート

種 類	■普通コンクリート	□軽量コンクリート [□1種 □2種]
設計基準強度	□18 □21 ■24 □() N/mm ²	
厚さ(QLデッキ山上)	□60 □70 ■80 □85 □90 □95 □100 □() mm	

材料/溶接金網・異形鉄筋

□溶接金網	JIS G 3551	□φ6-75×75 □φ6-150×150 □φ6-100×100 □()	*2
■異形鉄筋	JIS G 3112、3117	■D10-150×150 ■D10-200×200 □()	
耐火補強筋	JIS G 3112、3117	D13-φ300	

接 合

梁 と の 接 合	□頭付きスタッド ■焼抜き栓溶接 □打込み板 □その他	JIS B 1198 □φ13 □φ16 □φ19 □φ22 (各長さ・ピッチは特記による*) 下記焼抜き栓溶接の項による 接合箇所は特記による
-----------	--------------------------------------	---

*3 最小長さはデッキ高さ+30mm以上とする

耐火

デッキプレート	耐火区分	支持条件	コンクリート種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50 QL99-75	床1時間 床2時間	単純 連続	普通/軽量	要 不要	□FP060FL-9101 ■FP060FL-9095 □FP120FL-9113 ■FP120FL-9107

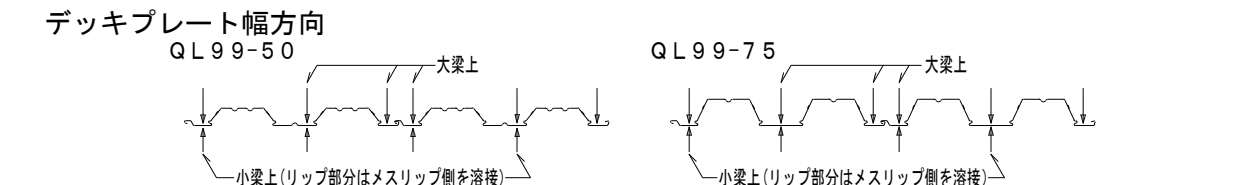
注) 床2時間は床1時間耐火を含む

特 記

支保工有無	■無 □有	その他: □() □()
-------	-------	----------------

上欄内の採用項目に□を記して下さい。

焼抜き栓溶接



デッキプレートスパン方向

「QLデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

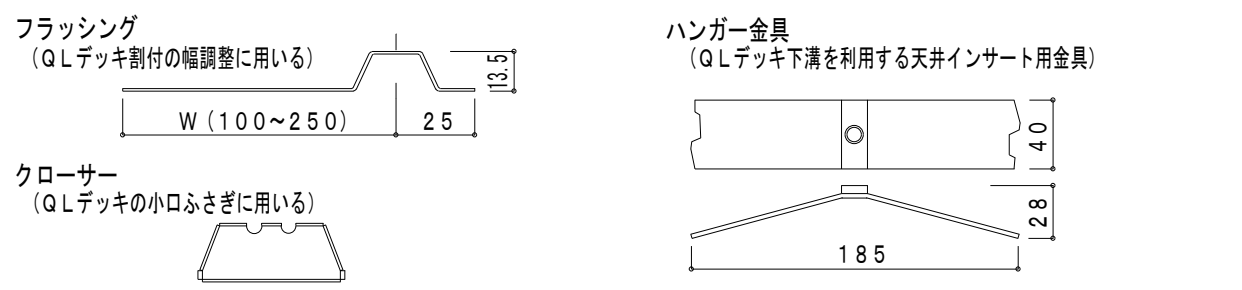
$$A_w = \frac{1.5Q_d}{Q_0} \times 1000 \text{ mm かつ } 600 \text{ mm 以下}$$

Q_d: 焼抜き栓溶接1個当たりの長期許容せん断力 (N)
Q₀: 設計最大せん断力 (N/mm)
A_w: 焼抜き栓溶接ピッチ

板厚	Q _d (N)
1.2	4,900
1.6	7,350 (SPW), 6,860 (A.P.W)

A_w = 500 mm
(注) 接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要

アクセサリ



施工時許容スパン表 (デッキプレートの検計)

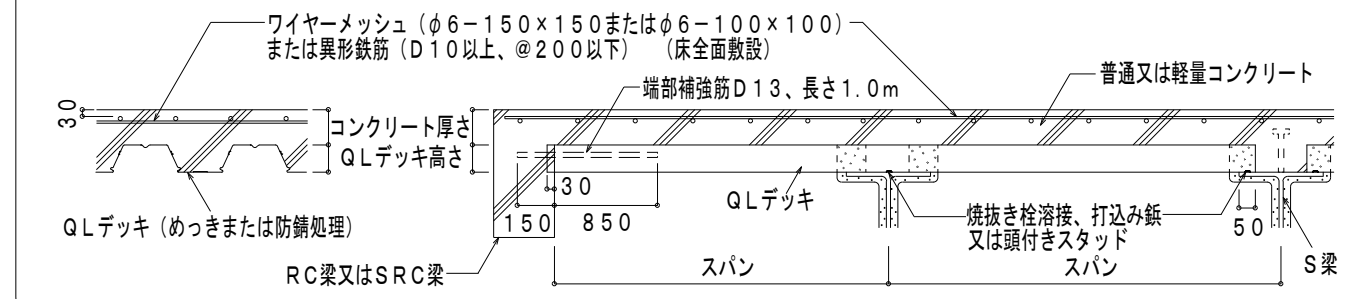
QL99-50										(単位: m)	
コンクリート厚(mm)		60		70		80		90		100	
板厚(mm)		1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6
支持 条件	単純(内法)	2,522	752	2,477	692	2,422	642	2,372	592	2,332	542
		(2.52)	(2.75)	(2.47)	(2.69)	(2.42)	(2.64)	(2.37)	(2.59)	(2.33)	(2.54)
	2連続	3,383	673	3,313	613	3,243	543	3,183	473	3,123	413
		(3.38)	(3.67)	(3.31)	(3.61)	(3.24)	(3.54)	(3.15)	(3.47)	(3.07)	(3.41)
3連続		3,123	403	3,053	333	2,993	263	2,933	203	2,883	153
		(3.12)	(3.40)	(3.05)	(3.33)	(2.99)	(3.26)	(2.93)	(3.20)	(2.88)	(3.15)

注1: 普通コンクリート(単位体積重量24.0kN/m³)、表面処理が亜鉛めっきの場合
注2: () 数値は表面処理がめっきまたは塗装品の許容スパンを示す。
注3: 表を超える場合は、別途支保工が必要。

耐火仕様

【連続支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	QL99-50	3.0m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照



【単純支持合成スラブ】

耐火時間	コンクリート種類	品 名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋	許容積載荷重
床、1時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	80mm 以上	φ6-150×150	算出式 注5) A 参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	90mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照
床、2時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	QL99-50	2.7m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) A 参照
	軽量コンクリート	QL99-75	3.4m 以下	95mm 以上	φ6-100×100	算出式 注5) B 参照



注1) スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注2) スパンが9.4mを超える場合は、合成スラブと梁は頭付きスタッド(軸径16mm以上、ピッチ300mm以下)で結合する。
注3) 鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接(打込み板、または頭付きスタッド)を用いる。
注4) 梁の耐火被覆は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注5) 許容積載荷重W 算出式

[A] QL99-50	[B] QL99-75
$W = 5,400 \times \left(\frac{2.7}{L} \right)^2$ かつ $9,800 \text{ N/m}^2$ 以下	$W = 5,400 \times \left(\frac{3.4}{L} \right)^2$ かつ $9,800 \text{ N/m}^2$ 以下

※許容積載荷重は、床にかかるとる荷重(仕上り荷重も含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。
付帯条件: 連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは2スパン以上わたって連続的に小はり等によって、ほぼ等間隔(スパン比3:2を超えるい程度)で支持されるものとする。
※合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」参照

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

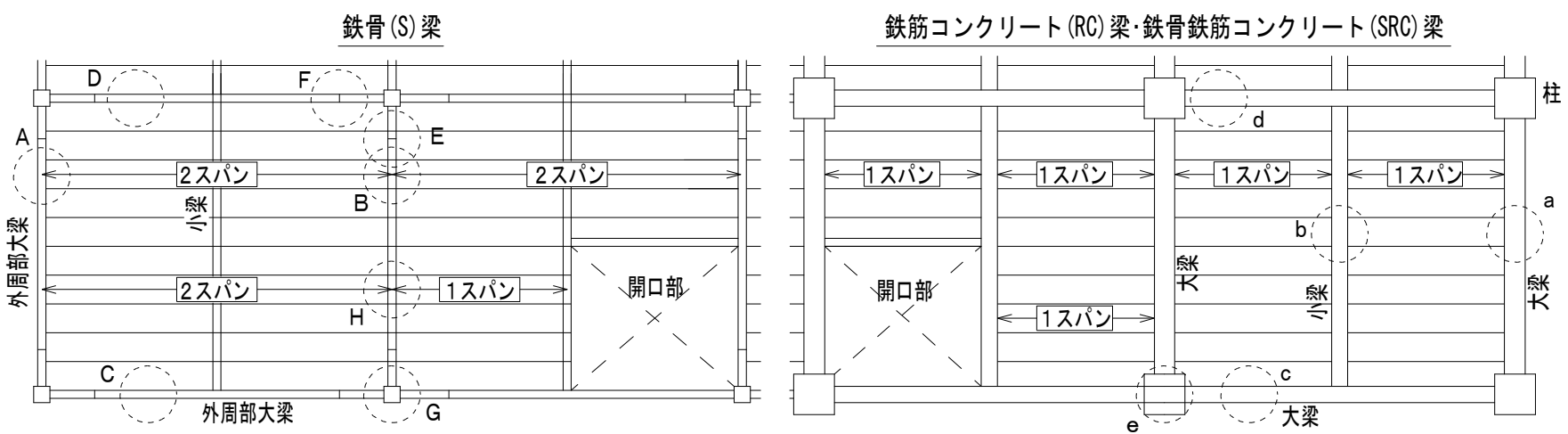
敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

施工順序

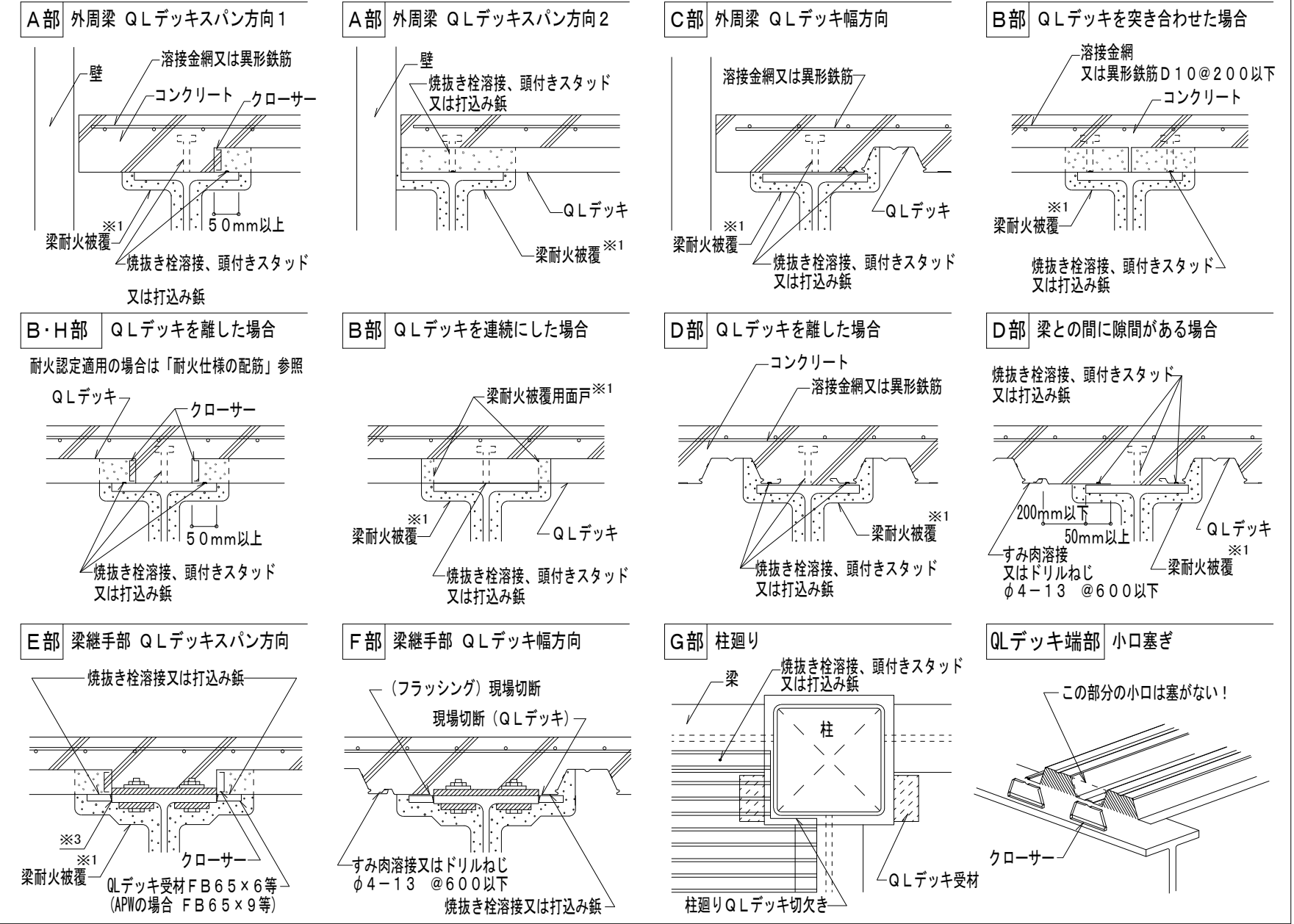
敷 込 み
鉄骨梁の場合 1) 提出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止めの溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止め溶接する。 2) 各大梁上にデッキプレートの隅部が乗るように敷込む。
RC梁またはSRC梁の場合 1) デッキプレートは梁型枠に打込む。 2) デッキプレートの型枠へのめ込み代が幅方向10mm以上、長手方向が30mmであることを確認する。

標準納まり

図中※1は、梁に1、2または3時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。 ※2はQLデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※3 溶接方法等は別途設計が必要。(合成スラブ工業会Q&A参照)

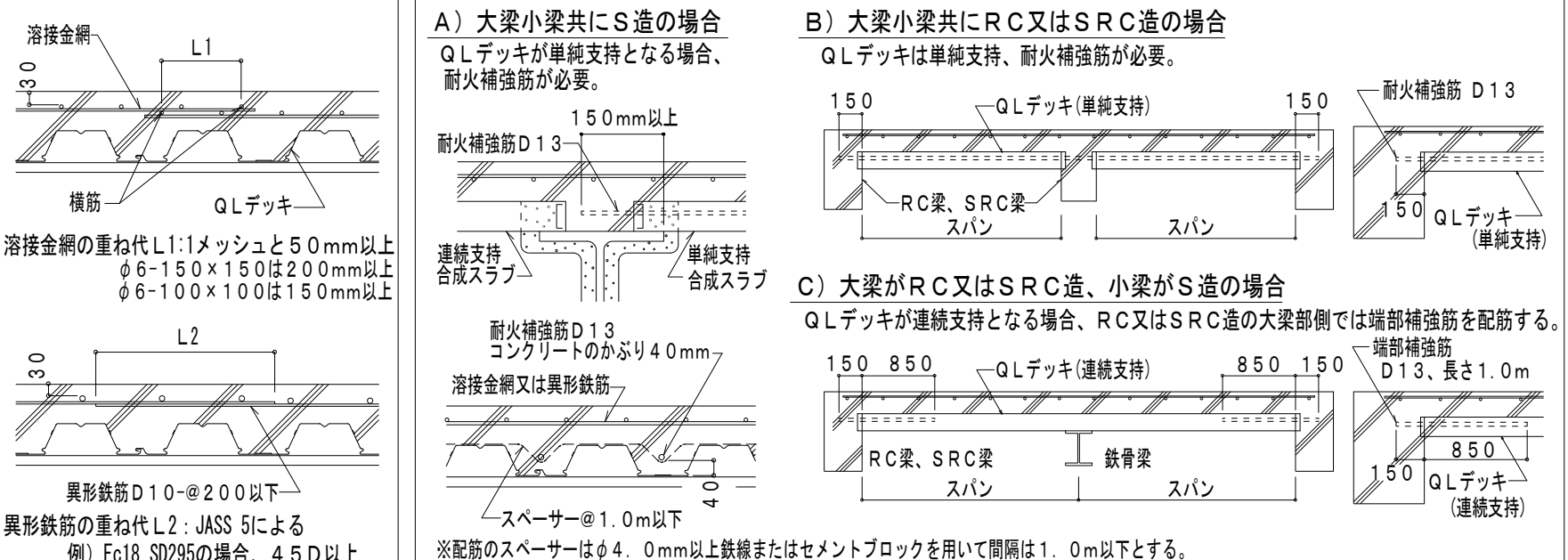


デッキプレートと梁の納まり [S梁]



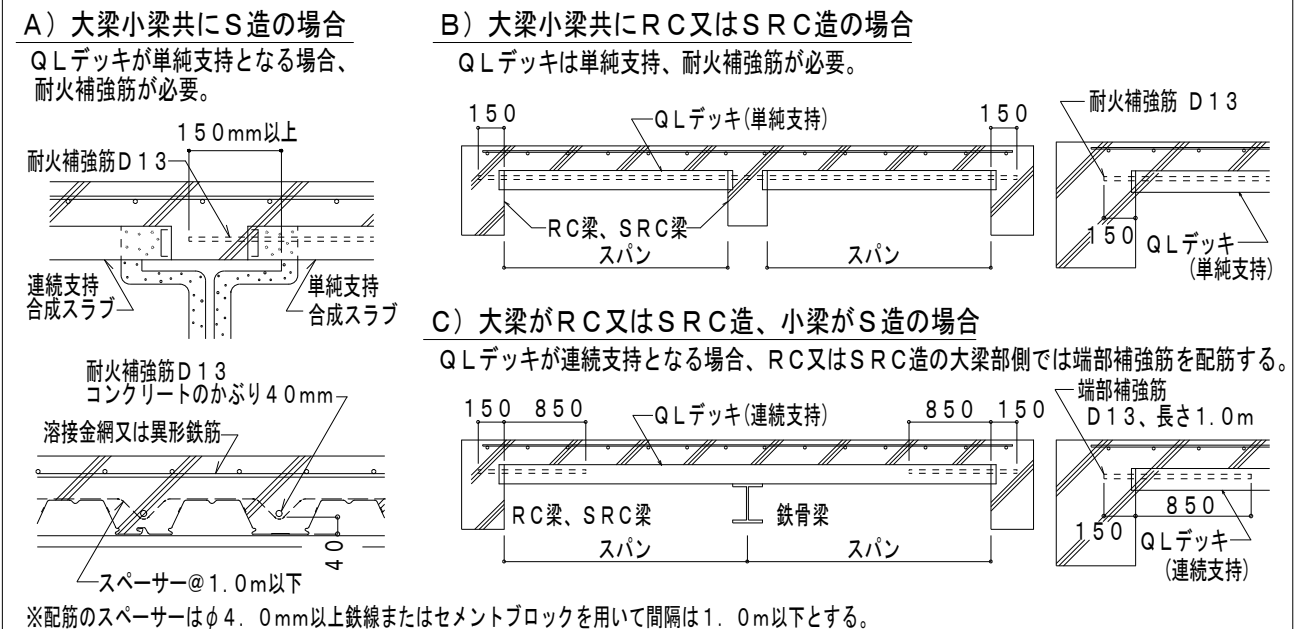
スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが30mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。



耐火仕様の配筋

QLデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はJASS5鉄筋コンクリート工事による。耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、QLデッキの各端部中央部にかぶり40mmで配筋する。



デッキプレートと梁との接合

工 程	手 順 ・ 要 領
1 アーク発生	QLデッキを梁にのせ、(隙間2mm以下)溶接棒をQLデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2 QLデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm程度の「の」の字を描いてQLデッキを焼抜き。
3 押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜き内側をなぞるように円中央へ2~3回転しながら溶着。
4 整 形	溶着金属を整え、中央部で溶着棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

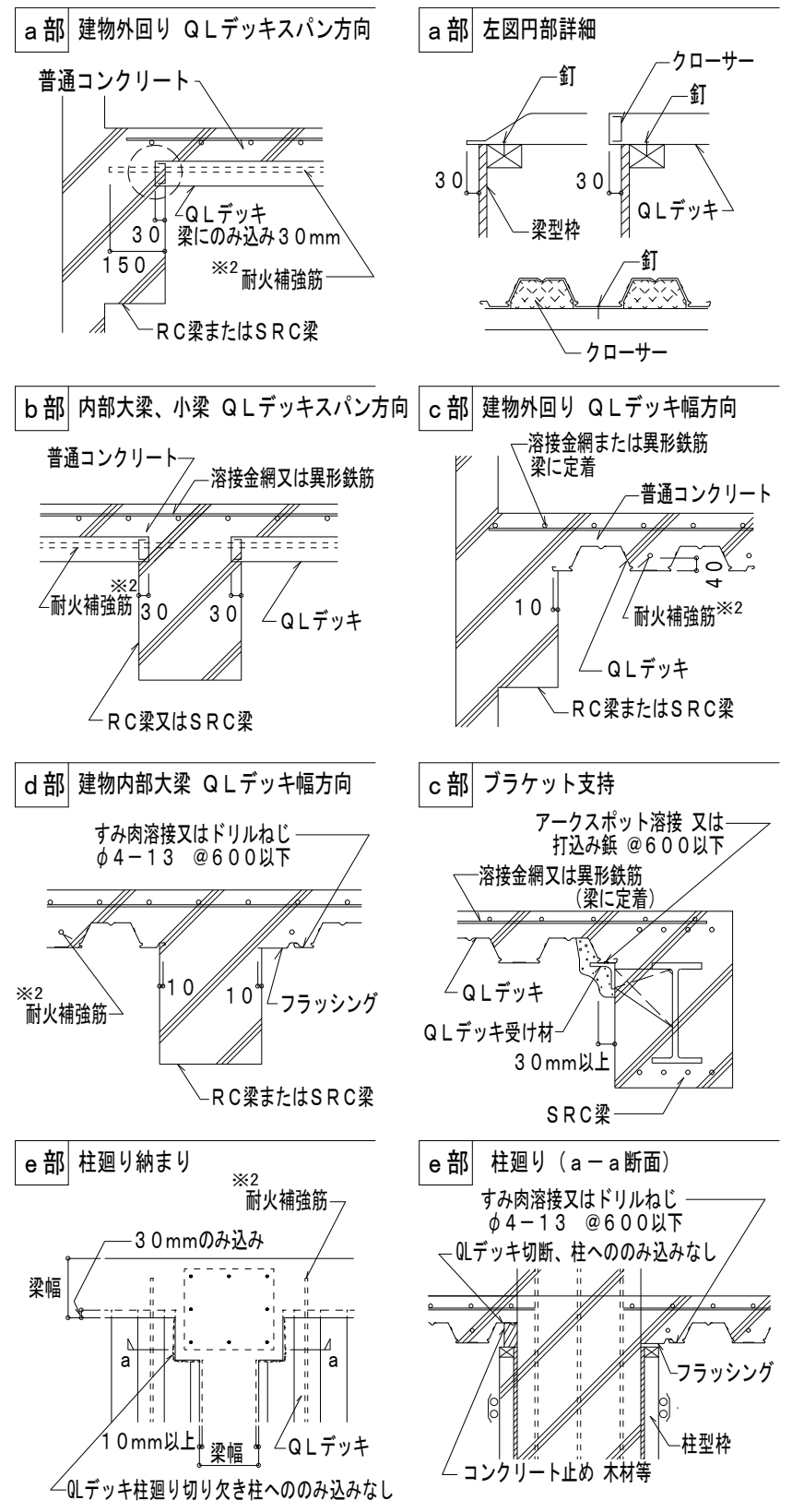
S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】

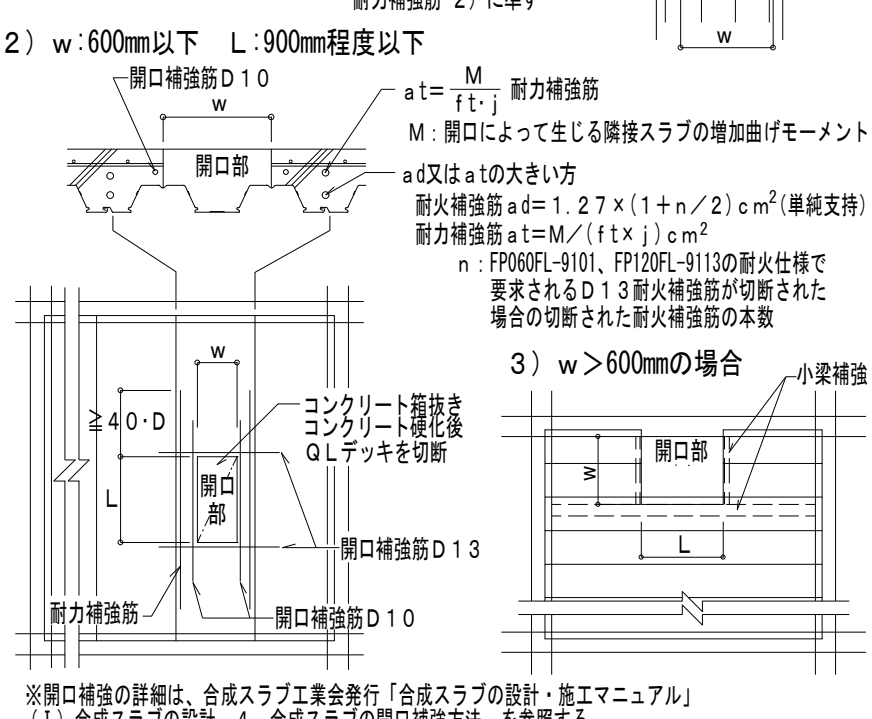
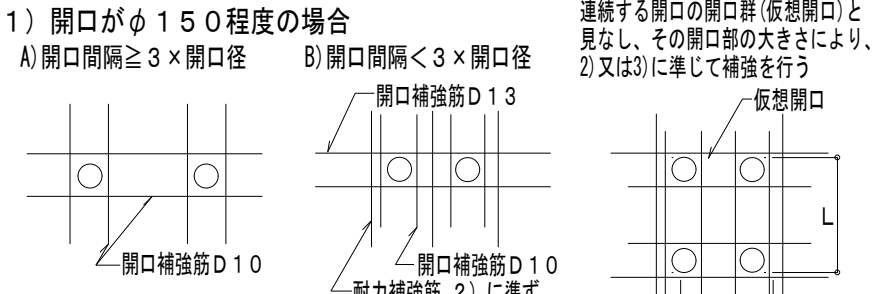
【連続支持】

その他の納まり・参考例等については、QLデッキ施工マニュアルまたは別途『納まり図』(技術資料CADデータ収録)を参照下さい。

デッキプレートと梁の納まり [RC・SRC梁]



開口部補強案



検 査

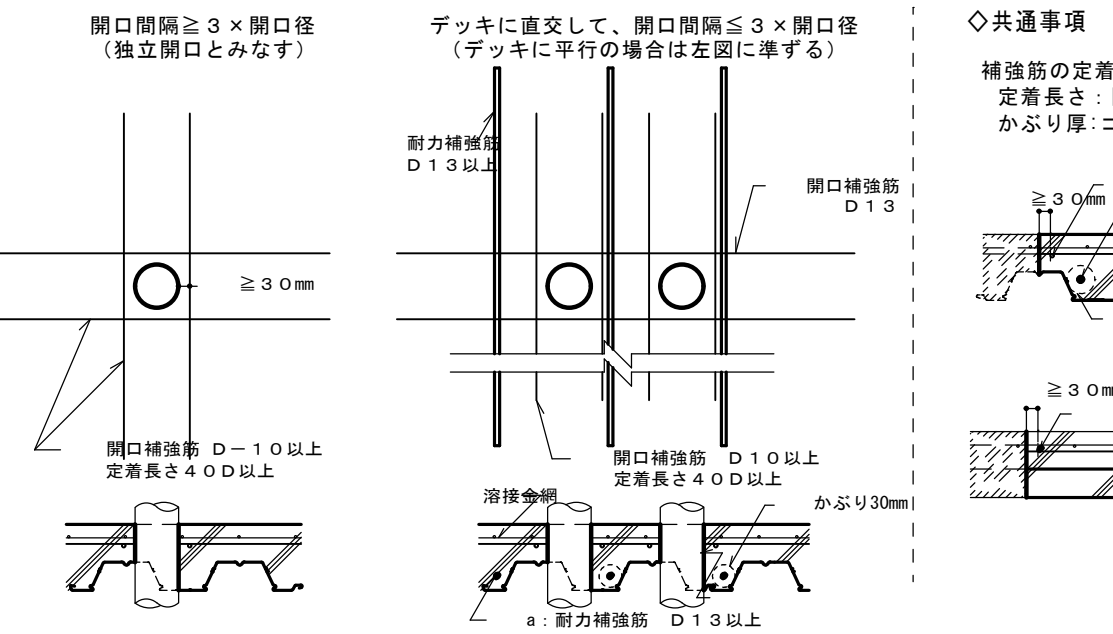
【焼抜き栓溶接 (SPW) 及び自動焼抜き栓溶接 (A.P.W)】
□事前検査 SPW: 適正な溶接を行うため下記(1)または(2)の方法で電流値をチェックする。 1) 検流計での計測 2) 溶接棒の消費長さによる確認 □溶接後の外観検査 1) 溶接場所の確認 2) 焼き切り、余盛り不足の有無 3) 標準溶接条件: SPW: 18mm以上 A.P.W: 25mm±3 □不良品の修繕 SPW: 場合: スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。 A.P.W: 場合: 重ね溶接して修繕する。 【その他】 (1) QLデッキ相互の嵌合状況 (2) ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況 (3) 開口部の補強状況

Q L デッキ 合成スラブの開口部補強方法

Q Lデッキに開口部を設ける場合、開口部の大きさ・位置・数や、建物床の用途・スパン・施工方法等、個々の条件に合わせて適切な納まり補強が必要です。ここでは開口部の大きさ別に、事務所・店舗等に使用される合成スラブの開口補強を例示しています。フォークリフトが走行する床や倉庫・工場等のように大荷重が作用する床は対象外ですので、別途設計者と打ち合わせて下さい。

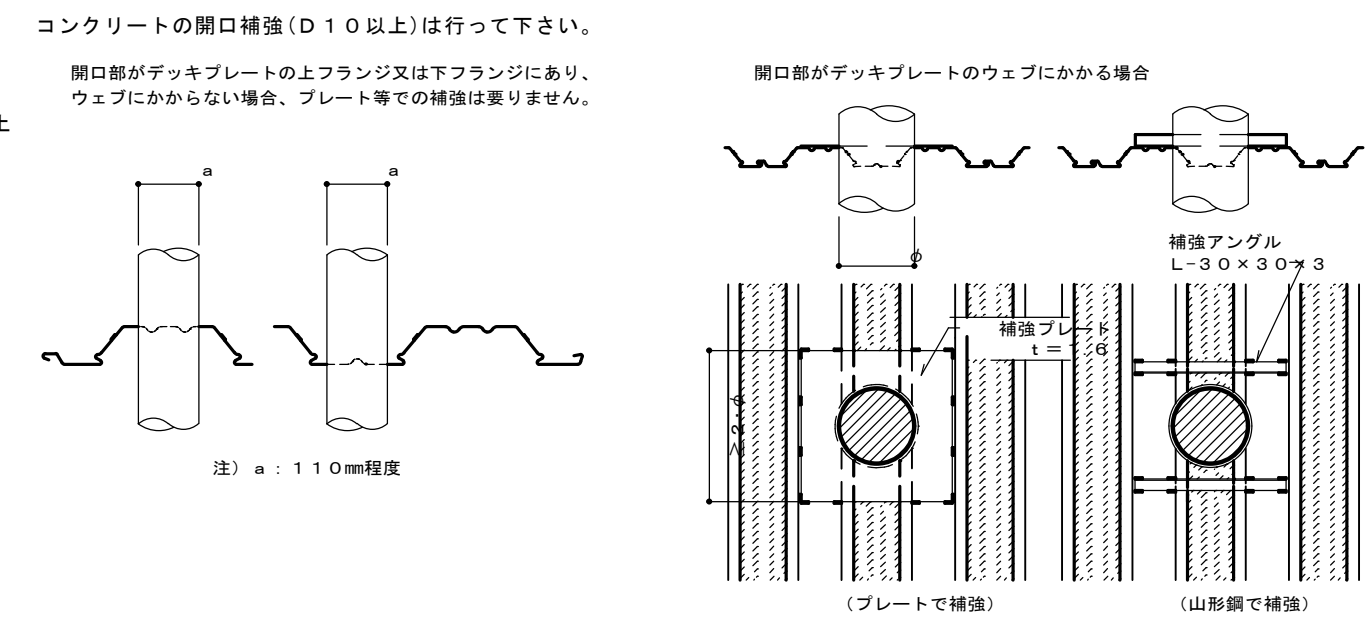
[A] コンクリート箱抜き → コンクリート硬化後デッキ切断

A-① 開口がφ150mm程度の場合

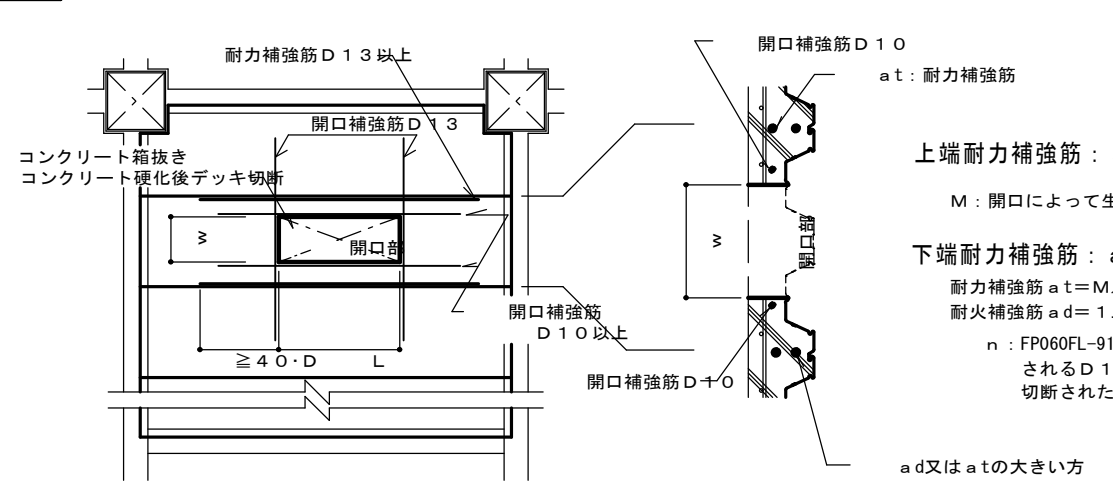


[B] コンクリート打設前にデッキプレートを切断

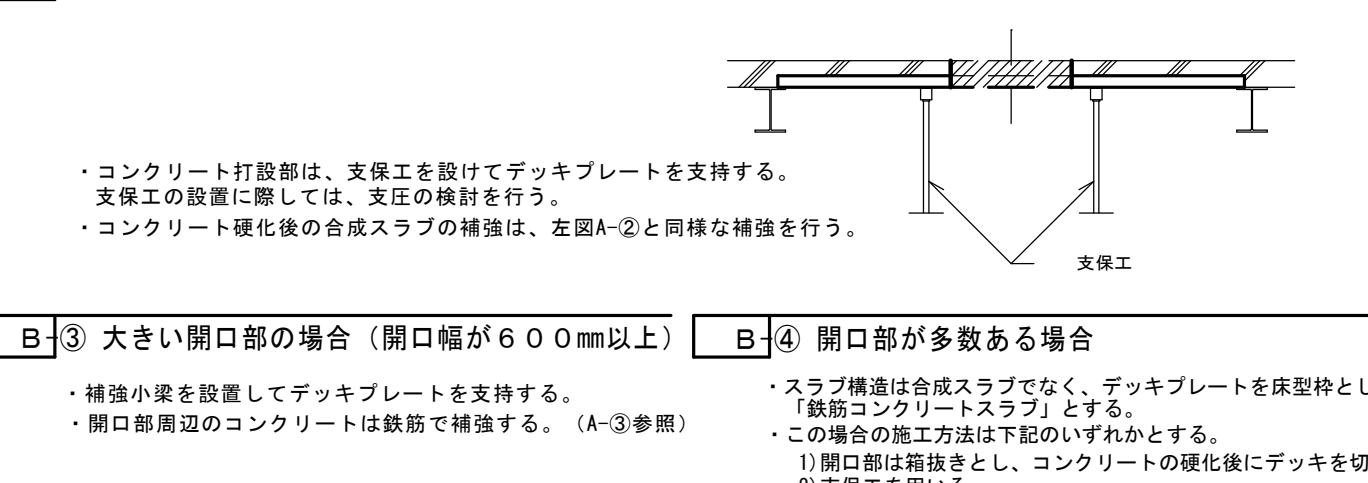
B-① 開口が110mm程度の場合



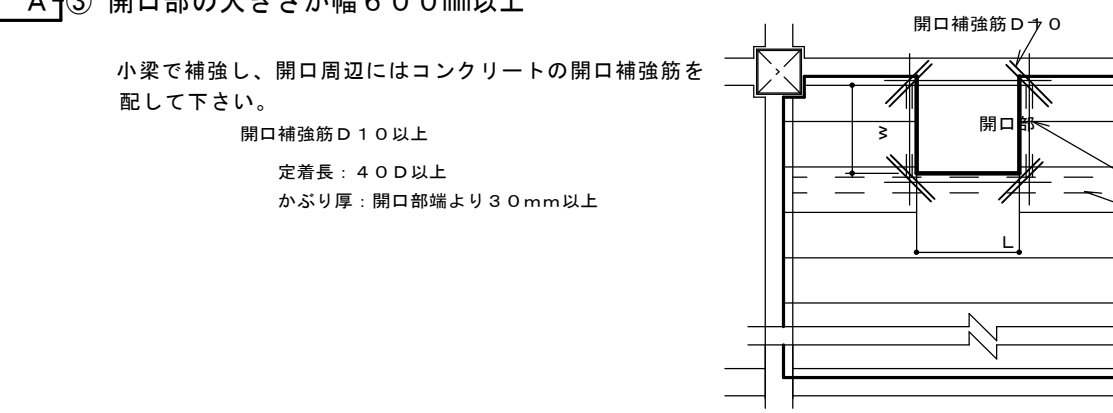
A-② 開口の大きさが幅600mm以下、奥行き900mm程度以下の場合



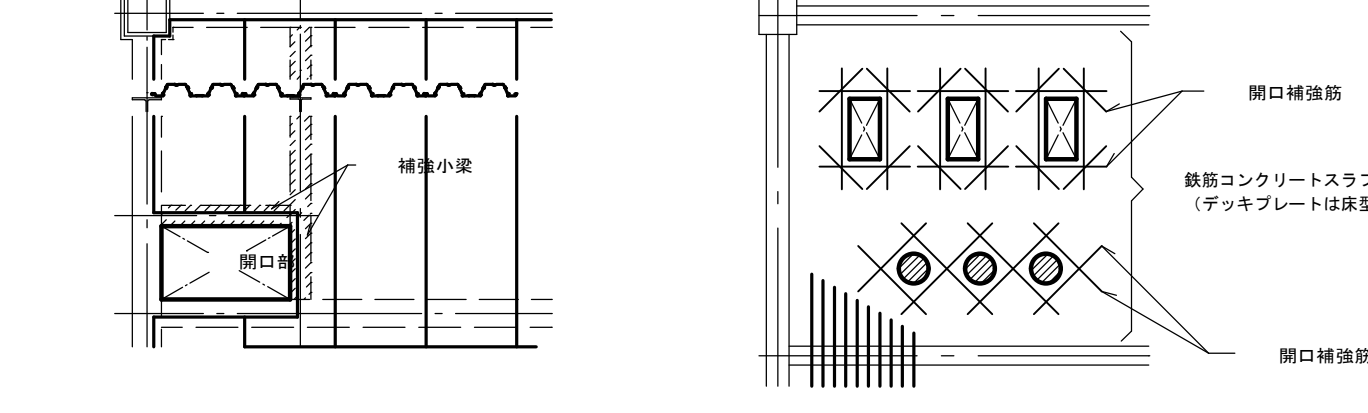
B-② 開口の大きさが幅600mm以下、奥行き900mm程度の場合



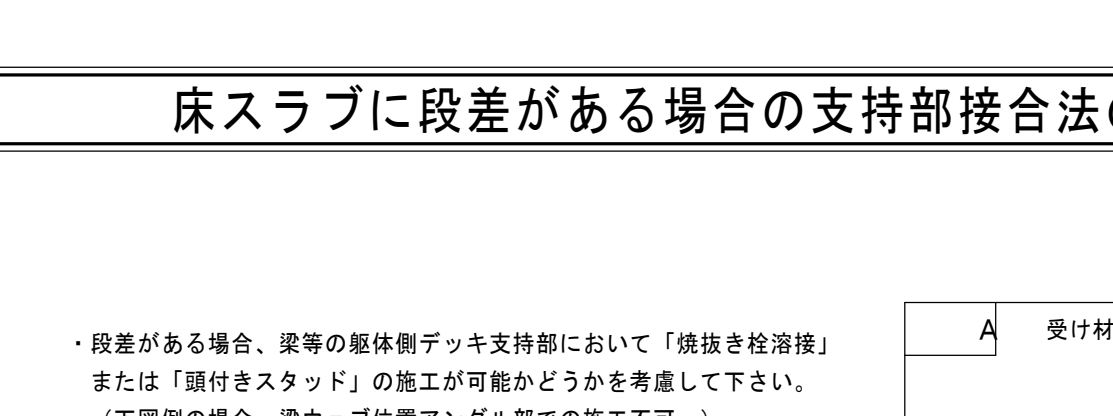
A-③ 開口部の大きさが幅600mm以上



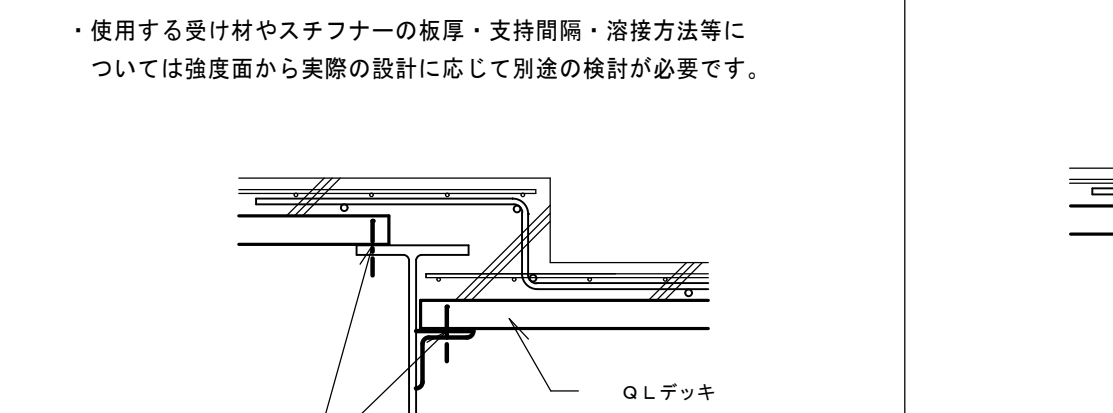
B-③ 大きい開口部の場合（開口幅が600mm以上）



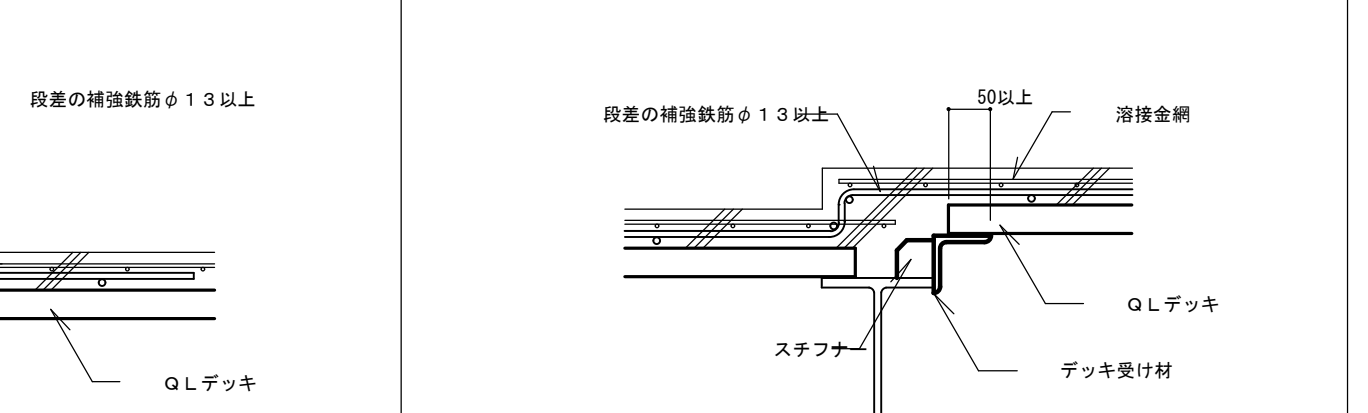
B-④ 開口部が多数ある場合



A-④ 開口部の大きさが幅600mm以上



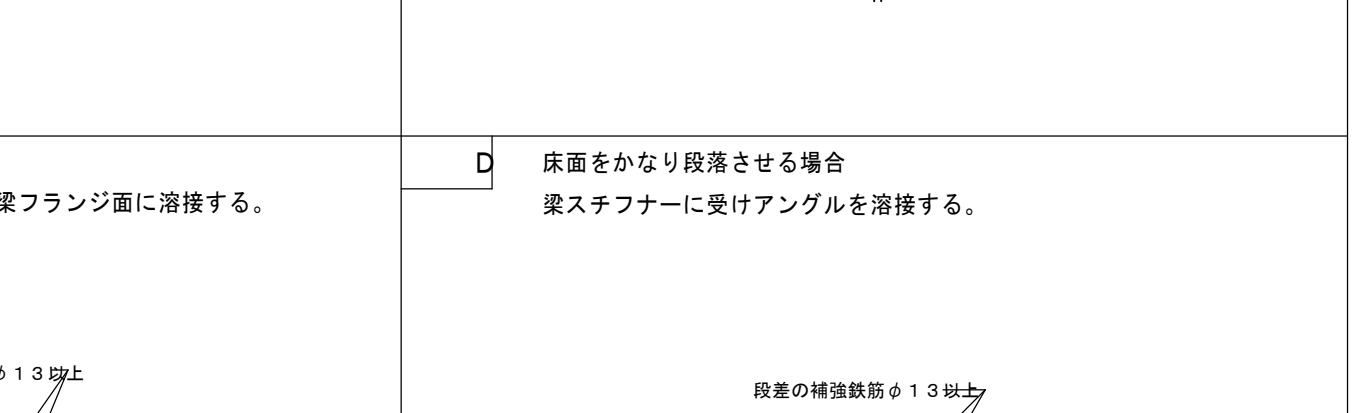
B-④ 開口部が多数ある場合



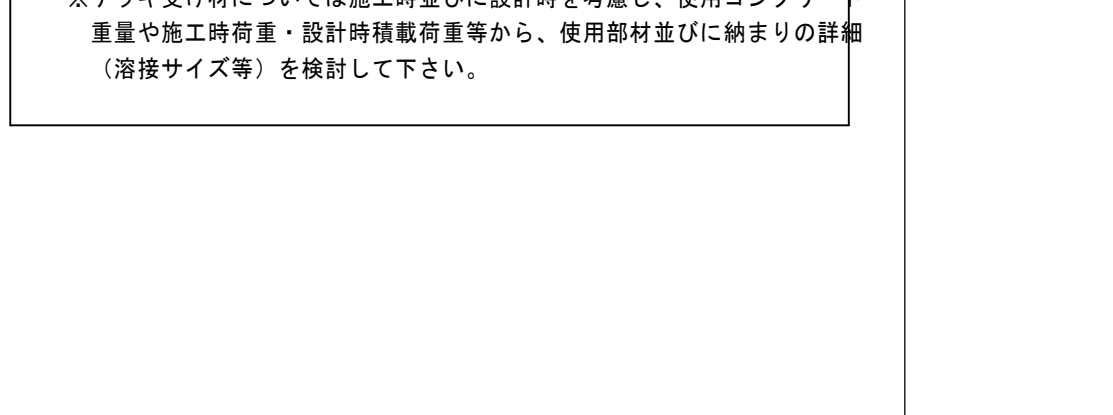
A-⑤ 開口部の大きさが幅600mm以上



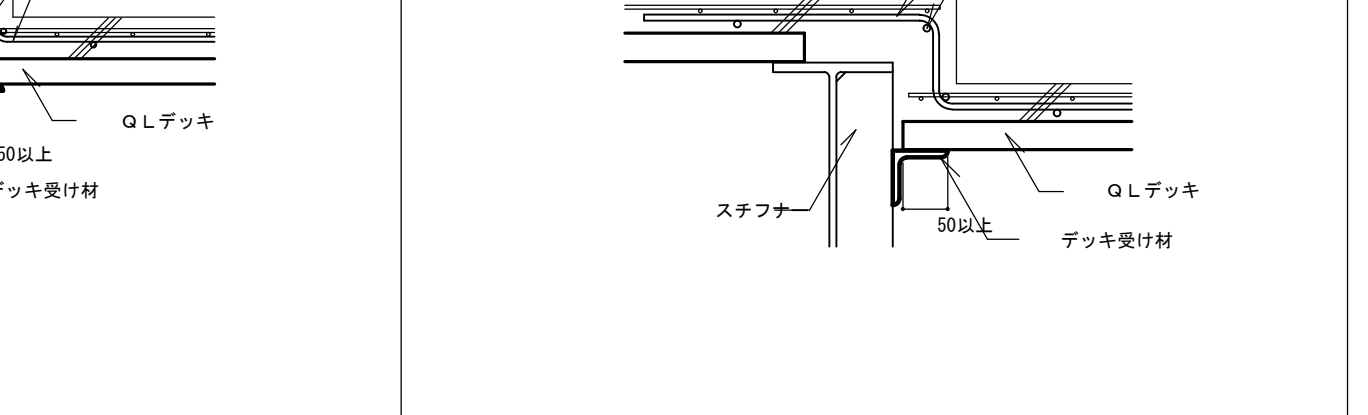
B-⑤ 開口部の大きさが幅600mm以上



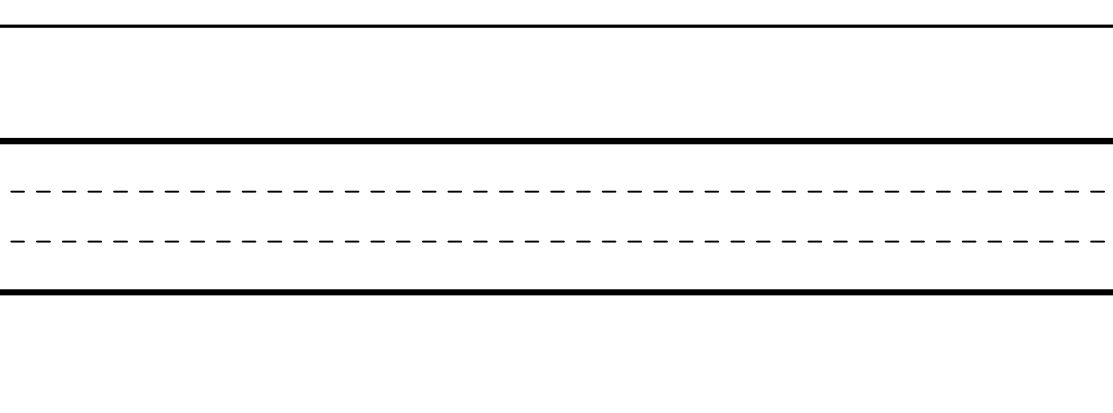
A-⑥ 開口部の大きさが幅600mm以上



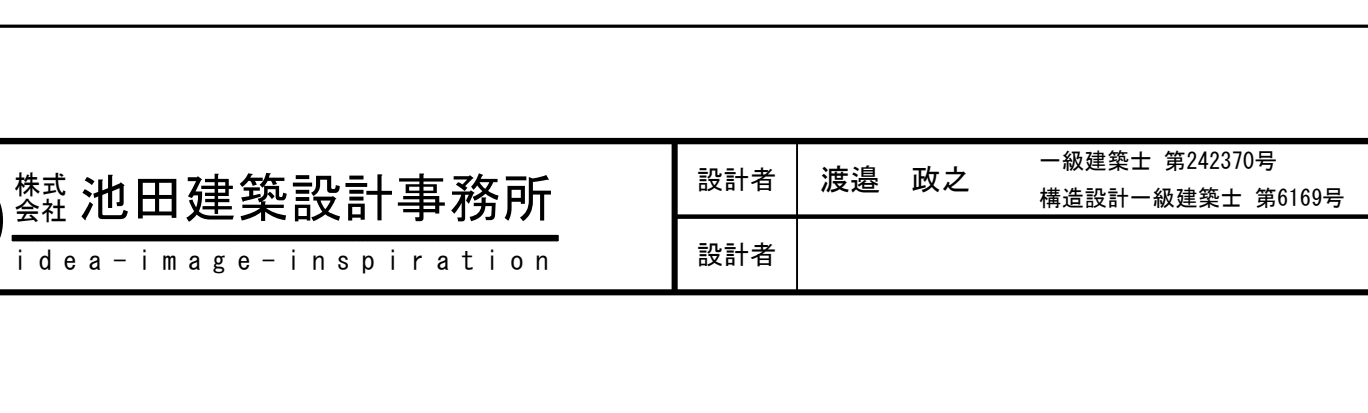
B-⑥ 開口部の大きさが幅600mm以上



A-⑦ 開口部の大きさが幅600mm以上



B-⑦ 開口部の大きさが幅600mm以上



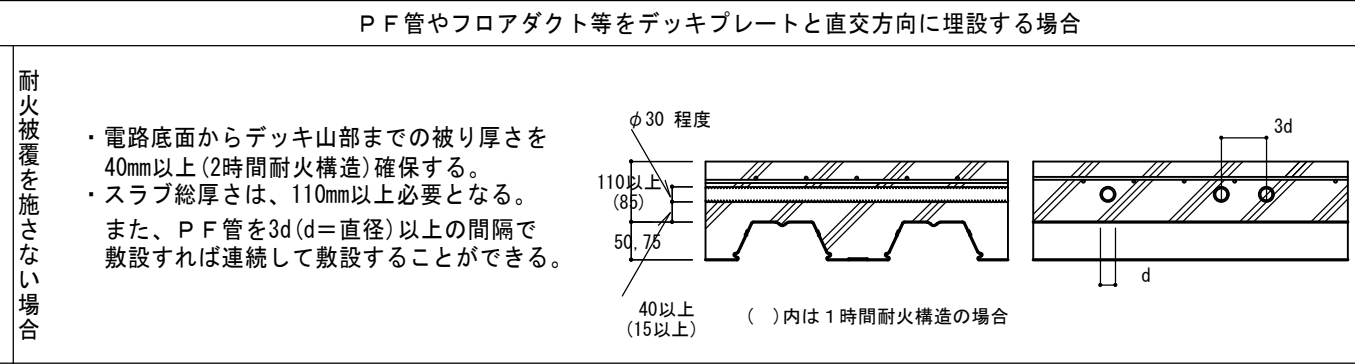
A-⑧ 開口部の大きさが幅600mm以上

B-⑧ 開口部の大きさが幅600mm以上

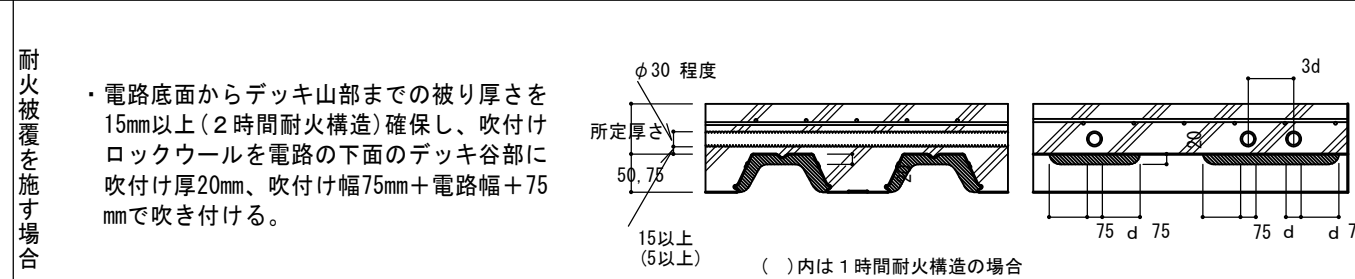
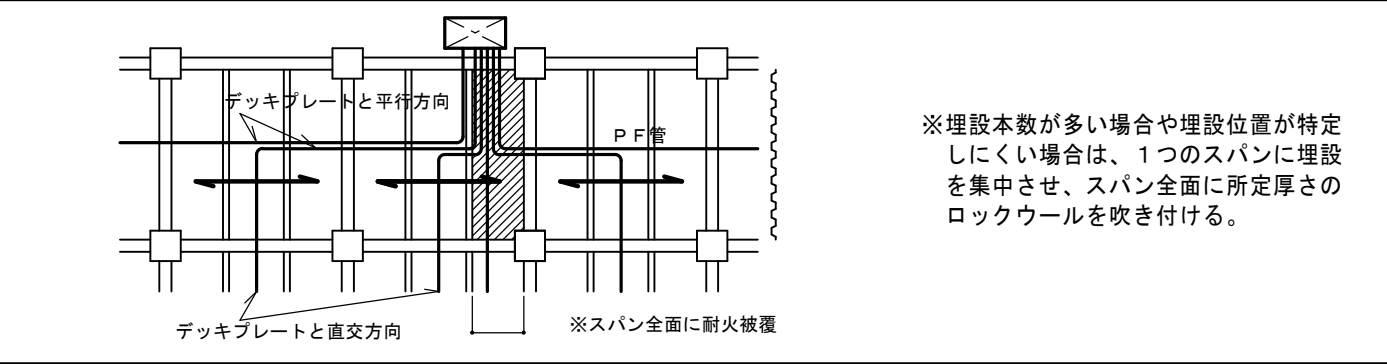
デッキ合成スラブに電気配線路を埋設する場合の指針

【特記】 ・合成スラブの耐火認定の仕様を用いる場合とする。
・仕様範囲外の場合は所定の厚さのロックウールをデッキ天井面に施す。

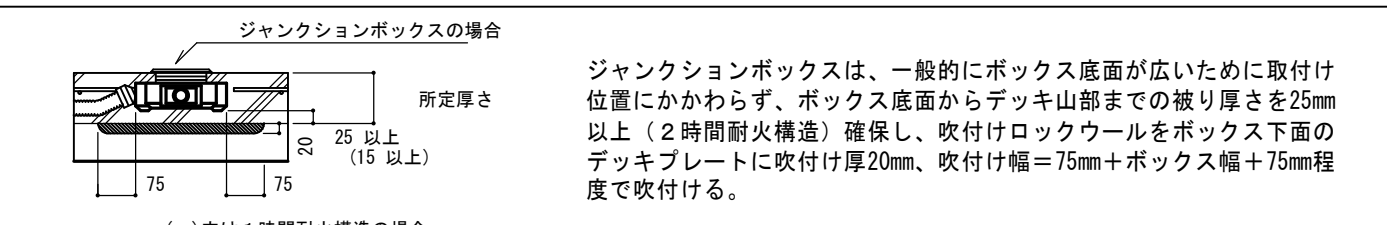
[1] 電路をデッキプレートの山部に埋設する場合



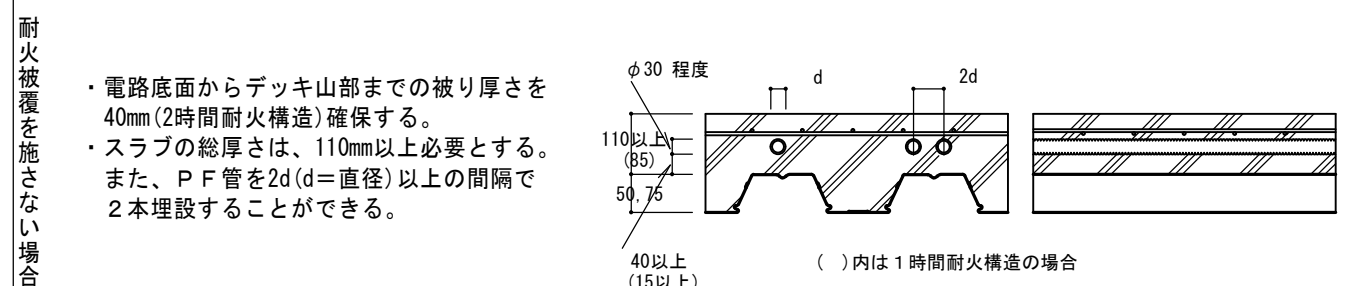
[3] 電路を集中配置する場合



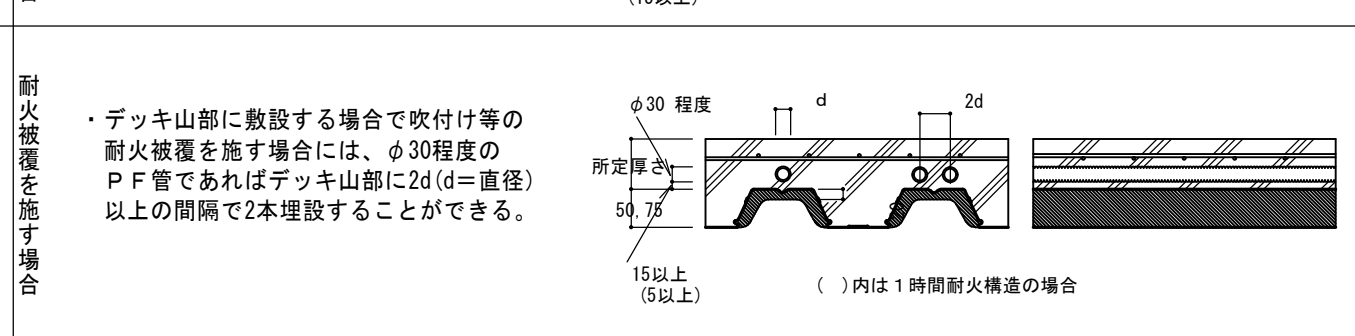
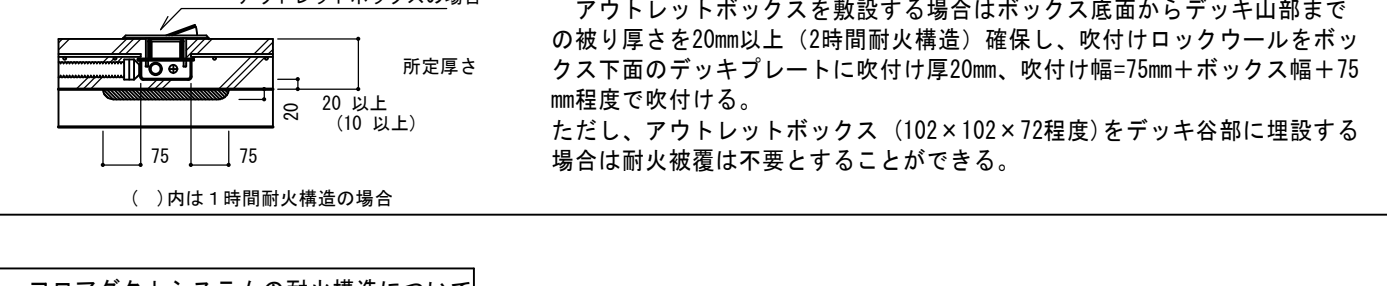
[4] ジャンクションボックスを埋設する場合



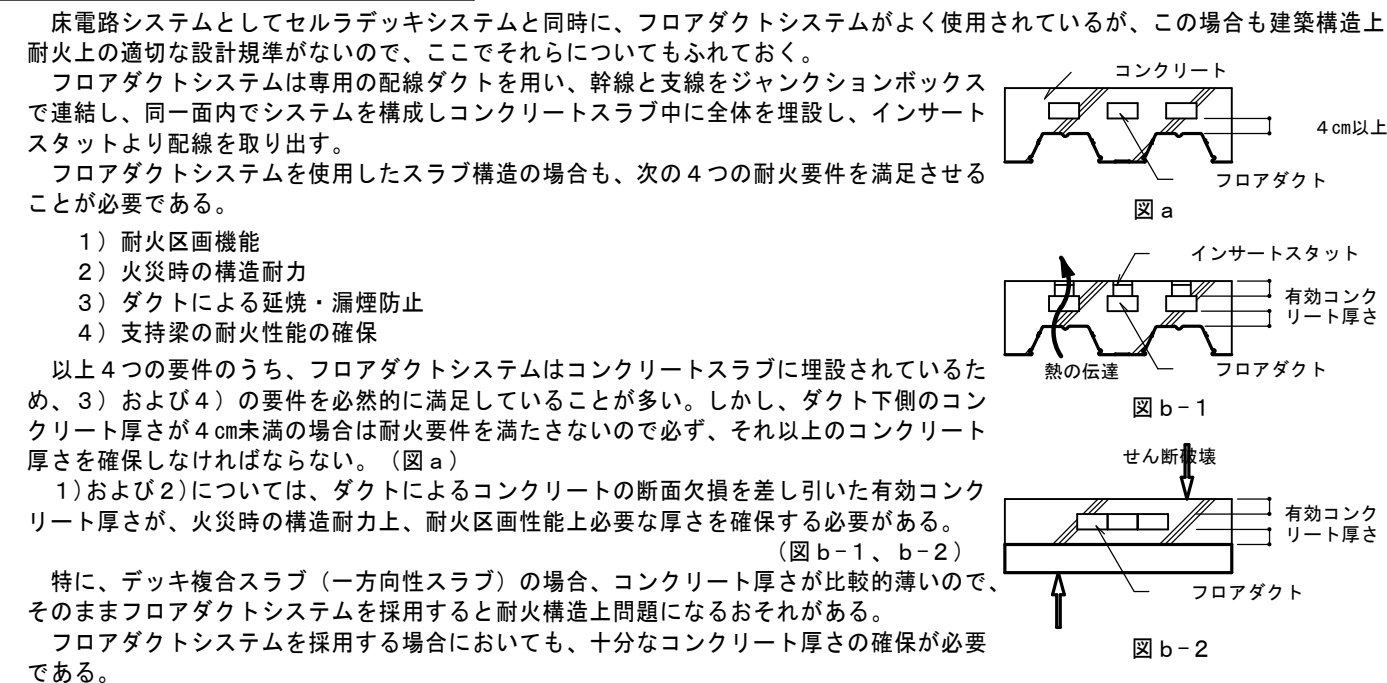
P/F管やフロアダクト等をデッキプレートと平行方向に埋設する場合



[5] アウトレットボックスを埋設する場合



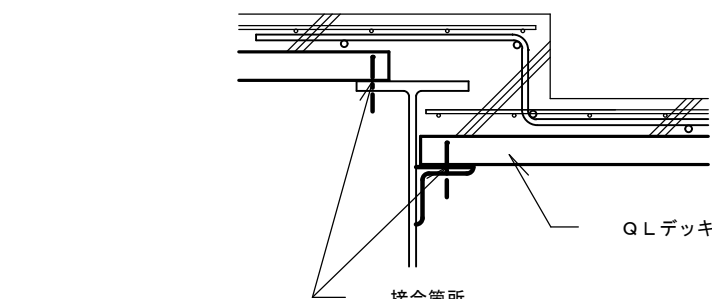
フロアダクトシステムの耐火構造について



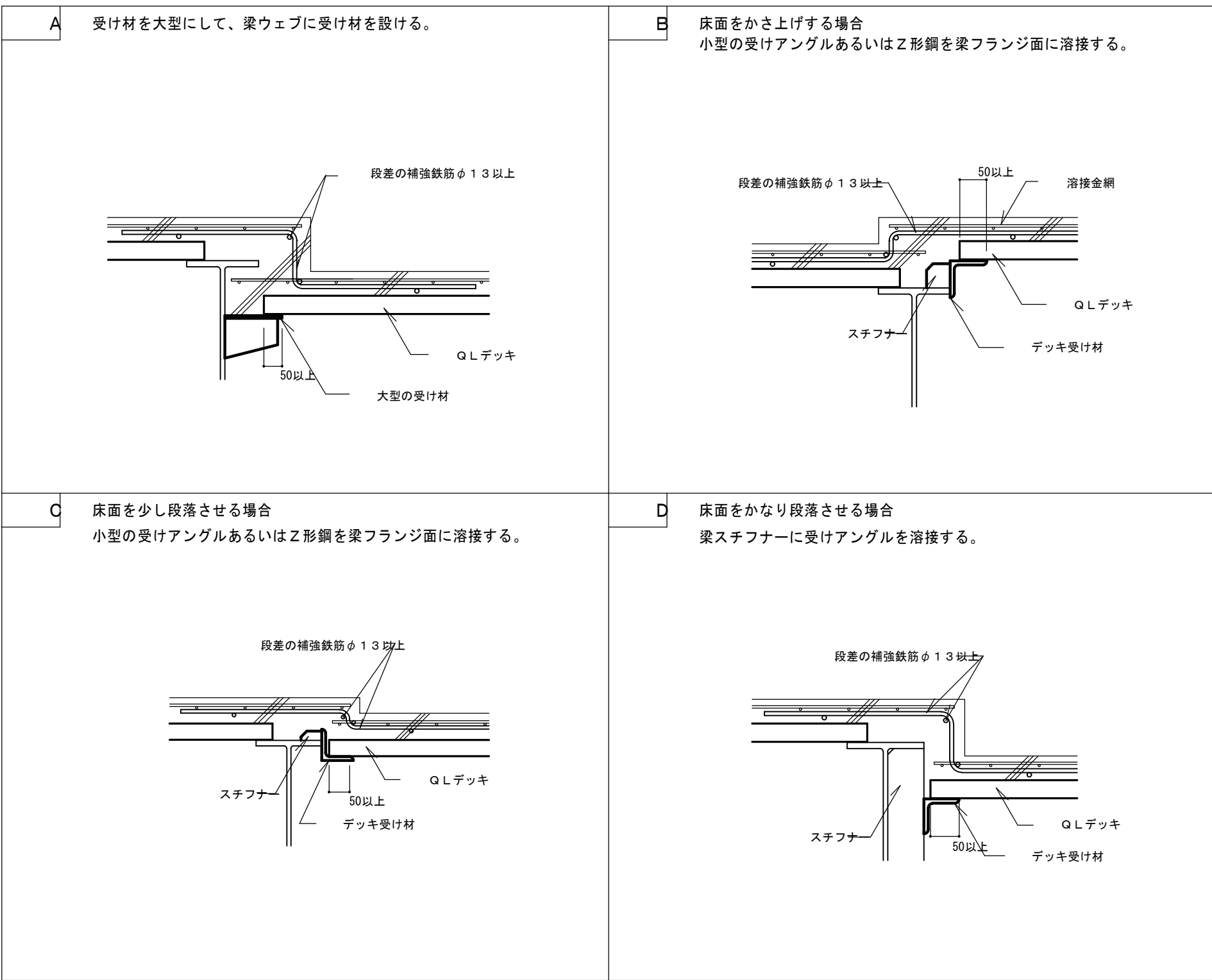
床スラブに段差がある場合の支持部接合法の参考例

・段差がある場合、梁等の躯体側デッキ支持部において「焼抜き溶接」または「頭付きスタッド」の施工が可能かどうかを考慮して下さい。（下図例の場合、梁ウェブ位置アングル部での施工不可。）

・使用する受け材やステフナーの板厚・支持間隔・溶接方法等については強度面から実際の設計に応じて別途の検討が必要です。



※デッキ受け材については施工時並びに設計時を考慮し、使用コンクリート重量や施工時荷重・設計時積載荷重等から、使用部材並びに納まりの詳細（溶接サイズ等）を検討して下さい。



設計者 渡邊 政之

一級建築士 第242370号

構造設計一級建築士 第6169号

年月日 2024. 02. 29

作図者 渡邊 政之

工事名

（仮称）新学校給食センター 建築工事

図面名

合成スラブデッキ施工要領書(3)

縮尺

図面番号

A1

A3

S-010

Q L ルーフ屋根設計・施工標準 JFE 建材 株式会社

Q L ルーフを屋根に用いた場合の設計・施工は、(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工標準 2018」、床商品カタログ、Q L デッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設 計

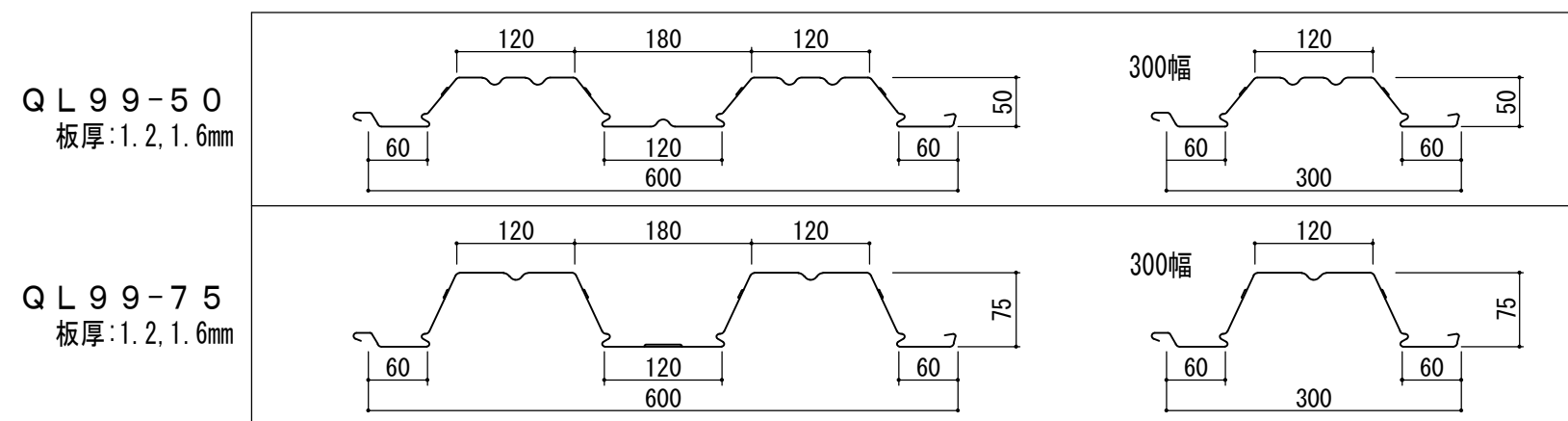
採用項目に ☒ を記して下さい。

1. 材料／デッキプレート

[ISO 9001認証取得]

商 品 名	デッキプレート種類	表 面 処 理	材 質
Q L ルーフ	■QL99-50-12Y □QL99-75-12Y □QL99-50-16Y □QL99-75-16Y	■亜鉛めっき [■Z12 □Z27] □JFEIIGA®*1 [□Y18 □Y27] □その他 ()	JIS G 3352 SDP2G

*1 高耐食溶融めっき鋼板



2. Q L ルーフと梁 (母屋) との接合

*2 下記の接合箇所の項を参照

*3 耐火仕様FP030RF-0064のみφ6×L20以上

端 部 *2	中 間 部 *2	接 合 仕 様	接 合 条 件
■ □	■ □	焼抜き栓溶接 (φ18以上)	梁 (母屋) 板厚 (t) ≥ 6mm
□	□	打込み鉋	
□	□	ドリルねじ (φ6×L19以上)*3	2.3mm ≤ 梁 (母屋) 板厚 (t) < 6mm
□	□	その他	

接合箇所

◎デッキ幅方向

接合部の作用する荷重に応じて接合箇所の個数を決定する。

デッキ端部梁 (母屋) 上

Ns=Ws/1.5Pa かつ 3ヶ所/デッキ1枚以上

デッキ中間部梁 (母屋) 上

Nc=Wc/1.5Pa かつ 3ヶ所/デッキ1枚以上

Pa : 接合部1個当たりの長期許容引張り力 (N)

Ws : デッキ端部梁 (母屋) 上部に作用する設計最大荷重 (N/m)

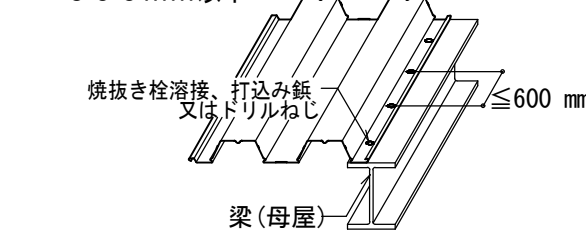
Wc : デッキ中間部梁 (母屋) 上部に作用する設計最大荷重 (N/m)

Ns : デッキ端部梁 (母屋) 上の接合箇所数/1m幅

Nc : デッキ中間部梁 (母屋) 上の接合箇所数/1m幅

◎デッキスパン方向

600mm以下



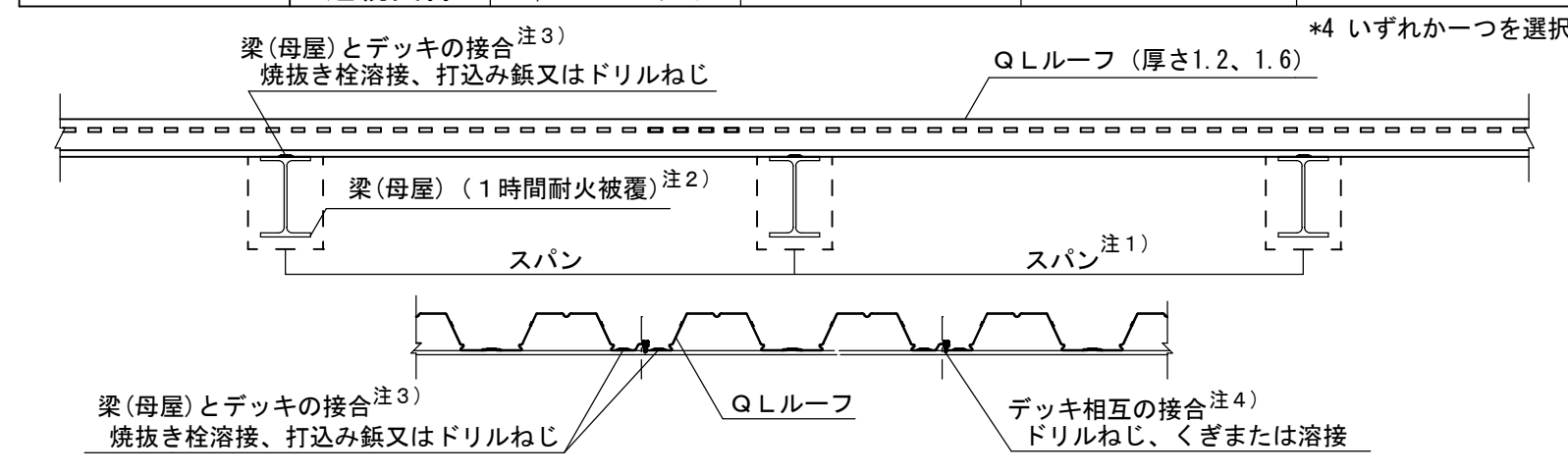
注) 上記方法でデッキと梁 (母屋) を接合しても、水平ブレースは削除できません。水平ブレース (屋根面) は別途ご指示ください。

特記

そ の 他	デッキ敷込み時にデッキ嵌合が甘い場合は、適切な処理を施して下さい。(「4. 施工デッキ相互の接合」を参照) ...
-------	---

3. 屋根システム耐火仕様

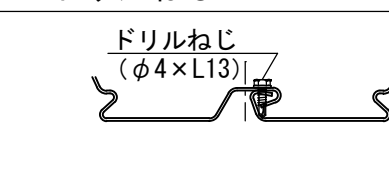
デッキ品名	敷設形式	支持スパン	認定番号	接合 (デッキ相互)*4	接合 (デッキと母屋)
QL99-50-12Y	単純支持	2,800mm 以下	□FP030RF-0327	□ドリルねじ □スポット溶接 □すみ肉溶接 □くぎ	■焼抜き栓溶接 □打込み鉋 □ドリルねじ (φ6×L19以上)
QL99-50-16Y	連続支持	3,400mm 以下	■FP030RF-0413		
QL99-75-12Y	単純支持	3,400mm 以下	□FP030RF-0328		
QL99-75-16Y	連続支持	4,550mm 以下	□FP030RF-0326		
QL99-50-12Y	単純支持	2,650mm 以下	□FP030RF-0064	□ドリルねじ □スポット溶接 □すみ肉溶接 □くぎ	□焼抜き栓溶接 □打込み鉋 □ドリルねじ (φ6×L20以上)
QL99-50-16Y	連続支持	3,350mm 以下			
QL99-75-12Y	単純支持	3,200mm 以下			
QL99-75-16Y	連続支持	3,900mm 以下			



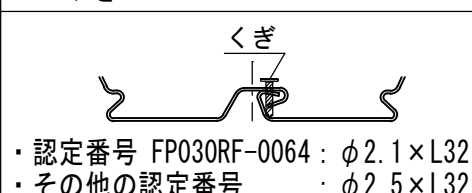
注1) スパンとは梁 (母屋) の中心間距離を言う。
注2) 梁 (母屋) の耐火被覆 梁 (母屋) に1時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注3) 梁 (母屋) とデッキ間の接合は、デッキプレート1枚毎に3ヶ所とする。詳細は「2. 梁 (母屋) との接合」及び「施工」欄を参照。
注4) デッキ相互の接合については下記の通りとする。

4. デッキ相互の接合

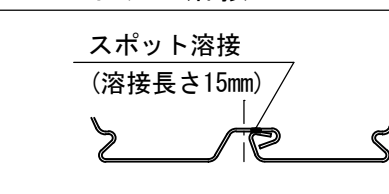
1. ドリルねじ



2. くぎ



3. スポット溶接

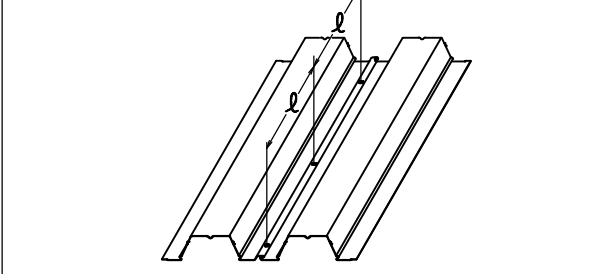


4. すみ肉溶接



接合間隔 L

□認定番号FP030RF-0064 : @450mm
□その他 :
QL99-50は、デッキスパン中央に1ヶ所接合する。
但しQL99-50・QL99-75共に、敷込み時に嵌合が甘い場合は、1m以下の接合間隔とすること。

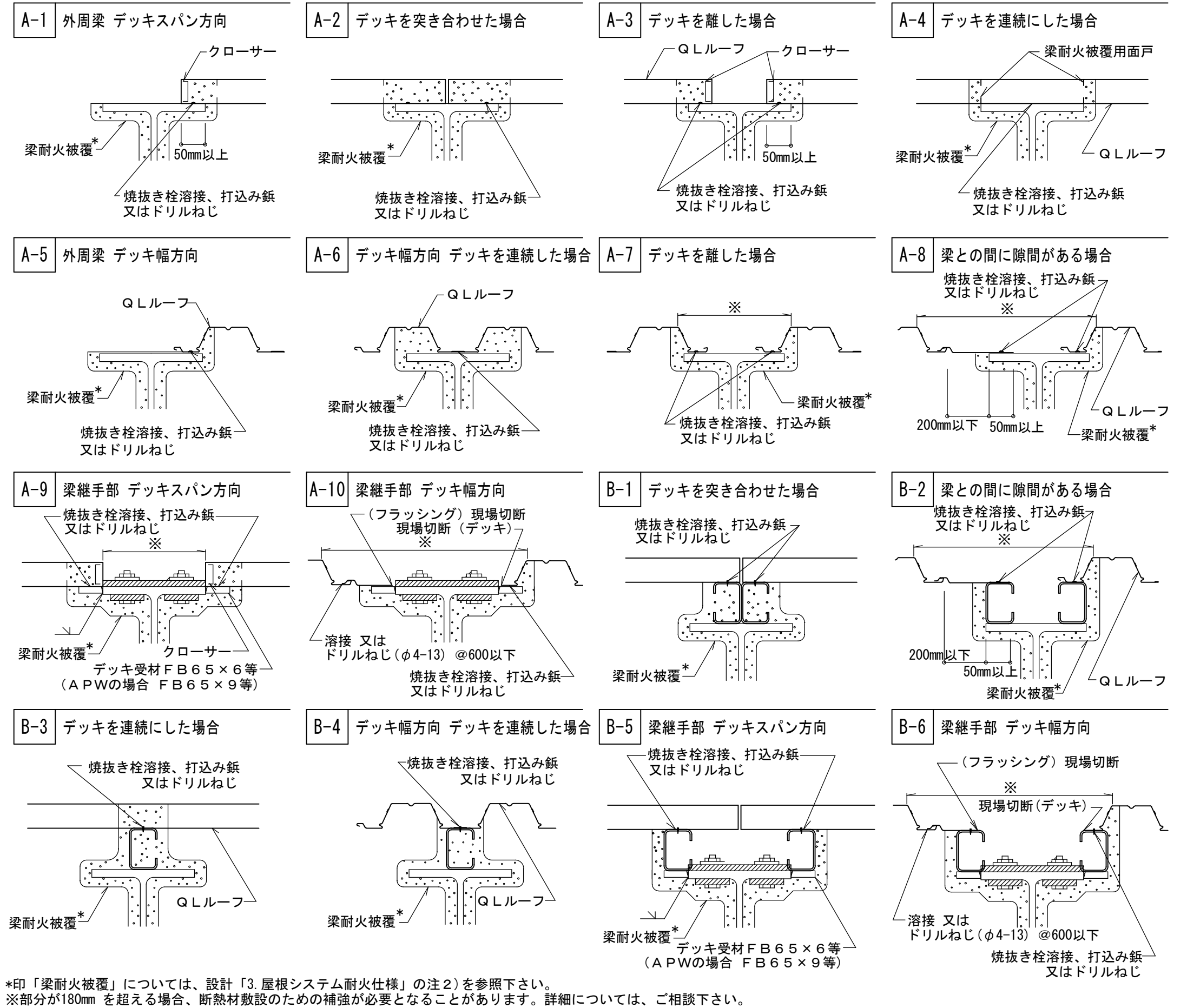


注) 認定番号FP030RF-0064に記すドリリングタッピンねじは、JIS改訂により「タッピンねじのねじ山を持つドリルねじ (JIS B 1124)」に変更になっています。

5. アクセサリー

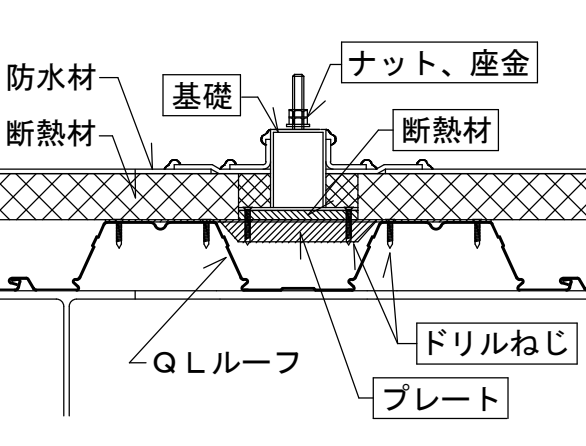
フラッシング	クローサー	天井吊り
FS 25 W (100~250)	NCS75S・NCS50S CS75・CS50 BC75・BC50	Q L インサート
デッキ割付の幅調整に用いる。 定尺2.4m	デッキの小口ふさぎに用いる。 定尺2.4m	付属のネジで固定する。 吊り荷重:980N (100kg)

標 準 納 ま り



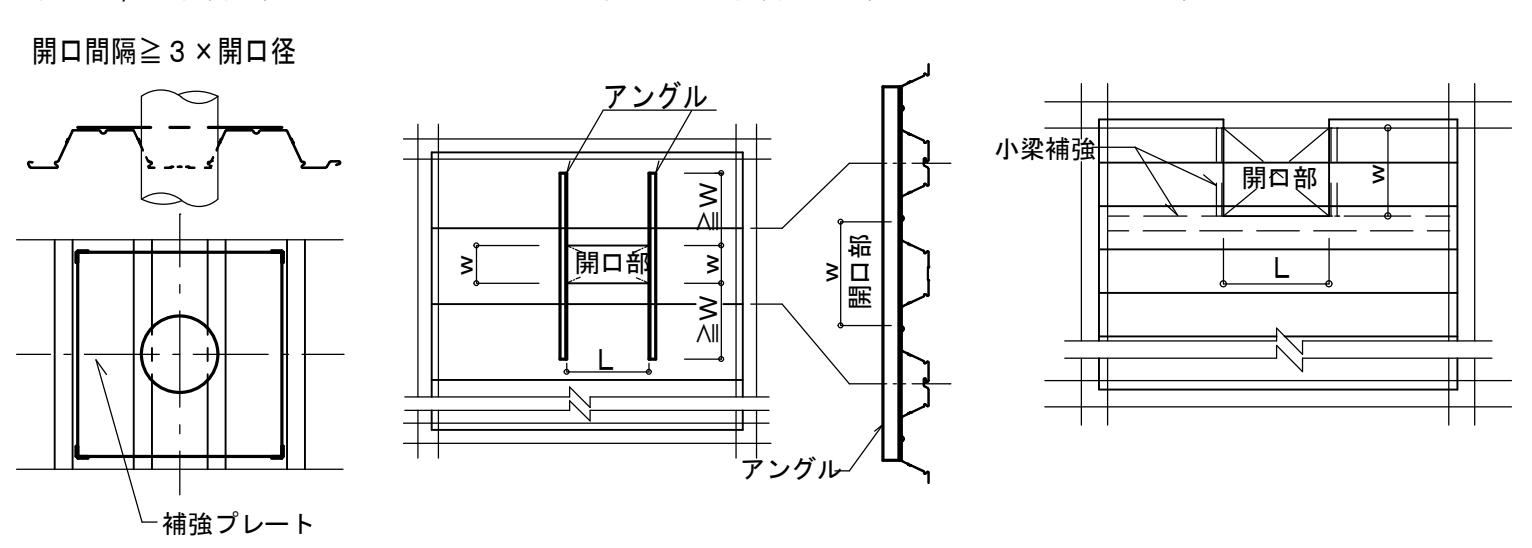
ソーラー架台基礎

※本製品を耐火・準耐火建築物へ適用する際は、予め建築主事にご確認ください。
※防水シートメーカー指定の納まりが優先されます。
※口で囲まれた部材以外は含まれておりません。



開口部補強案

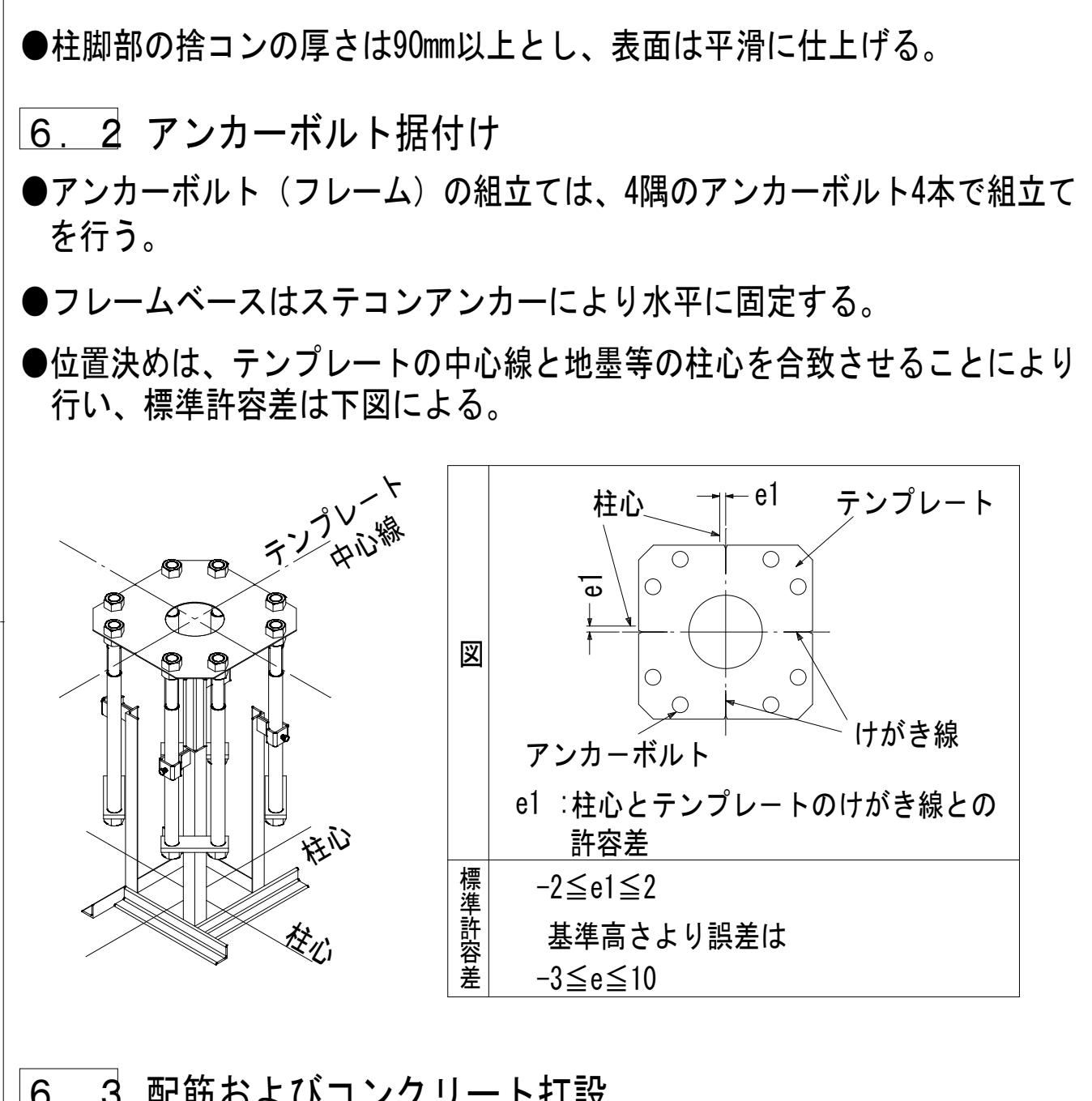
1) 開口がφ150程度の場合 2) w:600mm以下, L:900mm程度以下の場合 3) w>600mmの場合



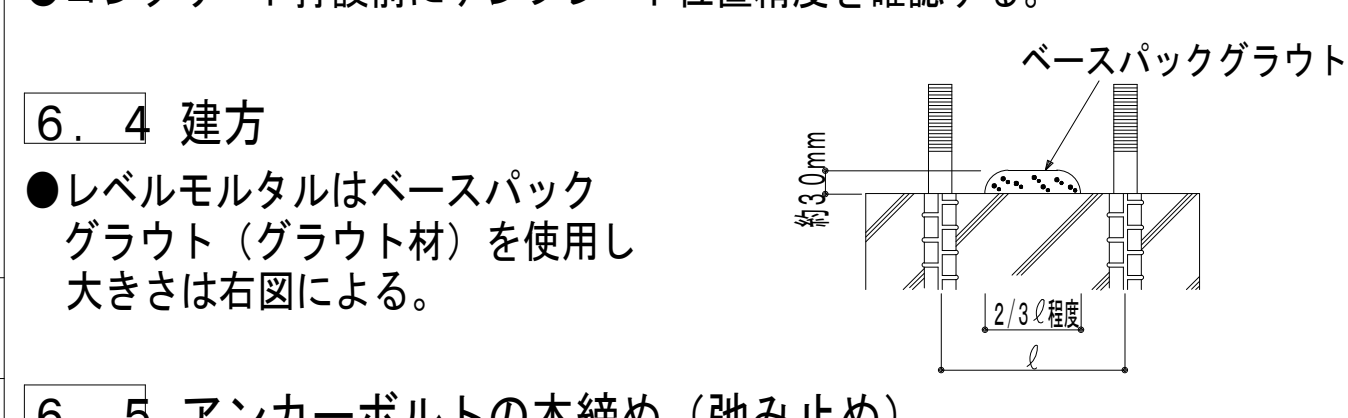
施 工	施工順序	敷 込 み	デッキと梁 (母屋) との接合		ドリルねじ	検 査	
	墨 出 し ↓ 敷込み仮止め溶接 ↓ デッキと梁 (母屋) との接合 1) 焼抜き栓溶接 2) 打込み鉋 3) ドリルねじ ↓ デッキ相互の接合 1) ドリルねじ 2) くぎ 3) スポット溶接 4) すみ肉溶接 ↓ 検 査	1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数 (5~10枚) ごとに仮止めの溶接する。 2) デッキプレートの溝部が各梁 (母屋) 上に乗るように敷込む。(50mm以上) 3) デッキプレートの長さ方向の梁 (母屋) 上のかり幅は、50mm 以上に敷込む。	焼抜き栓溶接 — アーク手溶接 — 平成14年4月16日国土交通省告示第326号に基づき、下記の仕様とする。 (1) 溶接機: 交流アーク溶接機 AW250A以上 エンジン溶接機 230A以上 (2) 溶接棒: JIS Z 3211のE4316, E4916 に定める低水素系被覆アーク溶接棒 棒径4mmφのもの (3) 標準溶接条件: 右表 梁フランジ板厚 溶 接 電 流 6mm以上 190~230A (標準210A) (4) 溶接工の資格: JIS Z 3801, JIS Z 3841 における基本級の有資格者 (5) 手順・要領: 以下の1~4の順に行う。 工 程 手 順 ・ 要 領 1 アーク発生 デッキを梁 (母屋) になじませ (隙間2mm以下) 溶接棒をデッキに垂直にしてアークを発生させる。 2 デッキ焼抜き 溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm弱で“〇”の字を描いてデッキを焼抜く。 3 押し込み・溶着 溶接棒を梁 (母屋) 上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように内中央へ2~3回転しながら運轉。 4 整 形 溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラブを除去して仕上がりを確認。 溶接時間の目安: 電流値210A (標準) の場合8秒程度	打込み鉋 (1) 使用工具: 鉋打機 (打込み鉋専用工具) (2) 鉋: ヒルティ鉋 (X-ENP-19 L15: JIS G 3502 ピアノ線相当) (3) 施工指導及び施工: 鉋メーカーが責任施工又は施工指導を行う。 (4) 作業資格: 鉋メーカーの作業資格認定制度に基づき施工技術を得た作業員が施工する。 (5) 手順・要領: 以下の1~3の順に行う。 工 程 手 順 ・ 要 領 1 鉋打ち機調整 梁 (母屋) 板厚に合った空砲と威力レベルをセットする。 2 鉋打ち デッキを梁 (母屋) になじませ鉋を打つ。 3 立上がり長さ確認 検査用測定ゲージを用いて立上がり長さを確認する。 注1 閑静な場所では発射音の対策に注意。 2 詳細は鉋メーカーの施工要領にしたがって施工並びに検査を行う。	(1) 規 格 : JIS B 1124 (2) 寸法 (mm): φ6以上×L20以上 梁 (母屋) 板厚が厚い場合は、デッキと梁 (母屋) に下穴を開けた後に、ドリルねじを取り付ける。 注: 「デッキ相互の接合」に使用するドリルねじとは、ねじの寸法 (φ4×L13) が異なる。	【焼抜き栓溶接】 □事前検査 適正な溶接を行うため1)または2)の方法で電流値をチェックする。 1) 検流計での計測 2) 溶接棒の消費長さによる確認 — 未使用の規定の溶接棒を用いてアーク長さを約3mmに保持し、10mm程度の円を描いて10秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが45~53mmであること。 □溶接後の外観検査 1) 溶接箇所の確認 2) 焼き切れ、余盛り不足の有無 3) 標準余盛り径: 18mm以上 □不良部の補修 スラグ除去後、梁にデッキを密着させて再溶接する。 不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。 【そ の 他】 (1) デッキ相互の嵌合状況 (2) 開口部の補強状況	【打込み鉋】 □事前検査 梁 (母屋) 板厚に合った空砲と威力をセットする。 空砲の種類及び選定についてはメーカーに確認する。 □接合後の外観検査 1) 検査用測定ゲージを用いて立上がり長さを確認する。 D ヒルティ鉋 15 d 4.5 L 8.2~9.8 2) 検査で不合格の場合は増打ちをする。 L: 鉋立上がり長さ □不良部の補修 打鉋に失敗した鉋の頭部がじゃまして、増し打ちができない場合は、グラインダーにてその鉋の頭部とワッシャーを取り除き、その隣でデッキスパン方向10mm以内に増し打ちする。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事



- コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。



■溶接方法（完全溶込み溶接）

6. 6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

- グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
- グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

- 本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。
- 本工法のうち6. 2アンカーボルト据付け及び6. 6ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
- ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

1. 工法概要

1.1 構成部材

①アンカーボルト ②注入座金 ③Mナット ④Dナット ⑤Dナット(S) ⑥ベースパックグラウト(グラウト材) ⑦定着座金 ⑧テンプレート ⑨フレームポスト ⑩フレームベース ⑪ステコンアンカー(コンクリートアンカー) ⑫ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑧～⑪は現場状況により仕様異なる場合がある。
(注)アンカーボルト12本の場合はつなぎプレートが取り付く。

1.2 柱脚の定着方法概要

グラウトロート グラウト材 注入座金 注入栓(様本等)

2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	●
	JBCR295	
	TSC295	

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート

●材質

SN490B 【JIS G 3136】
BT-HT440B-SP 【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】
(建築構造用高溶接性高性能S990N/mm²鋼材)

形状 (ハ)

形状 (ニ)

3.2 アンカーボルト (Dアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

単位 mm

呼び	L	b	端部ねじd	基準強度(N/mm ²)
D38	850	46	M33	390
D41	900	49	M36	390
D41H	995	49	M36	490
D51	1110	57	M45	390
D51H	1215	57	M45	490

3.3 Mナット・Dナット

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

単位 mm

呼び	A	B	(e)
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M45	36	70	81

3.4 定着座金

単位 mm

適用アンカーボルト	ε	t	d	材質
D38	65	12	37	SS400
D41, D41H	70	12	37	SS490
D51, D51H	85	12	46	SS490

3.5 注入座金

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料, SS490】

単位 mm

記号	適用アンカーボルト	a	c	t	d
PD38	D38	96	122	20	43
PD41	D41, D41H	100	127	20	46
PD51	D51, D51H	110	140	20	58

3.6 フレームベース

i) Cタイプ ii) 特Cタイプ

3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

< Cタイプ ※ >

< 特Cタイプ >

< Cタイプ ※ >

< 特Cタイプ >

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状

形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。

4.2 配筋

配筋仕様は下表による。

●コンクリート

普通コンクリートとし、設計基準強度は下表に記載の値とする。

●鉄筋

SD295 (D13, D16)
SD345 (D22, D25)

4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。

4.4 特記事項

上記内容によらない場合は下記による。

採用

☐ 下表標準柱型寸法からの変更あり(「柱型寸法最大・最小値一覧」による)

☐ 下表標準配筋仕様からの変更あり

☐ 立上り筋に頂部フックが必要

5. 工場製作(溶接)

■組立

●ベースプレートの中心線(「か」線)に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法(完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図

溶接方法

適用板厚 T(mm)

ルート間隔 R(mm)

ルート面 R(mm)

開先角度 α(°)

溶接姿勢

被覆アーク溶接

6~

7

-2,+∞
(-3,+∞)

2

-2,+1
(-2,+2)

α1:45

-2.5,+∞
(-5,+∞)

下向き

セレクトベースプレートの溶接

6~

9

-2,+∞
(-3,+∞)

2

-2,+1
(-2,+2)

α1:35

-

下向き

ガスシールドアーク溶接

7

7

-2,+∞
(-3,+∞)

2

-2,+1
(-2,+2)

α1:35

-2.5,+∞
(-5,+∞)

下向き

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段階きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差(上段:管理許容差、下段括弧内:限界許容差)を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5℃以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法

鋼種

板厚(mm)

50≦t≦50

50<t≦75

低水素系被覆アーク溶接

SN490B
BT-HT440B-SP

予熱なし

予熱なし

G0 ガスシールドアーク溶接

SN490B
BT-HT440B-SP

予熱なし

予熱なし

■検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6.2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

図

標準許容差

柱心

e1

テンプレート

けがき線

アンカーボルト

e1:柱心とテンプレートのけがき線との許容差

基準高さより誤差は

-2≦e1≦2

-3≦e≦10

6.3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

●レベLMタルはベースパックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。

約30mm

2/3程度

6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

●Dナット(S)による弛み止めは右図による。

A.Bt

Dナット(S)

Dナット

注入座金

B.PL

6.6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.1の水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

訂正

株式会社 池田建築設計事務所
idea - image - inspiration

設計者

渡邊 政之

一級建築士 第242370号
構造設計一級建築士 第6169号

年月日

2024. 02. 29

設計者

渡邊 政之

工事名

(仮称) 新学校給食センター 建築工事

図面名

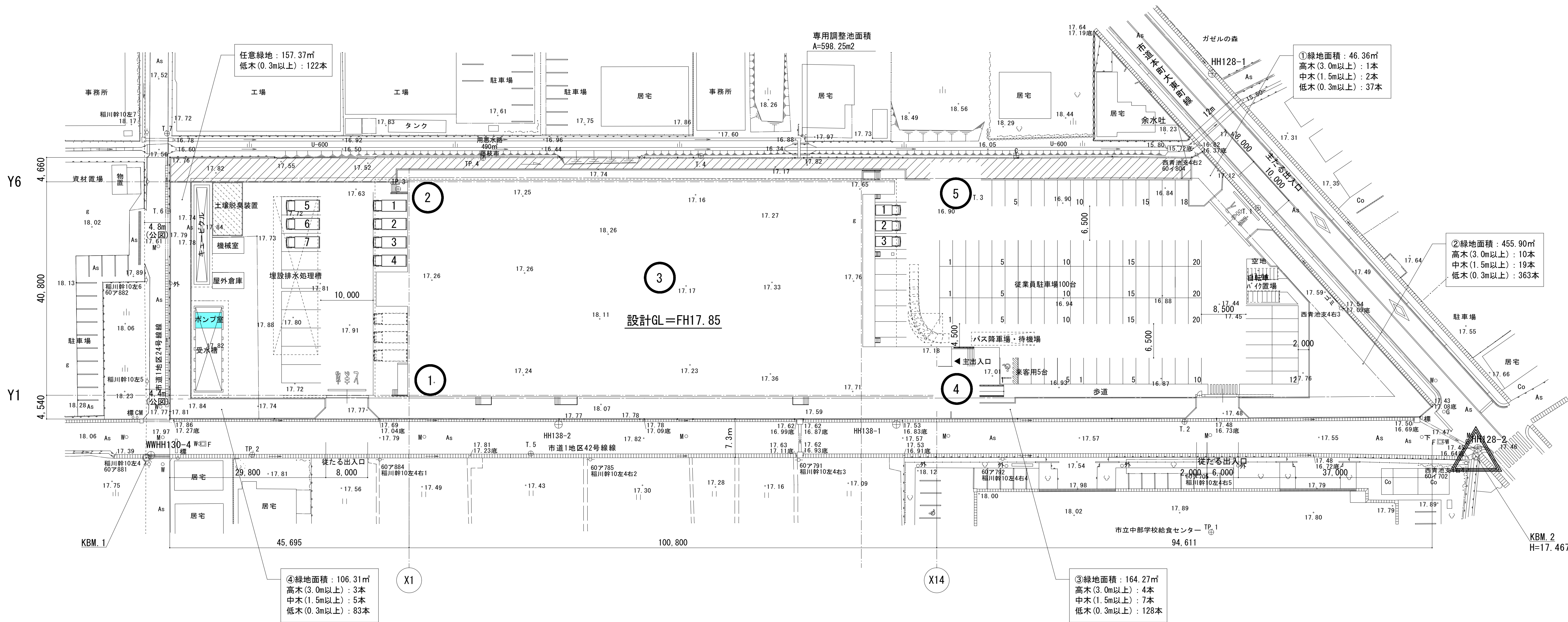
半固定柱脚 施工要領書 2 (参考図)

縮尺

A1 —
A3 —

図面番号

S-013

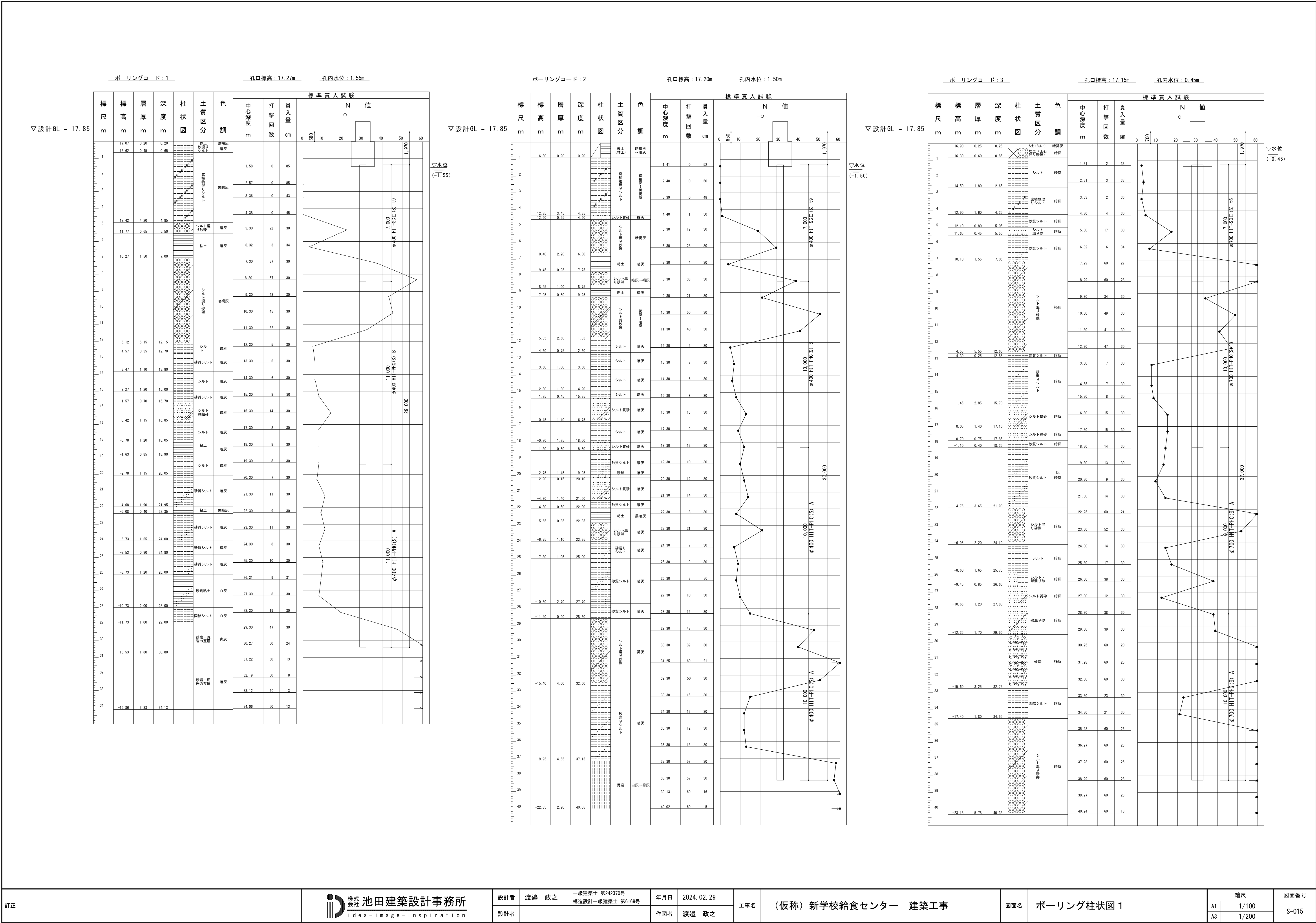


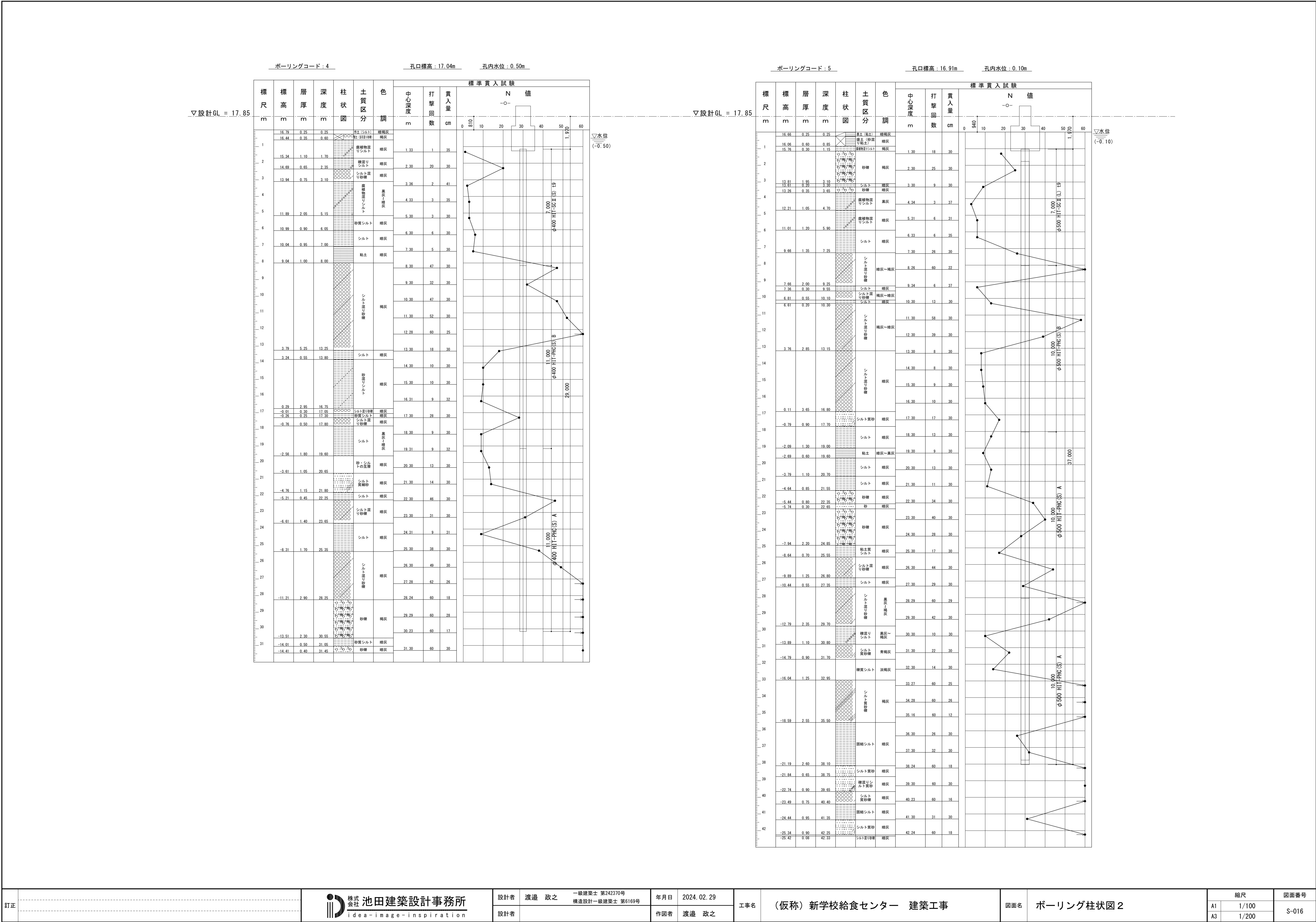
△ KBM (17.467)

① ボーリング位置

ボーリング位置図 S=1/400

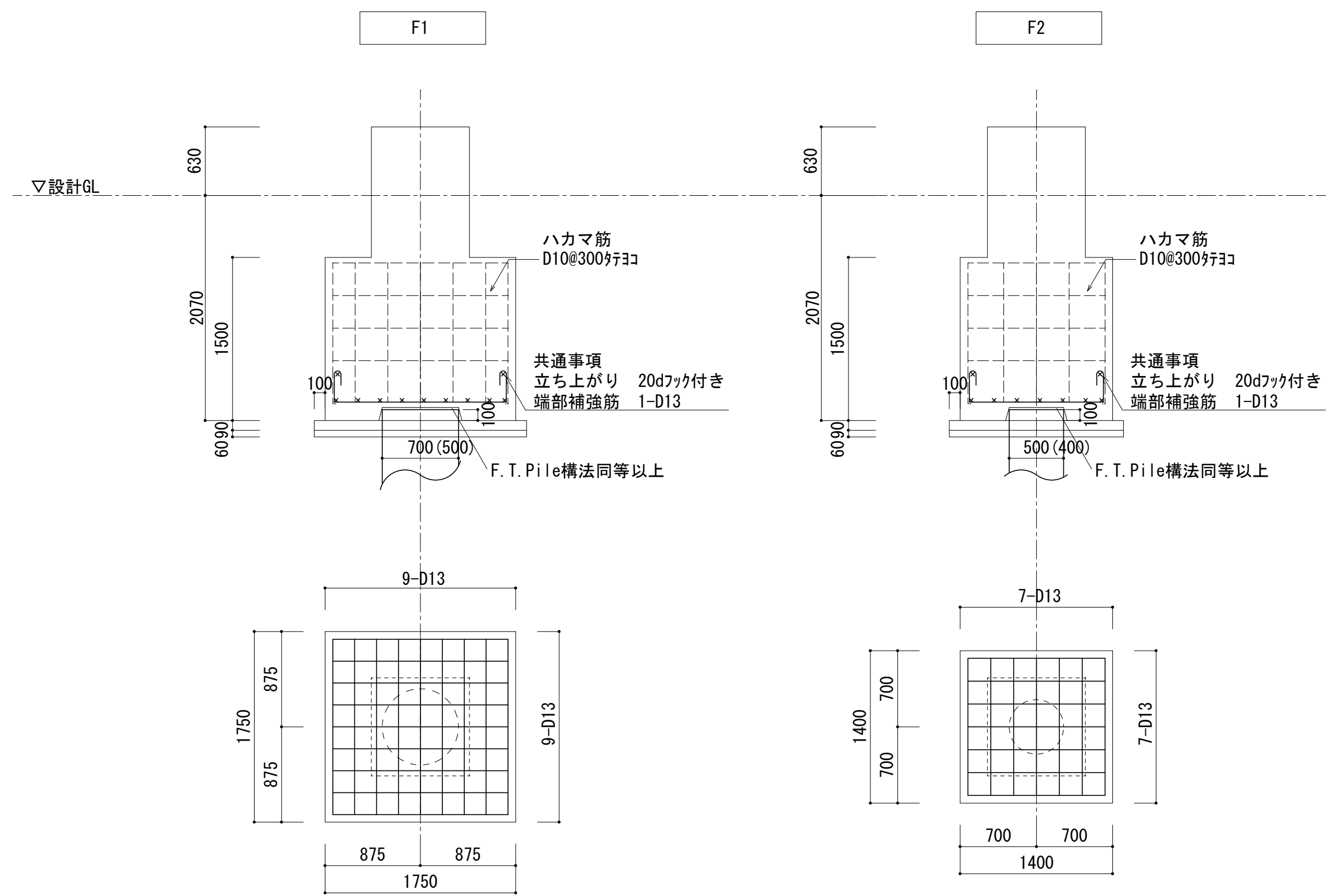
訂正	 <div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div>	設計者	渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	ボーリング位置図	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	渡邊 政之					A1	1/400	
										A3	1/800	





基礎リスト S=1/40

杭工法	: Hyper-ストレート工法（認定）同等以上		
杭 種	: [P1] 径φ400 37m（上杭 SC(t9S)Ⅱ種 7m + 中杭 PHC B種 10m + 中杭 PHC A種 10m + 下杭 PHC A種 10m)	Ra=1455kN/本（長期）	
	: [P1A] 径φ400 29m（上杭 SC(t9S)Ⅱ種 7m + 中杭 PHC B種 11m + 下杭 PHC A種 11m)	Ra=1480kN/本（長期）	
	: [P2] 径φ500 37m（上杭 SC(t9S)Ⅱ種 7m + 中杭 PHC B種 10m + 中杭 PHC A種 10m + 下杭 PHC A種 10m)	Ra=2110kN/本（長期）	
	: [P2A] 径φ500 29m（上杭 SC(t9S)Ⅱ種 7m + 中杭 PHC B種 11m + 下杭 PHC A種 11m)	Ra=2110kN/本（長期）	
	: [P2T] 径φ500 37m（上杭 SC(t9L)Ⅱ種 7m + 中杭 PHC B種 10m + 中杭 PHC A種 10m + 下杭 PHC A種 10m)	Ra=2110kN/本（長期）	
	: [P3] 径φ700 37m（上杭 SC(t6S)Ⅱ種 7m + 中杭 PHC B種 10m + 中杭 PHC A種 10m + 下杭 PHC A種 10m)	Ra=3680kN/本（長期）	
杭精度	: [P3A] 径φ700 29m（上杭 SC(t6S)Ⅱ種 7m + 中杭 PHC B種 11m + 下杭 PHC A種 11m)	Ra=3680kN/本（長期）	
	杭芯ズレに関しては杭打ち後、すみやかに施工偏心距離を監理者に報告し確認を行う。 偏心により配筋が変わる場合は、確認機関へ届ける事。		
杭高止り	: 不可（オーガーヘッド交換等により所定の位置まで施工する）		
杭頭補強	: F.T.Pile構法 ※P2Tは引抜きタイプとする。引抜き抵抗用鋼棒 6-φ11（C種）L=1200mm		
継手	: 機械式継手 トリプルプレートジョイント（T・P JOINT） BCU評定 FD0183-07 とする。		



鋼材リスト											
C41	: □-400x400x19	(BCR295)	CG60	: H-600x200x 11x17	(SN400B)	P25	: □-250x250x9	(BCR295)			
C40	: □-400x400x16	(BCR295)	CG44	: H-440x300x 11x18	(SN400B)		B. PL-19x450x450	(SN400C)			
C36	: □-350x350x16	(BCR295)	CG34	: H-340x250x 9x14	(SN400B)		A. BOLT 4-M20 L=400				
C35	: □-350x350x12	(BCR295)					G. PL-9 HTB 3-M20				
C30	: □-300x300x12	(BCR295)	TB30	: H-300x300x10 x15	(SN400A)						
※BCR材は大臣認定品であること						TB17	: H-175x175x7. 5x11	(SN400A)	P12	: H-125x125x6. 5x9	(SN400)
G91	: SH-900x300x 19x36	(SN400B)	TB15	: H-150x150x 7 x10	(SN400A)		B. PL-16x175x330	(SS400)			
G90	: SH-900x300x 16x32	(SN400B)	TB12	: H-125x125x6. 5x 9	(SN400A)		A. BOLT 2-M16 L=320				
G80	: H-800x300x 14x26	(SN400B)	※TB部材は横使い				G. PL-9 HTB 2-M16				
G70	: H-700x300x 13x24	(SN400B)	水平ﾌﾞﾚｰｽ	: M12	(T. B付 JIS品)		P11	: □-100x100x6	(STKR400)		
G58	: H-588x300x 12x20	(SN400B)		: M16	(T. B付 JIS品)		B. PL-12x150x300	(SS400)			
G48	: H-488x300x 11x18	(SN400B)		: M20	(T. B付 JIS品)		A. BOLT 2-M16 L=320				
G44	: H-440x300x 11x18	(SN400B)		: M27	(T. B付 JIS品)		G. PL-9 HTB 2-M16				
G40	: H-400x200x 8x13	(SN400B)									
G39	: H-390x300x 10x16	(SN400B)	壁ﾌﾞﾚｰｽ V	: M16	(T. B付 JIS品)		P10	: □-100x100x4. 5	(STKR400)		
G35	: H-350x175x 7x11	(SN400B)	Va	: M24	(T. B付 JIS品)		B. PL-12x150x300	(SS400)			
G34	: H-340x250x 9x14	(SN400B)					A. BOLT 2-M16 L=320				
			T13	: φ-139. 8x4. 5	(STK400)		G. PL-6 HTB 2-M16				
B70	: H-700x300x 13x24	(SN400A)									
B60	: H-600x200x 11x17	(SN400A)	胴縁	: C-100×50×20×2. 3	(SSC400)		P17	: H-175x175x7. 5x11	(SN400A)		
B45 (a, b)	: H-450x200x 9x14	(SN400A)		PL-4. 5	中ﾎﾞﾙﾄ2-M12		B. PL-16x225x230	(SS400)			
B40 (a, b, c)	: H-400x200x 8x13	(SN400A)					A. BOLT 2-M20 L=520				
B35 (a, b)	: H-350x175x 7x11	(SN400A)	階段1, 2ﾏｯﾗ	: PL-16x300	(SS400)		G. PL-9 HTB 2-M12				
B30 (a, b)	: H-300x150x6. 5x 9	(SN400A)		GPL-16 HTB 3-M16							
B25	: H-250x125x 6x 9	(SN400A)	階段3ﾏｯﾗ	: PL-16x400	(SS400)						
B20 (a)	: H-200x100x5. 5x 8	(SN400A)		GPL-16 HTB 3-M16							
B10	: H-100x100x 6x 8	(SN400A)	ﾏﾝﾅﾝｽ階段ﾏｯﾗ	: PL- 9x300	(SS400)						
				GPL- 9 HTB 3-M16							

スラブリスト				
符 号	厚 さ	位 置	主筋方向配筋	副筋方向配筋
			全 域	全 域
S1	200	上端筋	D13@150	D13@150
		下端筋	D13@150	D13@150
S2	180	上端筋	D13@150	D13@150
		下端筋	D13@150	D13@150
FS	250	上端筋	D13@200	D13@200
		下端筋	D13@200	D13@200

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表示	・	×	*	●	○	⊗	⊗	○

基礎梁リスト S=1/40											
階	符 号	FG1	FG1a	FG2	FG2a	FG4	FG4a	FG5	FG6	FG7	FG8
1	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面										
	B × D	500 × 1400	500 × 1400	500 × 1600	500 × 1600	500 × 1800	500 × 1800	550 × 2500	400 × 1800	400 × 2100	400 × 2430
	上 端 筋	7 (5/2)-D25	10 (5/5)-D25	8 (5/3)-D25	10 (5/5)-D25	7 (5/2)-D25	7 (5/2)-D25	17 (6/6/5)-D25	5 (3/2)-D25	5 (3/2)-D25	5 (3/2)-D25
	下 端 筋	7 (5/2)-D25	7 (5/2)-D25	7 (5/2)-D25	12 (5/5/2)-D25	9 (5/4)-D25	7 (5/2)-D25	12 (6/6)-D25	5 (3/2)-D25	5 (3/2)-D25	5 (3/2)-D25
	あばら筋	□ -D13@150	□□ -D13@150	□□ -D13@150	□□ -D13@125	□ -D13@200	□□ -D13@100	□□ -D13@150	□ -D13@150	□ -D13@150	□ -D13@150
	腹 筋	6-D10	6-D10	8-D10	8-D10	10-D10	10-D10	14-D10	10-D10	12-D10	14-D10
	備 考	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

幅止め筋 D10@1000前後, 受け用幅止筋 (2, 3段筋) D10

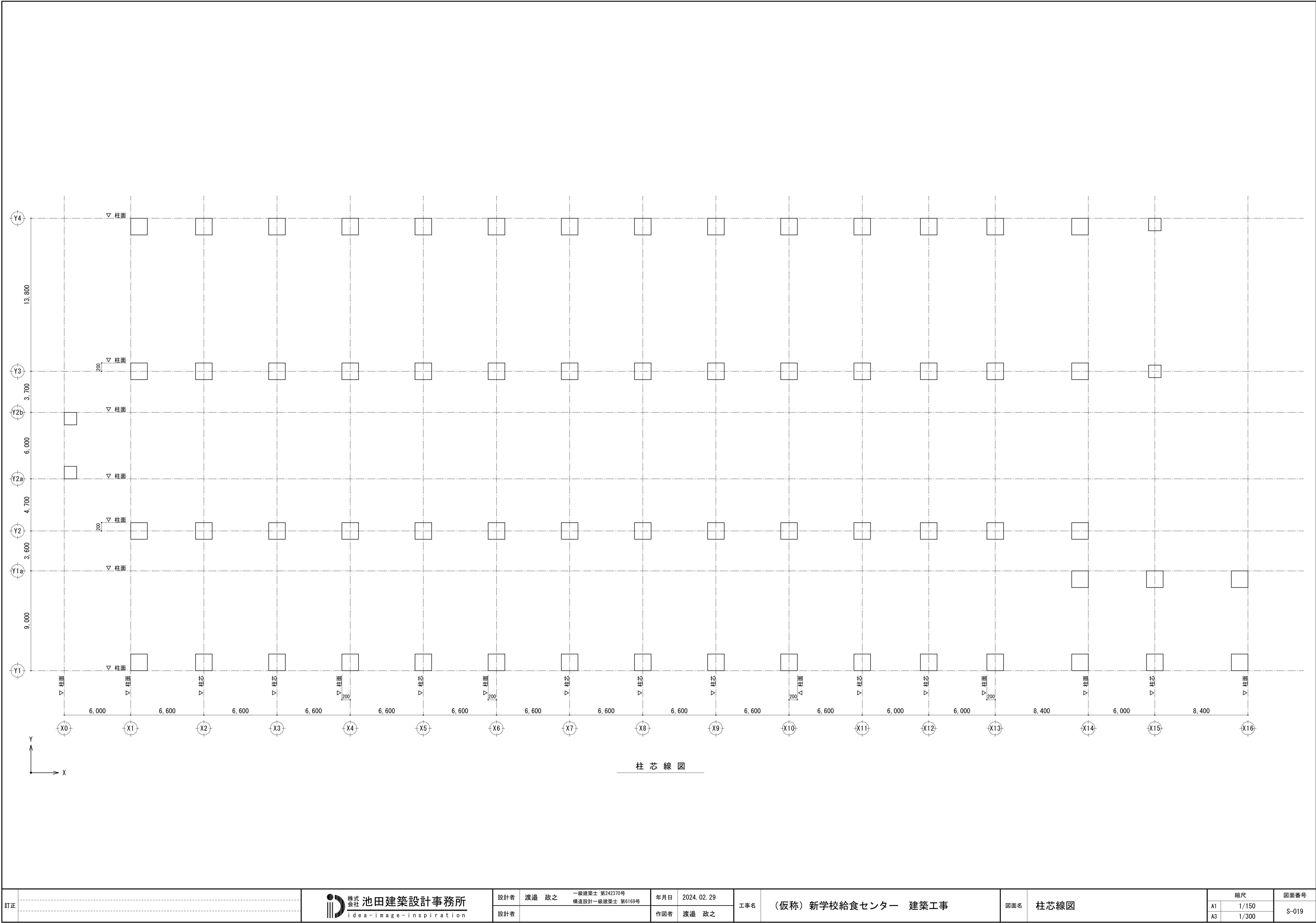
鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表示	・	×	*	●	○	⊗	⊗	○

片持梁リスト S=1/40			
階	符 号	FCG1	WB25
1	位 置	全断面	全断面
	断 面		
	B × D	500 × 1000	250 × 1000
	上 端 筋	5-D25	3/3-D16
	下 端 筋	3-D25	3/3-D16
	あばら筋	□ -D13@200	□ -D10@150
	腹 筋	4-D10	4-D10
	備 考	-	-

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
表示	・	×	*	●	○	⊗	⊗	○

基礎小梁リスト S=1/40					
階	符 号	FB1	FB2	FB2a	FB3
1	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面
	断 面				
	B × D	400 × 800	400 × 1000	400 × 1000	400 × 1100
	上 端 筋	7 (4/3)-D22	8 (4/4)-D22	8 (4/4)-D22	8 (4/4)-D22
	下 端 筋	6 (4/2)-D22	7 (4/3)-D22	4-D22	5 (4/1)-D22
	あばら筋	□□ -D10@150	□□ -D10@150	□ -D10@150	□ -D10@150
	腹 筋	2-D10	4-D10	4-D10	4-D10
	備 考	-	-	-	-

ポストリスト S=1/40			
符 号	C30	C40	C41
鉄骨断面	□-300×300×12	□-400×400×16	□-400×400×19
形 状			
主 筋	12-D22 (16-D25: Y4-X15)	12-D25 (32-D29 : Y4-X1, 6, 9)	16-D22
HooP 筋	□ -D13@100	□ -D13@100	□ -D13@100
アンカーボルト	-	-	-
ベースプレート	-	-	-
備 考	主筋頭部フック不要 (Y4-X1, 6, 9, 15を除く) トップフープはW		




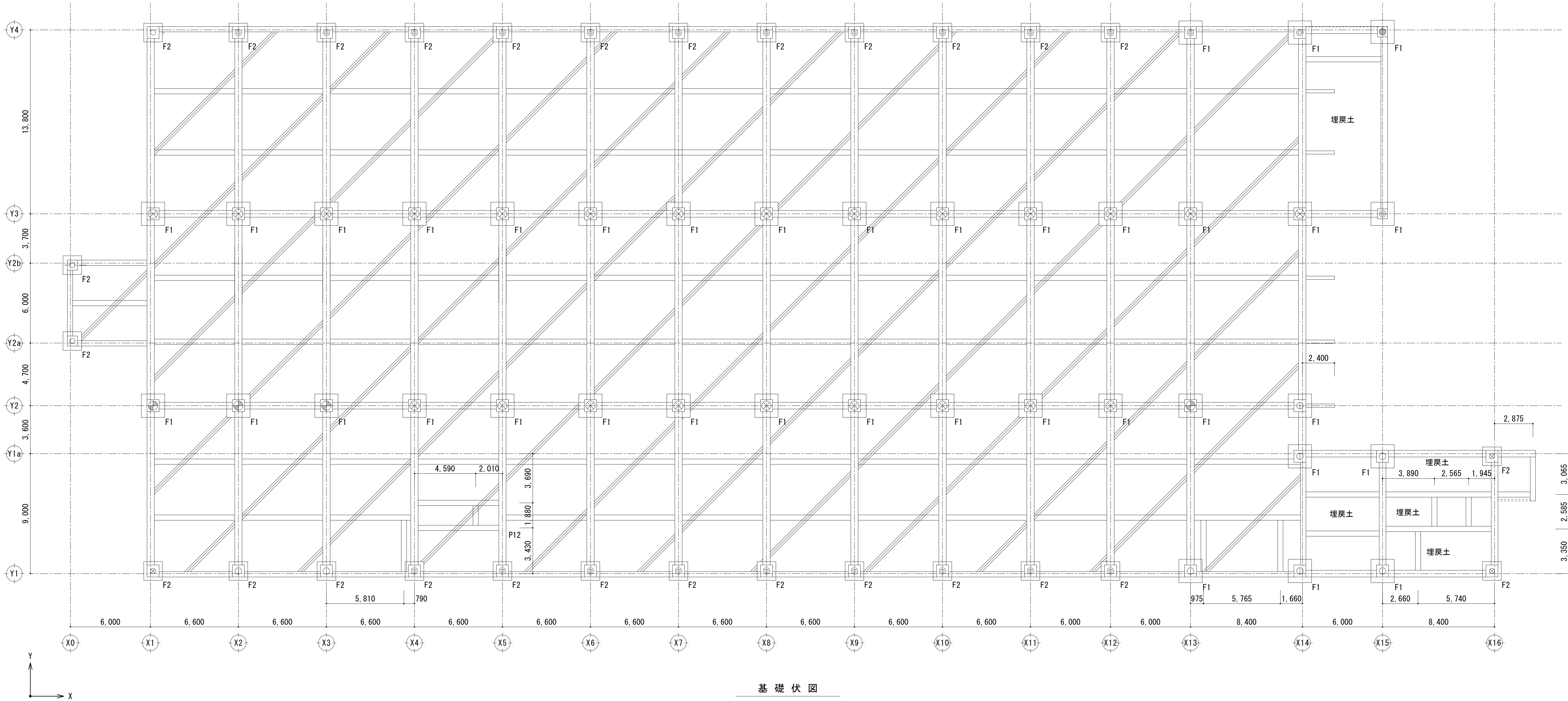
訂正	<div><div><div></div><div>株式会社</div></div><div>池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div>	設計者	渡邊 政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	柱芯線図	縮尺		図面番号
		A1	1/150										
		A3	1/300										
		設計者			作図者	渡邊 政之						S-019	

杭仕様							
杭 記 号	P1	P1A	P2	P2A	P2T	P3	P3A
杭 径	φ400	φ400	φ500	φ500	φ500	φ700	φ700
杭 全 長	37 m	29 m	37 m	29 m	37 m	37 m	29 m
杭材質	(上杭)	HIT-SCⅡ (S) t9 7m	HIT-SCⅡ (S) t9 7m	HIT-SCⅡ (S) t9 7m	HIT-SCⅡ (L) t9 7m	HIT-SCⅡ (S) t6 7m	HIT-SCⅡ (S) t6 7m
	(中杭)	HIT-PHC (S) B 10m	HIT-PHC (S) B 11m	HIT-PHC (S) B 10m	HIT-PHC (S) B 11m	HIT-PHC (S) B 10m	HIT-PHC (S) B 11m
	(中杭)	HIT-PHC (S) A 10m	-	HIT-PHC (S) A 10m	-	HIT-PHC (S) A 10m	-
	(下杭)	HIT-PHC (S) A 10m	HIT-PHC (S) A 11m	HIT-PHC (S) A 10m	HIT-PHC (S) A 11m	HIT-PHC (S) A 10m	HIT-PHC (S) A 11m
杭 耐 力	1455 kN / 本 (長期)	1480 kN / 本 (長期)	2110 kN / 本 (長期)	2110 kN / 本 (長期)	2110 kN / 本 (長期)	3680 kN / 本 (長期)	3680 kN / 本 (長期)
杭 本 数	3本	3本	23本	8本	1本	23本	4本
	合計						65本

- 特記事項：特記なきものは下記による。
1. 基礎深さは、GL-2070mmとする。（基礎下端）

2. 杭天端は基礎底+100mmとする。

3.  ビット下 捨てコンt120 D10@200_{呼び} Fc18 S15
砕石：再生クラッシュラン（RC-40）t60

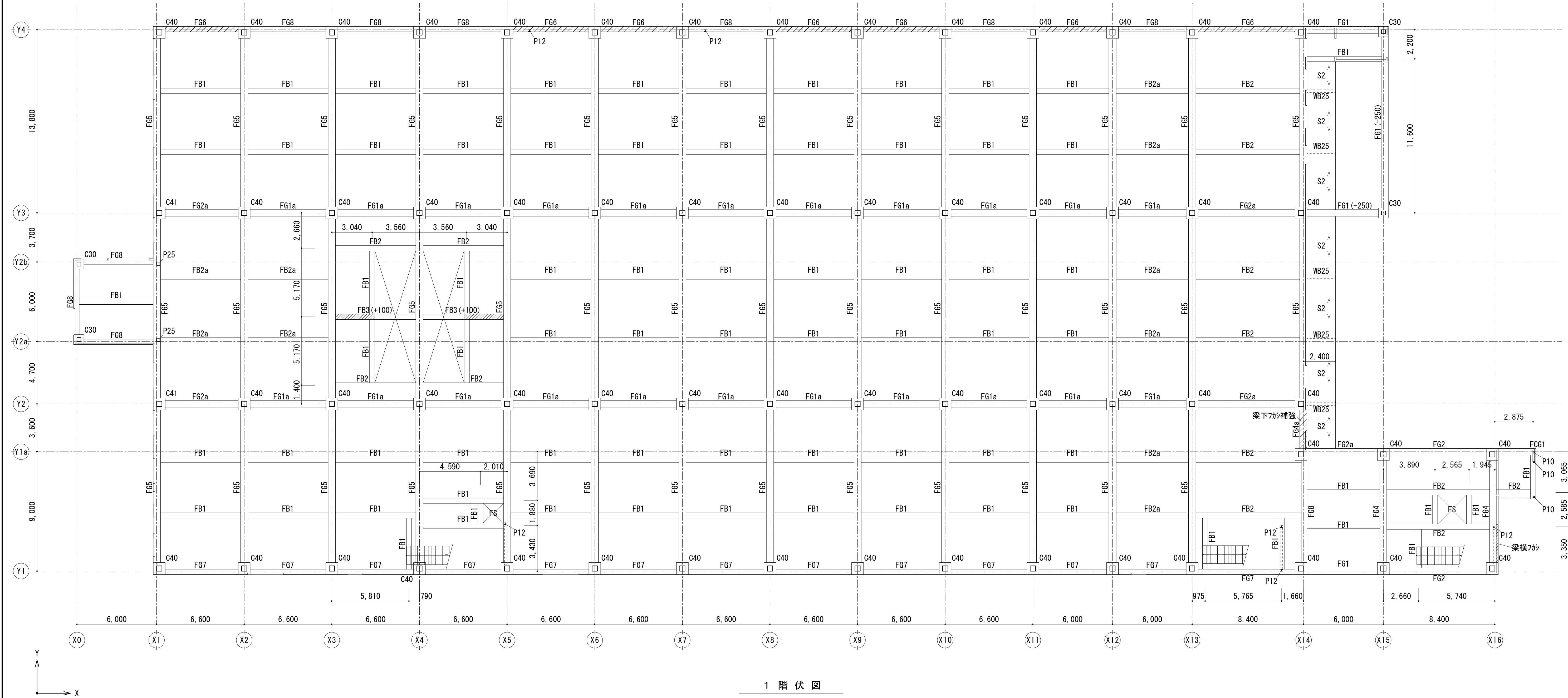


特記事項：特記なきものは下記による。

1. 地中梁（小梁）高さは、GL+630mmとする。
（ ）内はGLからの梁高さ（天端）を示す。
2. 床高さは（天端）は、意匠図参照とする。
3. 主筋はX方向を上側とする。
4. 地中梁で地山支持出来ない場所は、無筋コンクリートで基礎底まで打設することを基本とする。
5. Pコンの使用は基本不可とする（断面欠損、かぶり不足）
6. スペーサの種類は、コンクリート製又は鋼製とする。
（モルタルは不可）但し、側面に限りプラスチック製でも可
7. スラブはS1とする。
8. 梁上はスラブ天端までフカシとする。
9. EV副資材は意匠図（EV図）を参考とする。

梁上フカシ補強

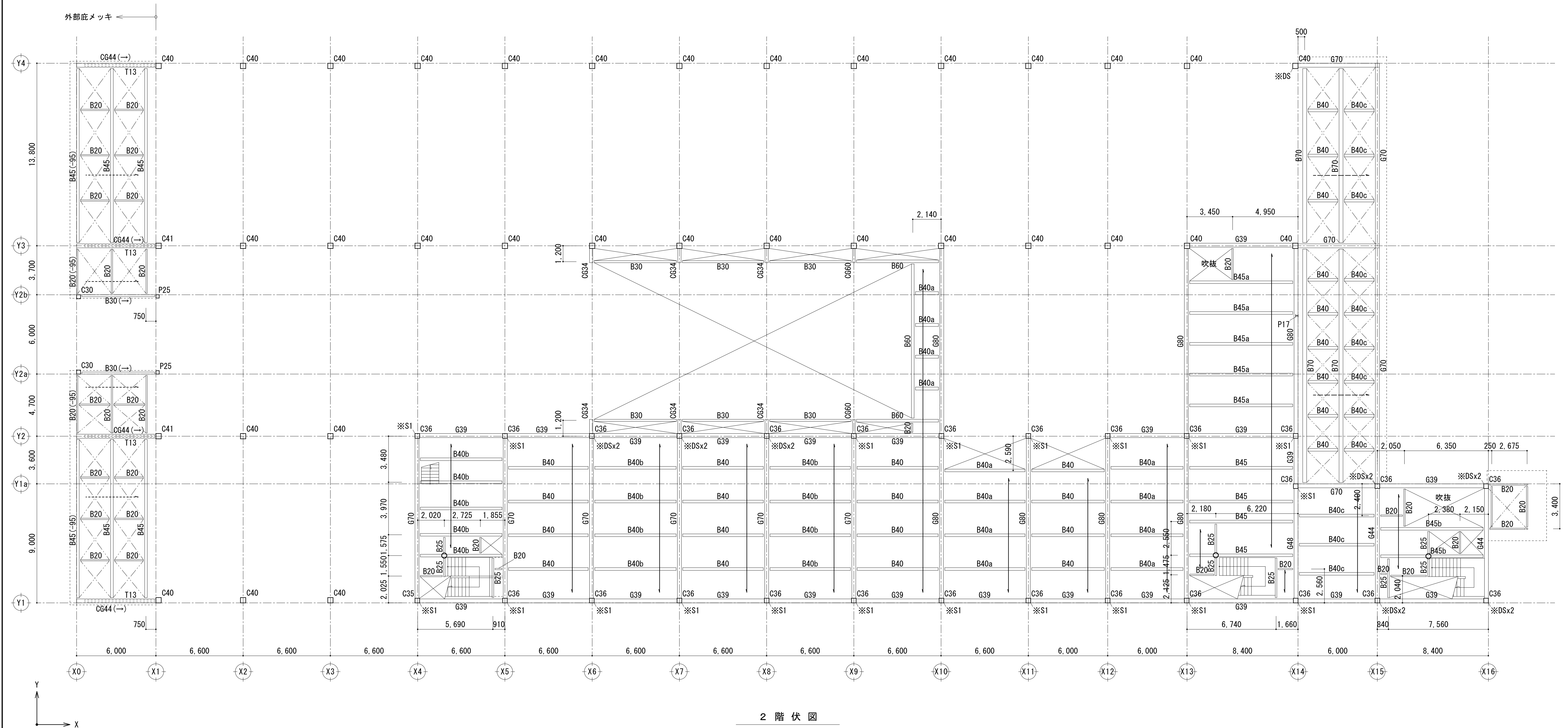
主筋方向を示す。



1 階 伏 図

訂正		<div><div></div><div>株式会社 池田建築設計事務所</div><div>idea-image-inspiration</div></div>	設計者	渡邊 政之	一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	1 階床伏図	縮尺		図面番号
			設計者			作図者	渡邊 政之					A1	1/150	
												A3	1/300	S-021

- 特記事項：特記なきものは下記による。
1. 梁高さは、2FL-145mmとする。()内は2FLからの梁高さとする。
 2. 裏当て金は母材と同等以上とする。
 3. 現場継手は柱芯から1000mm離れた位置で高力ボルト接合とする。
 4. 合成スラブリッジ H=50 t=1.2 コンクリートはデッキ山上80mmとする。
→ デッキ方向を示す。
 5. EV副資材は意匠図 (EV図) を参考とする。
 6. - - - - - 折板方向を示す。 H=150 t=0.6
- - - - - 折板方向を示す。 H=145 t=0.8
 7. - - - - - 水平ブレース(1-M16 TB付 JIS品) を示す。
 8. ○ は剛接合を示す。
 9. ※は柱梁接合法を示す。
※S1:SD400-50 ※S2:SD400-100 ※DS:DS40 ※N1:ND350 ※N2:ND300



訂正	<div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div>				設計者	渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	2階床伏図	縮尺		図面番号
													A1	1/150	
													A3	1/300	

1. 梁高さは、2' SL±0mmとする。()内は2' SLからの梁高さとする。
2. 表当て金は母材と同等以上とする。
3. 現場掘削は柱芯から1000mm離れた位置で高力ボルト接合とする。
4. 合成スラブデッキ H=50 t=1.2 コンクリートはデッキ山上80mmとする。
 〰〰〰 デッキ方向を示す。
5. EV副資材は意匠図 (EV図) を参考とする。
6. 〰〰〰 折板方向を示す。 H=166 t=0.6+0.8
7. 〰〰〰 水平ブレース (I-M20 TB付 JIS品) を示す。
8. ○ は剛接合を示す。
9. ※は柱梁接合工法を示す。
 ※S1:SD400-50 ※S2:SD400-100 ※DS:DS40 ※N1:ND350 ※N2:ND300



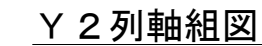
訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	2' 階床伏図	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	渡邊 政之					A1	1/150	
										A3	1/300	



-

R 階 伏 図

1. 鉄骨梁ジョイント位置は、柱芯より1000mmとする。
2. ※は柱梁接合工法を示す。
※S1:SD400-50 ※S2:SD400-100 ※DS:DS40 ※N1:ND350 ※N2:ND300
3. 縦胴縁、横胴縁共 C-100x50x20x2.3 @600



Y 1 a 列軸組図

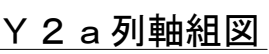
Y 1 列軸組図

訂正	 <div>株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration</div>	設計者	渡邉 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	X方向軸組図 1	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	渡邉 政之					A1	1/150	
										A3	1/300	

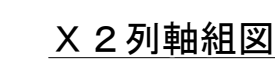
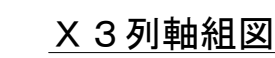
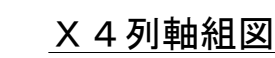
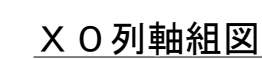
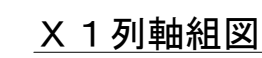
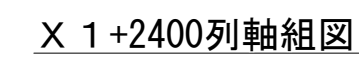
1. 鉄骨梁ジョイント位置は、柱芯より1000mmとする。

2. ※は柱梁接合工法を示す。
※S1:SD400-50 ※S2:SD400-100 ※DS:DS40 ※N1:ND350 ※N2:ND300

3. 縦胴縁、横胴縁 共 C-100x50x20x2.3 @600



1. 鉄骨梁・ジョイント位置は、柱芯より1000mmとする。
2. ※は柱梁接合工法を示す。
※S1:SD400-50 ※S2:SD400-100 ※DS:DS40 ※N1:ND350 ※N2:ND300
3. 縦胴縁、横胴縁 材 C-100x50x20x2.3 @600
4. プレキャストは V-1:M16とする。



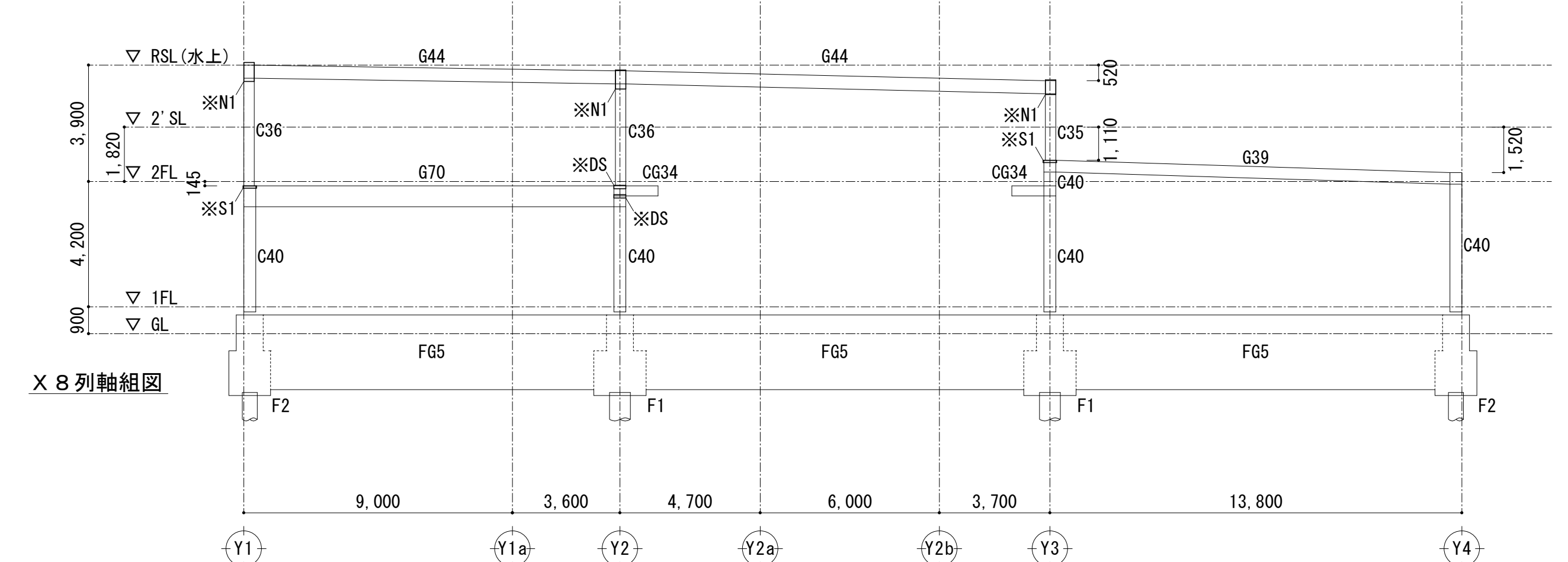
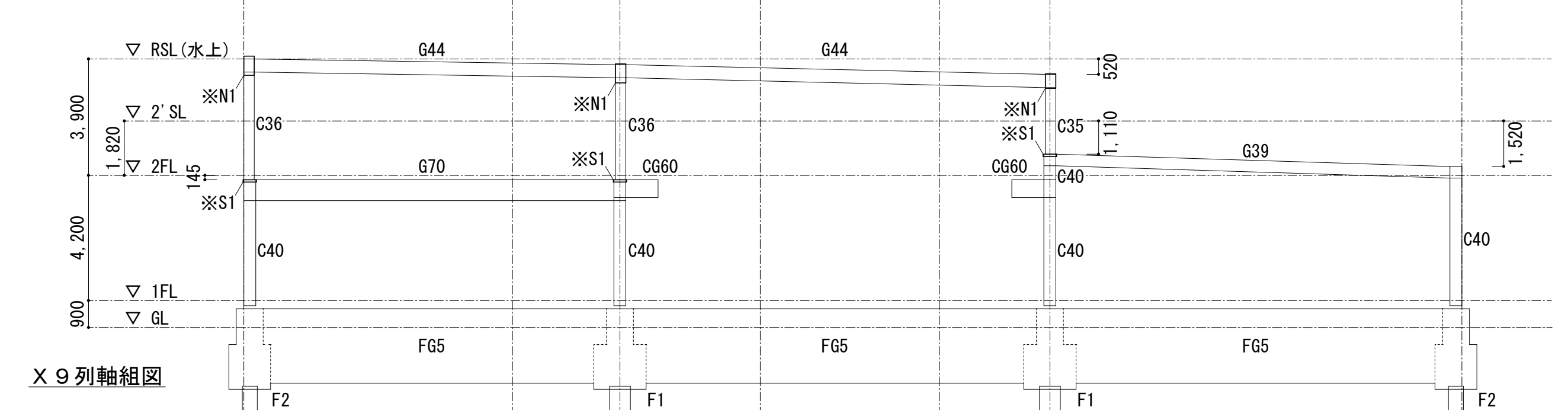
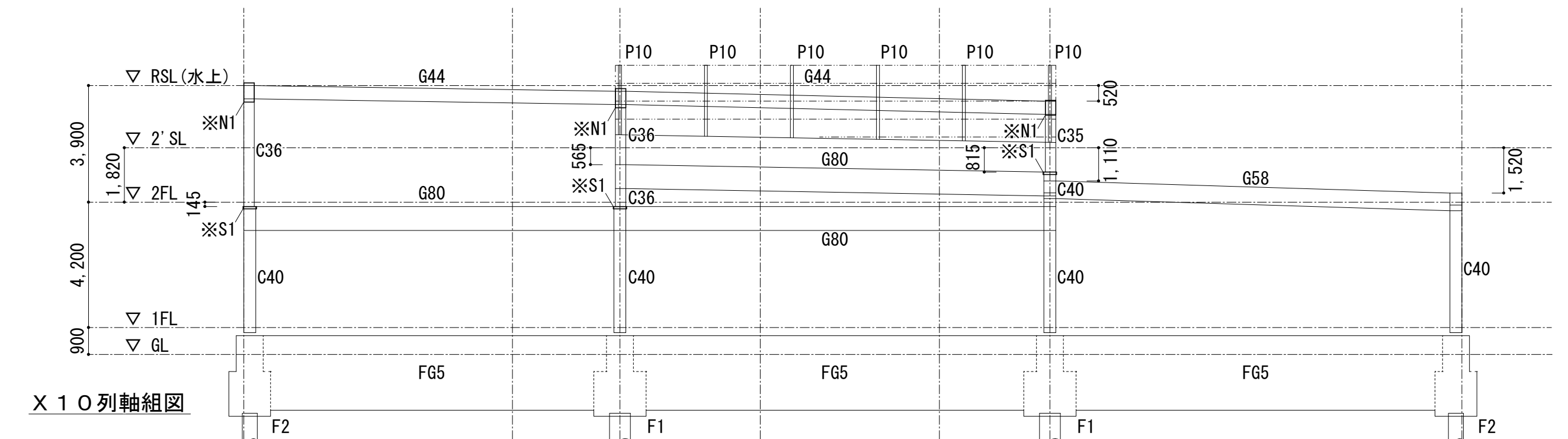
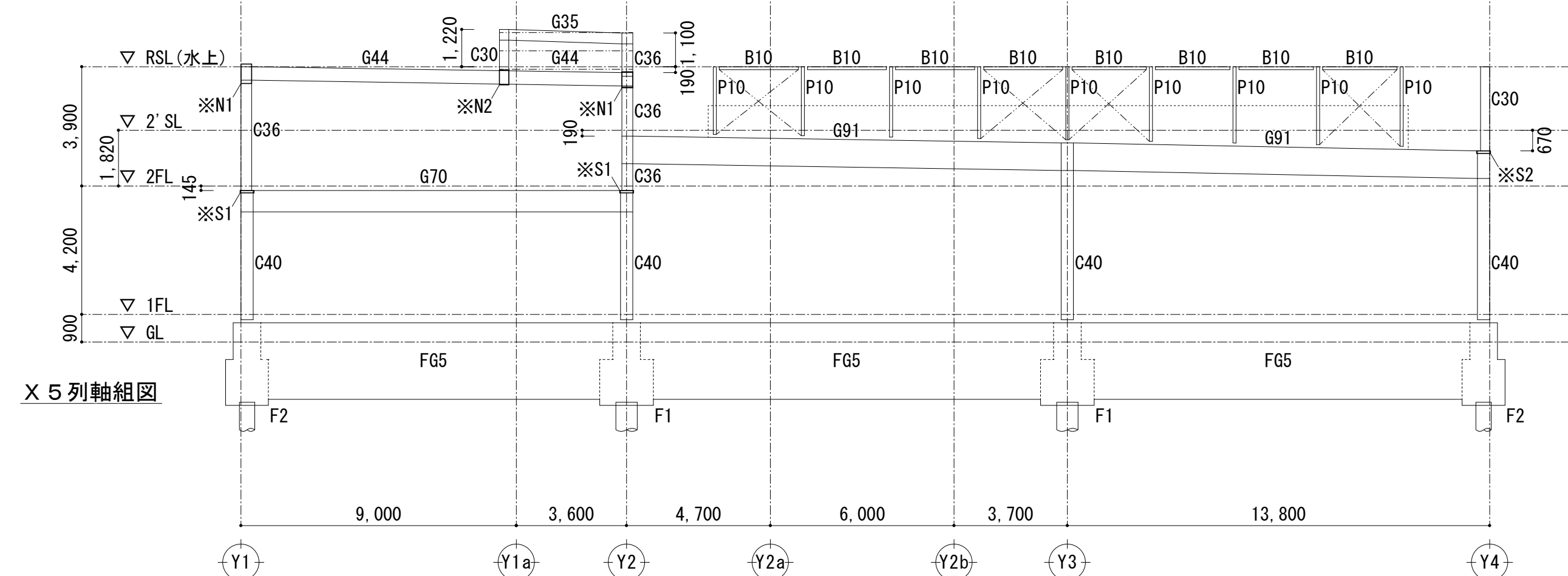
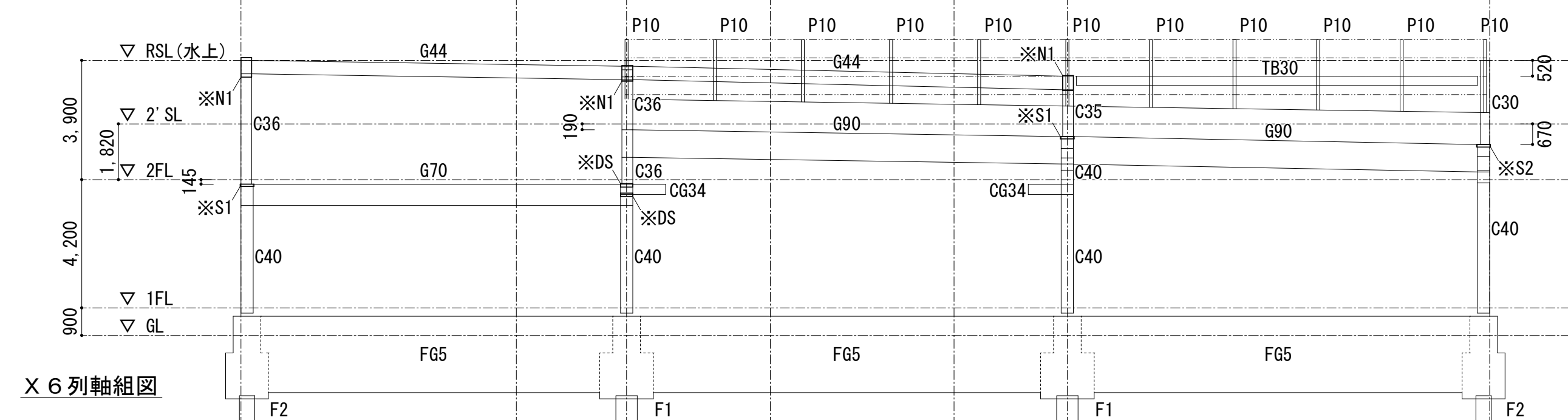
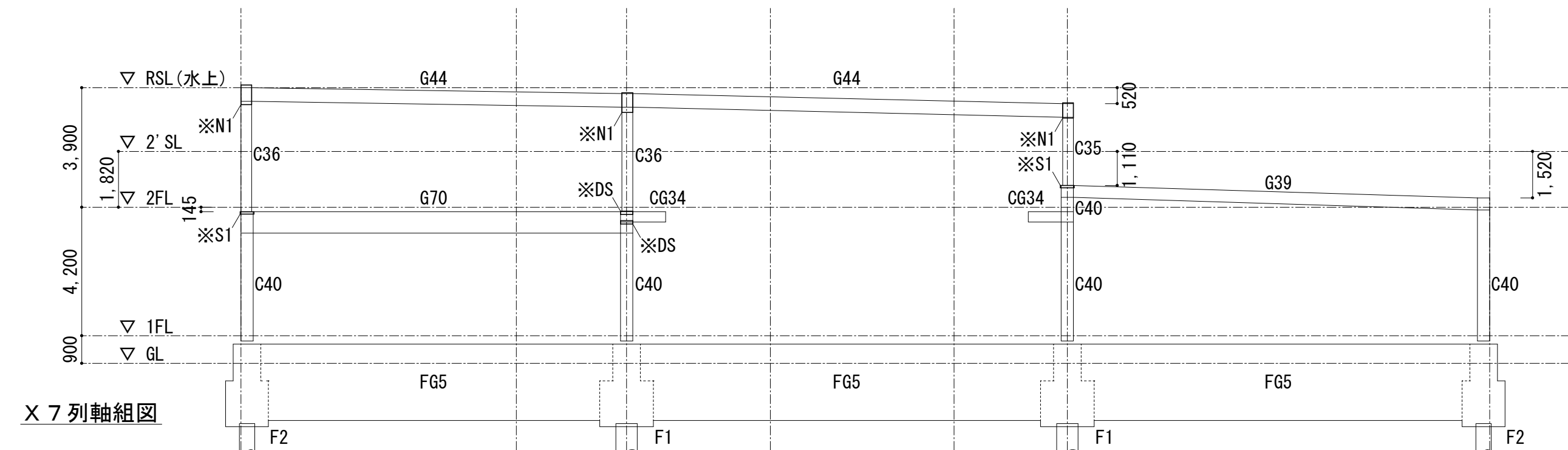
訂正		 株式会社 池田建築設計事務所 Idea-image-inspiration	設計者	渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024. 02. 29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	Y方向軸組図 1	縮尺		図面番号
	A1		1/150										
	A3		1/300	S-027									

1. 鉄骨梁・ジョイント位置は、柱芯より1000mmとする。

2. ※は柱梁接合工法を示す。
※S1:SD400-50 ※S2:SD400-100 ※DS:DS40 ※N1:ND350 ※N2:ND300

3. 縦胴縁、横胴縁 材 C-100x50x20x2.3 @600

4. プレキャストは V-1:M16とする。

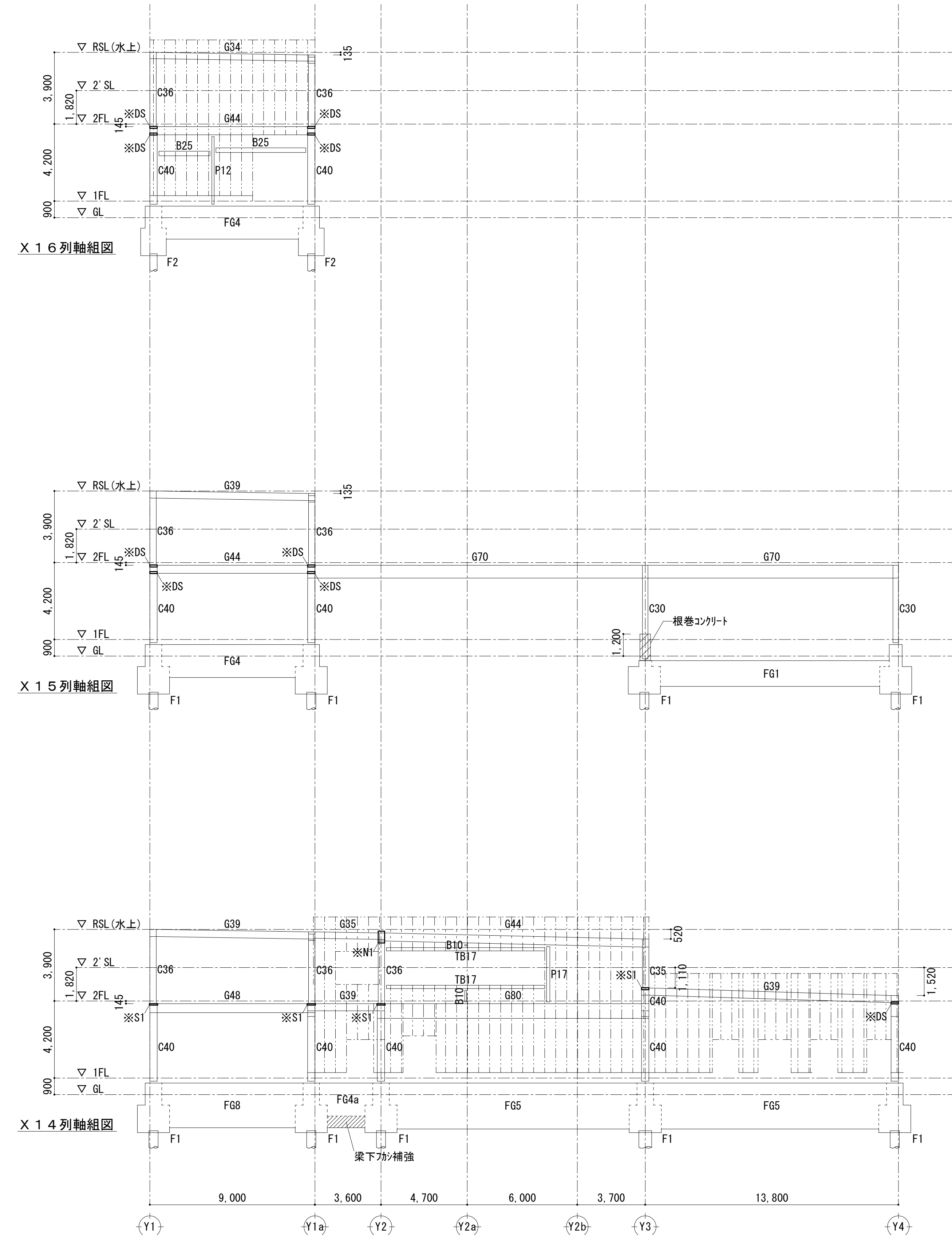


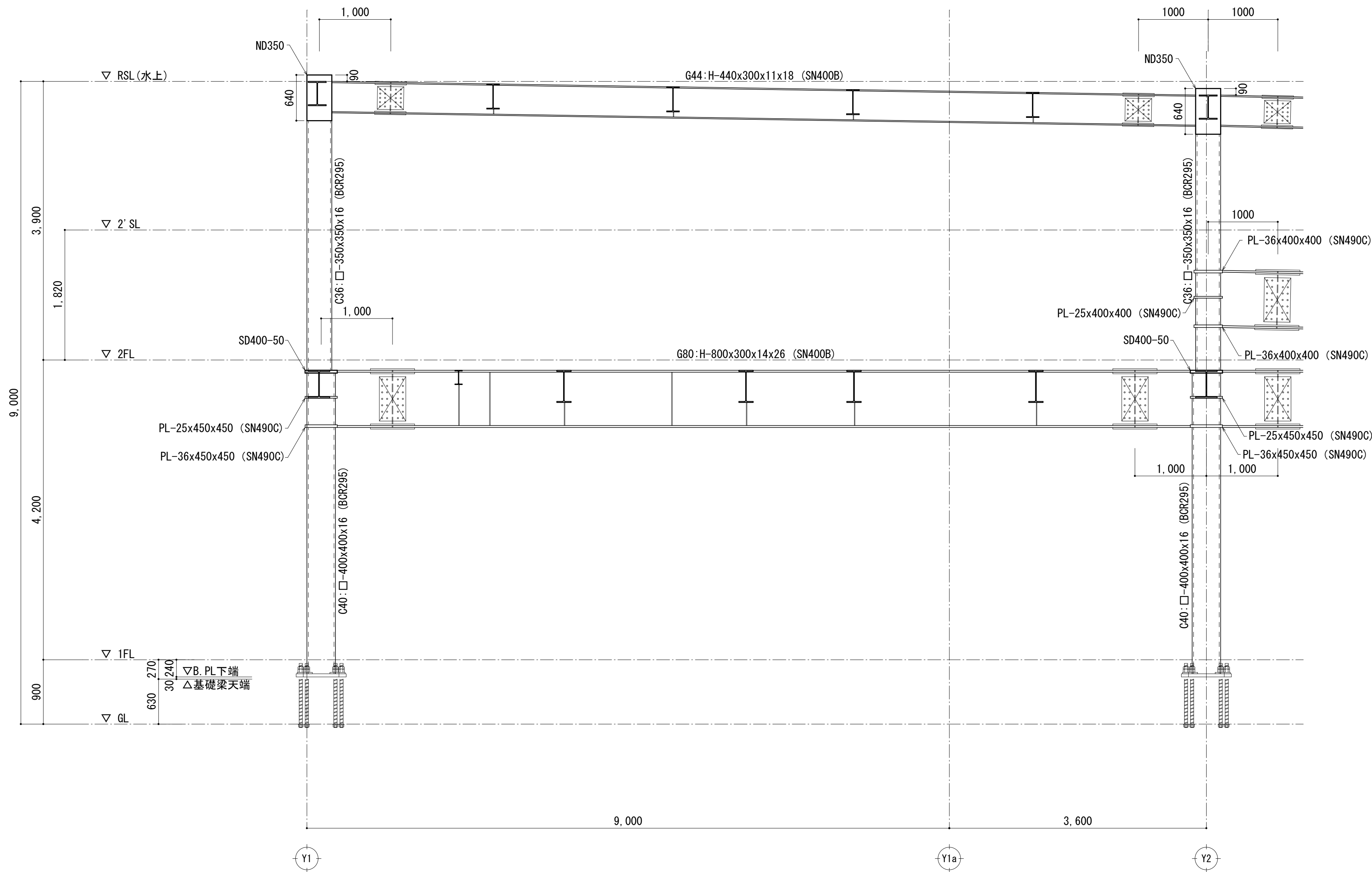
訂正	 株式会社 池田建築設計事務所 idea-image-inspiration	設計者	渡邊 政之 一級建築士 第242370号 構造設計一級建築士 第6169号	年月日	2024.02.29	工事名	(仮称) 新学校給食センター 建築工事	図面名	Y方向軸組図2	縮尺		図面番号
		設計者		作図者	渡邊 政之					A1	1/150	
										A3	1/300	

1. 鉄骨梁ジョイント位置は、柱芯より1000mmとする。

2. ※は柱梁接合工法を示す。
※S1:SD400-50 ※S2:SD400-100 ※DS:DS40 ※N1:ND350 ※N2:ND300

3. 縦胴縁、横胴縁 共 C-100x50x20x2.3 @600

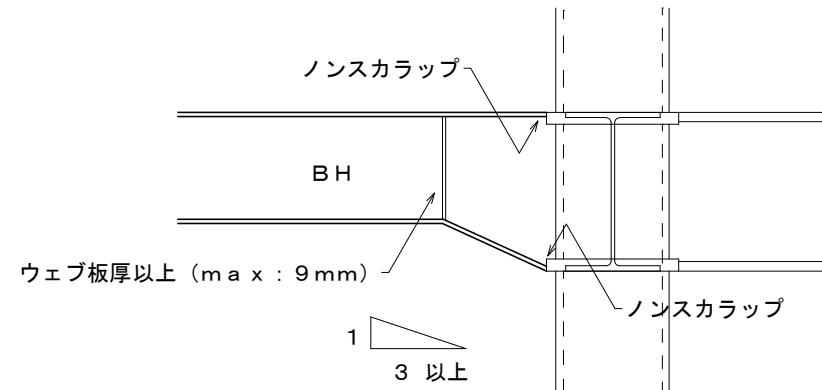




X 1 3 列構造詳細図

ダイヤ板厚		ダイヤの出寸法
フランジ厚	通しダイヤ：SN490C 内ダイヤ：SN490B	
～9	16	
10～12	19	25
13～15	22	
16～18	25	
19～21	28	
22～25	32	
26～29	36	
30～33	40	
34～38	45	

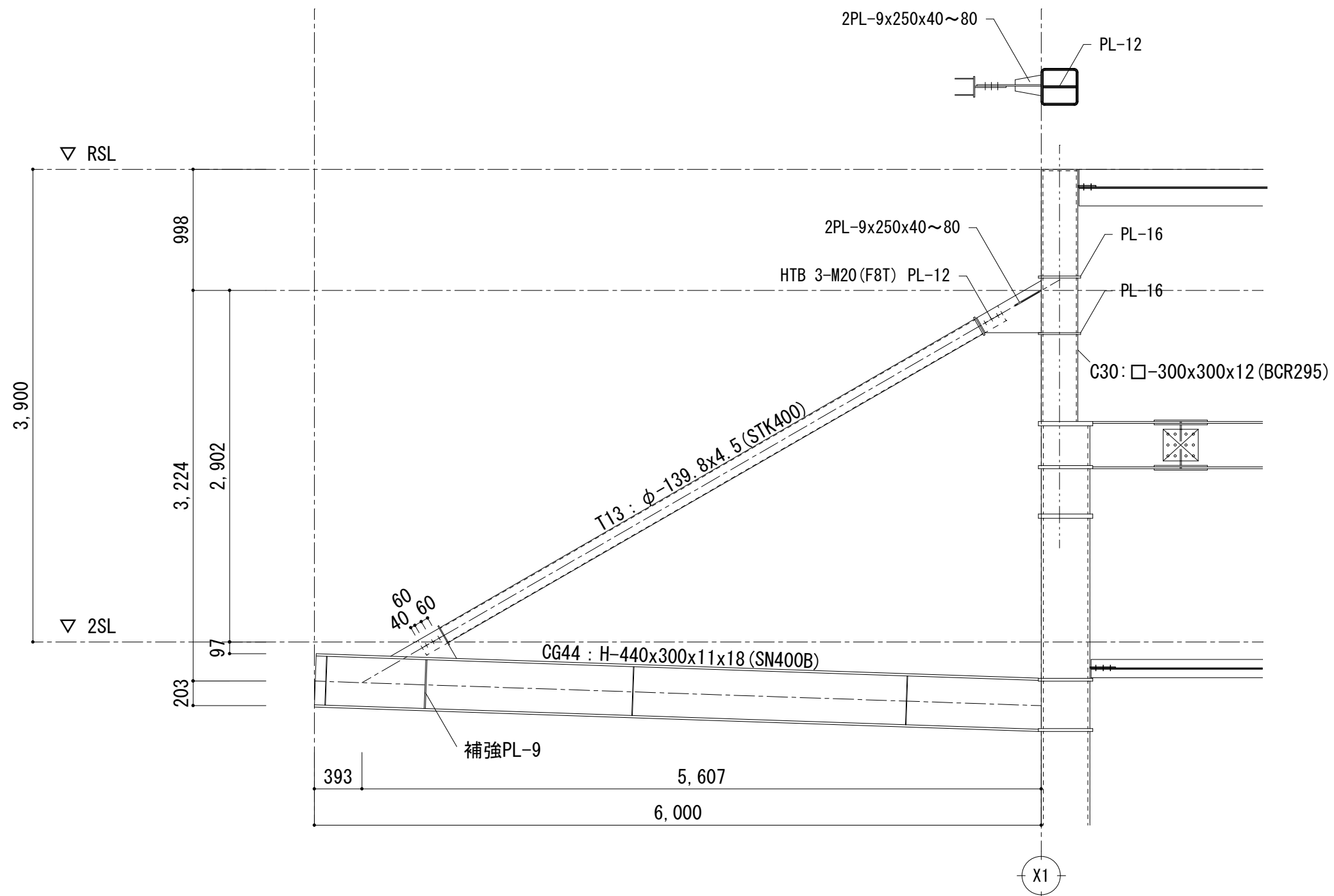
- ※ G. PL材質は母材と同等とする。
- ※ 原則ダイヤフラム有効間隔は150mm以上（内ダ'イ71は100mm以上）とする。
又、/ッダ'イ7既製品と通しダ'イ7の有効間隔は150mm以上とする。
- ※ 特記を除き鉛直ハンチは採用せず、板厚up又は既製品により段差処理を行う。やむを得ず採用する場合は、監督員の承諾を得る。



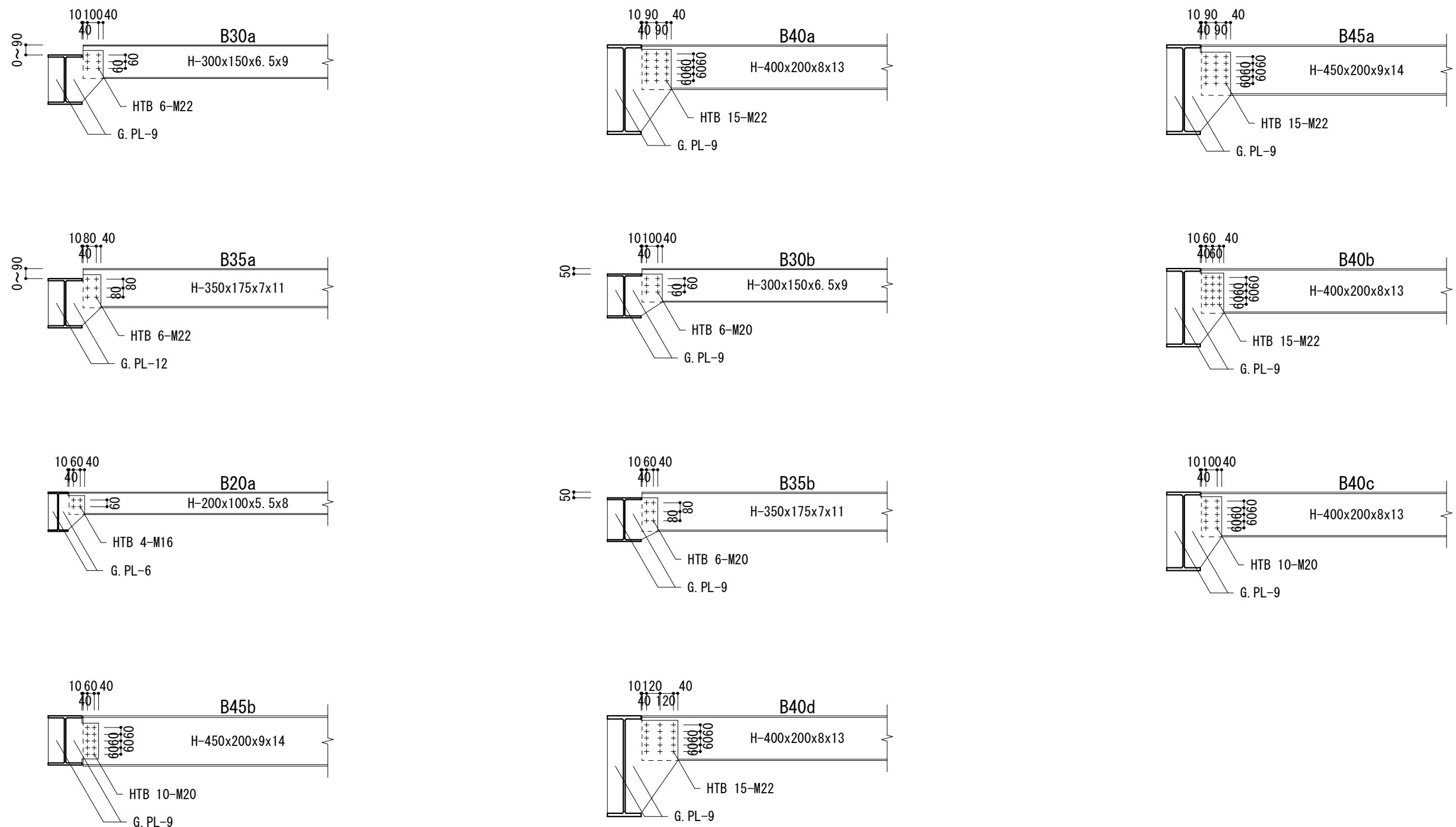
- ・鉛直ハンチブラケットは鋼板加工（BH）とする。
- ・BHとパネルとの接合は「ノンスラップ」とする。

鉛直ハンチ施工要領

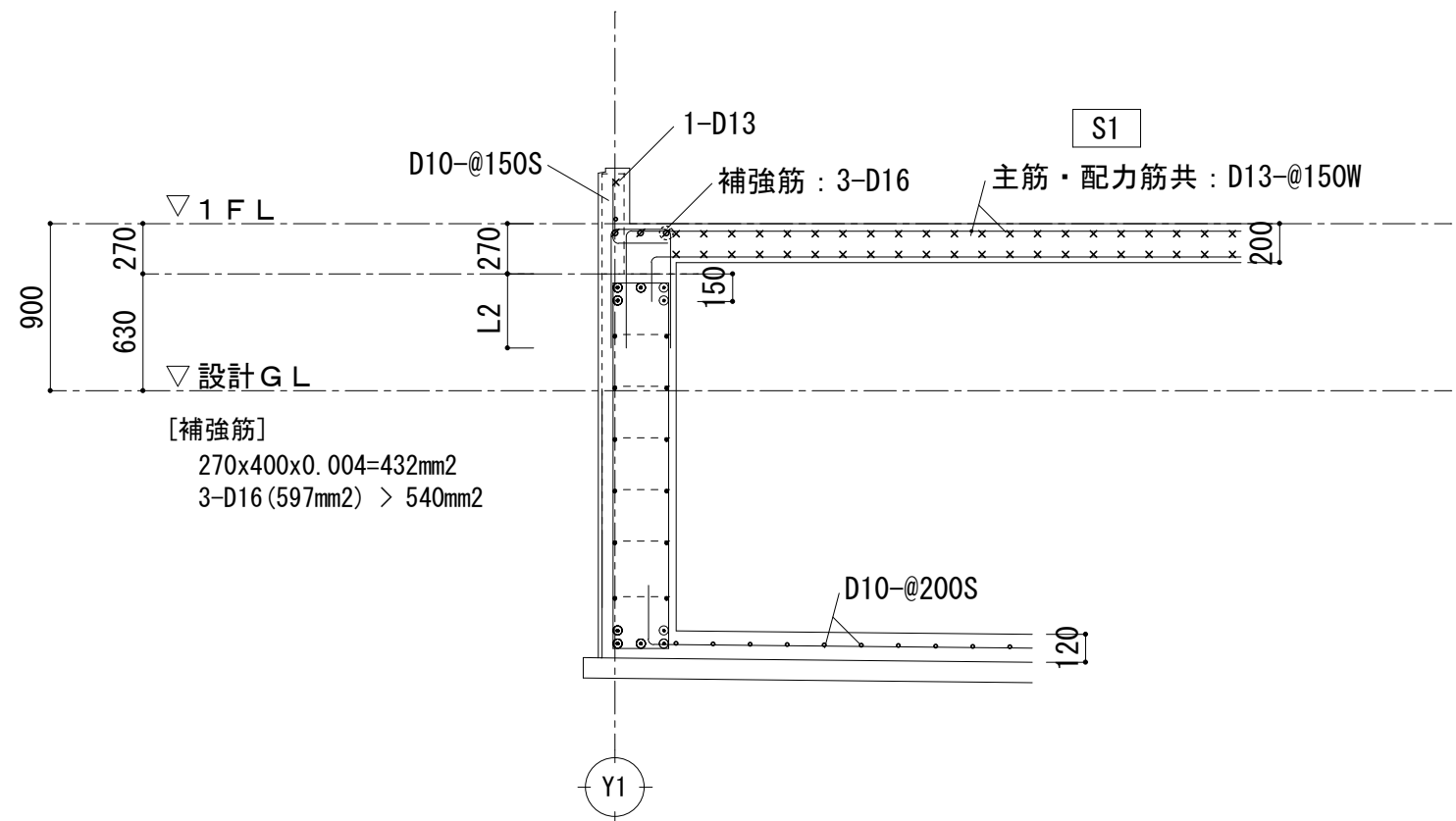
大底接合詳細図 S=1／40



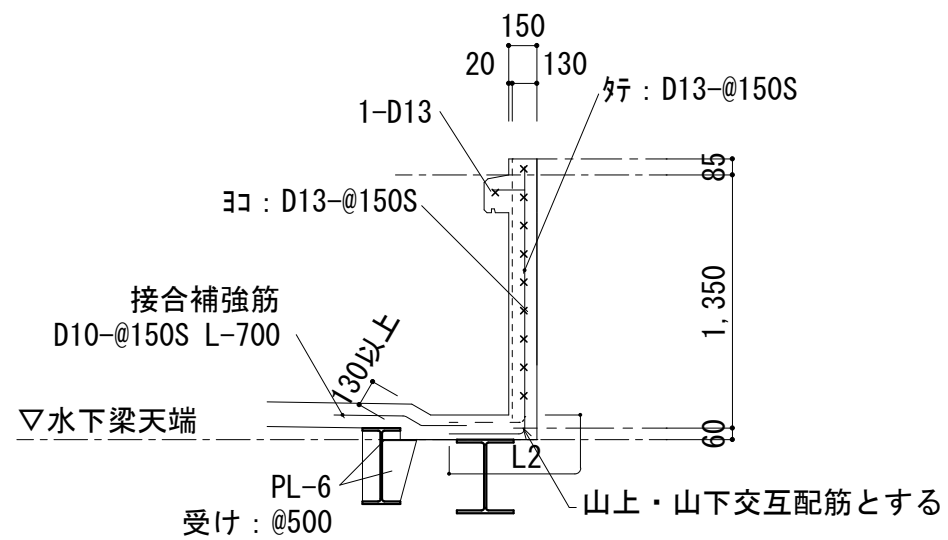
小梁継手詳細図 S=1／40



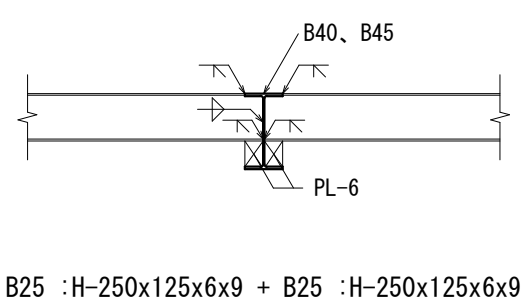
ビット廻り詳細図 S=1／40



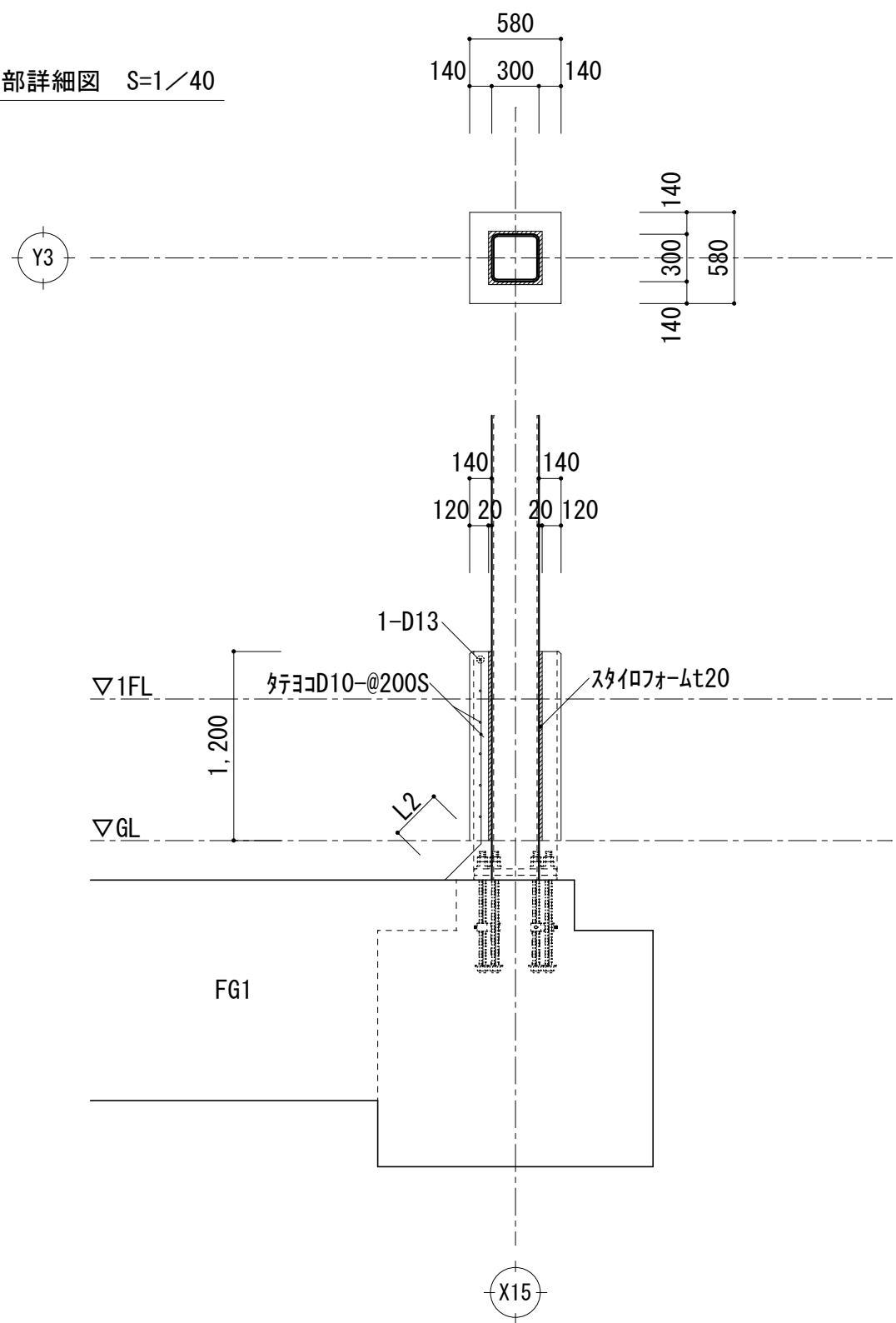
バラベット標準詳細図 S=1／40



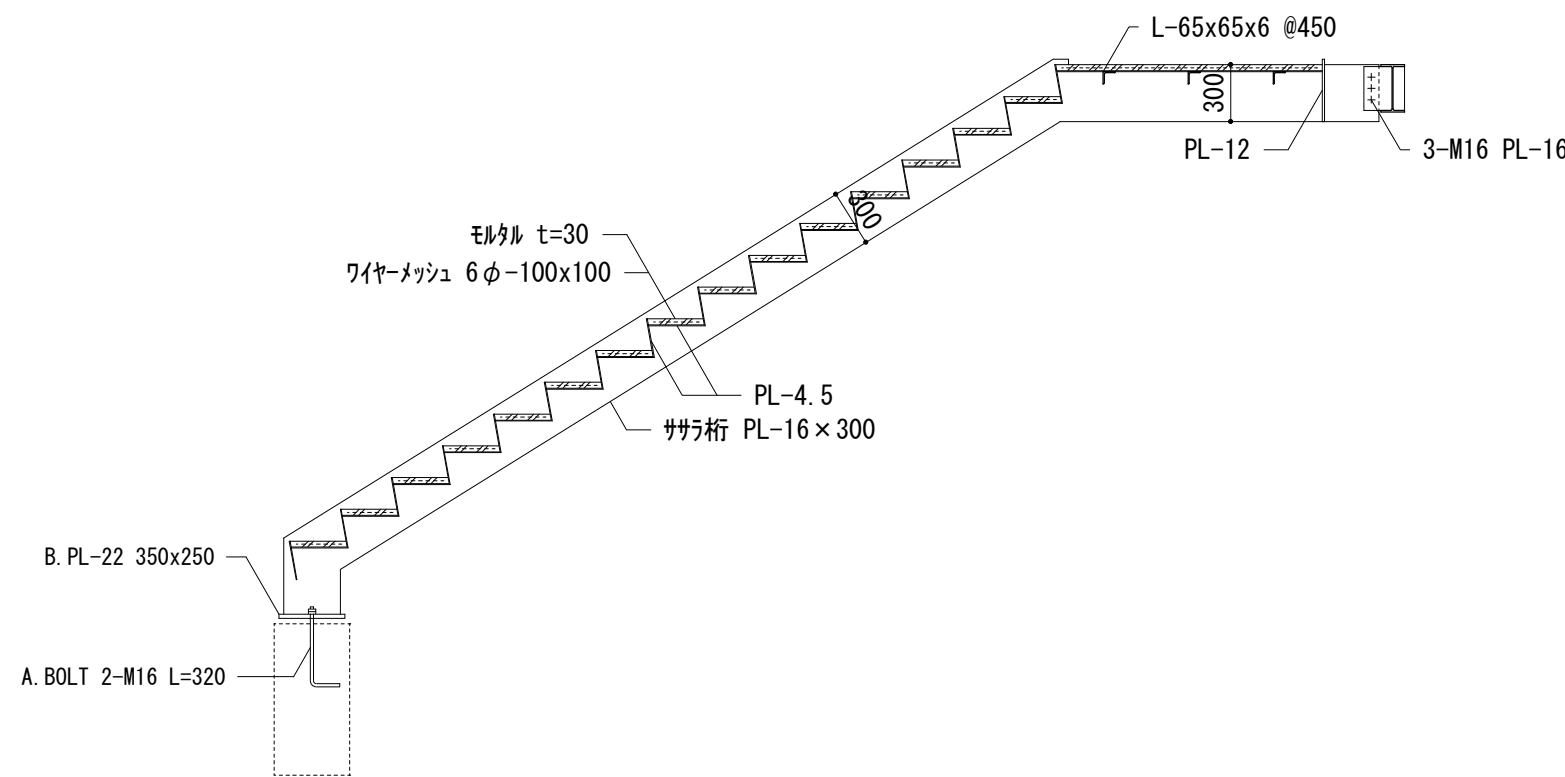
剛接合部詳細図 S=1／40



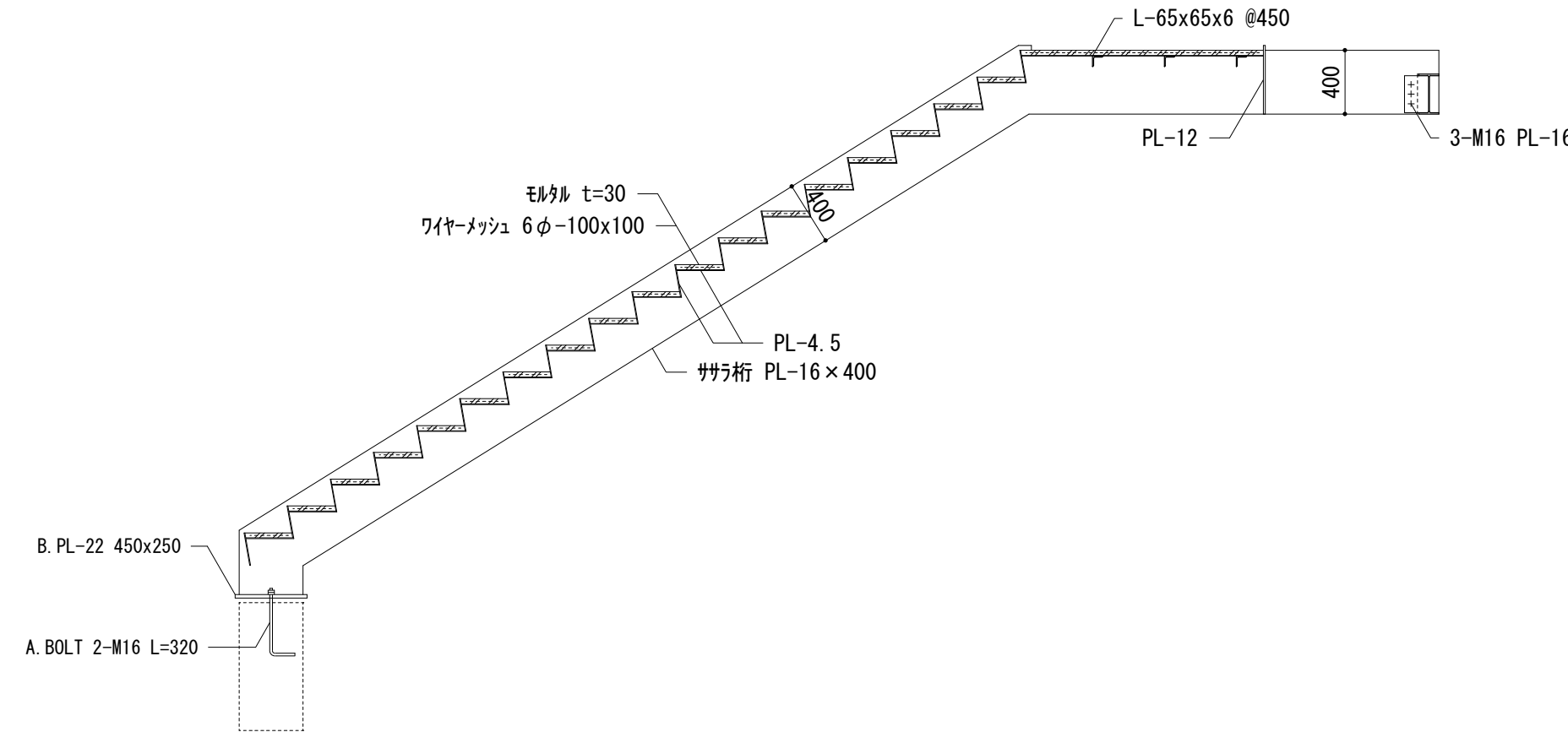
柱脚根巻部詳細図 S=1／40



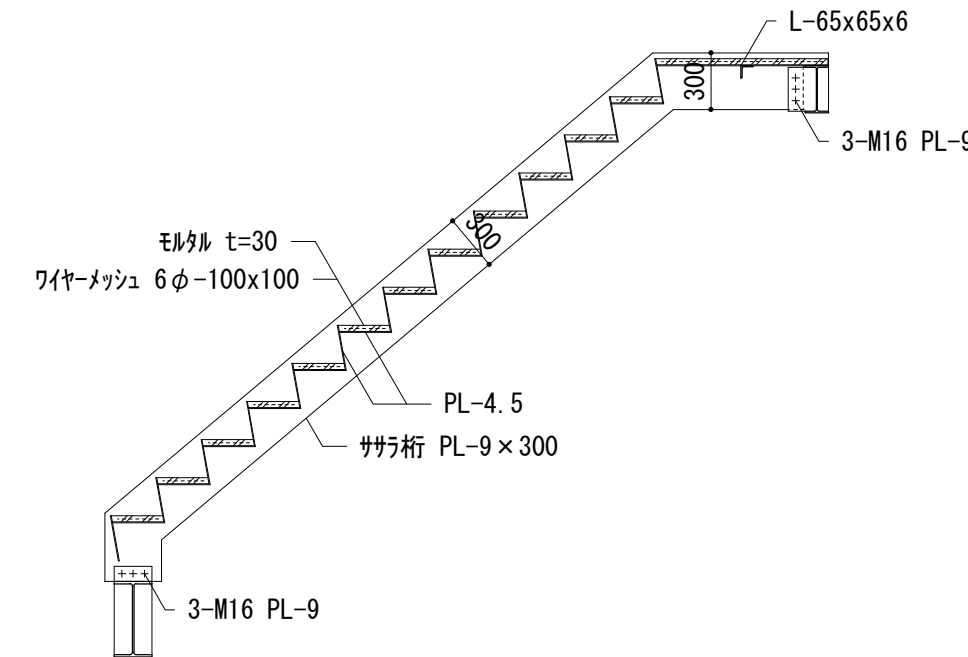
階段 1 (X15-X16) ・階段 2 (X13-X14) 詳細図 S=1／40



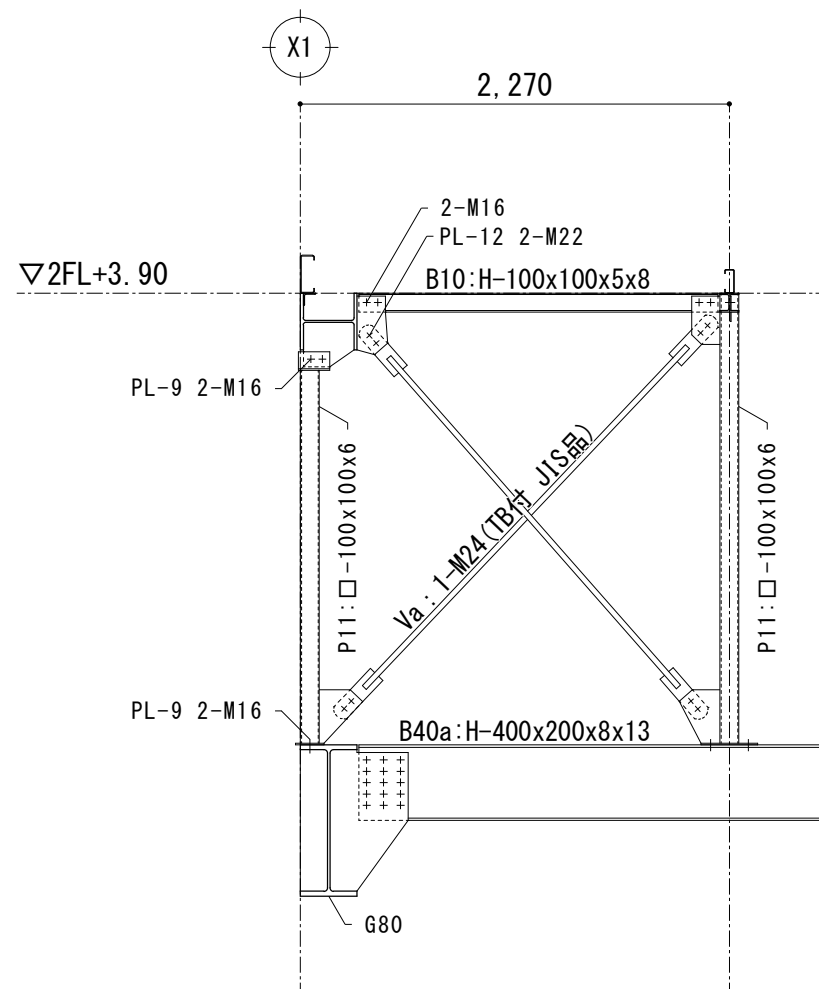
階段 3 (X4-X5) 詳細図 S=1／40



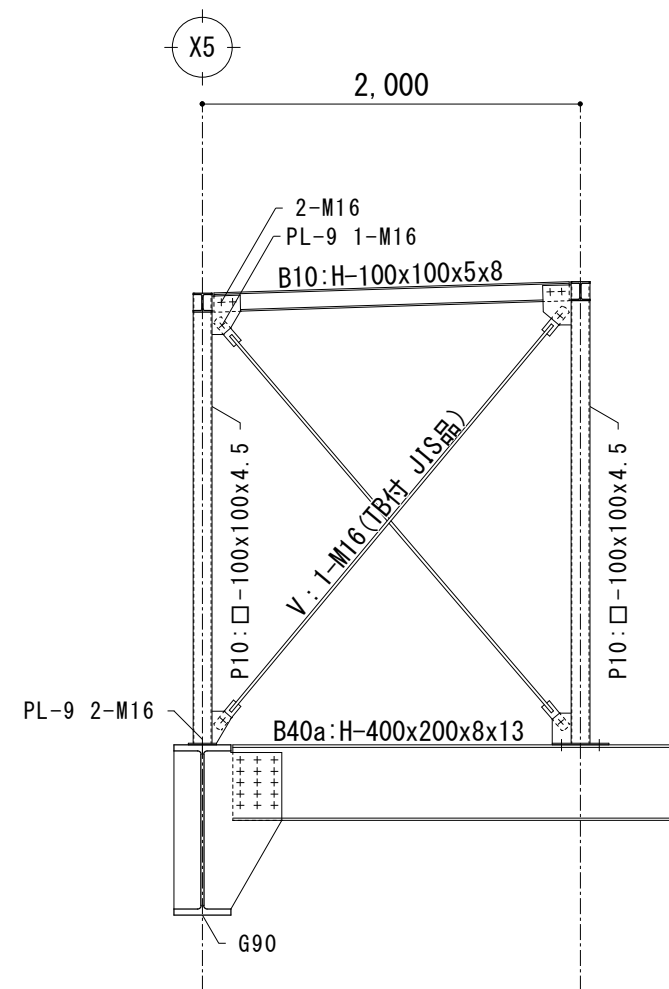
メンテナンス階段詳細図 S=1／40



ハト小屋詳細図 S=1／40



ハト小屋詳細図 S=1／40



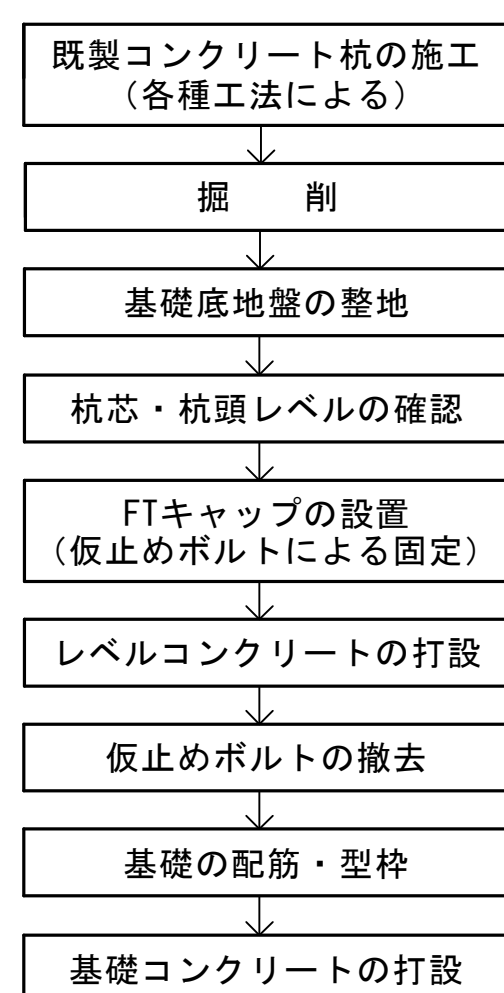
■ 構法概要

1. 本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。
2. 杭頭を基礎（パイルキャップ）へ50～150mmの範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパー状のクリアランスを設ける。
3. 杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの2タイプがある。

■使用材料（適用範圍）

- ・杭： 各種の既製コンクリート杭（PHC杭、SC杭、PRC杭、RC杭 等）
- ・杭径： 300mm～1200mm
- ・コンクリート（基礎（パイロキャップ）部）： 普通コンクリート 設計基準強度：18～60 N/mm²
（法第37条第一号²もしくは第二号に該当するコンクリート）

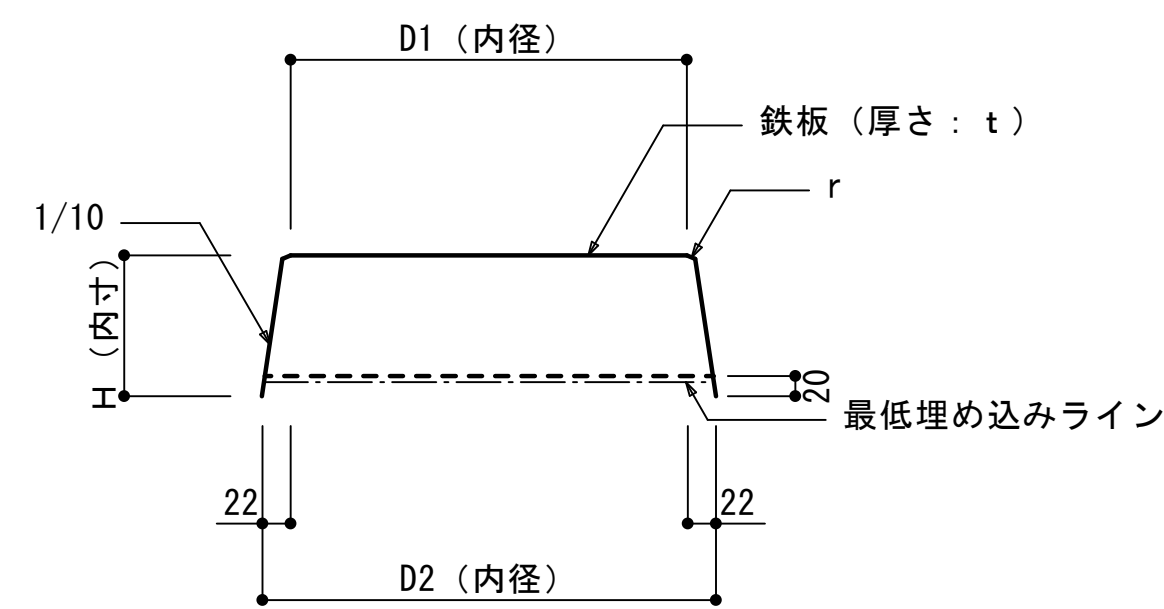
■ 施工手順



*** 留意事項**

- ・施工開始前に施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
- ・F.T.Pile構法の施工は、FTキャップ設置前にパイルメーカーによる施工説明・指導を受けた後、実施する。
- ・FTPの刻印があるFTキャップ（テーパー型枠）を使用すること。
- ・FTキャップの受入時にはFTPの刻印と変形や損傷の有無を確認する。
- ・既製コンクリート杭の設置に先立ち、杭頭の端板のボルト孔に泥土が入らないように養生を行う。
- ・杭頭レベルの誤差が品質管理許容差を超えた場合には、工事監理者・設計者と協議のこと。
- ・FTキャップを設置する際は、杭周囲の碎石等のレベルが周辺よりも高くなっていないことを確認する。
- ・FTキャップ設置後に木槌等でFTキャップを軽打し、端板との間に小石・砂等により、浮き・隙間が生じていないか確認する。
- ・レベルコンクリート打設前にFTキャップの最低埋め込みラインが隠れるまで碎石または現地発生土に埋め込まれているか目視確認する。
- ・仮止めボルトは、レベルコンクリート硬化後に撤去する。
- ・FTキャップの上には原則として基礎配筋用のスペーサー等を置かないこと。
- ・施工完了後、施工結果を「施工チェックシート」に記録し、工事監理者に提出すること。

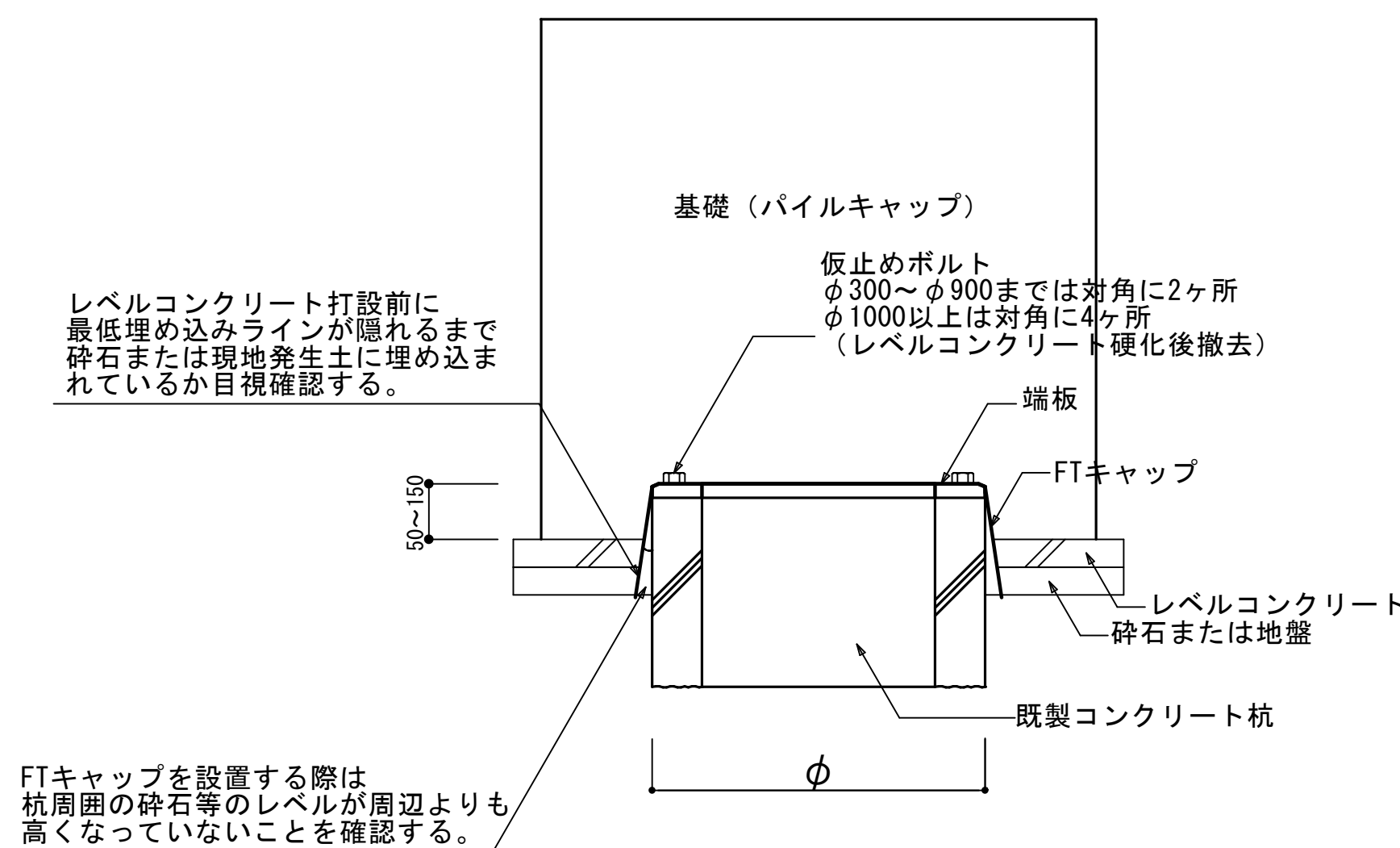
■FTキャップ（テーパー型枠）仕様



規格 : φ	鉄板厚さ : t (mm)	D1 (mm)	D2 (mm)	H (mm)	W (kg)
300	1.2	301	345	201	1.8
350	1.2	351	395	201	2.3
400	1.2	401	445	201	2.7
450	1.2	451	495	201	3.2
500	1.2	501	545	201	3.8
600	1.6	601	645	201	7.2
700	1.6	701	745	201	9.0
800	2.0	801	845	201	13.8
900	2.0	901	945	201	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	44.3

- * FTキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。
 - ・ FTキャップに「FTP」の刻印があること。
 - ・ FTキャップに変形や損傷がないこと。

■ 杭頭部詳細図



* 杭頭の基礎への埋込み深さは杭リストによる。

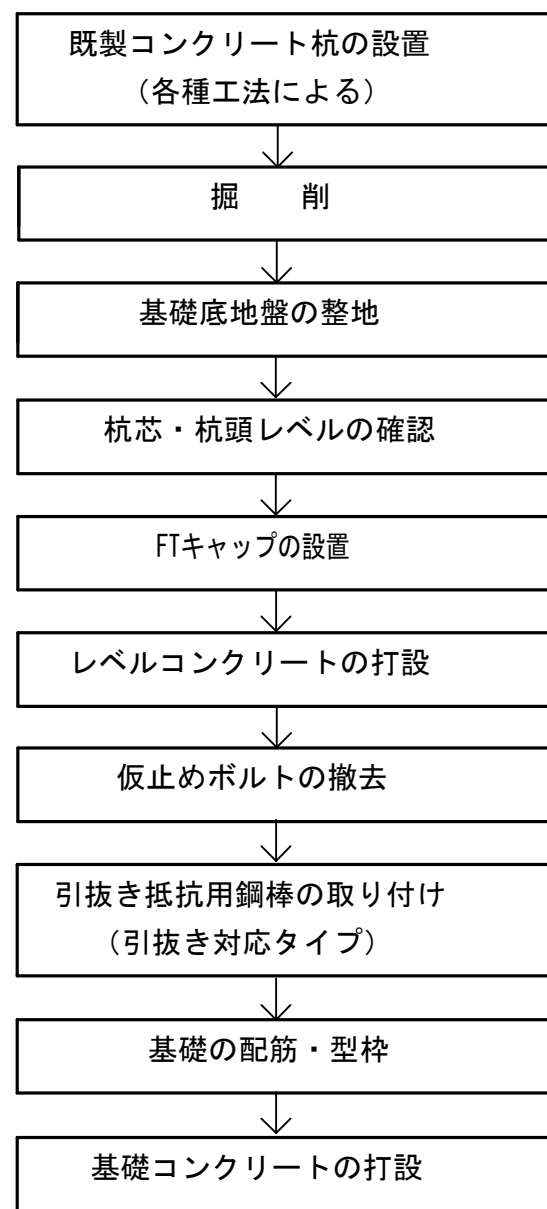
■ 構法概要

1. 本構法は、地震時の杭基礎の損傷低減を目的とした杭頭接合方法であり、既製コンクリート杭に用いる。
2. 杭頭を基礎（パイルキャップ）へ50～150mmの範囲で埋め込み、埋め込み部分において杭外周部とパイルキャップの界面にテーパ状のクリアランスを設ける。
3. 杭頭接合方法は、地震時に杭頭に引抜き力が作用しない箇所に適用する標準タイプと、引抜き力が作用する箇所にも適用できる引抜き対応タイプの2タイプがある。
4. 引抜き対応タイプでは、引抜き抵抗用鋼棒を杭頭にカブラーを用いて設置し、基礎側端部には定着板を取り付ける。

■使用材料（適用範圍）

- ・杭：SC杭
- ・杭径：400mm～1200mm
- ・コンクリート（基礎（パイルキャップ）部）：普通コンクリート 設計基準強度：18～60 N/mm²
（法第37条第一号もしくは第二号に該当するコンクリート）
- ・鋼材
 - ・引抜き抵抗用棒鋼
 - ・F.T.Pile構法用アンカー鋼棒 大臣認定：MSRB-0026
 - ・SBPR 785/1030（φ11-A種PC鋼棒），F=785 N/mm²
 - ・SBPR 1080/1230（φ11-C種PC鋼棒），F=1080 N/mm²
 - ・カブラー
 - ・S45C，SNR490B
 - ・定着板
 - ・SS400，SM400A
 - ・高ナット
 - ・S45C，SNR490B
 - ・杭体内アンカー鉄筋
 - ・SD345，CD390

■ 施工手順



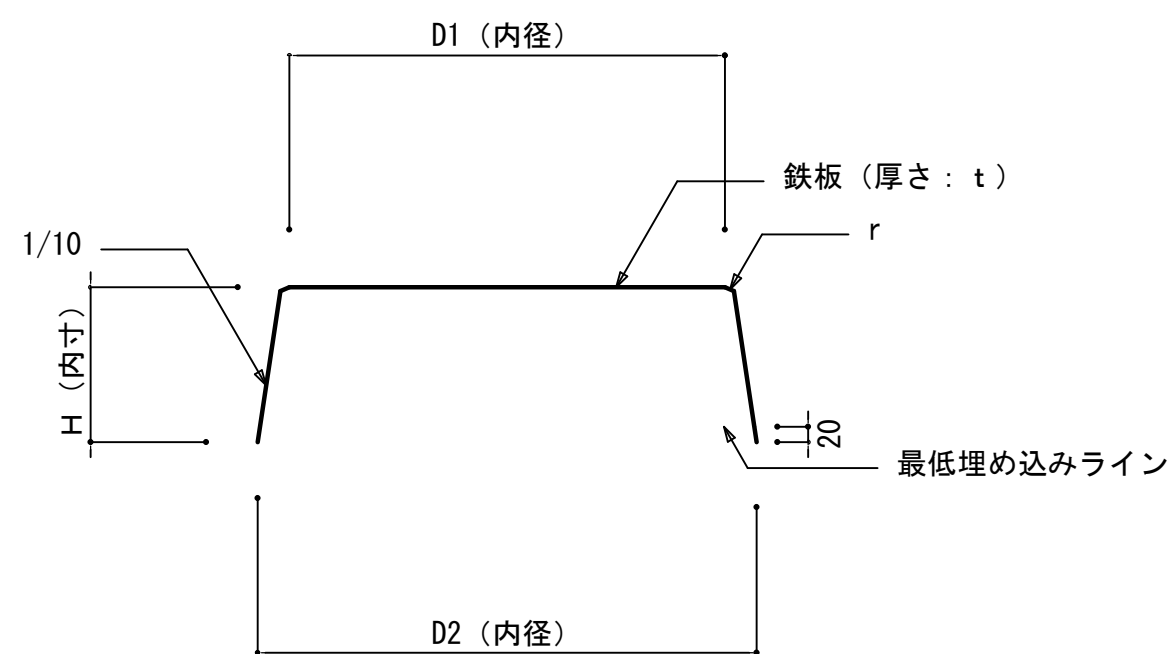
* 留意事項

- ・施工開始前に施工計画書を作成し、工事監理者の承認を得ること。
- ・F.T.Pile構法の施工は、FTキャップ設置前にパイルメーカーによる施工説明・指導を受けた後、実施する。
- ・FTPの刻印があるFTキャップ（テーパー型枠）を使用すること。
- ・FTキャップの受入時にはFTPの刻印と変形や損傷の有無を確認する。
- ・既製コンクリート杭の設置に先立ち、杭頭の端板のボルト孔に泥土が入らないように養生を行う。
- ・杭頭レベルの誤差が品質管理許容差を超えた場合には、工事監理者・設計者と協議のこと。
- ・FTキャップを設置する際は、杭周囲の碎石等のレベルが周辺よりも高くなっていないことを確認する。
- ・FTキャップ設置後に木樁等でFTキャップを軽打し、端板との間に小石・砂等により、浮き・隙間が生じていないか確認する。
- ・レベルコンクリート打設前にFTキャップの最低埋め込みラインが隠れるまで碎石または現地発生土に埋め
- ・仮止めボルトは、レブルコンクリート硬化後に撤去する。
- ・FTキャップの上には原則として基礎配筋用のスーパースー等を置かないこと。
- ・施工完了後、施工結果を「施工チェックシート」に記録し、工事監理者に提出すること。

(引抜き対応タイプ)

- ・ 杭頭端板の厚さ、ボルト孔の規格、カブラーの規格を確認する。＊ 1
- ・ 引抜き抵抗用鋼棒の先端を定着板及び杭頭の底面までねじ込んだ状態で所定のねじかり代を確保すること。＊ 2、＊ 3
- ・ 必要に応じ段取り筋等を用いて、引抜き用鋼棒の直立性を確保する。

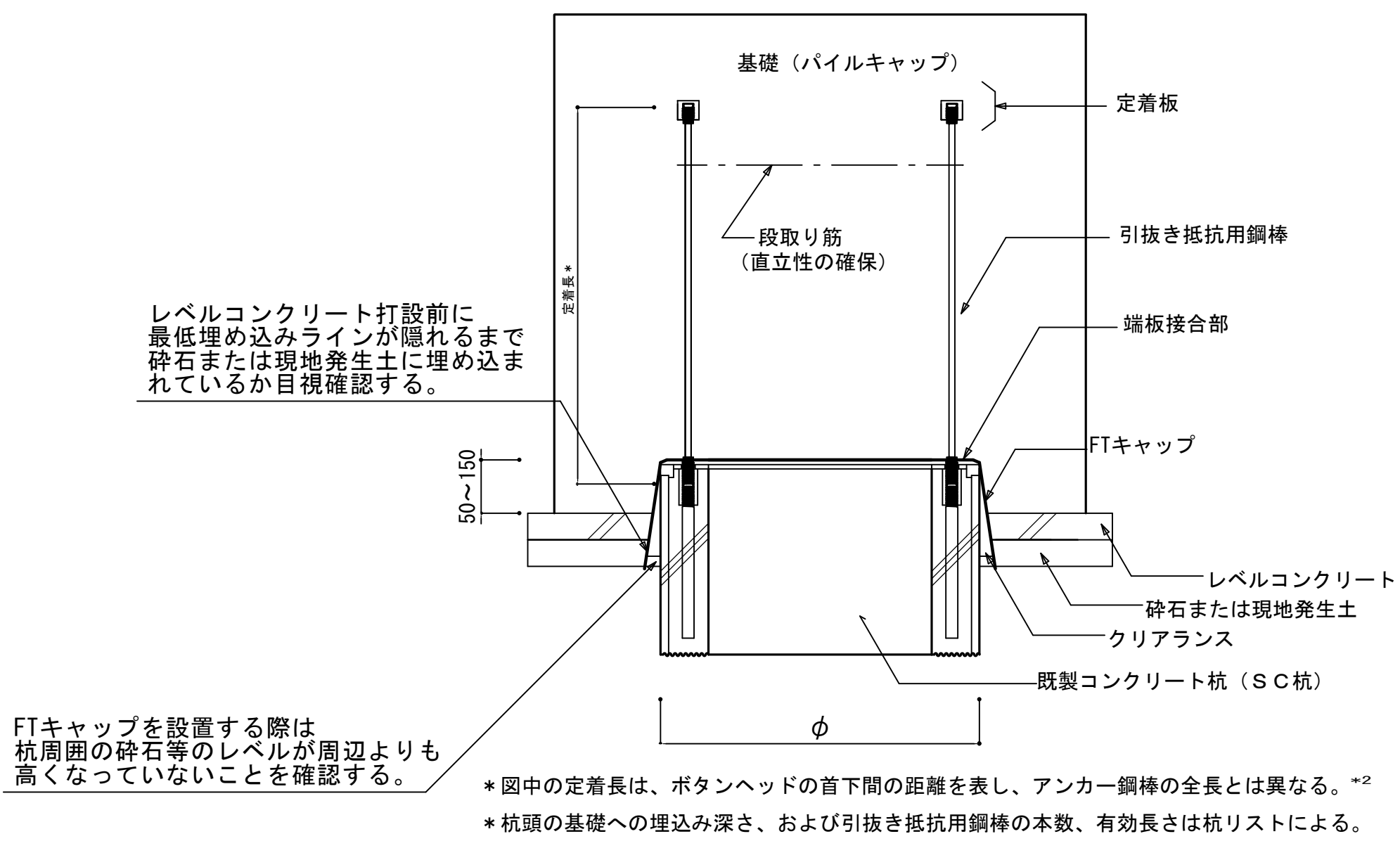
■FTキャップ（テーパー型枠）仕様



杭径: ϕ	鉄板厚さ: t (mm)	D1 (mm)	D2 (mm)	H (mm)	W (kg)
400	1.2	401	445	201	2.7
450	1.2	451	495	201	3.2
500	1.2	501	545	201	3.8
600	1.6	601	645	201	7.2
700	1.6	701	745	201	9.0
800	2.0	801	845	201	13.8
900	2.0	901	945	201	17.4
1000	2.3	1001	1045	201	23.9
1100	3.2	1101	1145	201	38.6
1200	3.2	1201	1245	201	44.3

- * FTキャップの品質管理は製作工場で行われているため、施工時には下記の確認を行う。
- ・ FTキャップに「FTP」の刻印があること。
- ・ FTキャップに変形や損傷がないこと。

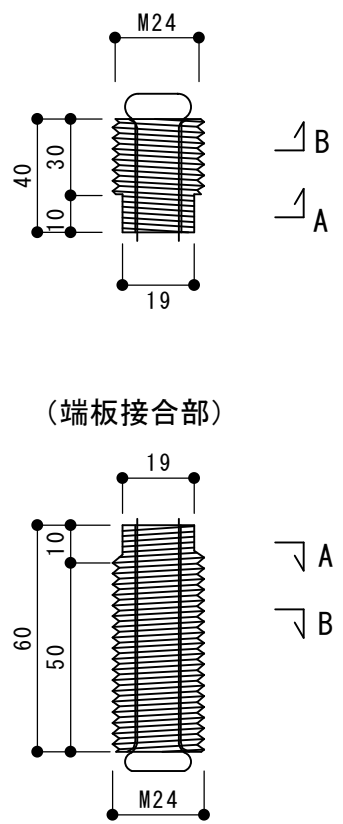
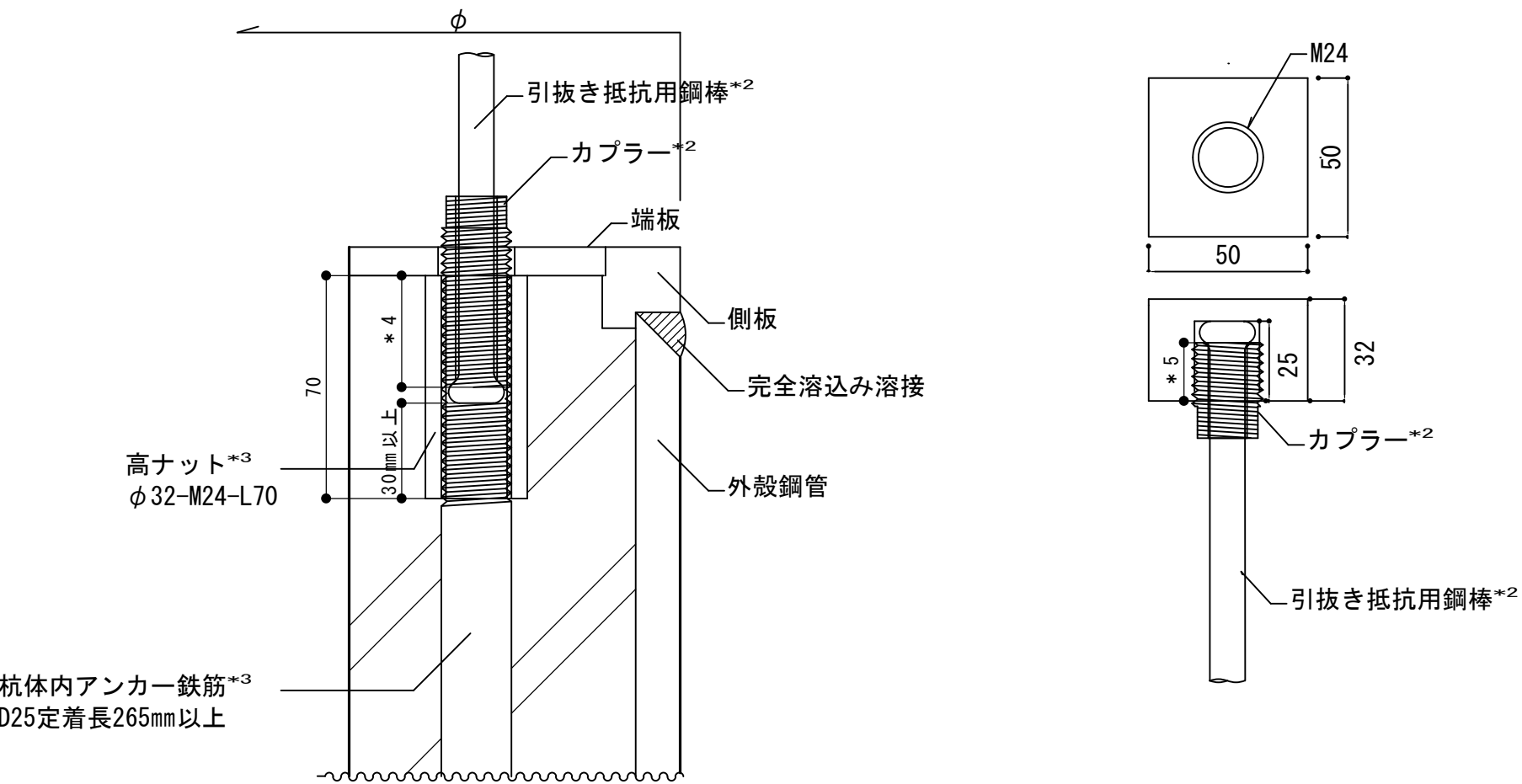
■杭頭部詳細図



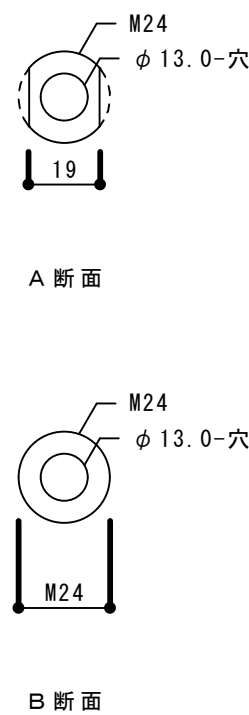
端板接合部詳細図*1

定着板詳細図

カプラー詳細図



断面詳細図



- * 1 施工時は、納入された杭材が引抜き対応タイプであることを、杭体の表示で確認すること。
- * 2 施工時は、引抜き抵抗用鋼棒及び、カブラー、定着板の仕様（材質、寸法、数量）を
「引抜き抵抗用鋼棒検査書」で確認すること。
- * 3 SC杭引抜き対応タイプにおけるSC杭の製造及び高ナットと杭体内アンカー鉄筋
の定着長の仕様は「F.T. Pipe 構成 引抜き対応タイプSC杭 製品検査表」および「同 杭頭金物検査表」を確認すること。
- * 4 端板側のカブラーのネジのかり代は、25mm以上とする。（専用の検査ゲージで計測すること）
- * 5 定着板側のカブラーのネジのかり代は、18mm以上とする。（専用の検査ゲージで計測すること）

大臣認定

MSTL-0545（鍛鋼）

BCJ評定

BCJ評定-ST0194

本工法の設計・施工は、鋼構造接合部設計指針、冷間成形角形鋼管設計施工マニュアル、鋼構造設計標準、建築工事標準仕様書 J A S S 6 鉄骨工事に準拠する。

2022/6

セクシア株式会社

本社 TEL 03-4214-1928 中部 TEL 052-582-3356

札幌 TEL 011-708-1177 北陸 TEL 076-233-5260

東北 TEL 022-213-5595 関西 TEL 06-6395-2133

関東 TEL 027-322-9411 中国国 TEL 082-240-1630

九州 TEL 092-452-0341

URL :

https://www.senqia.co.jp/

注意

本資料以外の施工方法で行った場合、スマートダイアの性能が発揮できなくなります。施工を行う前に、本仕様書を十分に確認してください。

工場加工（鍛鋼タイプ、鋼板タイプ共通）

注意

工場加工にあたっての注意点：鋼板タイプ(SDe型式)には中央孔がありません。空気孔がないことを考慮して仕口の製作手順をご確認ください。
鋼板タイプに孔を設ける場合は規定があります。その際はセクシアにお問い合わせください。

1. 概要

2. スマートダイア材質

	規格・国土交通大臣認定	対象型式
鍛鋼タイプ：HFN490dn2	SN490C相当	MSTL-0545
鋼板タイプ(切削加工)	TMP225G※	下表の材質F 下表の材質E

※建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

3. 適用範囲及び適用規定

構造種別	鉄骨造
品種	パネル部鋼管(下階柱)サイズ：□300、□350、□400、□450、□500、□550、□600、□650、□700 ・上階柱は、上記パネル部鋼管サイズに対し50mm小さい、または100mm小さい鋼管を用いる ダイアフラム側面とパネル部鋼管外面までの距離(出寸法)が25mmまたは30mm
適用柱	490ニュートン級以下(基準強度F=325N/mm ² 以下)の角形鋼管(BOP235、BOP235、BOR295、JBR295、TSC295、STR490、STR490、熱間成形角形鋼管) (ただし、溶接継合型断面柱はパネル部鋼管のみ使用可能) ・上階柱とパネル部鋼管とのサイズ差は50mmまたは100mm(それ以外は不可) ・上階柱板厚tc≦パネル部鋼管板厚tp、上階柱F値≦パネル部鋼管F値 (tp<tc≦tp+4の組み合わせで使用する場合は、別途お問い合わせください) ・パネル部鋼管と下階柱は同幅とする ・柱が傾斜する場合は使用不可
適用はり	490ニュートン級以下(基準強度F=325N/mm ² 以下)(材料強度の基準強度(F値)1.1倍可) フランジ幅(Bf)：Bf≦min(dp、650mm)、フランジ厚(tf)：tf≦(T-6)mm
筋違い	スマートダイア側に筋違いを取付けることは不可。ただし下ダイアフラム側への筋違い取付は可能
上階・階高	h≧2.5dp (dp:パネル部鋼管の幅)
柱芯間距離	L≧1.25dp (dp:パネル部鋼管の幅)
適用軸力範囲	-0.5N _y ≦ N ≦ +0.5N _y (N _y :上階柱の降伏軸耐力) ルート3設計の場合のN：熊鷹メカニズム時の軸力 ルート3以外の場合のN：地震力による軸力をγ倍した値(ルート1-1: γ=1、ルート1-2: γ=1.67、ルート2: γ=2)

4. スマートダイア形状・寸法

鍛鋼タイプ(F)

鋼板タイプ(E)

型式表示

SDe 500W-100

絞り量
無：出寸法25mm
W：出寸法30mm

パネル部鋼管(下階柱)サイズ
無：鍛鋼(孔有)
e：鋼板(孔無)

柱符号	層	採用(数量)	型式	通用柱 (F=325N/mm ² 以下かつ上階柱F値≦パネル部鋼管F値)				上下鋼管サイズ差s(mm)	スマートダイア				中央孔	ダイアフラム出寸法e(mm)				
				パネル部鋼管		上階柱			寸法									
				幅dp (mm)	板厚tp (mm)	幅dc (mm)	板厚tc (mm) 下記寸法かつtc≦tp		はりフランジ幅Bf (mm)	厚さtf (mm)	外形A (mm)	はり接合面幅W (mm)			高さH (mm)	板厚T (mm)		
パネル部鋼管□300～550、パネル部鋼管板厚25mm以下(50mm絞り用) ※1																		
			SD300-50	□300	19以下	□250	16以下	50	300以下	19以下	350	310	50	25	25	F	有	25
			SD350-50	□350	22以下	□300	19以下		350以下	26以下	400	360	64	32	39			
		27	SD400-50	□400	25以下	□350	22以下		400以下	33以下	450	410	78	39	61			
			SD450-50	□450		□400	25以下		450以下	39以下	500	460	90	45	82			
			SD500-50	□500		□450	25以下		500以下	42以下	550	510	96	48	105			
			SDe550-50	□550		□500		550以下	44以下		600	83	50	196	E	無		
パネル部鋼管□300～550、パネル部鋼管板厚25mm以下(100mm絞り用) ※1																		
			SD300-100	□300	19以下	□200	12以下	100	300以下	23以下	350	310	57	29	31	F	有	25
			SD350-100	□350	22以下	□250	16以下		350以下	32以下	400	360	75	38	53			
		11	SD400-100	□400	25以下	□300	19以下		400以下	37以下	450	410	85	43	75			
			SD450-100	□450		□350	22以下		450以下	42以下	500	460	95	48	103			
			SD500-100	□500		□400	25以下		500以下	46以下	550	510	104	52	136			
			SDe550-100	□550		□450		550以下	48以下		600	90	54	212	E	無		
パネル部鋼管□600～700、パネル部鋼管板厚25mm以下																		
			SDe600-100	□600	25以下	□550、500	25以下	50、100	600以下	51以下	650	95	57	266	E	無	25	
			SDe650-100	□650		650以下			54以下	700	100	60	324					
			SDe700-100	□700		650以下			54以下	750	100	60	376					
パネル部鋼管□500～700、パネル部鋼管板厚28、32mm																		
			SDe500W-100	□500	28、32	□450、400	32以下	50、100	500以下	48以下	560	90	54	176	E	無	30	
			SDe550W-100	□550		550以下			54以下	610	100	60	226					
			SDe600W-100	□600		600以下			54以下	660	100	60	281					
			SDe650W-100	□650		650以下			54以下	710	100	60	330					
			SDe700W-100	□700		650以下			54以下	760	100	60	382					

※1：50mm絞りにも使用可能 ※2：25以下にも使用可能

1. 柱及びはり取付け位置

パネル部鋼管との位置合わせ

上階柱との位置合わせ

はり取付け位置の確認(鉛直方向)

・寸法(a)が均等になるよう位置合わせを行う

・スマートダイア上面のセンターラインを基準に上階柱の位置合わせを行う

・はりフランジの端部は、スマートダイア側面(T寸法)の範囲内に接合されること。

はり取付け位置の確認(水平方向)

・はりフランジがパネル部鋼管外面を超えないことを確認

中柱(芯一致)

側柱(一方向偏心)

隅柱(二方向偏心)

斜めはり

*各型式とも中柱、側柱、隅柱の場合で兼用可。

2. 上階柱とパネル部鋼管 ずれの許容差

中柱(芯一致)

側柱(一方向偏心)

隅柱(二方向偏心)

上階柱外面とパネル部鋼管外面 ずれの許容差 ±5mm

3. 溶接材料

被覆アーク溶接	低水素系490ニュートン級高強度鋼用 (JIS Z3211 D5016相当以上)
ガスシールドアーク溶接	軟鋼及び490ニュートン級高強度鋼マグ溶接用ソリッドワイヤ (JIS Z3312 YGM11相当以上)

5. 組立溶接

・組立溶接は脚長4～6mmで1パスとし、1箇所の手は40mm程度とする。

4. 開先形状(鋼管端部に開先を設ける)

注意

開先形状は参考です。

スマートダイアとはりの溶接は、通常の差しダイアフラムと同様にはりに開先を設け溶接を行う。

開先形状はMC-TL-1B、GC-TL-1Bによる。

6. 予熱

鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
なお、スマートダイアの板厚はT寸法にて管理する。

7. 本溶接

・柱とスマートダイアの溶接は完全溶込み溶接で行う。
・対辺ごとに溶接を行う。
(自動ロボット溶接の場合はこれによらない)
・はりとスマートダイアの溶接は完全溶込み溶接で行う。

8. 検査

方 法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査等を行う。 探傷は柱フランジ側から行う。	不良溶接部の補正	(1)有害な欠陥のある溶接部は除去して再溶接を行う。 (2)溶接部に割れの入った場合には、割れの両端から50mm以上をはり取り再溶接する。
-----	---	----------	--

訂正

株式会社 池田建築設計事務所

idea - image - inspiration

設計者

渡邊 政之

一級建築士 第242370号
構造設計一級建築士 第6169号

年月日

2024. 02. 29

作図者

渡邊 政之

工事名

(仮称) 新学校給食センター 建築工事

図面名

柱梁接合法 標準図 (1)

縮尺

A1 -
A3 -

図面番号

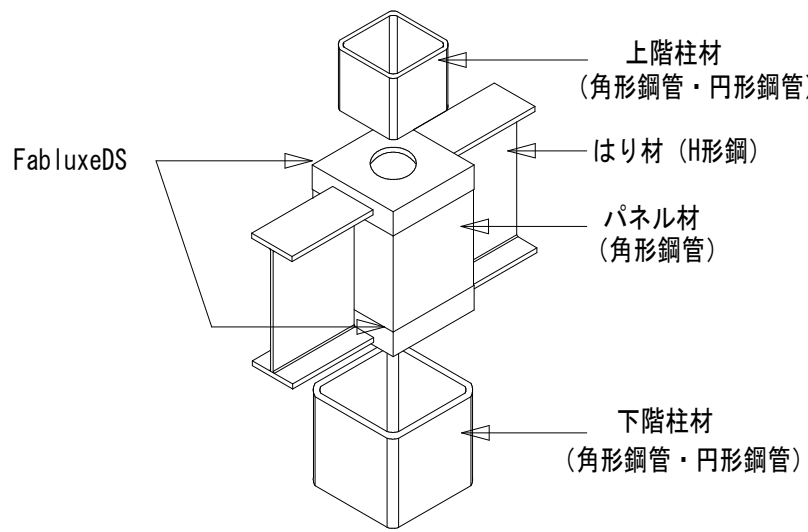
S-035

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0195-03」（令和3年8月20日付）

Fabluxe[®]（ファブラックス[®]）DS柱はり接合工法設計標準図

1. 概要

FabluxeDS柱はり接合工法は、鉄骨造建築物の柱はり接合部にFabluxeDSを用いる柱はり接合工法である。
FabluxeDSは100mmを限度とした上下異径の角形鋼管あるいは円形鋼管を接合することができる。
形状は、接合する角形鋼管とほぼ同一の外径を有する管状の直方体で、はりが接合する側面の内側角部にハンチを有し、鋼管柱が接合する面に水平ハンチを有する。本工法の適用範囲において、はりのフランジとFabluxeDSの接合部は保有耐力接合条件を満足しており、本工法を用いた架構の剛性は、柱はりを線材置換して節点剛とした架構剛性として計算することができる。



本標準図に記載のない事項は下記による。
・建築基準法・施行令・国土交通省告示等
・鋼構造許容応力度設計規準（日本建築学会）
・建築工事標準仕様書 JASS6鉄骨工事（日本建築学会）
・鉄骨工事技術指針（日本建築学会）

【4. FabluxeDSに接合するはり材】

基準強度（F値）が235N/mm²または325N/mm²の圧延H形鋼及び溶接組立H形鋼

＜適用するはり材品種＞

- 一般構造用圧延鋼材（SS400、SS490）
- 溶接構造用圧延鋼材（SM400A、SM400B、SM400C、SM490A、SM490B、SM490C）
- 建築構造用圧延鋼材（SN400A、SN400B、SN400C、SN490B、SN490C、SN490C-TMC）
- 一般構造用溶接軽量H形鋼（SWH400）
- 建築構造用溶接軽量H形鋼（SMH490W、SMH490B）
- 建築構造用TMC鋼材（TMCP325B、TMCP325C）

FabluxeDSに接合するはり材の適用範囲一覧（単位：mm）

品番	はりフランジ			はりウェブ
	幅	厚み		
		(F値235材)	(F値325材)	(F値共通)
DS25	250以下	25以下	12以下	
DS30	300以下			
DS35				
DS40				
DS45				
DS50	30以下	14以下		
		16以下		

【3. FabluxeDSに接合するパネル材】

（1）パネル材は、外径がFabluxeDSの外径と同一となる右記寸法を満足する角形鋼管及び溶接組立箱型断面とする
なお、適用する鋼管品種は、柱材に適用する鋼管品種の内、円形鋼管を除いたものとする。

（2）パネル材に使用する角形鋼管の曲げ耐力は、上下階柱それぞれの曲げ耐力以上とする。

（3）FabluxeDS同士もしくはFabluxeDSと通しダイヤフラムとを連結するパネル材の長さは100mm以上とする。

FabluxeDSに接合するパネル材の適用範囲一覧（単位：mm）

品番	角形鋼管 溶接組立箱型断面	
	外径	板厚
DS25	□250	16以下
DS30	□300	19以下
DS35	□350	22以下
DS40	□400	25以下
DS45	□450	28以下
DS50	□500	32以下

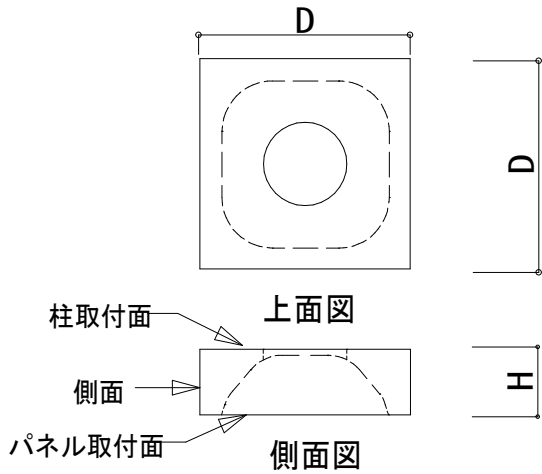
【1. FabluxeDS】

（1）形状寸法

（単位：mm）				
数量	品番	外径（D）	長さ（H）	質量（kg）
	DS25	253	110	38
	DS30	303	110	53
	DS35	353	110	70
15	DS40	403	110	88
	DS45	453	110	109
	DS50	503	110	140

（2）材質

- 基準強度（F値）：325N/mm²
- 建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定品
建築構造用柱梁接合部鋼材 FX490D
MSTL-0332（平成23年9月26日付）



【2. FabluxeDSに接合する柱材】

基準強度（F値）が235N/mm²～325N/mm²の冷間成形角形鋼管及び熱間成形角形鋼管、溶接組立箱形断面、円形鋼管

＜適用する鋼管品種＞

- 一般構造用角形鋼管（STKR400、STKR490）
- 建築構造用冷間ロール成形角形鋼管（BCR295、JBCR295、TSC295）
- 建築構造用冷間プレス成形角形鋼管（BCP235、BCP235C、BCP325、BCP325C、BCP325T）
- 建築構造用熱間成形角形鋼管（SHC400B、SHC400C、SHC490B、SHC490C、BSH325）
- 溶接組立箱型断面柱（SM400A、SM400B、SM400C、SN400A、SN400B、SN400C、SM490A、SM490B、SM490C、SN490B、SN490C）
- 円形鋼管（STK400、STKN400B、STKN400W、STK490、STKN490B）

FabluxeDSに接合する柱材の適用範囲一覧（単位：mm）

品番	角形鋼管 溶接組立箱型断面柱		円形鋼管	
	外径	板厚	外径	板厚
DS25	□150 □175 □200 □250	12以下 16以下	φ216.3	12以下
DS30	□200 □250 □300	12以下 16以下 19以下	φ267.4	16以下
DS35	□250 □300 □350	16以下 19以下 22以下	φ318.5 φ350	
DS40	□300 □350 □400	19以下 22以下 25以下	φ355.6 φ400	19以下
DS45	□350 □400 □450	22以下 25以下 28以下	φ406.4 φ450	
DS50	□400 □450 □500	25以下 28以下 32以下	φ457.2 φ500	22以下

FabluxeDSを使用する接合部における上下階柱材とパネル材の組み合わせ一覧

		上階柱														
		角形鋼管柱					円形鋼管柱									
		□150 □175	□200	□250	□300	□350	□400	□450	□500	φ216.3	φ267.4	φ318.5 φ350	φ355.6 φ400	φ406.4 φ450	φ457.2 φ500	
角形鋼管柱	□250	上部	DS25	DS25 (DS25)	(DS30)	(DS35)				DS25	DS30	DS35				
		パネル	□250	□250	□250	□300	□350			□250	□300	□350				
		下部	(DS25)	(DS25)	(DS25)	DS30	DS35			(DS25)	DS30	DS35				
	□300	上部		DS30	DS30 (DS30)	(DS35)	(DS40)				DS30	DS35	DS40			
		パネル		□300	□300	□300	□350	□400			□300	□350	□400			
		下部		(DS30)	(DS30)	(DS30)	DS35	DS40			(DS30)	DS35	DS40			
	□350	上部			DS35	DS35 (DS35)	(DS40)	(DS45)				DS35	DS40	DS45		
		パネル			□350	□350	□350	□400	□450			□350	□400	□450		
		下部			(DS35)	(DS35)	(DS35)	DS40	DS45			(DS35)	DS40	DS45		
	□400	上部				DS40	DS40 (DS40)	(DS45)	(DS50)				DS40	DS45	DS50	
		パネル				□400	□400	□400	□450	□500			□400	□450	□500	
		下部				(DS40)	(DS40)	(DS40)	DS45	DS50			(DS40)	DS45	DS50	
円形鋼管柱	□450	上部					DS45	DS45 (DS45)	(DS50)						DS45	DS50
		パネル					□450	□450	□450	□500					□450	□500
		下部					(DS45)	(DS45)	(DS45)	DS50				(DS45)	DS50	
	□500	上部						DS50	DS50 (DS50)							DS50
		パネル						□500	□500	□500					□500	(DS50)
		下部						(DS50)	(DS50)	(DS50)						(DS50)
	φ216.3	上部	DS25	DS25 (DS25)						DS25						
		パネル	□250	□250	□250					□250						
	φ267.4	上部		DS30	DS30	(DS30)					DS30					
		パネル		□300	□300	□300					□300					
	φ318.5 φ350	上部					DS35	DS35 (DS35)				DS35				
		パネル					□350	□350	□350			□350				
	φ355.6 φ400	上部						DS40	DS40 (DS40)					DS40		
		パネル						□400	□400	□400				□400		
	φ406.4 φ450	上部						DS40	DS40							
		パネル						□450	□450	□450					DS45	
	φ457.2 φ500	上部							DS45	DS45					DS45	
		下部							DS50	DS50 (DS50)						DS50
		上部							DS50	DS50	□500	□500	□500			DS50
		下部							DS50	DS50	DS50					DS50

ー上表の参照方法の例示ー

		上階柱 □200		
下階柱	□300	上部	DS30	上部：柱はり接合部上部に適用できるFabluxeDS パネル：パネル材のサイズ（FabluxeDSの外径と同一とする） 下部：柱はり接合部下部に適用できるFabluxeDS
		パネル	□300	
		下部	(DS30)※	

※（）：パネル材と柱材が同サイズの場合、ダイヤフラムを用いても良い

旭化成建材株式会社

2021年9月作成

札幌TEL 011 (261) 5443
仙台TEL 022 (223) 8171
東京TEL 03 (3296) 3515

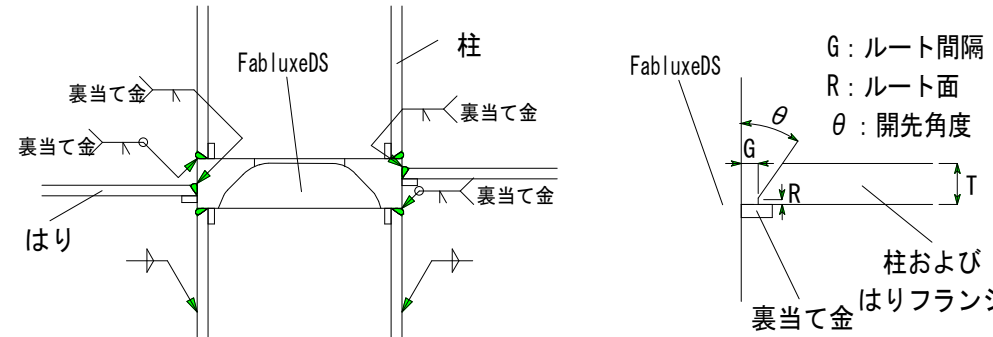
名古屋TEL 052 (212) 2233
大阪TEL 06 (7636) 3847
広島TEL 082 (511) 5110

福岡TEL 092 (526) 2104

3. 構造設計の条件

【1. 基本事項】

- 本工法の適用範囲のはりフランジとの接合において、はりフランジとFabluxeDSの接合部は保有耐力接合条件を満足している。
- 本工法はプレース材が取り付く接合部に使用できない。
- 本工法は、柱及びはりの接合部の構造方法を通しダイヤフラム形式として扱うことができる。



【2. 柱およびはりとの接合条件】

柱及びはりとはFabluxeDSの接合は、柱及びはりフランジとは完全溶け込み溶接によるものとする。
また、溶接材料はFabluxeDSの基準強度（325N/mm²）を満足する溶接材料を使用する。
溶接部の検査は、「建築工事標準仕様書 JASS6鉄骨工事」に準拠し、それを満足すること。

【3. 架構の剛性】

FabluxeDSを柱はり接合部に用いた架構の剛性は、柱はりを線材置換し、柱はり接合部を剛な節点として評価できる。

【4. はりの曲げ耐力】

はりフランジとFabluxeDSに接合した部位のはりウェブは全断面有効とすることができる。ただし、はりウェブにおいてスカラップ等の欠損断面分は除くこととする。

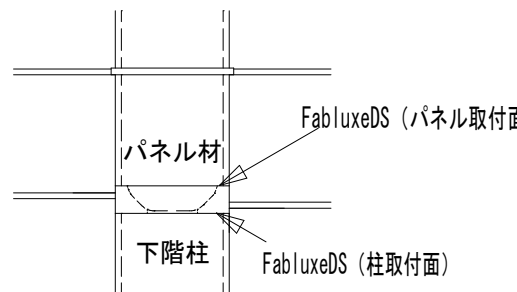
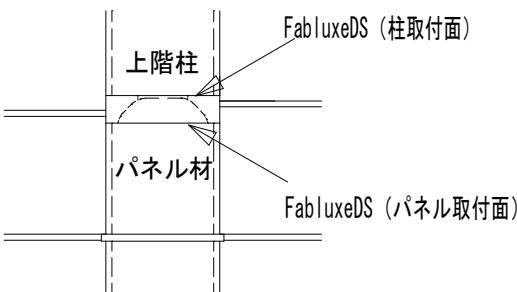
【5. 二次設計】

本工法の適用範囲の柱材、パネル材・はり部材のうち、材料強度の基準強度が325N/mm²の部材とFabluxeDSとの溶接部の材料強度の基準強度は、材料強度の基準強度の1.0倍以下までの数値とする。

4. 標準接合部仕様

【1. 接合部（柱材とパネル材の接合条件）】

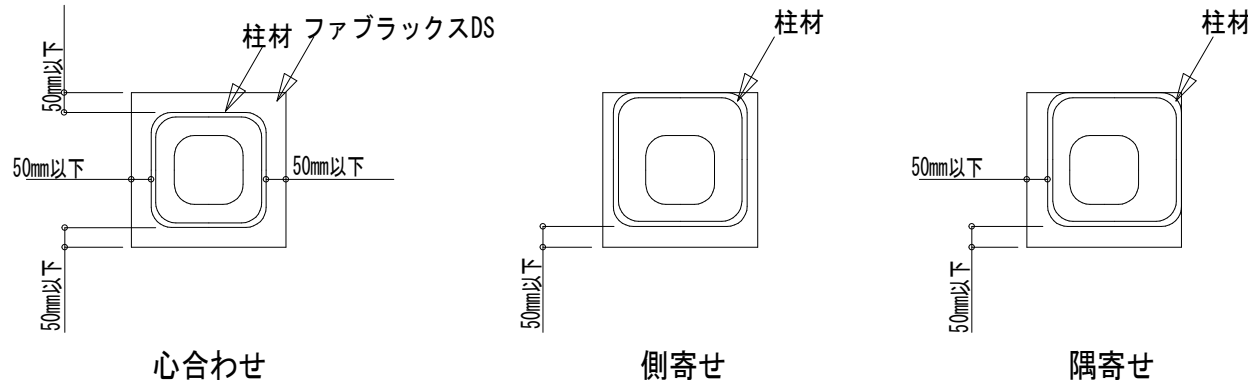
柱材はFabluxeDSの柱取付面に接合し、
パネル材はFabluxeDSのパネル取付面に接合するものとする。



【2. 柱材の接合条件】

柱材心はFabluxeDS心と一致させることとする。ただし右記表に示す柱材に限り柱材を25mmを限度として偏心して接合することが出来る。

＜柱材の取付け位置例＞



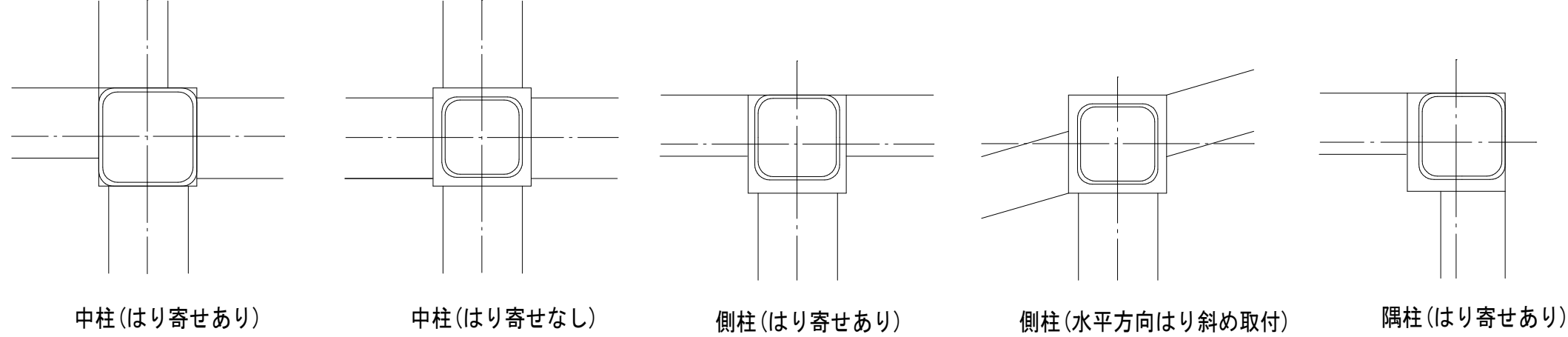
FabluxeDSに偏心して接合できる柱材

品番	角形鋼管・溶接組立箱型断面柱	板厚
DS25	□200	12mm以下
DS30	□250	16mm以下
DS35	□300	19mm以下
DS40	□350	22mm以下
DS45	□400	25mm以下
DS50	□450	28mm以下

【3. はり材の接合条件（水平方向）】

はりフランジは、FabluxeDS側面に対して平面方向に斜めに接合することが出来る。

ただし、はりフランジのFabluxeDS側面への接合幅がFabluxeDS外径を超えてはならない。

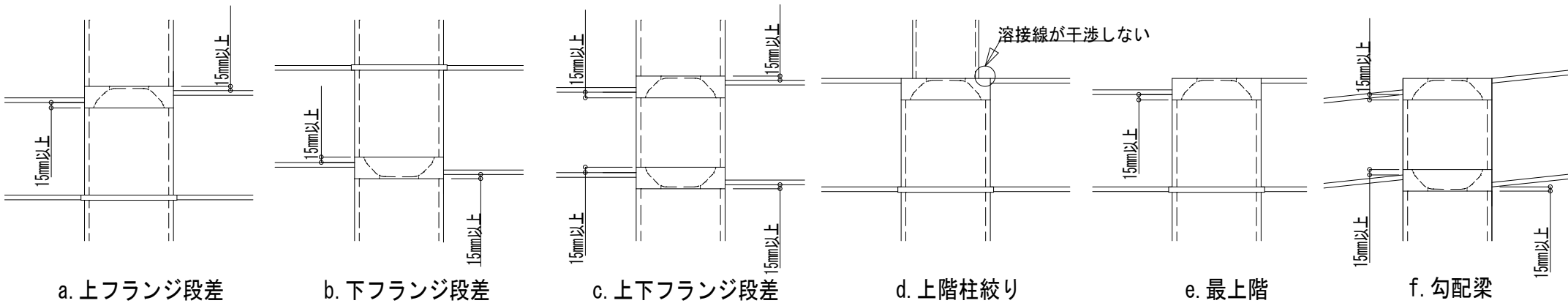


【4. はり材の接合条件（鉛直方向）】

（1）FabluxeDS側面へのはりフランジの接合位置は、はりフランジ面をFabluxeDSの上下端部から15mm以上離さなければならない。（下図 a、b、c）

ただし、はりフランジの溶接と取り合う柱の溶接線とが干渉しない（最上階で柱取付面に柱材が接合しない、柱フランジ面がFabluxeDS側面から15mm以上後退する）場合、はりフランジ面と柱取付面を揃えることが出来る。（下図 d、e）

（2）はりフランジは、FabluxeDSの側面に対して鉛直方向に斜めに接合することが出来る。（下図 f）




1. NDコア仕様

部材記号							長さ(mm)	設計記号※1	数量(個)	斜め切断(勾配)
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	■ND350	□ND400			26	□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	■ND300	□ND350	□ND400			2	□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸
□ND150	□ND175	□ND200	□ND250	□ND300	□ND350	□ND400				□斜め切断 ()度、寸

※1 設計記号は、部材記号-長さ(mm)で記入する。(例)ND300-600、ND200-550

(1)NDコアの形状寸法および重量

部材記号		外径B※2	公差	板厚t	単位質量	長さ範囲※3	材質	断面形状※4※5	
		(mm)		(mm)	(kg/m)	(mm)			
ND150	152	+2.0 -2.0		16.5	69.8	150~ +3.0 -0	SN490B		
ND175	177			17.0	85.1				
ND200	202			22.0	124				
ND250	252			24.0	184		SN490B-ND※6		
ND300	302			29.0	265				
ND350	352			33.8	360				
ND400	402			38.6	470		SN490B-ND※6		

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするかもしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること

※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが、当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

※7 NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりととの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

(2)適用する柱およびはり材

a)適用する柱材の材質および規格

- ・建築構造用冷間成形角形鋼管 BCR295
- ・一般構造用角形鋼管(JIS G 3466) STKR400

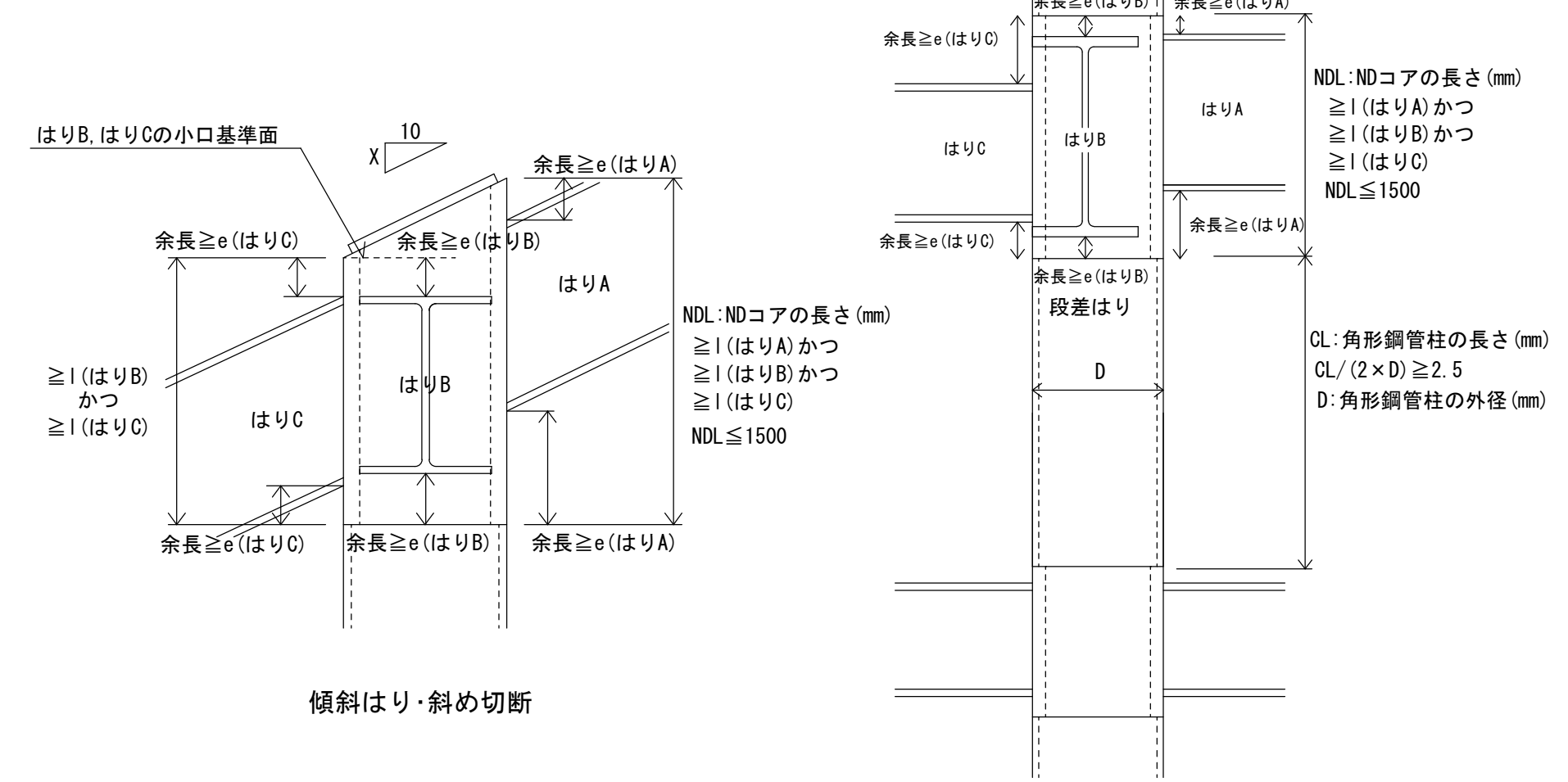
b)適用するはり材の材質および規格:下記規格のH形鋼

- ・建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) SN400B, C
- ・一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) SS400
- ・溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) SM400A, B

2. NDコア仕様の決め方

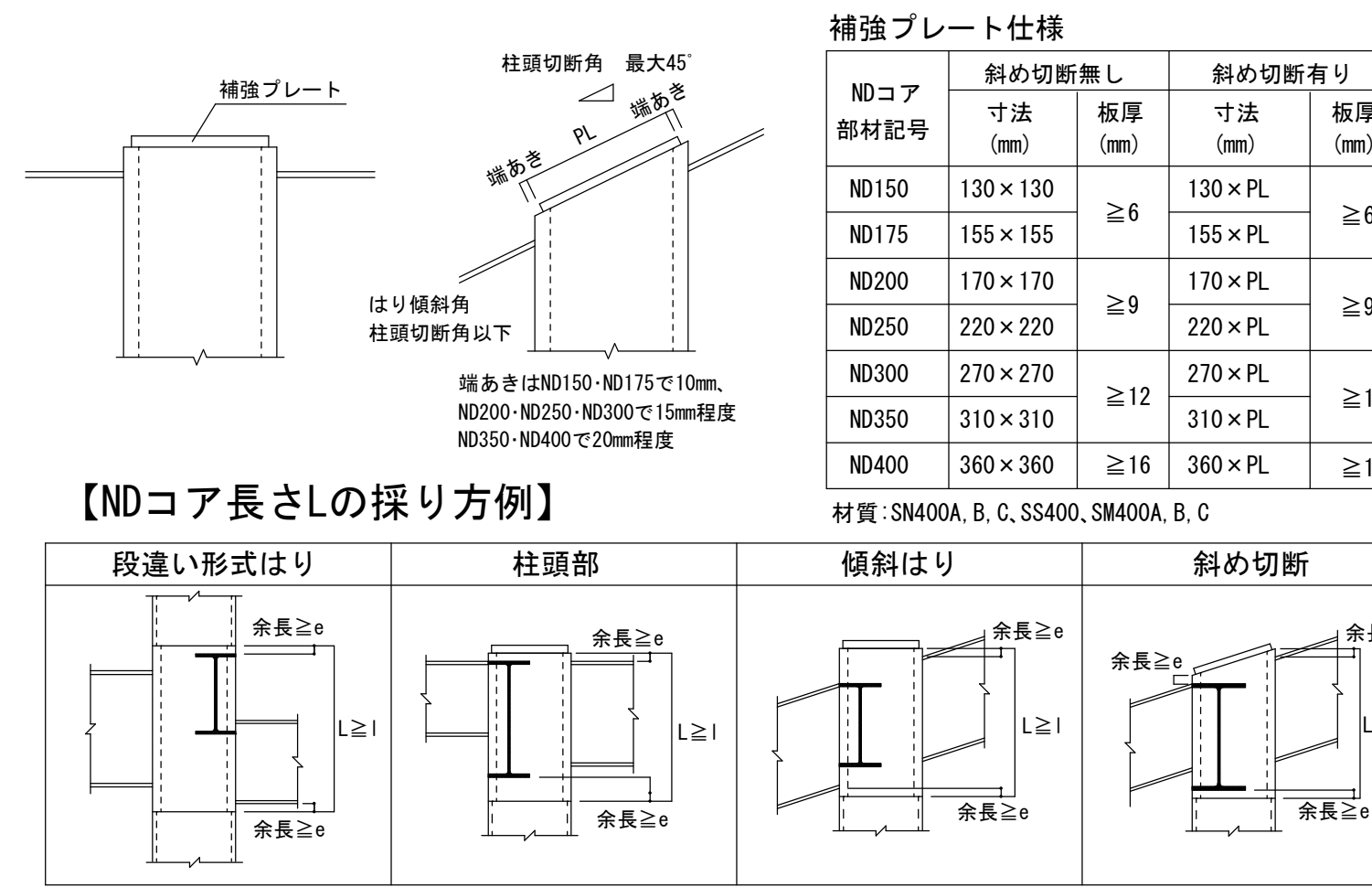
(1)NDコア長さLの設定方法と注意点

- a)NDコアの長さLは、取付く各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さl以上となるようにする。
最小余長e、最小長さlは柱はりの組合わせて決まっている寸法であり「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。
- b)はりに傾斜がある場合には、はり取り付け部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。
- c)柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さlを確保する。
小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さlを確保する。
- d)柱頭部の斜め切断の勾配は45°(10寸勾配)以下とする。(斜め切断は一方のみとし、部分切断は不可)
- e)NDコアは厚肉鋼管のため角形鋼管柱より剛性が大きい特徴があります。層に占めるNDコア全長の割合が大きい場合、曲げとせん断力の比率に応じ、柱の変形性能が変わります。そのため評定CBLSS08-19の適用範囲において柱せん断スパン比は2.5以上、NDコアの長さは1500mm以下となっております。



(2)柱頭部仕様

- a)柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。
- b)柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45°以下とする。
(斜め切断は一方のみとし、部分切断は不可)
- c)柱頭部を斜め切断した場合は、はりの傾斜は切断角度以下とする。
- d)どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を増増すことが望ましい。



3. 鉄骨躯体の設計方法

- a)NDコアは柱・はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足しており、あらためて接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
- b)NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイアフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
- c)NDコアを用いた柱およびはり等の鉄骨フレームの設計については、下記の規基準等によるものとし、通常の設計フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、NDコアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を行う。
- ・平成20年5月23日施行改正建築基準法
 - ・平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号
 - ・(一財)日本建築センター「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」
 - ・同「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」

4. NDコア鉄骨製作要領

(1)鉄骨製作方法

- a)NDコアと柱およびはりとの接合は鉄骨製作者が行い、施工管理は鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
- b)記載なき事項については、(一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6鉄骨工事」、同「鉄骨工事技術指針」、および(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」による。

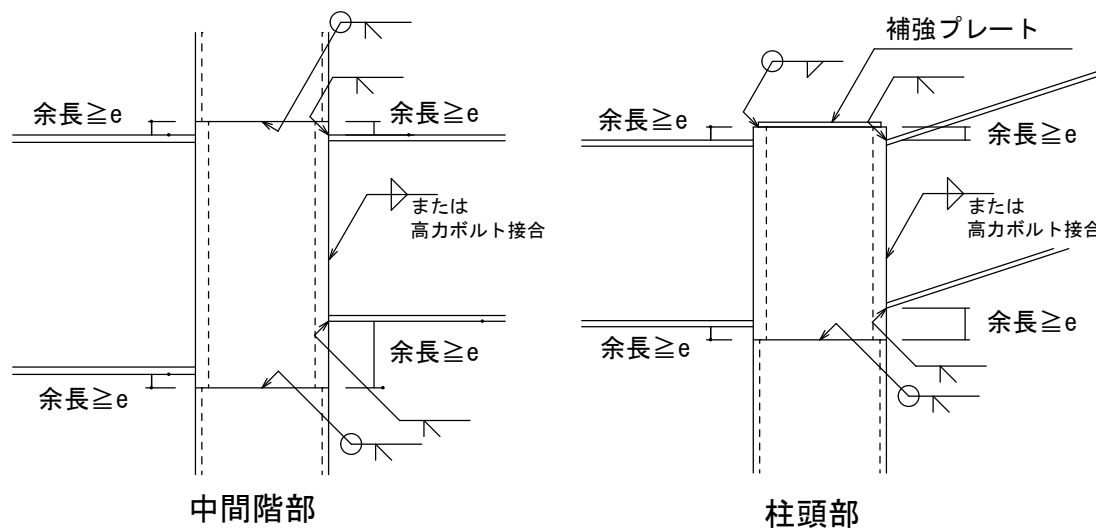
(2)接合方法

- a)NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接または高力ボルト接合とする。
- b)NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて特記の無い限りは25mmとする。
- c)NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。
- d)NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上げる等適切に処置する。

(3)柱頭部補強プレート取り付け方法

- a)柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付ける。
- b)全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490N級の溶接ワイヤを用いて行う。
- c)柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、実状に合わせて補強プレートを準備する。

ルート1-1	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。
ルート1-2	
ルート2	
ルート3	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。 ただし、NDコア使用部においてパネル崩壊が生じないため、柱・はり耐力比から崩壊形を判定して、フレーム設計を行う。 崩壊形の判定に影響しない、柱頭部については、特別な検討は不要である。



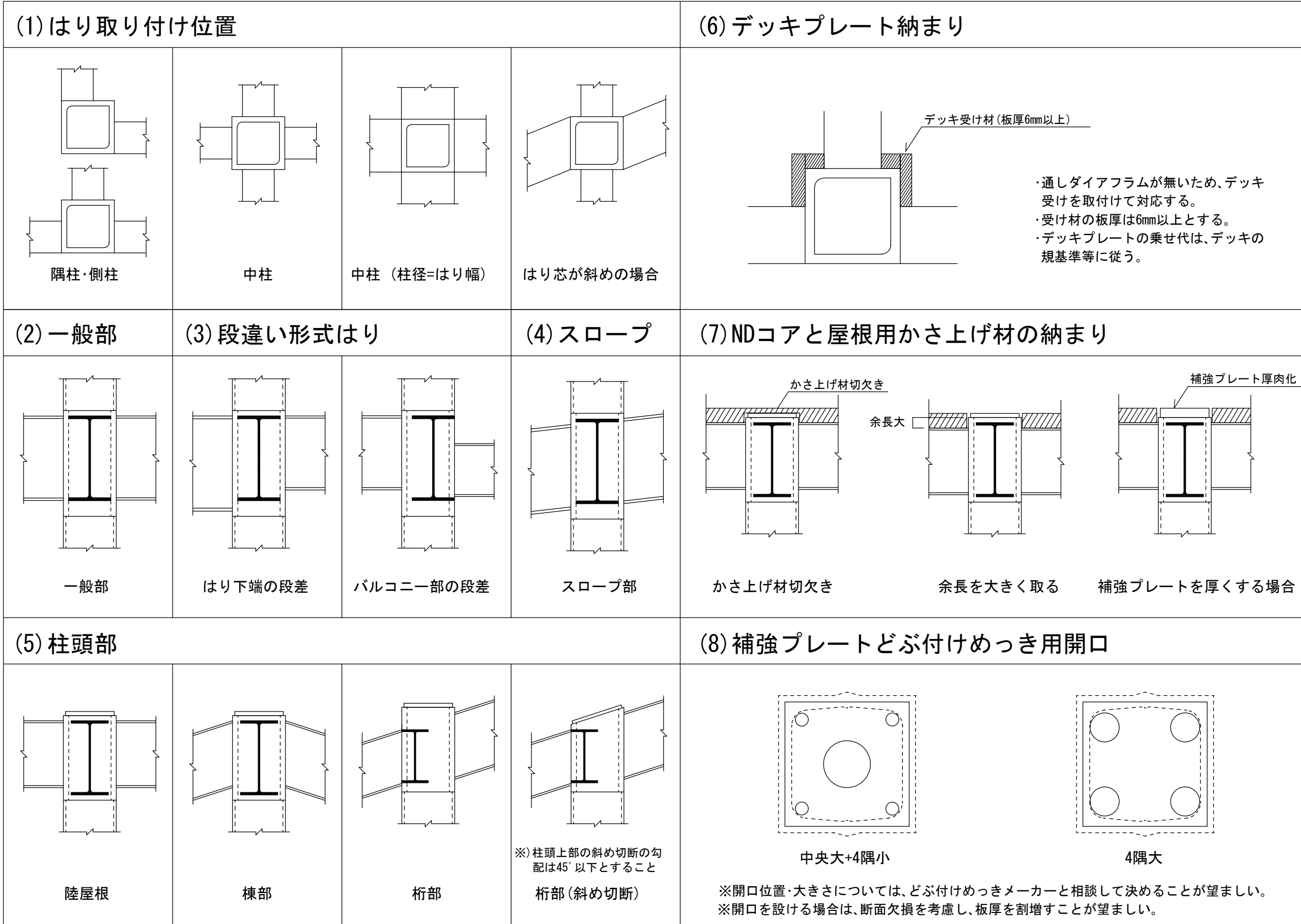
補強プレート取り付け仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し 寸法(mm) 板厚※(mm)	斜め切断有り 寸法(mm) 板厚※(mm)	隅肉溶接仕様 溶接サイズ(mm)
ND150	130×130 ≥6	130×PL ≥6	≥6
ND175	155×155 ≥6	155×PL ≥6	≥6
ND200	170×170 ≥9	170×PL ≥9	≥9
ND250	220×220 ≥9	220×PL ≥9	≥9
ND300	270×270 ≥12	270×PL ≥12	≥12
ND350	310×310 ≥12	310×PL ≥12	≥12
ND400	360×360 ≥16	360×PL ≥16	≥16

材質:SN400A, B, C, SS400, SM400A, B, C

※ 角落ち防止のため、板厚は1サイズアップを推奨する。

5. NDコア納まり例



1. 表の見方

使用する柱（横軸）、はり（縦軸）を選択し、NDコアの必要最小長さ l と余長の必要最小寸法 e を確認する

※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

・柱材：BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管

・はり材：400N級（SS400、SM400、SN400B・C等）のJIS G 3192記載のH形鋼

・NDコア長さL：NDコアの長さ

・最小長さ l：柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ

・余長 e：NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離

・最小余長 e：確保する余長の最小値

角形鋼管柱

NDコア

はり

余長 ≥ e

L ≥ l

はりB

余長 ≥ e (はりB)

角形鋼管柱

NDコア

はりA

余長 ≥ e (はりA)

L ≥ l (はりA) かつ L ≥ l (はりB)

はりB

余長 ≥ e (はりB)

2. NDコアの形状および寸法

外径B ※2		板厚 t	単位質量	長さ範囲 ※3		材質	断面形状 ※4※5
部材記号	(mm)	(mm)	(kg/m)	(mm)	公差		
ND150	152	16.5	69.8	150~	+3.0 -0	SN490B	<div>ND150~ND200</div>
ND175	177	17.0	85.1				
ND200	202	22.0	124				
ND250	252	24.0	184				
ND300	302	29.0	265				
ND350	352	33.8	360	SN490B-ND ※6			
ND400	402	38.6	470				

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。

※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136 (建築構造用圧延鋼材) 2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3. 注意点

・組合せ表の最小長さ l、最小余長 e は、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。

・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。

・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4. NDコア最小長さ l と余長 e

4-1. ND150~ND200

※最小余長 e に記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。

※表中のNG範囲は適用不可。

NDコア		ND150						ND175						ND200								
柱	径 (材質)	□150 (BCR295)			□150 (STKR400)			□175 (BCR295)			□175 (STKR400)			□200 (BCR295)			□200 (STKR400)					
	板厚	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12			
最小長さ l 最小余長 e		l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e	l e			
細幅 はり	H-100×50×5×7	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	H-100×50			
	H-125×60×6×8	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	H-125×60			
	H-150×75×5×7	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	H-150×75			
	H-175×90×5×8	225	225	225	225	225	225	225	225	225	232	225	225	225	225	225	225	225	H-175×90			
	H-198×99×4.5×7	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	H-198×99			
	H-200×100×5.5×8	250	250	250	250	250	250	270	250	250	280	250	250	250	250	250	250	250	H-200×100			
	H-248×124×5×8	298	298	298	298	298	298	310	298	298	298	310	298	298	298	298	298	298	H-248×124			
	H-250×125×6×9	300	300	300	300	300	300	300	345	35	303	300	335	325	300	300	300	300	H-250×125			
	H-298×149×5.5×8	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	H-298×149			
	H-300×150×6.5×9	350	350	350	350	350	350	350	350	373	350	350	350	350	350	350	350	350	H-300×150			
	H-346×174×6×9	NG						396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	H-346×174				
	H-350×175×7×11							400	400	400	400	400	400	400	400	H-350×175						
	H-396×199×7×11							NG						446	446	446	446	446	446	446	446	H-396×199
	H-400×200×8×13													450	450	450	450	450	450	450	H-400×200	
	H-446×199×8×12													496	496	496	496	496	496	496	H-446×199	
	H-450×200×9×14													500	500	500	500	500	500	500	H-450×200	
	H-496×199×9×14													546	546	546	546	546	546	546	H-496×199	
	H-500×200×10×16													550	550	550	550	550	550	550	H-500×200	
	H-596×199×10×15													646	646	646	646	646	646	646	H-596×199	
	H-600×200×11×17													650	650	650	650	650	650	650	H-600×200	
	H-606×201×12×20													NG			NG			H-606×201		

4-2. ND250～ND350																																								
柱	NDコア	ND250																ND300										ND350												
	径 (材質) 板厚	□250 (BCR295)								□250 (STKR400)								□300 (BCR295)					□300 (STKR400)					□350 (BCR295)						□350 (STKR400)						
		6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16	19	6	9	12	16	19	9	12	16	19	22	9	12	16	19	22											
最小長さ l 最小余長 e		l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e									
細幅 はり	H-100×50×5×7	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	H-100×50									
	H-125×60×6×8	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	H-125×60									
	H-150×75×5×7	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	H-150×75									
	H-175×90×5×8	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	H-175×90									
	H-198×99×4.5×7	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	H-198×99									
	H-200×100×5.5×8	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	H-200×100									
	H-248×124×5×8	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	H-248×124									
	H-250×125×6×9	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	H-250×125									
	H-298×149×5.5×8	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	H-298×149									
	H-300×150×6.5×9	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	H-300×150									
	H-346×174×6×9	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	H-346×174									
	H-350×175×7×11	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	H-350×175									
	H-396×199×7×11	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	H-396×199									
	H-400×200×8×13	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	H-400×200									
	H-446×199×8×12	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	H-446×199									
	H-450×200×9×14	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	H-450×200									
	H-496×199×9×14	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	H-496×199									
H-500×200×10×16	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	551	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	H-500×200										
H-596×199×10×15	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	H-596×199										
H-600×200×11×17	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	H-600×200										
H-606×201×12×20	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	H-606×201										

・本紙は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」および「NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編】」と合わせて使用すること。

1. 表の見方

使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さ l と余長の必要最小寸法 $e^{※1}$ を確認する

※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

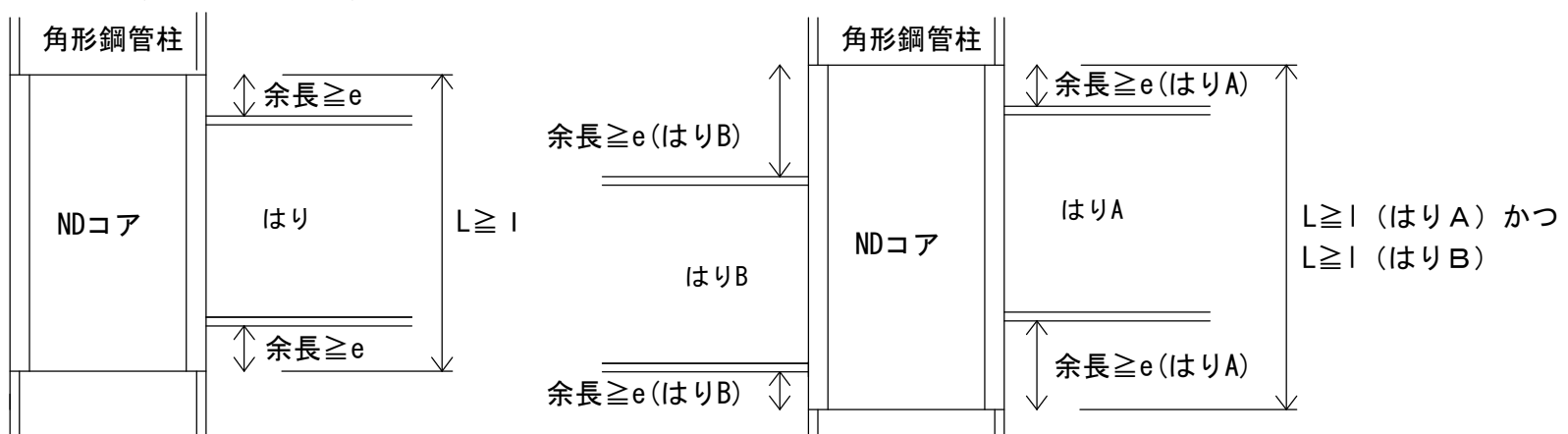
・柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管

・はり材:400N級(SS400、SM400)

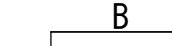
NDコア長さL:NDコアの長さ

・最小長さ 1 : 柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ

・余長:NDコア小口面から はりフタ



2. NDコアの形状および寸法

	外径B ※2		板厚t	単位質量	長さ範囲 ※3		材質	断面形状 ※4※5			
部材記号	(mm)	公差	(mm)	(kg/m)	(mm)	公差					
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150~	+3.0 -0	SN490B				
ND175	177		17.0	85.1							
ND200	202		22.0	124							
ND250	252		24.0	184							
ND300	302		29.0	265							
ND350	352		33.8	360							
ND400	402		38.6	470			SN490B-ND ※6				
							SN490B-ND ※6				

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。

※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012年の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが、当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3. 注意点

・組合せ表の最小長さ l、最小余長 e は、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。

・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。

・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4-2. ND250～ND350

[illegible]

(Ver 6.1 2022.9)